

世論調査結果報告書
令和5年6月調査

都民生活に関する世論調査

令和6年1月

 東京都政策企画局

ま え が き

「都民生活に関する世論調査」は、都民の日常生活に関わる意識や、都政に何を望んでいるかなどを調査し、今後の都政運営に役立てることを目的として実施しています。

経年調査の項目（「暮らし」「住んでいる地域」「東京」「都政への要望」）では、過去の調査結果をもとに意識の変化を把握しています。

この世論調査が、行政担当者のみならず、広く都民の方々や、都民の生活意識に関心のあるの方々のお役に立てれば幸いです。

最後に、この世論調査にご協力いただいた多くの皆様に深く感謝申し上げます。

令和6年1月

東京都政策企画局戦略広報部

目 次

※印は過去の調査結果を掲載する質問項目

調査実施の概要	①～⑤
調査結果の詳細	1
1 暮らし	3
※1-1 暮らしむきの変化	3
※1-2 暮らしの余裕	9
※1-3 生活程度	14
※1-4 これからの暮らしむき	18
※1-5 今後切りつめていくもの	23
※1-6 生活満足度	26
※1-7 満足の理由	30
※1-8 不満の理由	33
※1-9 今後の生活の不安	36
※1-10 税金への関心度とその内容	40
2 住んでいる地域	46
※2-1 地域の住みよさ	46
※2-2 地域定住意向	50
3 東京	60
※3-1 東京の住みよさ	60
※3-2 東京定住意向	66
4 都政への要望	79
※4-1 これからの都政の進め方	79
※4-2 新型コロナウイルス感染症対策	82
※4-3 都政への要望	86
4-4 具体的な要望施策	90
調査票及び単純集計結果	97
付属資料	113

調査実施の概要

1 調査目的

都民の日常生活に関わる意識や、東京に対する意識を捉えるとともに、都政に対する都民の意識や意見・要望を把握し、今後の都政運営の参考とする。

2 調査項目

- (1) 暮らし
- (2) 住んでいる地域
- (3) 東京
- (4) 都政への要望

3 調査設計

- (1) 調査対象：東京都全域に住む満18歳以上の男女個人
- (2) 標本数：4,000標本〔令和元年までは3,000標本〕
- (3) 標本抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
- (4) 調査方法：郵送法（郵送配布・郵送回収、WEB〔インターネット〕回答併用）
〔令和元年までは個別訪問面接聴取法〕
- (5) 調査期間：令和5年6月16日～7月17日
- (6) 調査実施機関：一般社団法人輿論科学協会

4 回収結果

- (1) 有効回収標本数（率）：1,784標本（44.6%）〔うち郵送1,153標本、インターネット631標本〕
- (2) 未完了標本数（率）：2,216標本（55.4%）

未完了標本内訳

	無効回収	転居	拒否	高齢・ 病気等	死亡	宛先不明	未回収
2,216標本	8	2	4	13	1	92	2,096
比率(%)	0.4	0.1	0.2	0.6	0.0	4.2	94.6

(3) 性・年齢別回収結果

	男性			女性			無回答	合計		
	標本数	回収数	回収率(%)	標本数	回収数	回収率(%)	回収数	標本数	回収数	回収率(%)
18・19歳	31	11	35.5	26	5	19.2	-	57	16	28.1
20代	287	61	21.3	299	89	29.8	4	586	154	26.3
30代	320	96	30.0	323	133	41.2	6	643	235	36.5
40代	377	132	35.0	383	168	43.9	7	760	307	40.4
50代	378	156	41.3	319	176	55.2	5	697	337	48.4
60代	213	117	54.9	233	137	58.8	3	446	257	57.6
70歳以上	351	192	54.7	460	274	59.6	2	811	468	57.7
無回答		1			-		9		10	
合計	1,957	766	39.1	2,043	982	48.1	36	4,000	1,784	44.6

(注) 平成28年より、選挙年齢の引下げに伴い、18・19歳を調査対象者に加えた。

5 標本構成 (n=1,784)

上段：実数
下段：(%)

(1) 性別

男	女	無回答	計
766	982	36	1,784
42.9	55.0	2.0	100.0

(2) 年齢

	18・19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年齢無回答	計
男	11	61	96	132	156	117	192	1	766
	0.6	3.4	5.4	7.4	8.7	6.6	10.8	0.1	42.9
女	5	89	133	168	176	137	274	-	982
	0.3	5.0	7.5	9.4	9.9	7.7	15.4	-	55.0
性別無回答	-	4	6	7	5	3	2	*9	36
	-	0.2	0.3	0.4	0.3	0.2	0.1	0.5	2.0
計	16	154	235	307	337	257	468	10	1,784
	0.9	8.6	13.2	17.2	18.9	14.4	26.2	0.6	100.0

*性・年齢とも無回答

(3) 職業 ※ 年齢別職業分布はP④参照

自営・家族従業 (計)			勤め (計)								無職			無回答	計
自営業主	家族従業 (業手伝い)	家族従業 (家主)	経営・管理職	専門・技術職	事務職	労務・技能職	サービス職	販売・その他	無回答	主婦・主夫	学生	その他の無職			
195	149	46	974	143	277	249	114	175	6	10	349	37	184	45	1,784
10.9	8.4	2.6	54.6	8.0	15.5	14.0	6.4	9.8	0.3	0.6	19.6	2.1	10.3	2.5	100.0

(4) 雇用形態 (勤めのみ：n=974)

正社員、正規職員				派遣、契約・嘱託・パート・アルバイトなど				無回答	計
男	女	無回答		男	女	無回答			
666	377	275	14	308	76	229	3	-	974
68.4	38.7	28.2	1.4	31.6	7.8	23.5	0.3	-	100.0

(5) 住居形態

持家 (計)			持家以外 (計)							無回答	計
持家 (一戸建)	持家 (分譲マンションなど集合住宅)	持家 (分譲マンションなど集合住宅)	民間の借家 (一戸建)	民間の借家 (賃貸マンション・アパートなど集合住宅)	UR都市機構・公社・公営の賃貸住宅・アパート	社宅・公務員住宅など給与住宅	住み込み・寮・寄宿舎など	その他			
1,143	781	362	619	38	425	105	31	8	12	22	1,784
64.1	43.8	20.3	34.7	2.1	23.8	5.9	1.7	0.4	0.7	1.2	100.0

(6) 未・既婚

未婚 (計)				既婚 (計)						無回答	計
男	女	無回答		配偶者あり		離別・死別		無回答			
				男	女	男	女				
421	210	201	10	1,341	490	563	59	207	22	22	1,784
23.6	11.8	11.3	0.6	75.2	27.5	31.6	3.3	11.6	1.2	1.2	100.0

(7) 共働き状況（既婚・有配偶のみ：性別無回答を含む n=1,071）

共働きをしている（計）				共働きをしていない（計）				無回答	計
男	女	無回答		男	女	無回答			
596	264	322	10	472	224	240	8	3	1,071
55.6	24.6	30.1	0.9	44.1	20.9	22.4	0.7	0.3	100.0

(8) 世帯構成

単身 (本人のみ)	夫婦のみ (1世代世帯)	親と子 (2世代世帯)	親と子と孫 (3世代世帯)	その他の世帯	無回答	計
373	429	792	63	102	25	1,784
20.9	24.0	44.4	3.5	5.7	1.4	100.0

(9) 居住地域生まれか否か

居住地域 生まれ	居住地域 以外生まれ	無回答	計
419	1,335	30	1,784
23.5	74.8	1.7	100.0

(10) 東京生まれか否か

東京生まれ	東京以外 からきた	無回答	計
810	940	34	1,784
45.4	52.7	1.9	100.0

(11) 地域居住年数

1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～30年 未満	30年以上	無回答	計
53	120	104	188	173	133	248	739	26	1,784
3.0	6.7	5.8	10.5	9.7	7.5	13.9	41.4	1.5	100.0

(12) 東京居住年数

1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～30年 未満	30年以上	無回答	計
19	46	46	101	120	118	226	1,087	21	1,784
1.1	2.6	2.6	5.7	6.7	6.6	12.7	60.9	1.2	100.0

(13) 世帯年収

200万円 未満	200～ 300万円 未満	300～ 400万円 未満	400～ 500万円 未満	500～ 700万円 未満	700～ 900万円 未満	900～ 1,100 万円 未満	1,100～ 1,300 万円 未満	1,300～ 1,500 万円 未満	1,500～ 2,000 万円 未満	2,000 万円 以上	わから ない	無回答	計
229	191	198	171	209	170	161	105	58	62	42	154	34	1,784
12.8	10.7	11.1	9.6	11.7	9.5	9.0	5.9	3.3	3.5	2.4	8.6	1.9	100.0

(14) インターネットの利用

利用している (計)	利用している		利用していない (計)	利用していない		無回答	計
	よく利用している	ときどき利用している		あまり利用していない	利用していない		
1,353	1,152	201	404	94	310	27	1,784
75.8	64.6	11.3	22.6	5.3	17.4	1.5	100.0

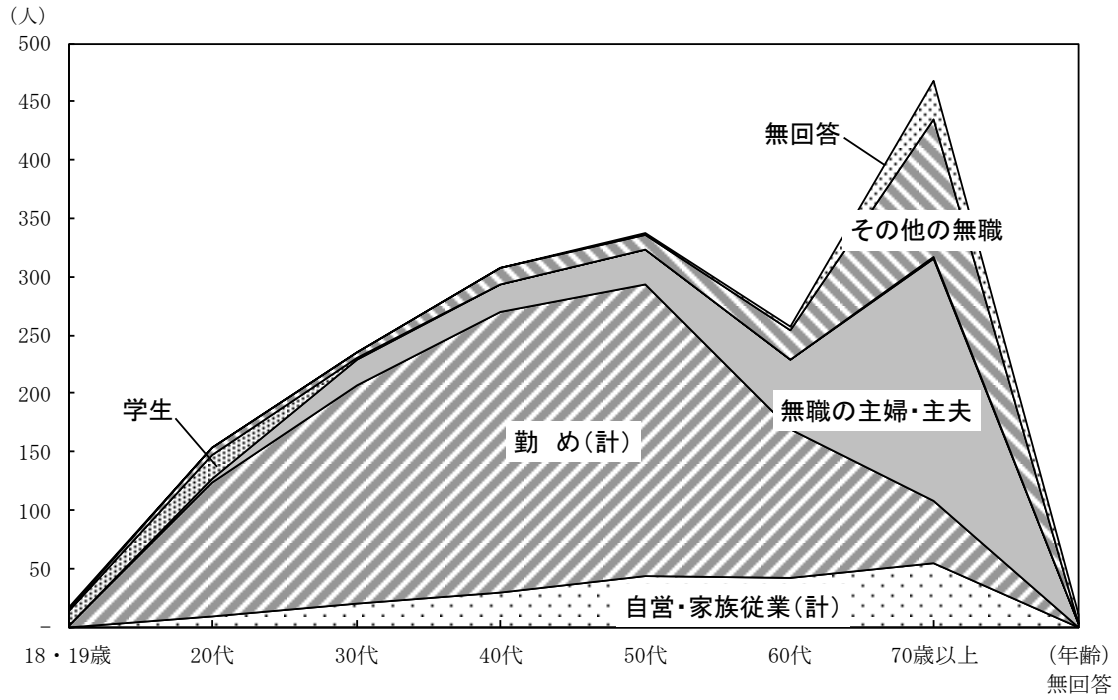
(15) SNSの利用

ツイッター	LINE	フェイスブック	インスタグラム	ユーチューブ	TikTok (ティックトック)	その他	利用していない	無回答	計
499	1,238	306	555	824	117	16	396	32	1,784
28.0	69.4	17.2	31.1	46.2	6.6	0.9	22.2	1.8	100.0

(16) 居住エリア ※各エリアの範囲はP⑤参照

区部 (計)	区部			市町村部 (計)	多摩				計
	センター ・コア	区部東部 ・北部	区部西部 ・南部		多摩東部	多摩 中央部北	多摩 中央部南	多摩西部 ・島しょ	
1,164	325	354	485	620	239	83	260	38	1,784
65.2	18.2	19.8	27.2	34.8	13.4	4.7	14.6	2.1	100.0

※ 年齢別職業分布



	18・19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答	計
自営・家族従業(計)	-	9	19	29	43	41	54	-	195
勤め(計)	1	114	187	241	250	128	53	-	974
無職の主婦・主夫	-	3	22	24	30	59	209	2	349
学生	13	21	2	-	-	-	1	-	37
その他の無職	1	7	5	13	13	26	118	1	184
無回答	1	-	-	-	1	3	33	7	45
計	16	154	235	307	337	257	468	10	1,784

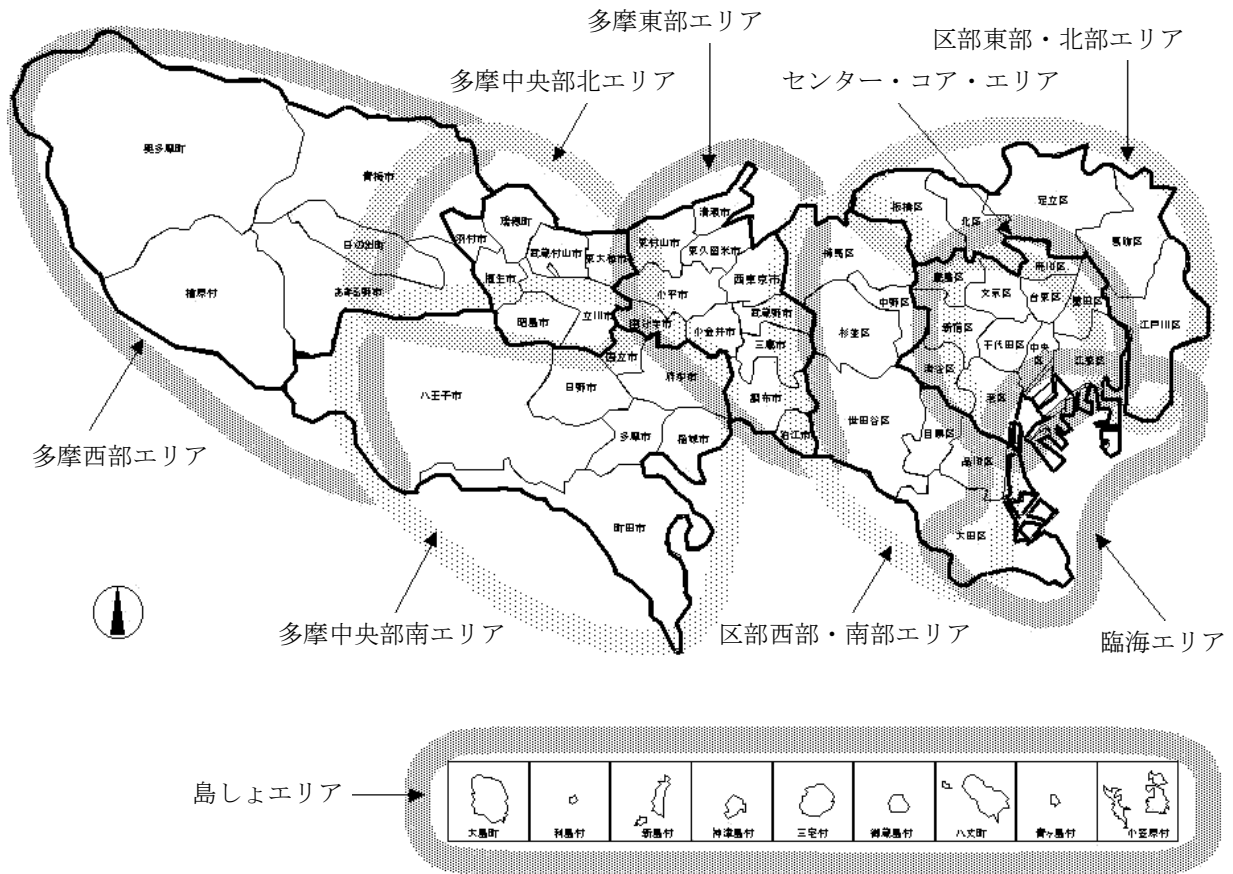
※ 層（エリア）

〔区 部〕

- センター・コア・エリア ----- 千代田・中央・港・新宿・文京・台東・墨田・江東・渋谷・豊島・荒川区
- 区部東部・北部エリア ----- 北・板橋・足立・葛飾・江戸川区
- 区部西部・南部エリア ----- 品川・目黒・大田・世田谷・中野・杉並・練馬区

〔市町村部〕

- 多摩東部エリア ----- 武蔵野・三鷹・調布・小金井・小平・東村山・国分寺・狛江・清瀬・東久留米・西東京市
- 多摩中央部北エリア ----- 立川・昭島・福生・東大和・武蔵村山・羽村市、瑞穂町
- 多摩中央部南エリア ----- 八王子・府中・町田・日野・国立・多摩・稲城市
- 多摩西部・島しょエリア ----- 青梅・あきる野市、日の出町、檜原村、奥多摩・大島町、利島・新島・神津島・三宅・御蔵島村、八丈町、青ヶ島・小笠原村



(注) 上記、世論調査における7つのエリアは、東京構想2000の9つのエリアを基に、従前の世論調査との継続性を考慮して、行政区域単位に便宜上、区分した。

調査結果の詳細

【報告書を読む際の注意】

注1) 用語・符号等

- n ——— Number of case の略
質問に対する回答者数で、比率算出の基数を示す。
- M. A. ——— Multiple Answers の略
回答者に2つ以上の回答を認める質問
- M. T. ——— Multiple Total の略
M. A. の場合に、回答の合計を回答者数（n）で割った比率で、通常100%を超える。
- 図中「0」 }
表中「-」 } ——— 皆無の結果を示す。
- 図中「0.0」 }
表中「0.0」 } ——— 0.05%未満の結果を示す。

注2) 結果数値 (%) ——— 数値は、各実数を基に比率表示し、小数第2位を四捨五入している。
したがって、内訳の合計が全体の計に一致しないことがある。
また、結果の説明においては、小数第1位を四捨五入している。

注3) 調査結果には、統計上多少誤差（標本誤差）が生じることがある。なお、層化二段無作為抽出法による標本誤差は次の式で算出される。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{P(100-P)}{n}}$$

Nは母集団数（人）、nは回答者数（人）、Pは回答率（%）を表す。

注4) 調査結果の標本誤差の範囲は、以下の標本誤差早見表のとおりとなる。 (信頼度：95%)

回答の比率 (P) 基数 (n)	10%又は 90%	20%又は 80%	30%又は 70%	40%又は 60%	50%
1,784	±2.0%	±2.7%	±3.1%	±3.3%	±3.3%
1,500	±2.2%	±2.9%	±3.3%	±3.6%	±3.7%
1,000	±2.7%	±3.6%	±4.1%	±4.4%	±4.5%
500	±3.8%	±5.1%	±5.8%	±6.2%	±6.3%
300	±4.9%	±6.5%	±7.5%	±8.0%	±8.2%
100	±8.5%	±11.3%	±13.0%	±13.9%	±14.1%

注5) 調査結果の分析においては、全体平均と比べ、統計的に有意差のあるものを中心にふれている。
なお、誤差を考慮し、nが50未満のものについてはふれていない場合が多い。

注6) 一部の図表では、対比を明確にするために選択肢の順序を入れ替えている。

注7) 性・年齢・職業などの属性又は他の質問項目とのクロス分析において、無回答を除いているため、各項目のnの合計が全体のnに一致しないことがある。

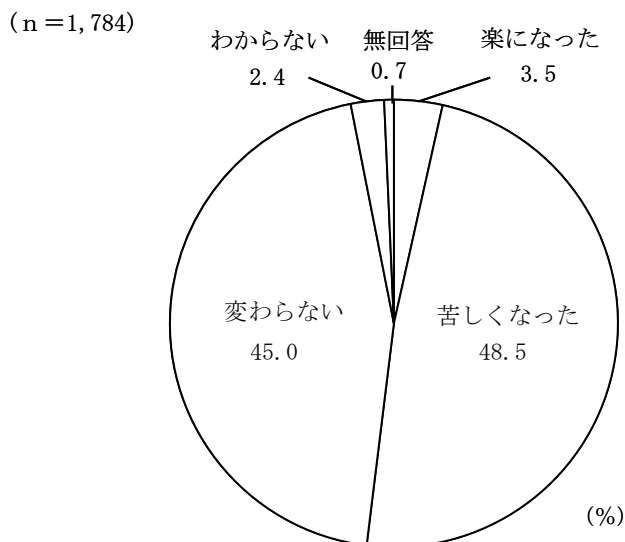
1 暮らし

※1-1 暮らしむきの変化

図1-1-1

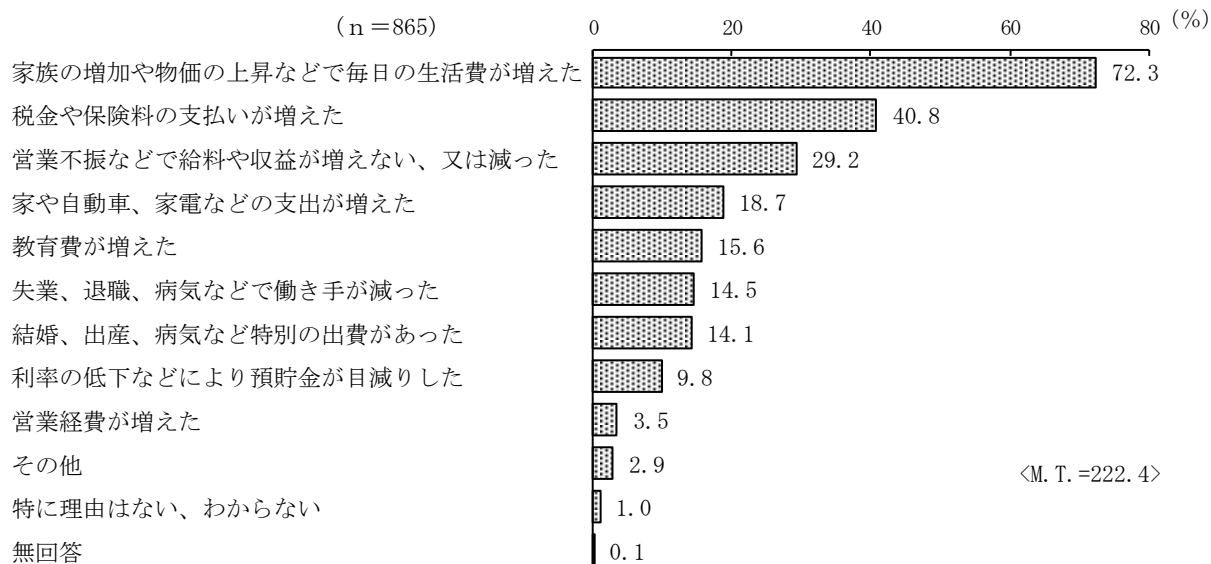
(全員の方に)

問1 さっそくですが、お宅さまの暮らしは、去年の今ごろと比べて楽になりましたか、苦しくなりましたか、それとも、変わりませんか。(〇は1つ)



(問1で「2 苦しくなった」と答えた方に)

問1-1 暮らしが苦しくなったのはなぜでしょうか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも) (M. A.)



暮らしは、昨年今ごろと比べて楽になったか、苦しくなったかを聞いたところ、「楽になった」4%、「苦しくなった」49%、「変わらない」45%となっている。

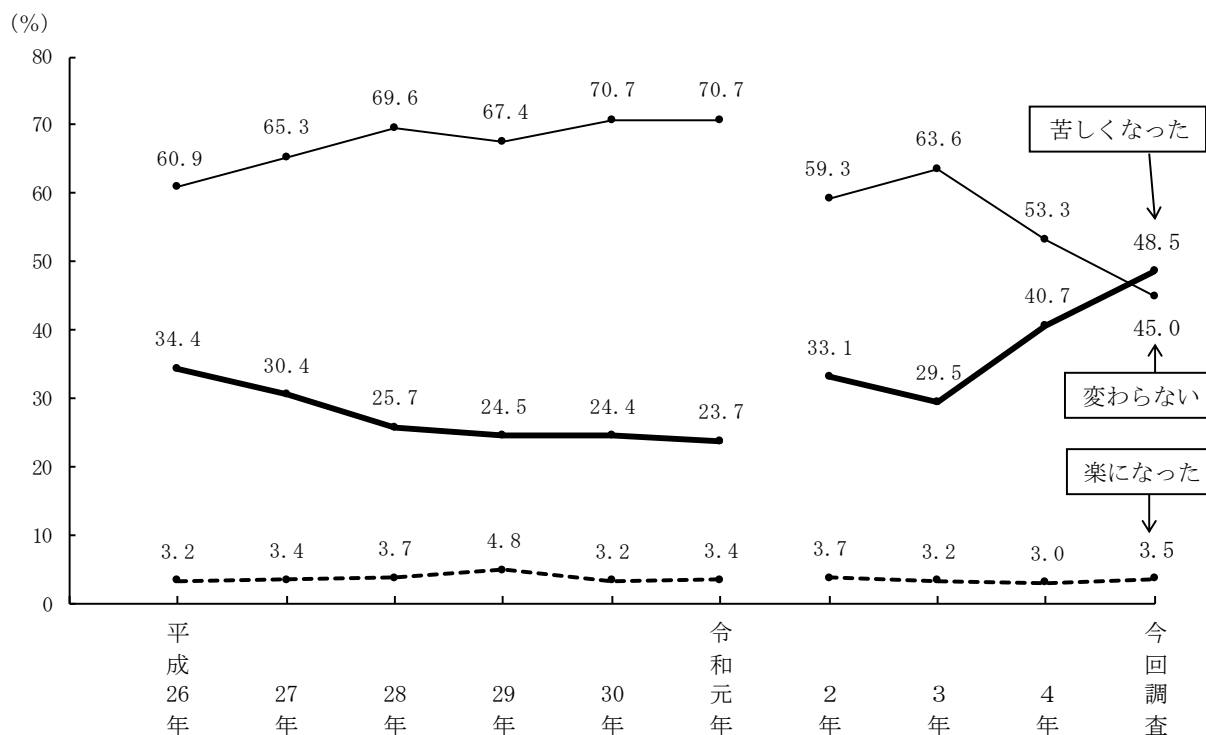
暮らしむきが「苦しくなった」と答えた人(865人)にその理由を聞いたところ、「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」が72%と最も多く、次いで「税金や保険料の支払いが増えた」41%、「営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った」29%などの順となっている。

(図1-1-1)

暮らしむきの変化を過去の調査結果と比較すると、「苦しくなった」は昨年より8ポイント増加し、「変わらない」は8ポイント減少している。(図1-1-2)

なお、暮らしむきの変化の平成元年からの調査結果を巻末の付属資料(P115 図1)に掲載している。

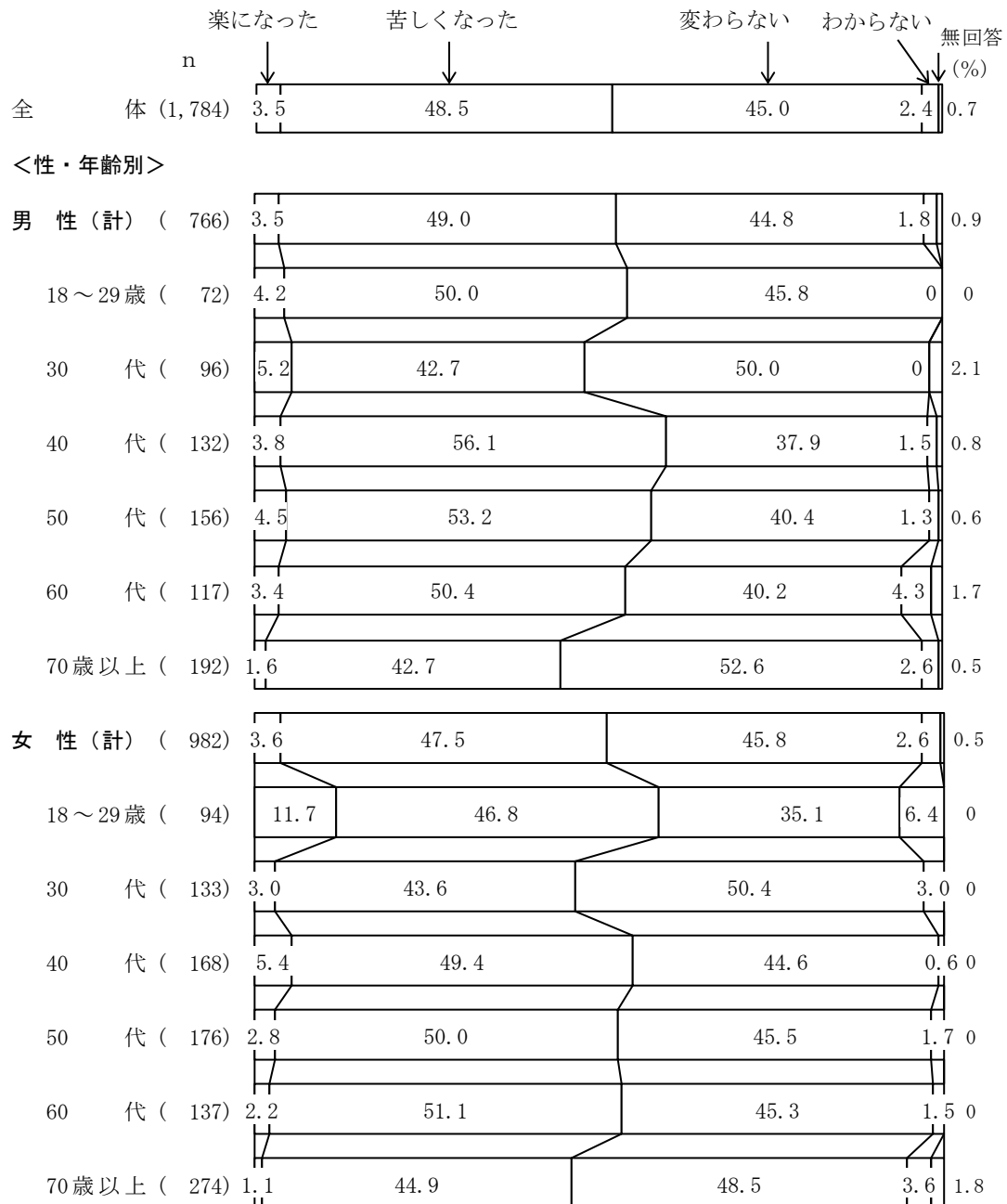
図1-1-2 暮らしむきの変化—過去の調査結果



(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、「苦しくなった」は男性40代で5割半ばとなっている。(図1-1-3)

図1-1-3 暮らしむきの変化－性・年齢別



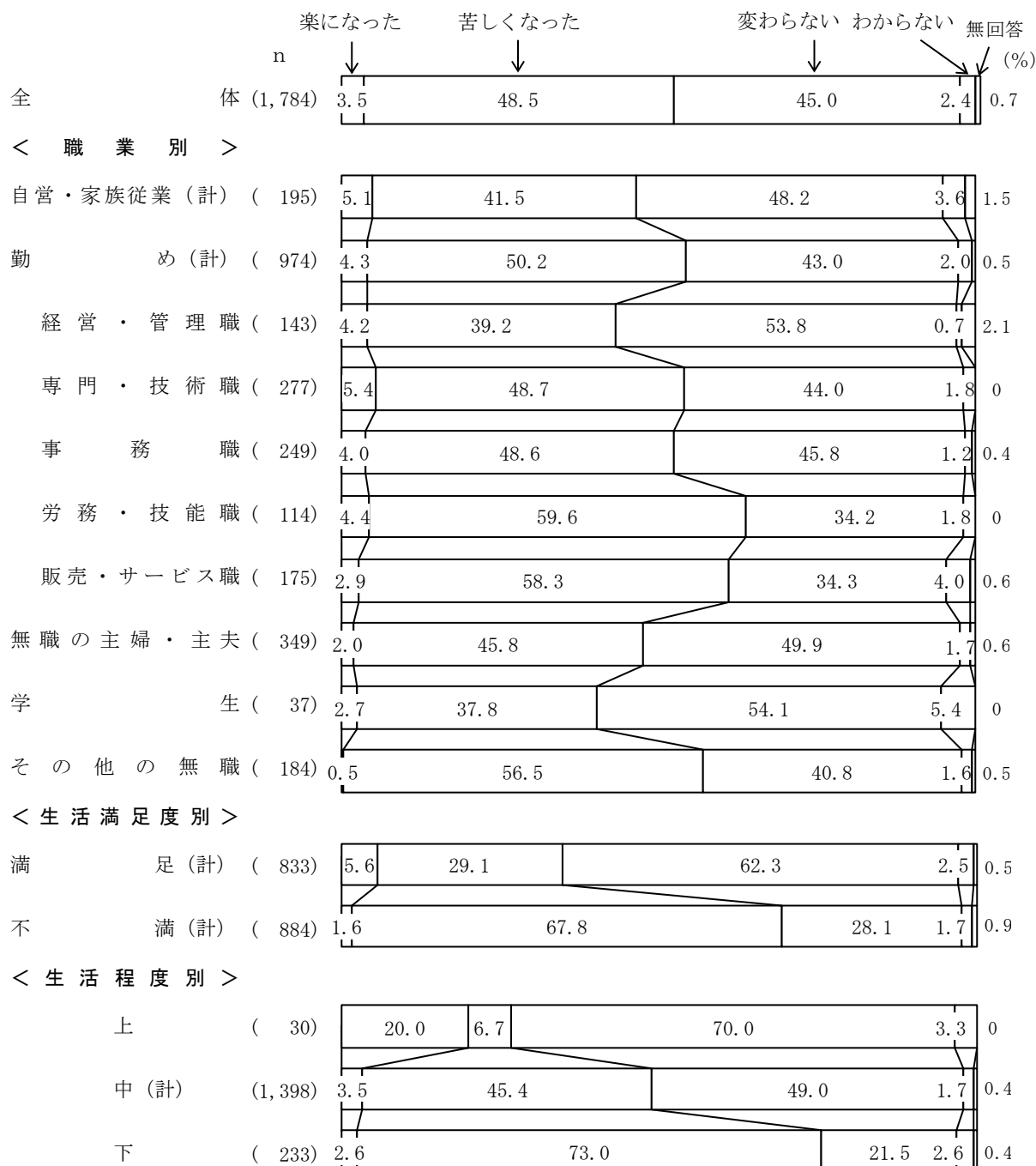
(注) 性・年齢の無回答者を除く (以下同様)。

職業別にみると、「苦しくなった」は労務・技能職、販売・サービス職、その他の無職で5割台と多くなっている。

生活満足度（問5 P26）との関係でみると、「苦しくなった」は『不満（計）』で7割近く多く、一方、「変わらない」は『満足（計）』で6割を超えて多くなっている。

生活程度（問3 P14）との関係でみると、「苦しくなった」は“下”で7割を超えて多くなっている。
 (図1-1-4)

図1-1-4 暮らしむきの変化－職業別、生活満足度別、生活程度別



(注1) 職業別等の各区分で無回答者を除く（以下同様）。

(注2) 『中（計）』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

暮らしむきが苦しくなった理由を過去の調査結果と比較すると、「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」は昨年より16ポイント増加している。一方、「営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った」、「利率の低下などにより預貯金が目減りした」は、昨年よりそれぞれ6ポイント減少している。(表1-1-1)

表1-1-1 暮らしむきが苦しくなった理由－過去の調査結果

(%)

	n	家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた	税金や保険料の支払いが増えた	営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った	家や自動車、家電などの支出が増えた	教育費が増えた	失業、退職、病気などで働き手が減った	結婚、出産、病気など特別の支出があった	利率の低下などにより預貯金が目減りした	営業経費が増えた	その他	特に理由はない、わからない	無回答
今回調査	865	72.3	40.8	29.2	18.7	15.6	14.5	14.1	9.8	3.5	2.9	1.0	0.1
令和4年	766	56.1	36.7	35.5	19.6	14.4	17.4	14.4	16.1	2.7	4.2	1.3	0.4
3年	545	30.1	29.7	49.5	16.3	14.3	22.2	17.1	11.4	3.3	4.4	1.7	-
2年	752	27.1	28.3	55.6	10.9	12.5	19.5	14.9	10.8	2.9	5.6	1.5	0.1
元年	438	28.3	32.9	37.7	16.2	19.9	18.9	14.2	11.2	3.7	7.3	2.1	-
平成30年	453	26.7	37.5	35.1	13.7	19.2	19.0	16.6	10.6	4.4	11.9	2.4	-
29年	444	30.4	34.0	33.1	14.0	24.1	20.0	16.9	13.1	3.8	14.0	1.4	-
28年	463	33.0	33.9	37.8	12.3	17.9	18.4	13.6	12.7	3.7	7.8	1.9	-
27年	578	40.3	39.6	36.3	12.5	16.3	19.2	16.1	10.2	4.2	8.8	1.2	-
26年	637	44.1	45.1	36.6	15.4	16.8	14.8	14.3	12.2	5.0	9.1	1.7	-

(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

年齢別にみると、「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」は30代で9割近く、40代で8割を超えて多くなっている。また、「税金や保険料の支払いが増えた」は18～29歳で5割半ばと多くなっている。

職業別にみると、「営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った」は自営・家族従業（計）で6割半ばと多くなっている。「家や自電車、家電などの支出が増えた」は労務・技能職で3割を超えて多くなっている。（表1-1-2）

表1-1-2 暮らしむきが苦しくなった理由一年齢別、職業別

		(%)												
	n	毎日の生活費が増えた	家族の増加や物価の上昇などで増えた	税金や保険料の支払いが増えた	営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った	家や自動車、家電などの支出が増えた	教育費が増えた	失業、退職、病気などで働き手が減った	結婚、出産、病気など特別の費用があつた	利率の低下などにより預貯金が目減りした	営業経費が増えた	その他	特に理由はない、わからない	無回答
全体	865	72.3	40.8	29.2	18.7	15.6	14.5	14.1	9.8	3.5	2.9	1.0	0.1	
< 年 齢 別 >														
18 ～ 29 歳	84	71.4	56.0	28.6	17.9	13.1	15.5	19.0	6.0	2.4	2.4	1.2	-	
30 代	103	87.4	43.7	34.0	21.4	17.5	6.8	23.3	3.9	2.9	2.9	-	-	
40 代	163	83.4	44.2	28.8	24.5	36.8	6.1	8.6	6.1	3.7	2.5	1.2	-	
50 代	175	74.3	32.6	42.3	15.4	22.9	18.3	7.4	9.1	4.0	0.6	0.6	0.6	
60 代	130	62.3	42.3	32.3	19.2	3.8	23.8	16.2	10.8	3.1	1.5	-	-	
70 歳 以 上	207	60.9	36.7	14.0	15.5	0.5	15.5	16.4	17.4	3.9	6.3	2.4	-	
< 職 業 別 >														
自営・家族従業（計）	81	59.3	46.9	64.2	13.6	13.6	8.6	9.9	16.0	24.7	1.2	-	-	
勤 め（計）	489	76.7	43.8	35.8	19.0	21.1	11.7	14.3	5.9	1.6	1.8	0.6	0.2	
経 営 ・ 管 理 職	56	80.4	37.5	50.0	10.7	32.1	1.8	8.9	7.1	5.4	1.8	-	-	
専 門 ・ 技 術 職	135	78.5	48.1	28.9	18.5	18.5	10.4	14.1	3.7	0.7	1.5	1.5	0.7	
事 務 職	121	78.5	38.8	33.9	19.8	24.0	13.2	15.7	8.3	-	0.8	-	-	
労 務 ・ 技 能 職	68	76.5	41.2	35.3	32.4	19.1	13.2	16.2	5.9	-	-	1.5	-	
販 売 ・ サ ー ビ ス 職	102	73.5	50.0	39.2	15.7	17.6	14.7	15.7	5.9	3.9	3.9	-	-	
無職の主婦・主夫	160	72.5	40.0	7.5	20.0	6.3	18.1	16.3	12.5	-	5.6	1.3	-	
学 生	14	71.4	28.6	14.3	21.4	64.3	-	7.1	7.1	-	-	-	-	
そ の 他 の 無 職	104	66.3	27.9	7.7	20.2	1.0	25.0	13.5	18.3	1.9	4.8	1.9	-	

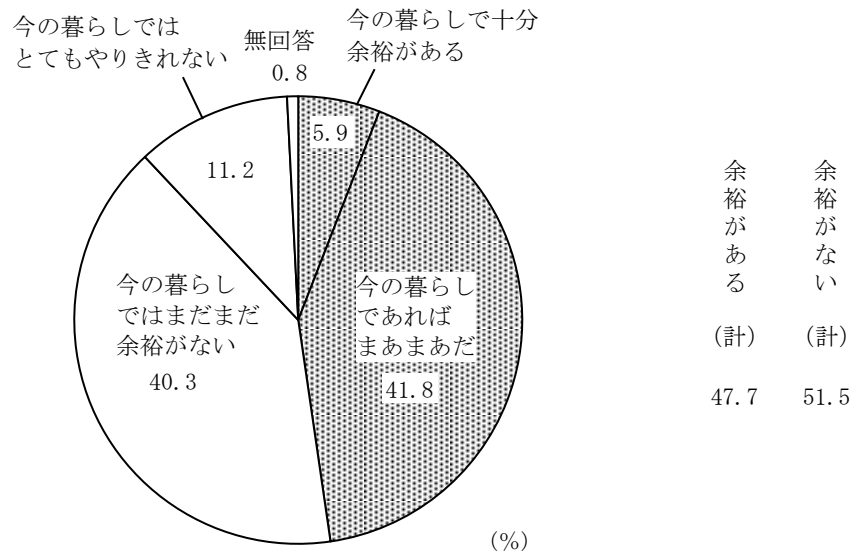
※1-2 暮らしの余裕

図1-2-1

(全員の方に)

問2 お宅さまの暮らしは、次のうちどれに当たりますか。あなたの感じ方に一番近いものを1つだけお選びください。(○は1つ)

(n=1,784)



(注) 『余裕がある (計)』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計
 『余裕がない (計)』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

暮らしの余裕について聞いたところ、『余裕がある (計)』は48%、『余裕がない (計)』は52%となっている。(図1-2-1)

暮らしの余裕を過去の調査結果と比較すると、『余裕がある（計）』は昨年より3ポイント減少している。一方、『余裕がない（計）』は昨年より2ポイント増加している。（図1-2-2）

なお、暮らしの余裕の平成元年からの調査結果を巻末の付属資料（P117 表1）に掲載している。

図1-2-2 暮らしの余裕－過去の調査結果

n	今の暮らしで					余裕がある （計）	余裕がない （計）
	十分余裕がある	まあまあだ	無回答	まだまだ余裕がない	とてもやりきれない		
今回調査 (1,784)	5.9	41.8	0.8	40.3	11.2	47.7	51.5
令和4年 (1,883)	5.5	45.0	0.4	39.2	9.9	50.5	49.1
3年 (1,849)	7.5	48.5	1.2	35.6	7.1	56.0	42.8
2年 (2,273)	5.7	44.8	1.5	40.9	7.2	50.5	48.0
元年 (1,845)	5.9	47.9	0.7	39.6	6.0	53.7	45.6
平成30年 (1,856)	5.2	49.1	0.8	38.1	6.8	54.3	44.9
29年 (1,810)	5.4	49.6	2.1	36.7	6.3	54.9	43.0
28年 (1,805)	4.7	47.1	0.9	40.1	7.1	51.9	47.2
27年 (1,900)	3.6	46.2	0.9	41.7	7.6	49.8	49.3
26年 (1,850)	4.5	45.9	0.7	40.4	8.4	50.4	48.9

(注1) 『余裕がある（計）』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計

『余裕がない（計）』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、特に大きな差はみられない。(図1-2-3)

図1-2-3 暮らしの余裕－性・年齢別

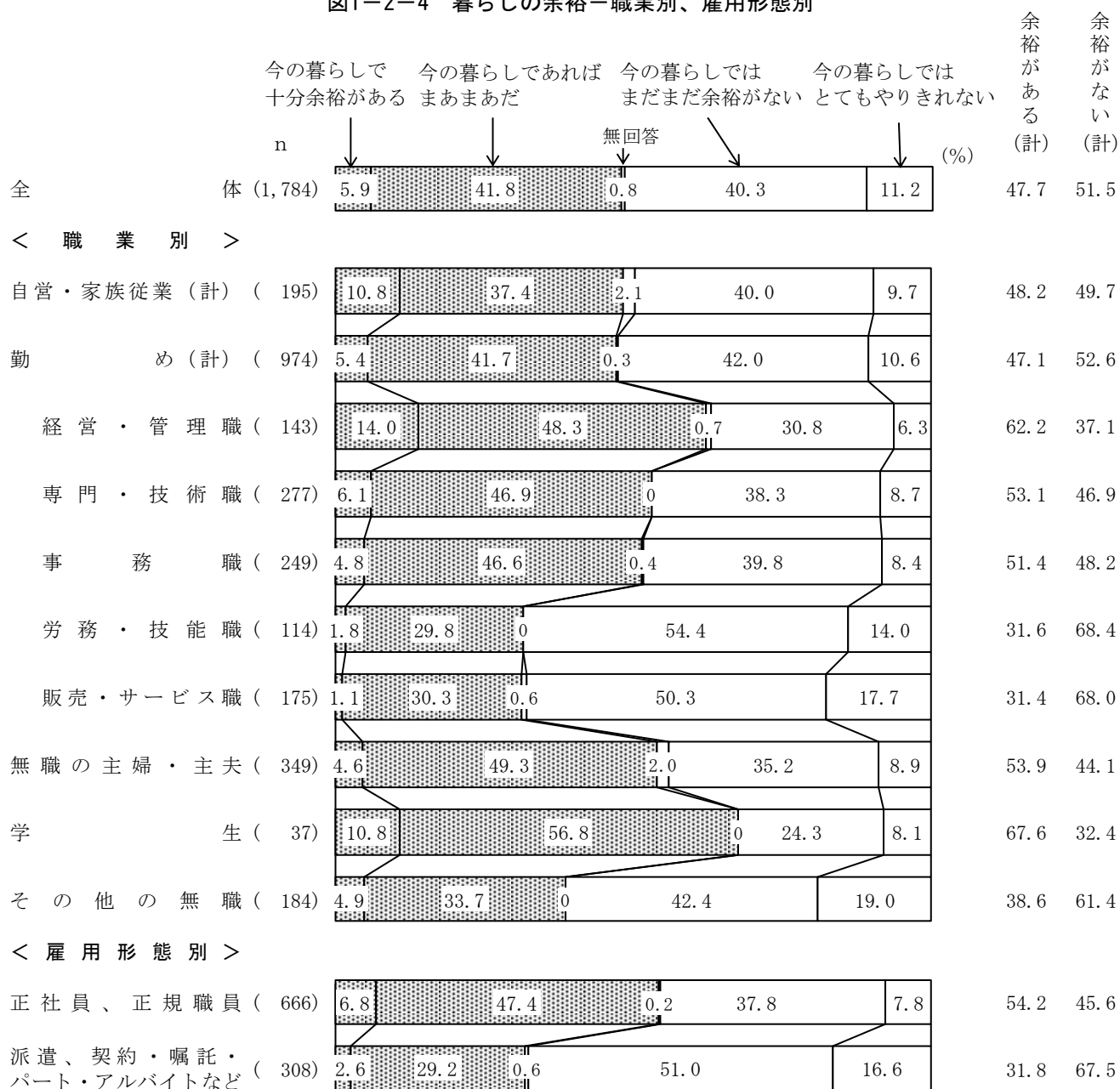
	n	今の暮らしで				無回答	今の暮らしでは まだまだ余裕がない	今の暮らしでは とてもやりきれない	%	余裕 がある (計)	余裕 がない (計)
		十分余裕がある	まあまあだ	まあまあだ	十分余裕がある						
全体 (1,784)		5.9	41.8	0.8		40.3	11.2		47.7	51.5	
<性・年齢別>											
男性 (計) (766)		6.3	41.4	0.5		40.1	11.7		47.7	51.8	
18～29歳 (72)		5.6	38.9	0		38.9	16.7		44.4	55.6	
30代 (96)		6.3	41.7	1.0		43.8	7.3		47.9	51.0	
40代 (132)		4.5	41.7	0		42.4	11.4		46.2	53.8	
50代 (156)		5.8	41.7	0		39.7	12.8		47.4	52.6	
60代 (117)		8.5	35.9	1.7		44.4	9.4		44.4	53.8	
70歳以上 (192)		6.8	45.3	0.5		34.9	12.5		52.1	47.4	
女性 (計) (982)		5.8	42.5	1.0		40.2	10.5		48.3	50.7	
18～29歳 (94)		8.5	40.4	0		43.6	7.4		48.9	51.1	
30代 (133)		7.5	42.1	0		43.6	6.8		49.6	50.4	
40代 (168)		6.5	42.3	0		42.3	8.9		48.8	51.2	
50代 (176)		2.3	42.6	0.6		41.5	13.1		44.9	54.5	
60代 (137)		6.6	40.9	0.7		40.1	11.7		47.4	51.8	
70歳以上 (274)		5.5	44.2	2.9		35.4	12.0		49.6	47.4	

(注) 『余裕がある (計)』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計
『余裕がない (計)』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

職業別にみると、『余裕がある（計）』は経営・管理職で6割を超えて多くなっている。一方、『余裕がない（計）』は労務・技能職、販売・サービス職、その他の無職で6割台と多くなっている。

雇用形態別にみると、『余裕がない（計）』は派遣、契約・嘱託・パート・アルバイトなどで7割近くと多くなっている。（図1-2-4）

図1-2-4 暮らしの余裕－職業別、雇用形態別



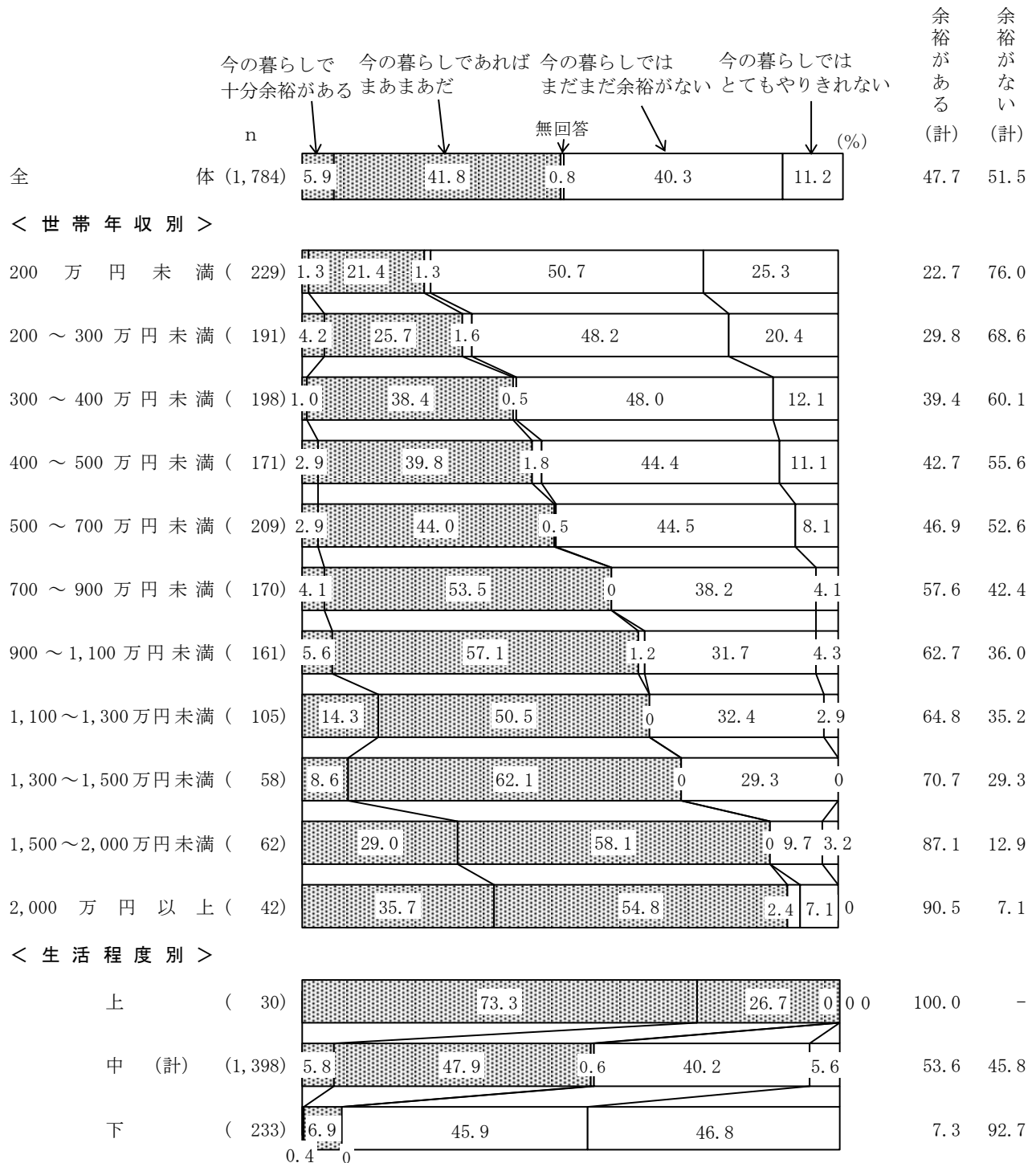
（注）『余裕がある（計）』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計

『余裕がない（計）』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

世帯年収別にみると、『余裕がある（計）』は世帯年収が多いほど割合が高く、特に年収1,500万円以上の世帯はいずれも8割を超えて多くになっている。一方、『余裕がない（計）』は年収200万円未満の世帯で7割半ば年収200万円以上700万円未満の世帯はいずれも5割を超えて多くになっている。

生活程度（問3 P14）との関係でみると、“下”と答えた人で『余裕がない（計）』は9割を超えて多くになっている。（図1-2-5）

図1-2-5 暮らしの余裕—世帯年収別、生活程度別



(注1) 『余裕がある（計）』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計

『余裕がない（計）』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

(注2) 『中（計）』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

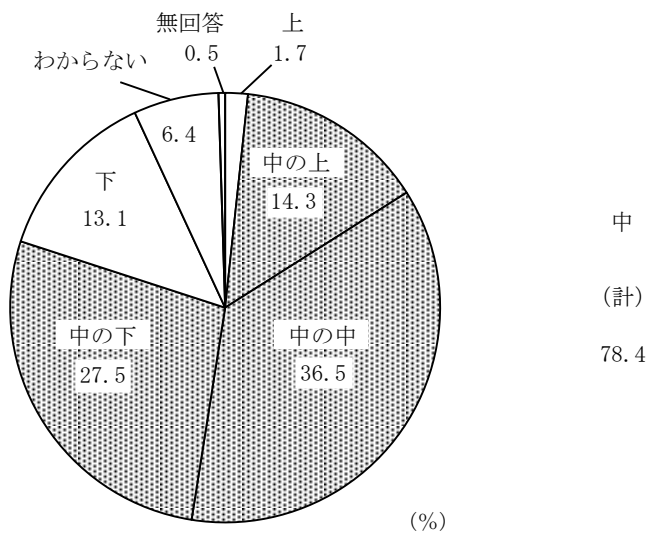
※1-3 生活程度

図1-3-1

(全員の方に)

問3 お宅さまの生活程度は、世間一般からみて、次のうちどれに入りますか。(○は1つ)

(n=1,784)

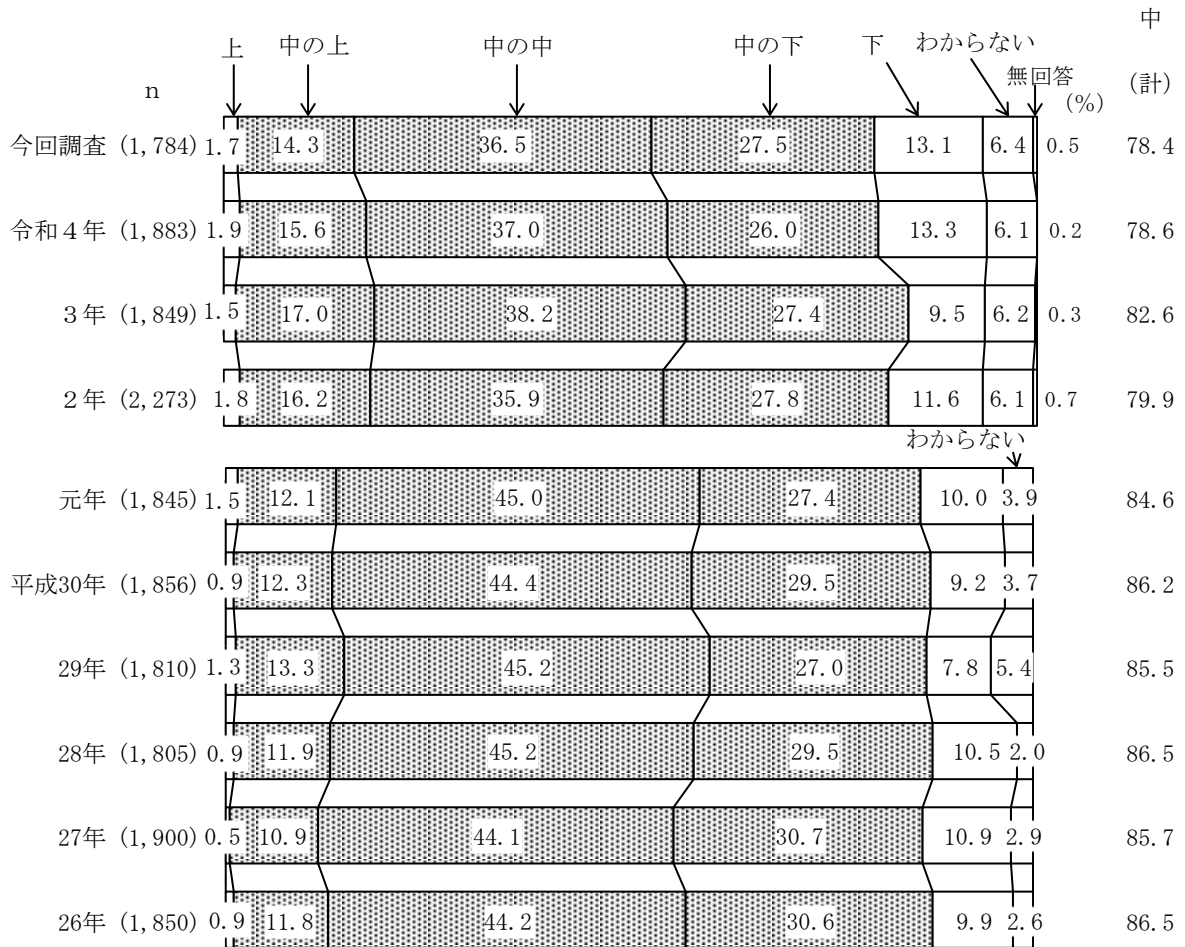


(注) 『中 (計)』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

5段階に分けた生活程度がどれにあたると思うか聞いたところ、「上」2%、「中の上」14%、「中の中」37%、「中の下」28%、「下」13%となっている。「中の上」「中の中」「中の下」を合わせた『中 (計)』は78%となっている。(図1-3-1)

生活程度を過去の調査結果と比較すると、昨年と特に大きな差はみられない。(図1-3-2)

図1-3-2 生活程度－過去の調査結果

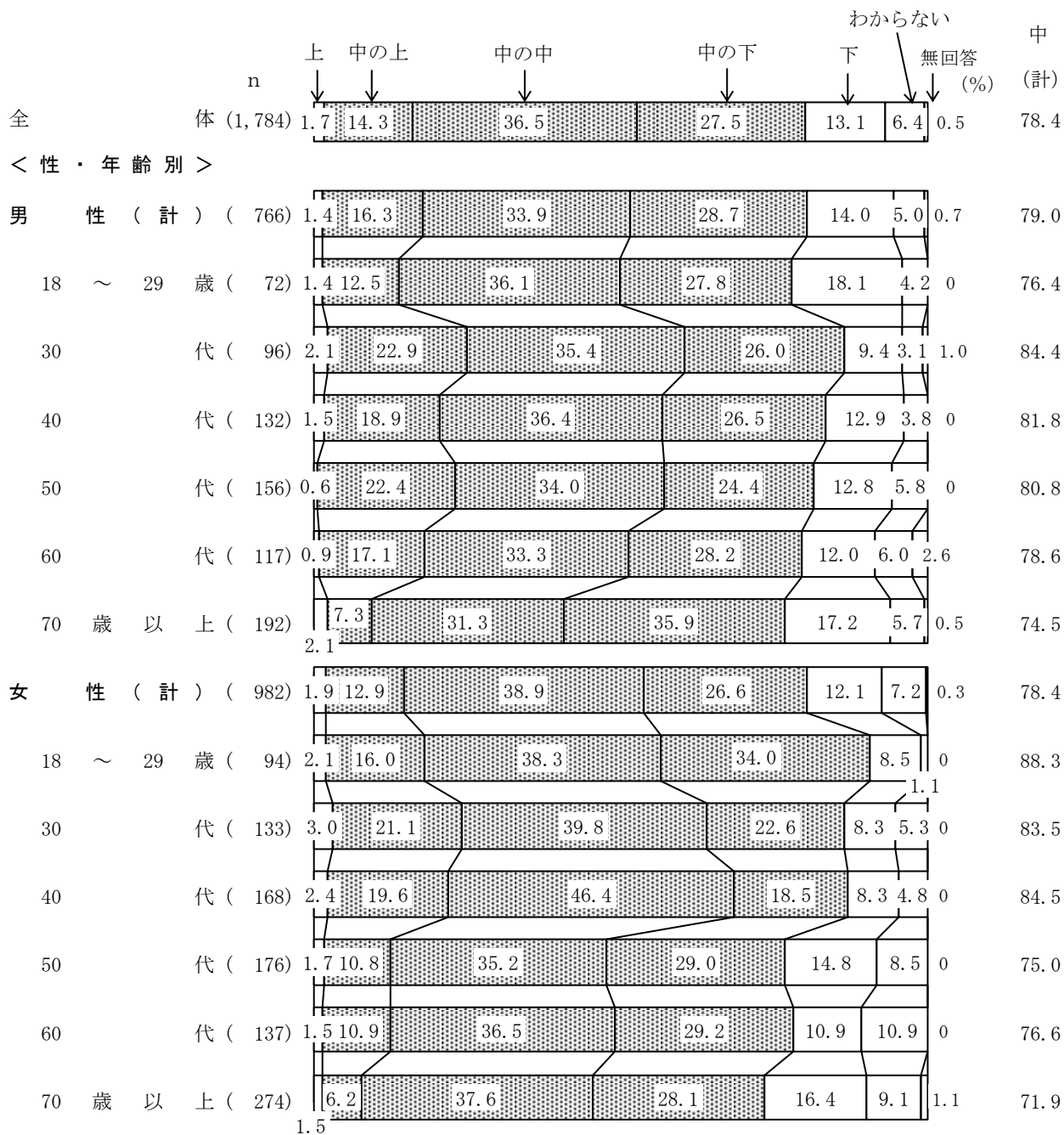


(注1) 『中 (計)』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、『中（計）』は女性18～29歳で9割近くと多くなっている。（図1-3-3）

図1-3-3 生活程度－性・年齢別

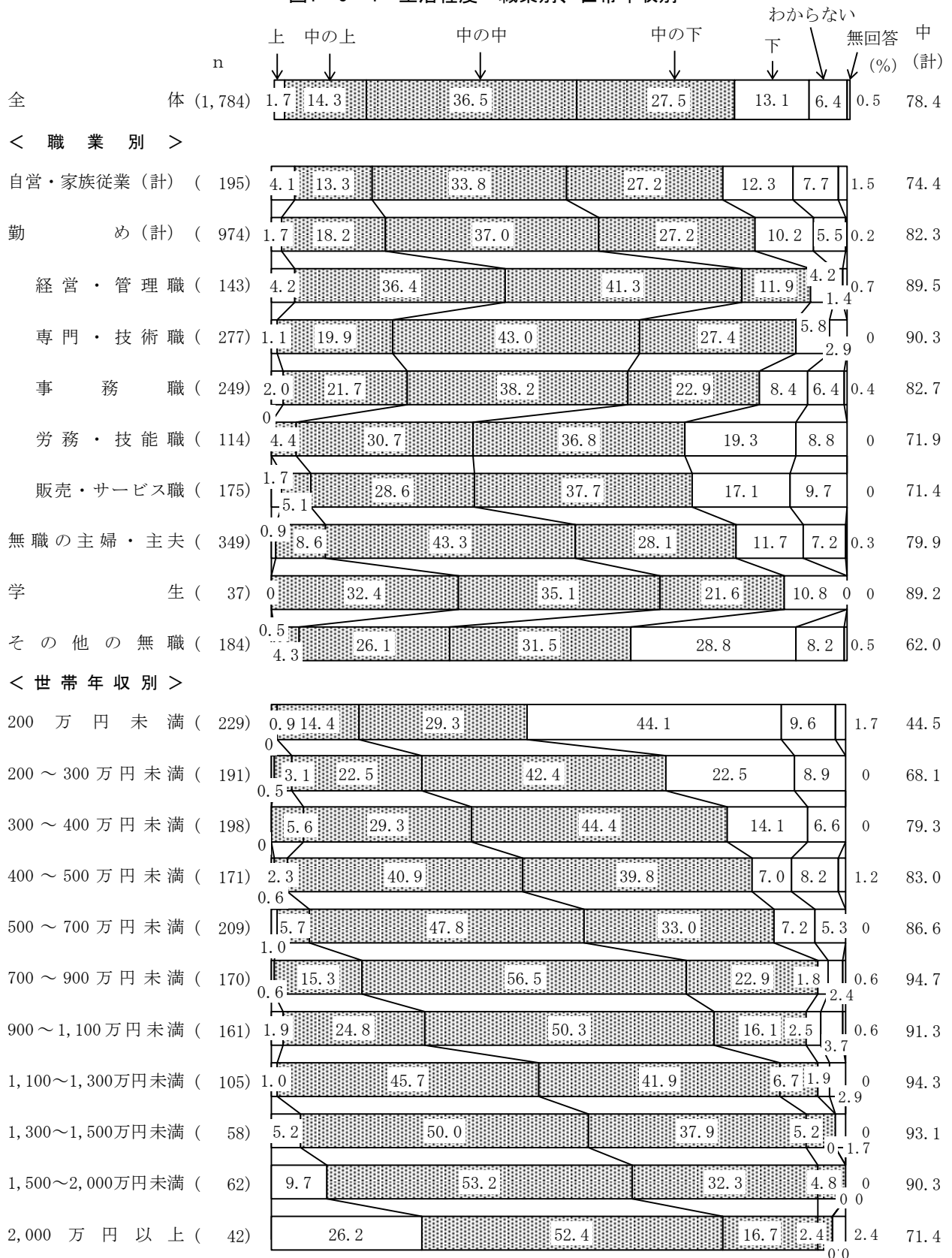


(注) 『中（計）』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

職業別にみると、『中(計)』は専門・技術職、経営・管理職で9割前後と多くなっている。一方、「下」はその他の無職で3割近くとなっている。

世帯年収別にみると、『中(計)』は年収700万円以上2,000万円未満の世帯で9割台と多くなっている。一方、「下」は年収200万円未満の世帯で4割半ばと多くなっている。(図1-3-4)

図1-3-4 生活程度—職業別、世帯年収別



(注)『中(計)』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

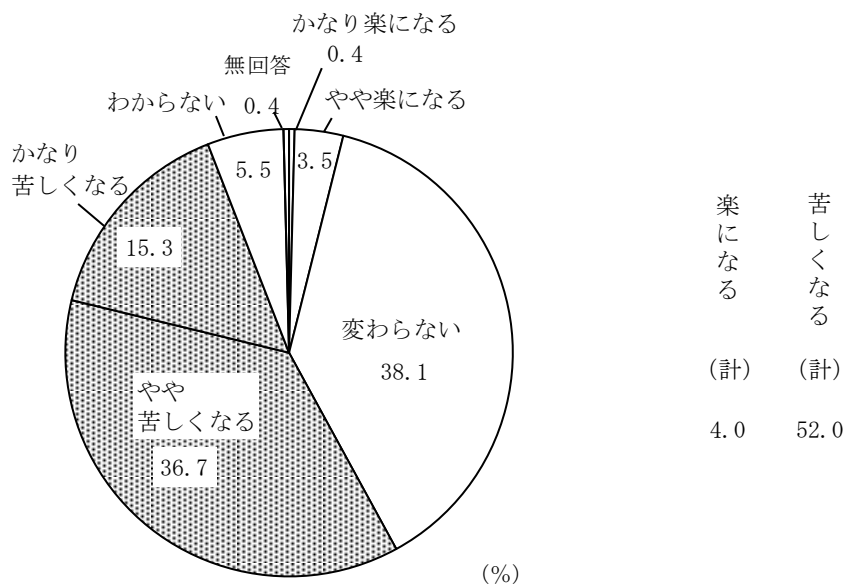
※1-4 これからの暮らしむき

図1-4-1

(全員の方に)

問4 あなたの暮らしむきは、これから1年間楽になると感じますか、苦しく感じますか。それとも変わらないと感じますか。(○は1つ)

(n=1,784)



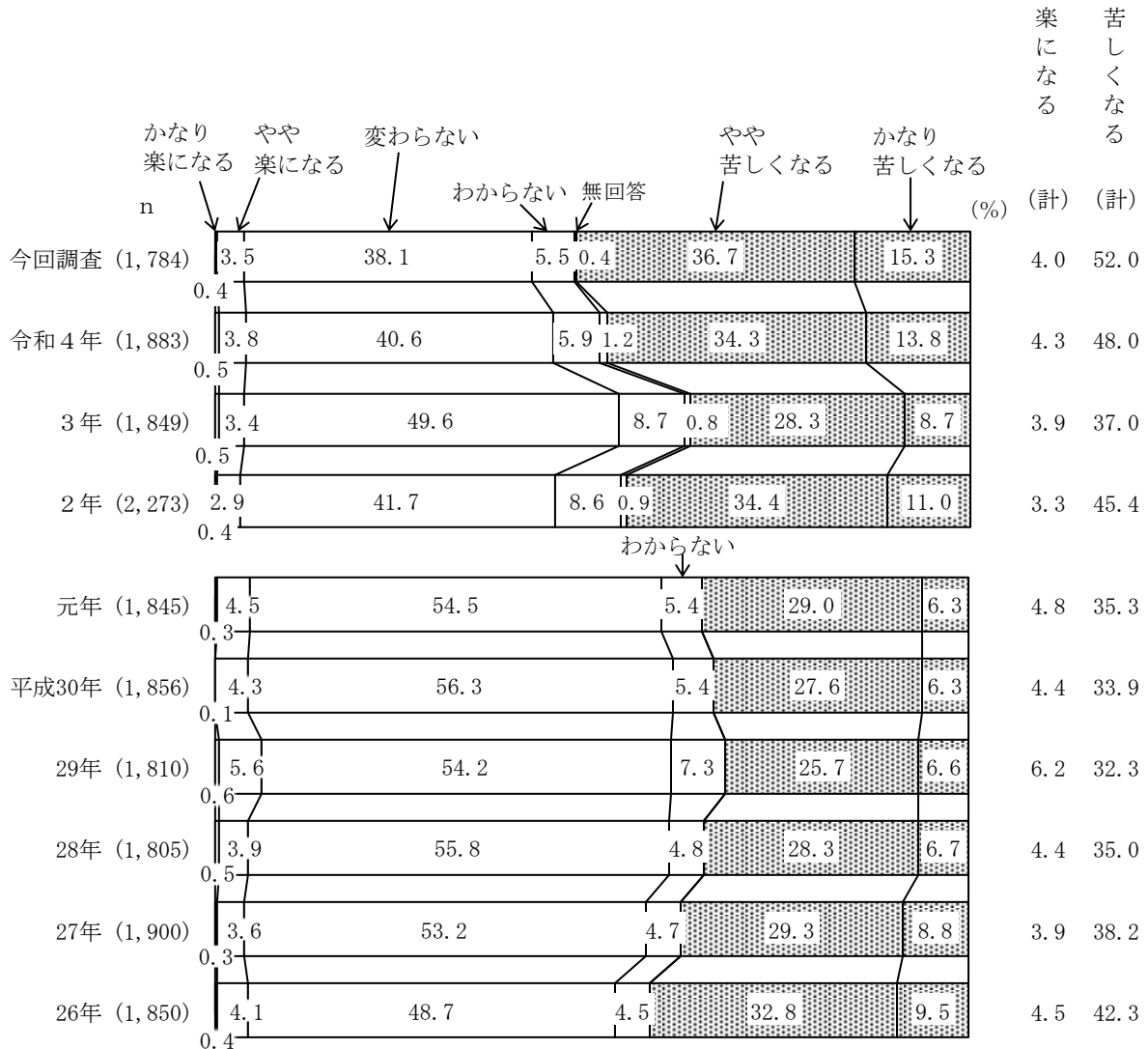
(注) 『楽になる (計)』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計
 『苦しくなる (計)』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

これから1年間の暮らしむきを聞いたところ、『楽になる (計)』4%、『苦しくなる (計)』52%、となっており、「変わらない」が38%となっている。(図1-4-1)

これからの暮らしむきを過去の調査結果と比較すると、『苦しくなる（計）』は昨年より4ポイント増加している。（図1-4-2）

なお、これからの暮らしむきの平成元年からの調査結果を巻末の付属資料（P117 表2）に掲載している。

図1-4-2 これからの暮らしむき－過去の調査結果



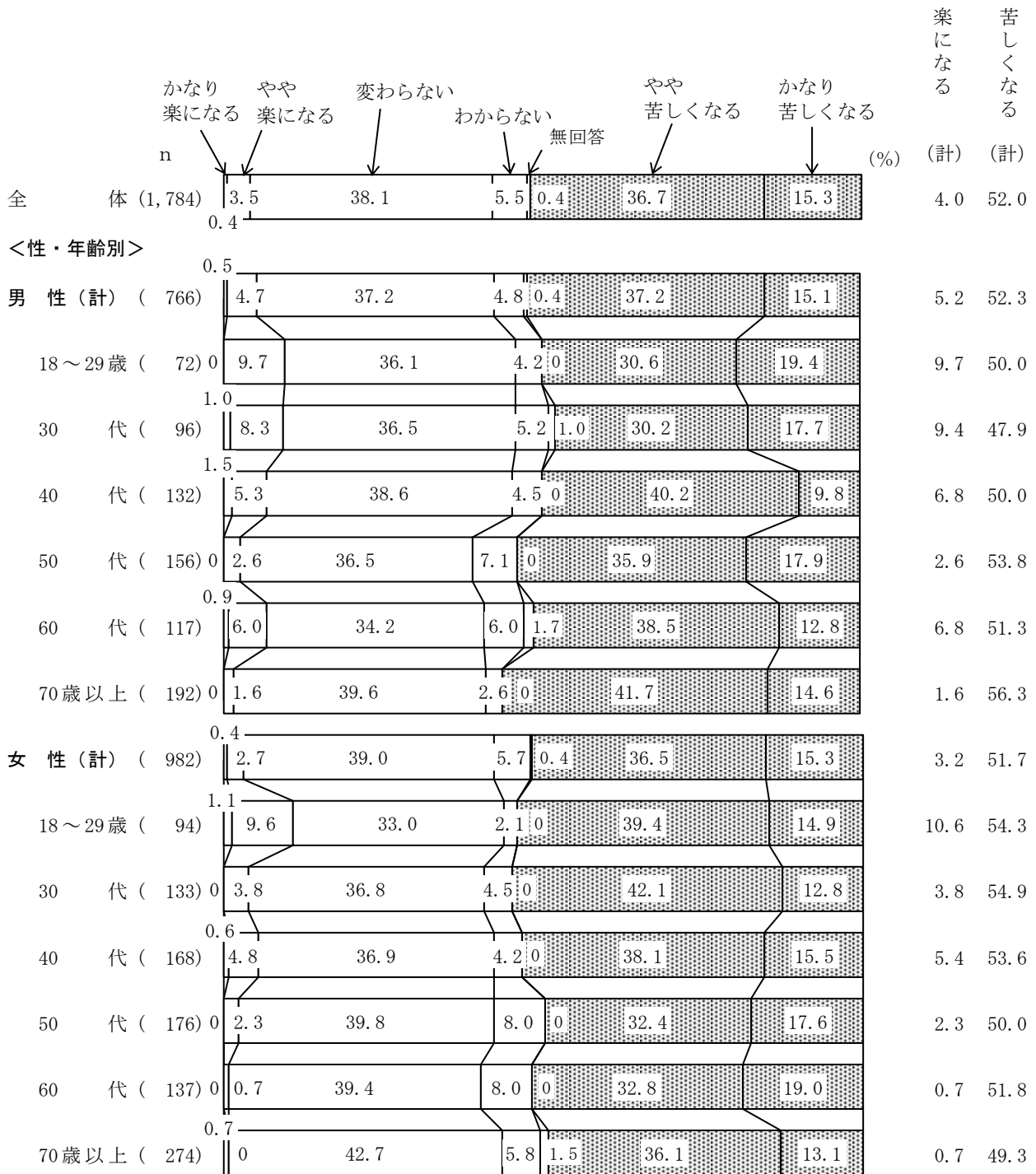
(注1) 『楽になる（計）』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計

『苦しくなる（計）』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、『苦しくなる（計）』はどの年齢もおおむね5割台となっている。一方、『楽になる（計）』は男女とも18～29歳、男性30代で1割前後となっている。（図1-4-3）

図1-4-3 これからの暮らしむき－性・年齢別

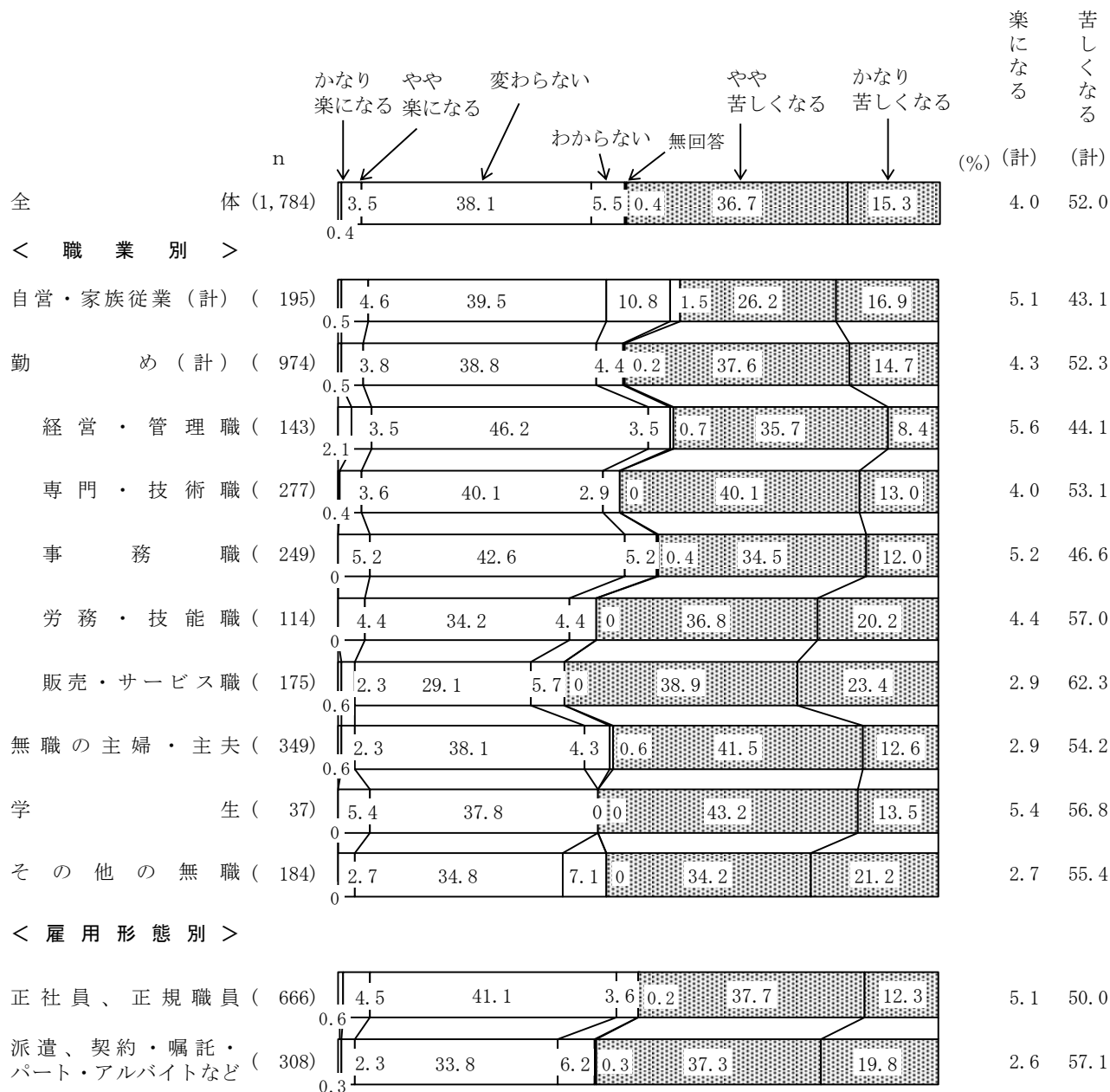


(注) 『楽になる（計）』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計
『苦しくなる（計）』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

職業別にみると、『苦しくなる（計）』は販売・サービス職で6割を超えて多くなっている。

雇用形態別にみると、『苦しくなる（計）』は派遣、契約・嘱託・パート・アルバイトなどで6割近くと多くなっている。（図1-4-4）

図1-4-4 これからの暮らしむき－職業別、雇用形態別



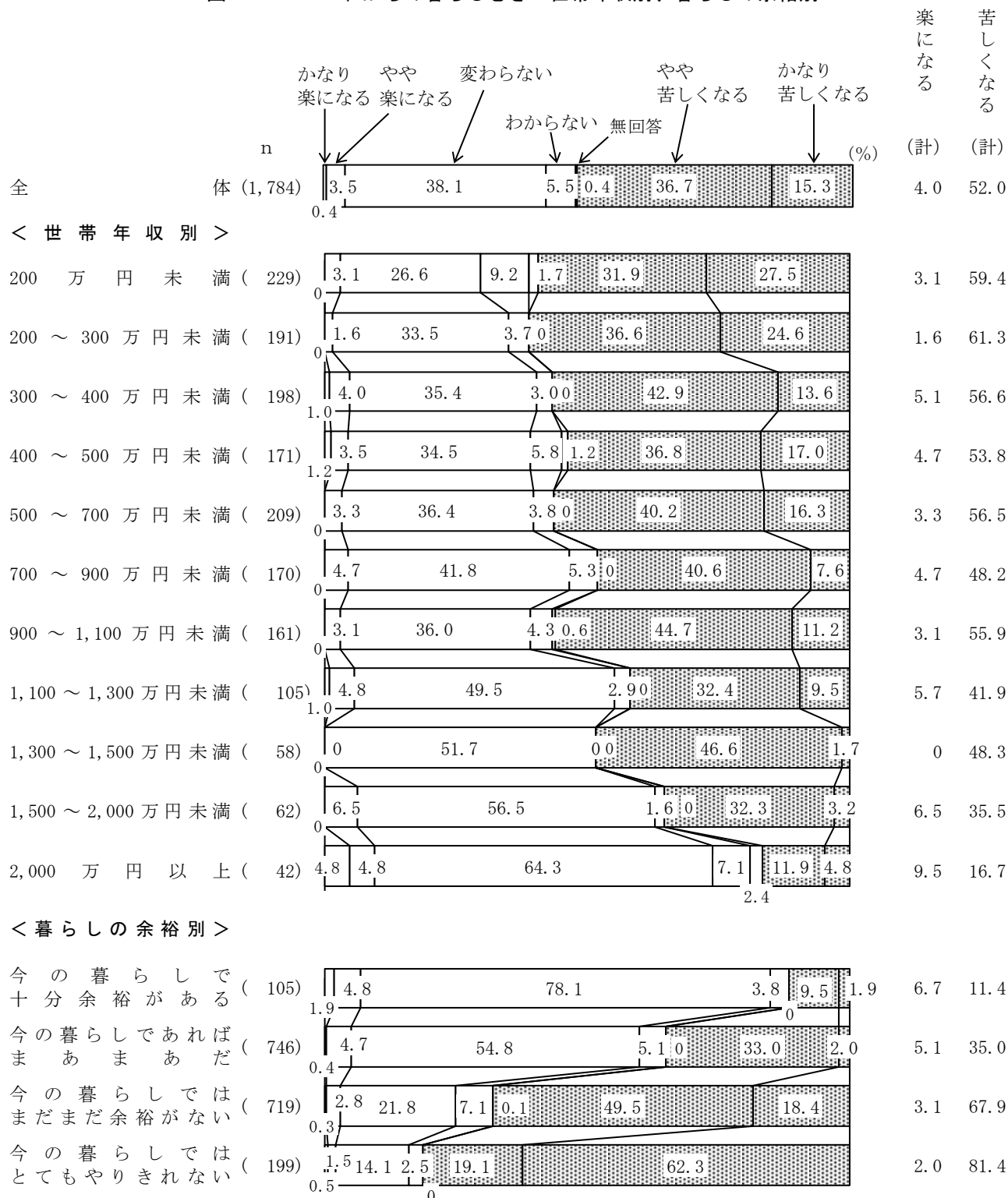
(注) 『楽になる（計）』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計

『苦しくなる（計）』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

世帯年収別にみると、『苦しくなる（計）』は年収300万円未満の世帯で6割前後と多くなっている。

暮らしの余裕（問2 P9）との関係でみると、『苦しくなる（計）』は余裕の度合いが低くなるほど割合が高くなる傾向にあり、“今の暮らしではとてもやりきれない”と答えた人では8割を超え、“今の暮らしではまだまだ余裕がない”と答えた人では7割近くと多くなっている。（図1-4-5）

図1-4-5 これからの暮らしむき—世帯年収別、暮らしの余裕別



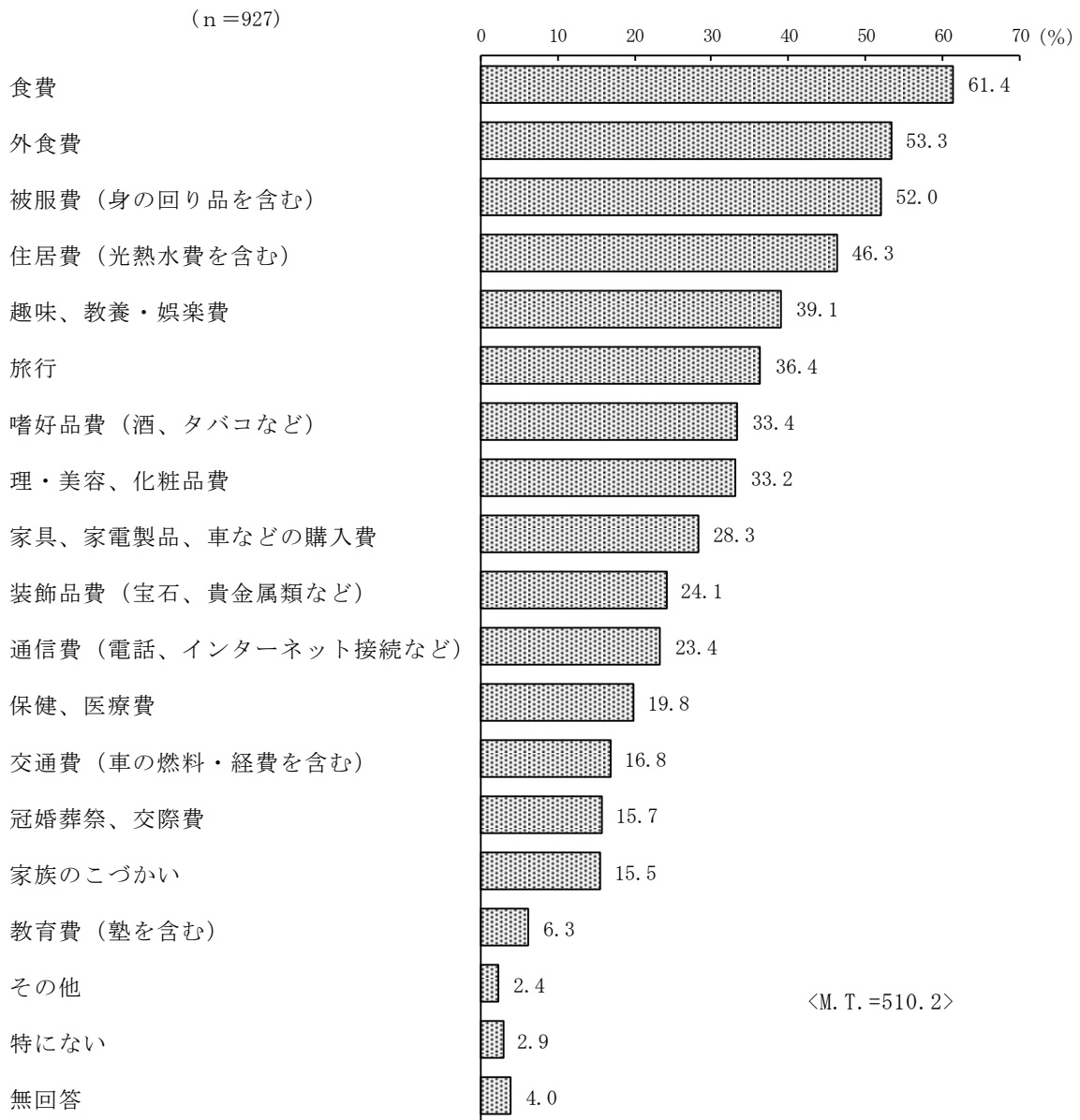
(注) 『楽になる（計）』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計
『苦しくなる（計）』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

※1-5 今後切りつめていくもの

図1-5-1

(問4で「4 やや苦しくなる」「5 かなり苦しくなる」と答えた方に)

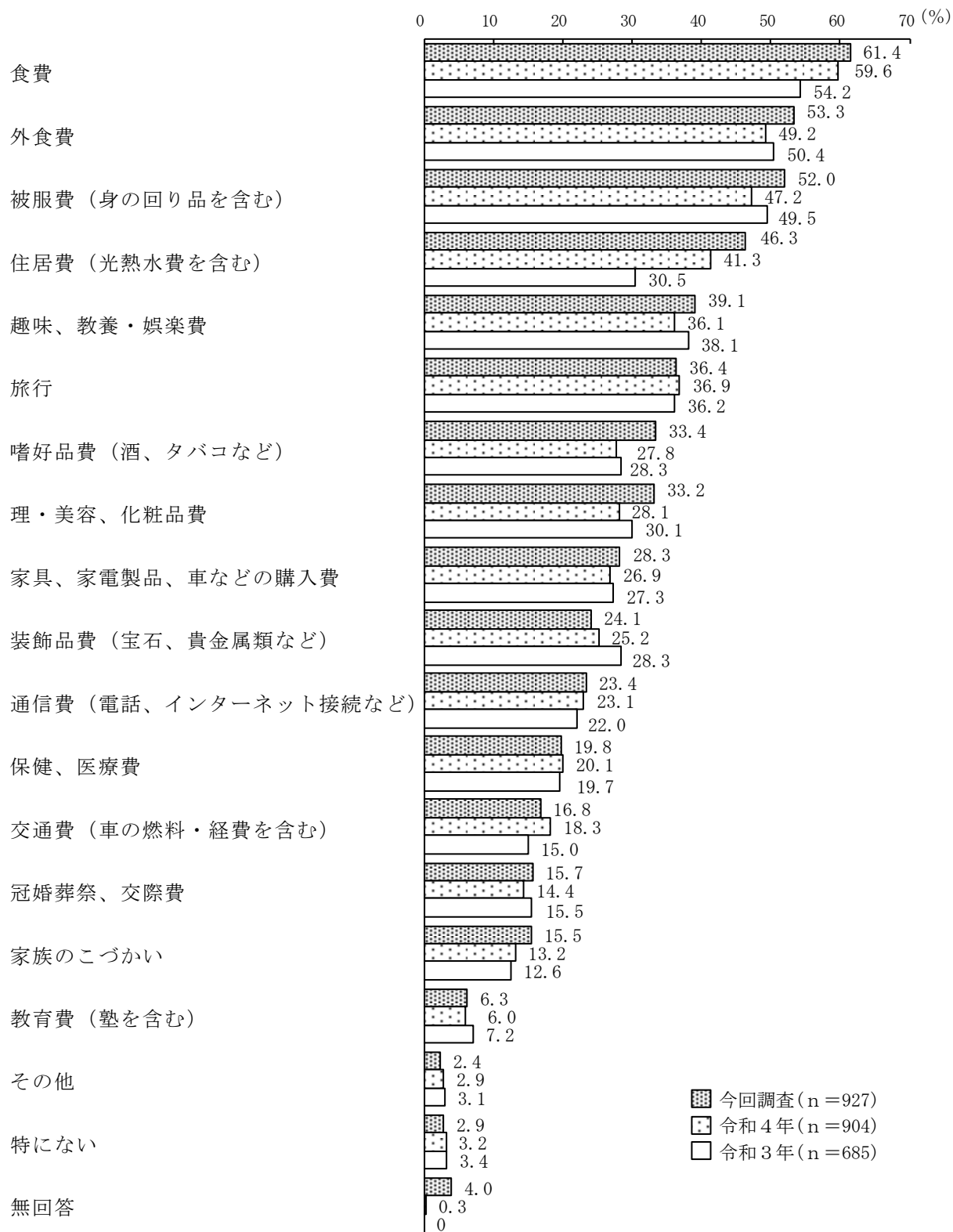
問4-1 では、今後、切りつめていこうと思うものがありますか。次の中から当てはまるものをいくつかもお選びください。(〇はいくつでも)(M. A.)



これから1年間の暮らしむきが苦しくなると答えた人(927人)に、今後切りつめていこうと思うものを聞いたところ、「食費」が61%と最も多く、次いで「外食費」53%、「被服費(身の回り品を含む)」52%、「住居費(光熱水費を含む)」46%、「趣味、教養・娯楽費」39%などの順となっている。(図1-5-1)

今後切りつめていくものを過去の調査結果と比較すると、多くの項目で、昨年より割合が高くなっている。(図1-5-2)

図1-5-2 今後切りつめていくもの—過去の調査結果



性・年齢別にみると、「被服費（身の回り品を含む）」は女性（計）で5割半ばと男性（計）より10ポイント高く、特に女性60代で6割半ばと多くなっている。また、「理・美容、化粧品費」も女性（計）で4割を超えて男性（計）より23ポイント高く、特に女性30代から40代で5割前後と多くなっている。

生活程度（問3 P14）との関係でみると、「食費」は“下”と答えた人で7割半ばと多くなっている。また、「被服費（身の回り品を含む）」も“下”と答えた人で6割を超えて多くなっている。（表1-5-1）

表1-5-1 今後切りつめていくもの一性・年齢別、生活程度別

		(%)																		
	n	食費	外食費	被服費（身の回り品を含む）	住居費（光熱水費を含む）	趣味、教養・娯楽費	旅行	嗜好品費（酒、タバコなど）	理・美容、化粧品費	家具、家電製品、車などの購入費	装飾品費（宝石、貴金属類など）	通信費（電話、インターネット接続など）	保健、医療費	交通費（車の燃料・経費を含む）	冠婚葬祭、交際費	家族のこづかい	教育費（塾を含む）	その他	特にない	無回答
全 体	927	61.4	53.3	52.0	46.3	39.1	36.4	33.4	33.2	28.3	24.1	23.4	19.8	16.8	15.7	15.5	6.3	2.4	2.9	4.0
<性・年齢別>																				
男 性（計）	401	57.4	52.4	46.4	45.1	40.4	36.4	37.4	20.2	27.2	20.7	22.9	18.7	17.2	15.2	17.5	5.7	3.0	3.5	3.5
18～29歳	36	63.9	55.6	25.0	41.7	50.0	33.3	50.0	22.2	25.0	19.4	19.4	19.4	13.9	13.9	11.1	5.6	-	8.3	2.8
30代	46	56.5	60.9	54.3	34.8	52.2	34.8	41.3	15.2	30.4	21.7	19.6	10.9	17.4	8.7	17.4	15.2	2.2	4.3	-
40代	66	48.5	60.6	57.6	28.8	47.0	45.5	37.9	13.6	28.8	25.8	18.2	7.6	16.7	6.1	28.8	7.6	1.5	4.5	6.1
50代	84	60.7	56.0	47.6	51.2	41.7	39.3	41.7	25.0	35.7	25.0	28.6	14.3	17.9	13.1	17.9	9.5	2.4	2.4	1.2
60代	60	50.0	50.0	50.0	58.3	38.3	36.7	31.7	23.3	25.0	23.3	16.7	23.3	21.7	13.3	18.3	-	5.0	3.3	5.0
70歳以上	108	62.0	41.7	39.8	49.1	28.7	30.6	31.5	20.4	20.4	13.0	27.8	29.6	15.7	25.9	12.0	0.9	4.6	1.9	4.6
女 性（計）	508	64.6	53.9	56.3	47.4	38.0	36.0	30.3	43.3	29.5	27.0	23.8	20.5	16.7	16.5	14.0	6.9	2.0	2.6	4.5
18～29歳	51	58.8	56.9	51.0	43.1	45.1	31.4	37.3	37.3	27.5	29.4	31.4	17.6	19.6	11.8	9.8	9.8	-	-	3.9
30代	73	64.4	63.0	53.4	37.0	35.6	37.0	37.0	50.7	34.2	27.4	20.5	6.8	13.7	8.2	13.7	12.3	1.4	5.5	1.4
40代	90	60.0	68.9	62.2	41.1	40.0	41.1	37.8	48.9	34.4	32.2	21.1	12.2	16.7	16.7	18.9	10.0	-	2.2	3.3
50代	88	61.4	51.1	52.3	48.9	40.9	34.1	30.7	43.2	30.7	26.1	25.0	19.3	21.6	11.4	14.8	8.0	2.3	4.5	9.1
60代	71	76.1	57.7	64.8	56.3	40.8	36.6	31.0	42.3	32.4	25.4	22.5	21.1	18.3	14.1	12.7	1.4	2.8	-	4.2
70歳以上	135	65.9	37.8	54.1	53.3	31.9	34.8	18.5	38.5	22.2	23.7	24.4	34.8	13.3	27.4	12.6	3.0	3.7	2.2	4.4
<生活程度別>																				
上	2	-	100.0	50.0	-	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中の上	89	38.2	47.2	38.2	24.7	28.1	32.6	23.6	19.1	23.6	20.2	10.1	11.2	11.2	12.4	9.0	7.9	2.2	10.1	3.4
中の中	281	56.9	57.7	48.4	41.6	33.5	36.3	34.2	31.0	24.9	22.1	22.1	19.6	14.9	12.1	12.1	5.3	0.7	2.5	3.9
中の下	341	65.4	51.9	54.3	49.0	42.8	38.4	33.7	35.2	29.6	26.7	20.8	19.4	19.1	15.5	17.6	6.2	1.8	2.6	4.4
下	166	73.5	54.8	63.3	59.6	48.2	37.3	38.0	41.6	33.1	24.7	39.8	21.7	18.1	25.3	21.1	7.2	4.2	1.2	3.6

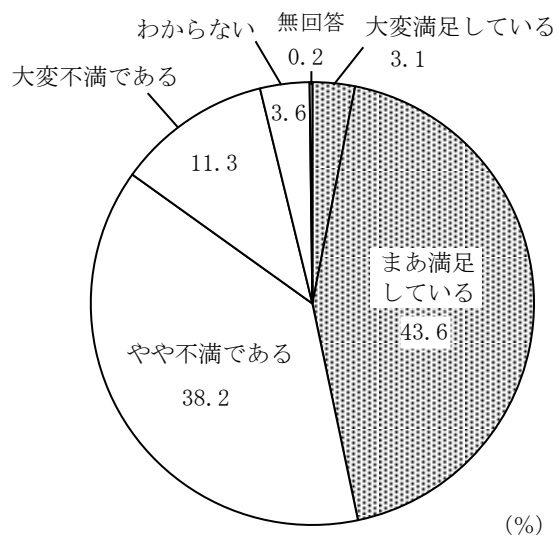
※1-6 生活満足度

図1-6-1

(全員の方に)

問5 あなたは、現在のご自分の生活に満足していますか。(○は1つ)

(n=1,784)



満	不
足	満
(計)	(計)
46.7	49.6

(注) 『満足 (計)』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計
 『不満 (計)』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

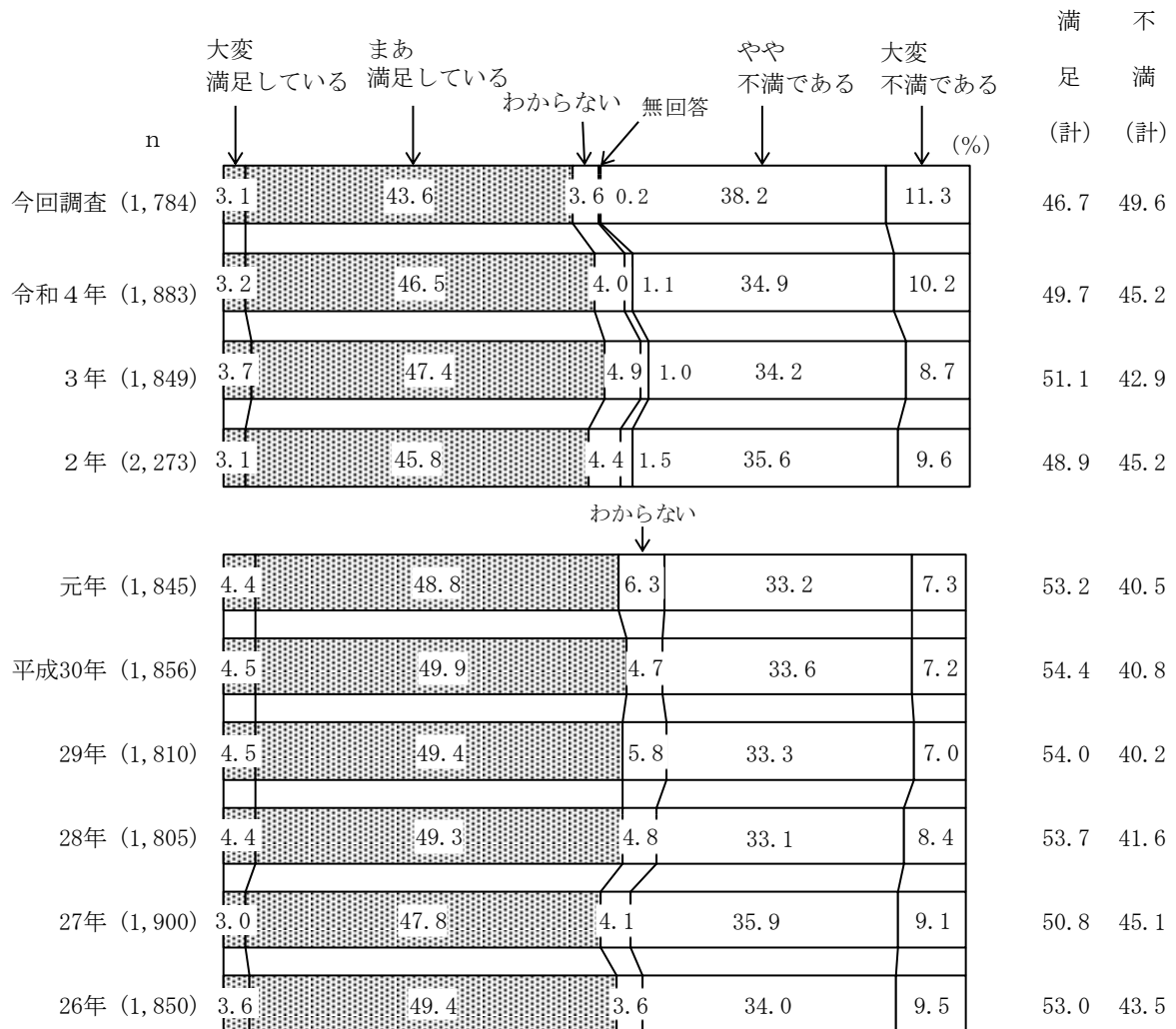
現在の生活に満足しているか聞いたところ、『満足 (計)』は47%、『不満 (計)』は50%となっている。
 (図1-6-1)

生活満足度を過去の調査結果と比較すると、『不満（計）』は昨年より4ポイント増加している。

(図1-6-2)

なお、生活満足度の平成元年からの調査結果を巻末の付属資料（P118 表3、P119 図4）に掲載している。

図1-6-2 生活満足度—過去の調査結果



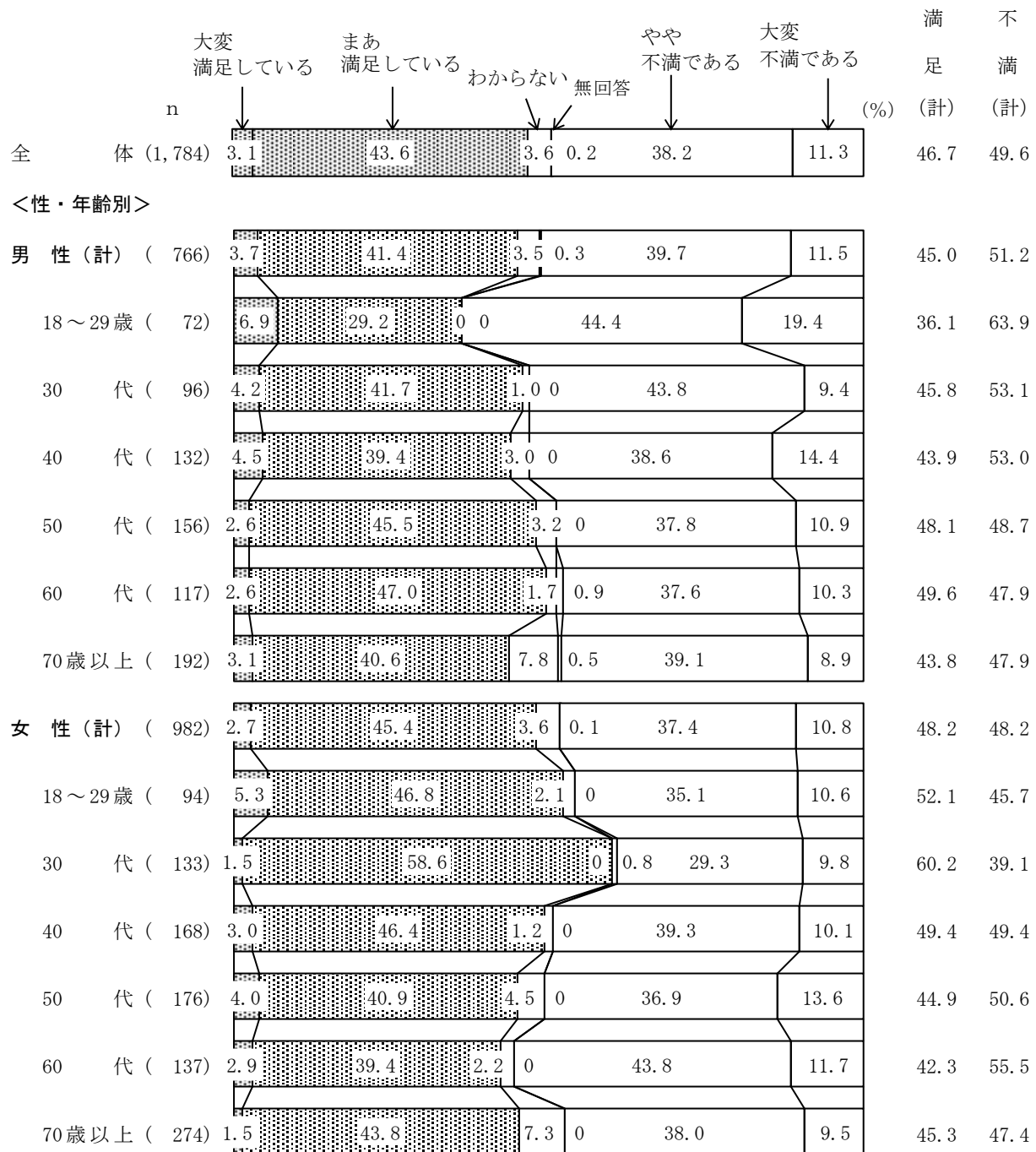
(注1) 『満足（計）』は「大満足している」「まあ満足している」の合計

『不満（計）』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、『満足（計）』は女性30代で約6割と多くなっている。一方、『不満（計）』は男性18～29歳で6割半ばと多くなっている。（図1-6-3）

図1-6-3 生活満足度－性・年齢別



(注) 『満足（計）』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計
『不満（計）』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

住居形態別にみると、『満足（計）』は持家（計）で5割を超えており、持家以外（計）より12ポイント高くなっている。一方、『不満（計）』は持家以外（計）で6割近くと多くなっている。

世帯年収別にみると、『満足（計）』はおおむね年収が多いほど割合が高くなる傾向がある。一方、『不満（計）』は年収200万円未満の世帯で約7割と多くなっている。（図1-6-4）

図1-6-4 生活満足度－住居形態別、世帯年収別

	n	生活満足度					満足 (計)	不満 (計)	
		大変満足している	まあ満足している	わからない	無回答	やや不満である			大変不満である
全体	(1,784)	3.1	43.6	3.6	0.2	38.2	11.3	46.7	49.6
< 住居形態別 >									
持家（計）	(1,143)	3.7	47.3	3.5	0	36.7	8.8	51.0	45.5
持家（一戸建）	(781)	3.1	47.4	3.6	0	36.4	9.6	50.4	46.0
持家（分譲マンション など集合住宅）	(362)	5.0	47.2	3.3	0	37.3	7.2	52.2	44.5
持家以外（計）	(619)	2.3	36.3	3.1	0.5	41.5	16.3	38.6	57.8
民間の借家（一戸建）	(38)	0	28.9	2.6	0	47.4	21.1	28.9	68.4
民間の借家（賃貸マンション ・アパートなど集合住宅）	(425)	2.4	39.8	2.4	0.2	38.8	16.5	42.1	55.3
UR都市機構・公社・公営 の賃貸住宅・アパート	(105)	2.9	25.7	6.7	1.9	45.7	17.1	28.6	62.9
社宅・公務員住宅 など給与住宅	(31)	3.2	38.7	3.2	0	48.4	6.5	41.9	54.8
住み込み・寮・寄宿舎など	(8)	12.5	0	0	62.5	0	25.0	12.5	87.5
< 世帯年収別 >									
200万円未満	(229)	0.9	21.4	7.0	0.9	48.5	21.4	22.3	69.9
200～300万円未満	(191)	2.1	30.9	5.2	0	39.8	22.0	33.0	61.8
300～400万円未満	(198)	2.0	39.4	2.5	0	44.4	11.6	41.4	56.1
400～500万円未満	(171)	4.1	34.5	2.9	0	46.2	12.3	38.6	58.5
500～700万円未満	(209)	2.4	45.0	1.4	0	42.6	8.6	47.4	51.2
700～900万円未満	(170)	4.1	56.5	1.2	0	34.7	3.5	60.6	38.2
900～1,100万円未満	(161)	2.5	53.4	1.9	0.6	34.2	7.5	55.9	41.6
1,100～1,300万円未満	(105)	4.8	63.8	1.0	0	24.8	5.7	68.6	30.5
1,300～1,500万円未満	(58)	1.7	72.4	0	0	22.4	3.4	74.1	25.9
1,500～2,000万円未満	(62)	8.1	66.1	0	0	25.8	0	74.2	25.8
2,000万円以上	(42)	16.7	69.0	0	0	2.4	11.9	85.7	11.9

（注）『満足（計）』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計

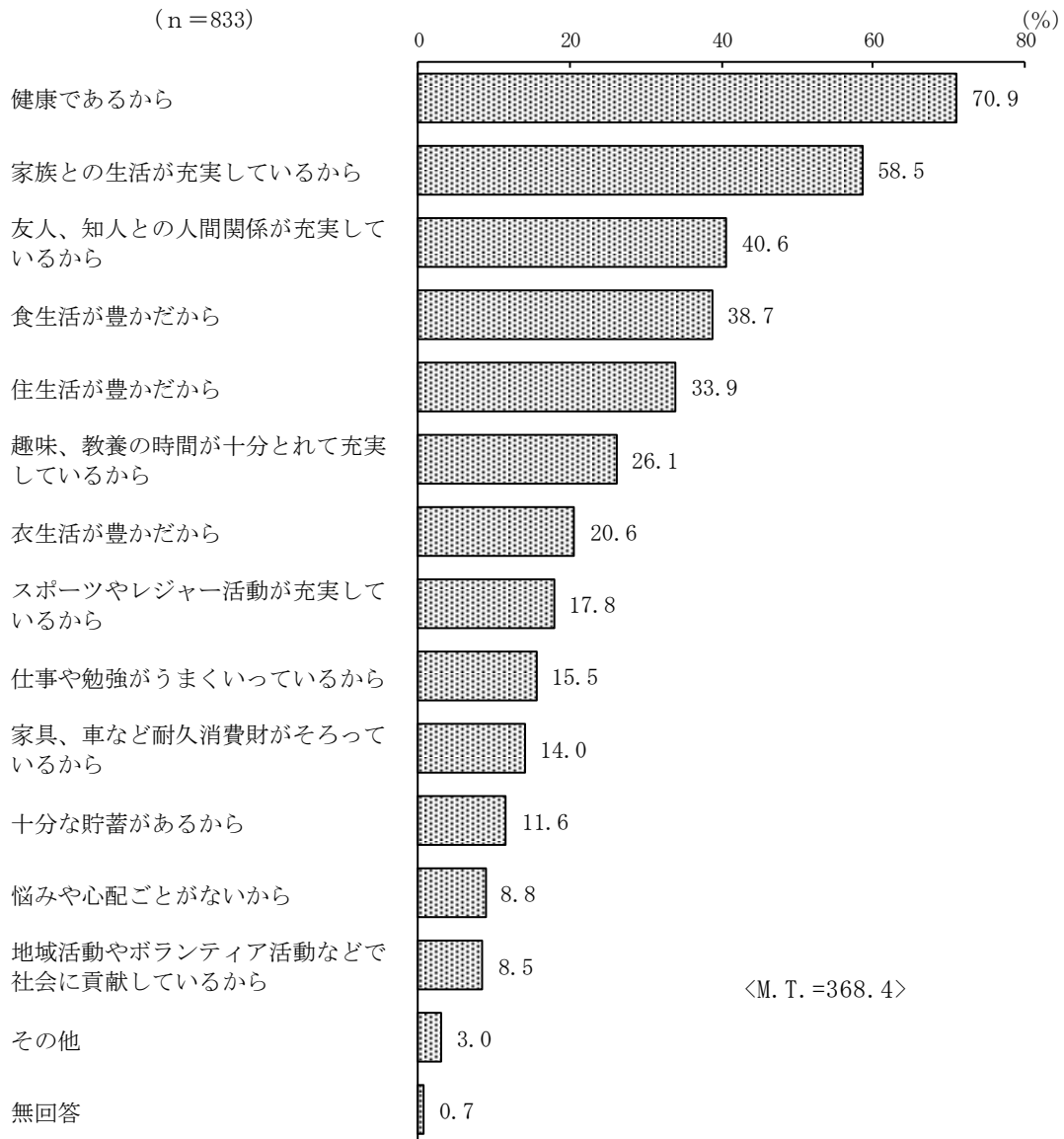
『不満（計）』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

※1-7 満足の原因

図1-7-1

(問5で「1 大変満足している」「2 まあ満足している」と答えた方に)

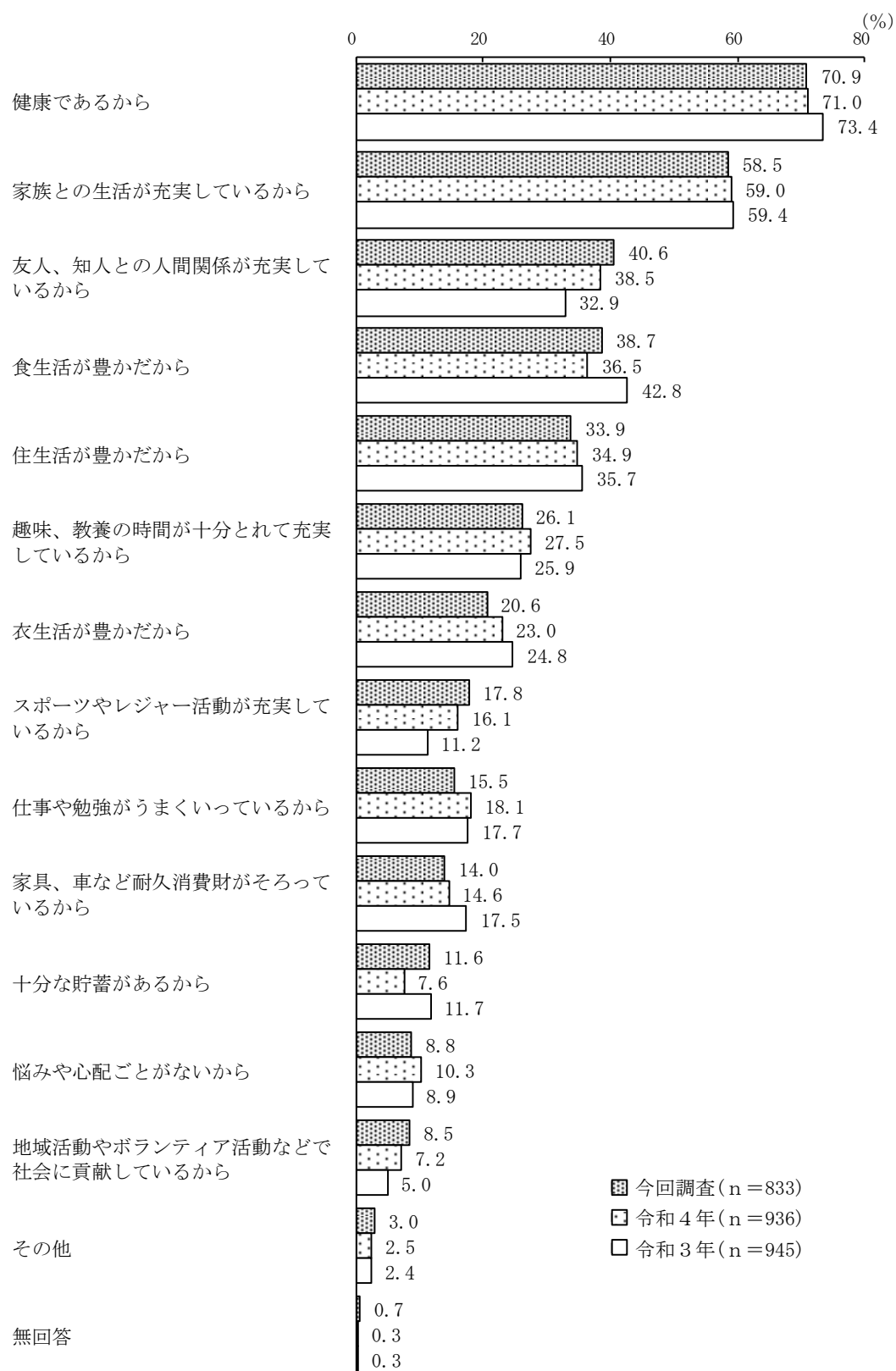
問5-1 どのような理由で満足されていますか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも) (M. A.)



現在の生活に満足しているという人(833人)にその理由を聞いたところ、「健康であるから」が71%と最も多く、次いで「家族との生活が充実しているから」59%、「友人、知人との人間関係が充実しているから」41%、「食生活が豊かだから」39%、「住生活が豊かだから」34%、「趣味、教養の時間が十分とれて充実しているから」26%などの順となっている。(図1-7-1)

満足の理由を過去の調査結果と比較すると、「十分な貯蓄があるから」は昨年より4ポイント増加している。(図1-7-2)

図1-7-2 満足の理由—過去の調査結果



性・年齢別にみると、「友人、知人との人間関係が充実しているから」は女性（計）で5割近くと男性（計）より17ポイント高く、特に女性18～29歳で6割を超えて多くなっている。「家族との生活が充実しているから」も女性（計）で6割を超えており、男性（計）より10ポイント高く、特に女性30代で8割近くと多くなっている。

生活程度（問3 P14）との関係でみると、多くの項目で、生活程度が高いほど割合も高くなっている。
（表1-7-1）

表1-7-1 満足の理由－性・年齢別、生活程度別

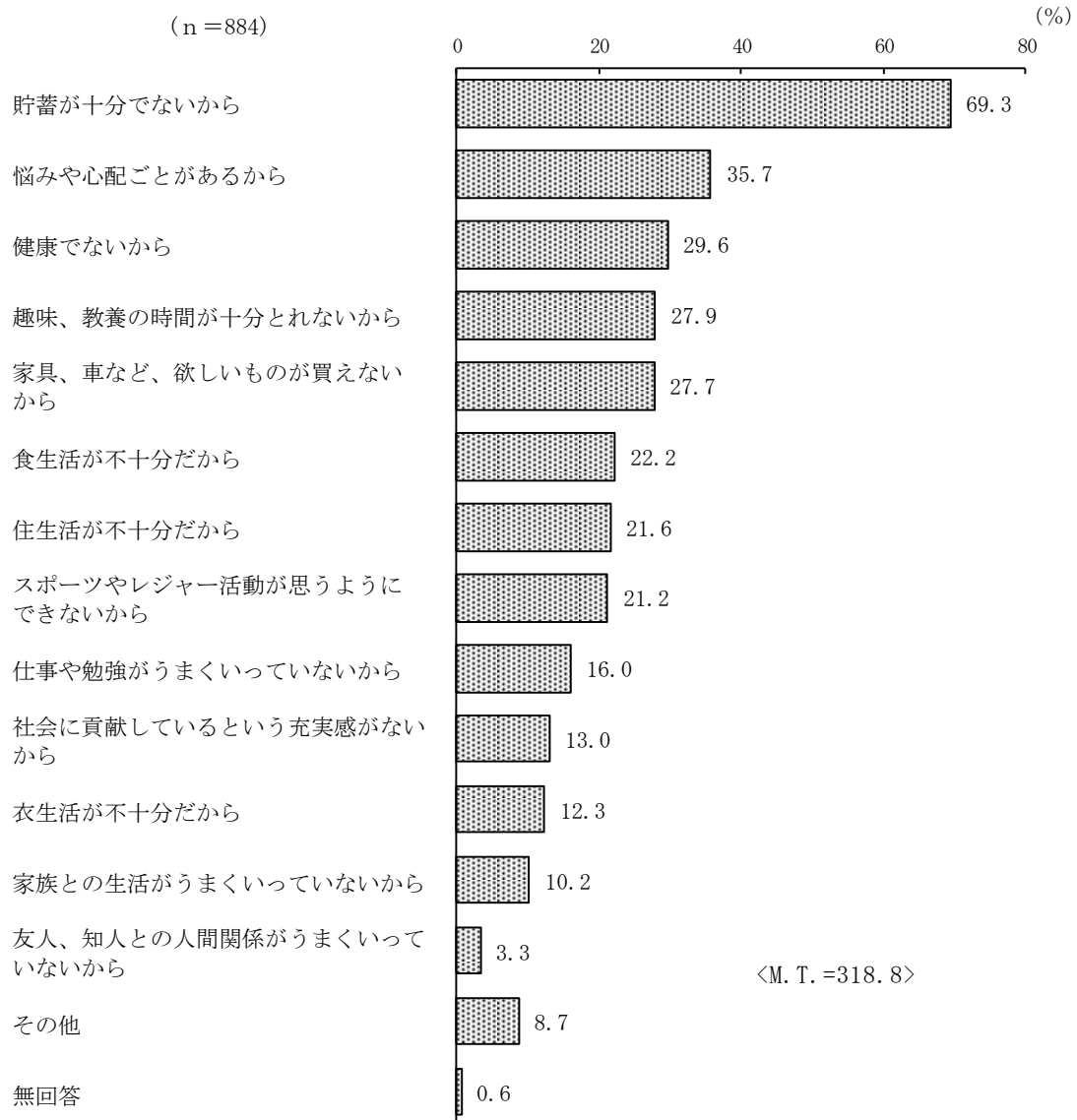
		(%)														
	n	健康であるから	家族との生活が充実しているから	友人、知人との人間関係が充実しているから	食生活が豊かだから	住生活が豊かだから	趣味、教養の時間が十分とれて充実しているから	衣生活が豊かだから	スポーツやレジャー活動が充実しているから	仕事や勉強がうまくいっているから	家具、車など耐久消費財がそろっているから	十分な貯蓄があるから	悩みや心配ごとがないから	地域活動やボランティア活動などで社会に貢献しているから	その他	無回答
全体	833	70.9	58.5	40.6	38.7	33.9	26.1	20.6	17.8	15.5	14.0	11.6	8.8	8.5	3.0	0.7
＜性・年齢別＞																
男性（計）	345	71.3	52.8	31.3	37.1	32.2	25.8	19.1	21.2	17.7	16.5	14.8	12.2	7.8	3.2	0.6
18～29歳	26	76.9	46.2	42.3	30.8	19.2	30.8	23.1	19.2	11.5	11.5	15.4	11.5	-	3.8	-
30代	44	81.8	63.6	34.1	50.0	43.2	20.5	29.5	20.5	25.0	11.4	20.5	6.8	2.3	2.3	-
40代	58	65.5	63.8	24.1	25.9	25.9	19.0	13.8	24.1	25.9	15.5	12.1	6.9	5.2	1.7	3.4
50代	75	68.0	57.3	28.0	36.0	28.0	13.3	16.0	18.7	17.3	14.7	10.7	4.0	8.0	4.0	-
60代	58	74.1	44.8	19.0	31.0	36.2	29.3	17.2	22.4	20.7	25.9	15.5	17.2	10.3	3.4	-
70歳以上	84	69.0	42.9	42.9	45.2	35.7	40.5	20.2	21.4	8.3	16.7	16.7	22.6	13.1	3.6	-
女性（計）	473	71.0	62.6	48.6	40.6	35.7	26.4	22.2	15.6	13.7	12.7	9.5	6.6	9.3	3.0	0.8
18～29歳	49	79.6	53.1	63.3	49.0	46.9	34.7	30.6	4.1	30.6	12.2	10.2	6.1	-	-	2.0
30代	80	68.8	78.8	47.5	48.8	42.5	15.0	33.8	8.8	15.0	15.0	7.5	1.3	2.5	-	-
40代	83	80.7	69.9	44.6	45.8	30.1	13.3	21.7	14.5	13.3	9.6	12.0	2.4	6.0	7.2	-
50代	79	69.6	58.2	39.2	35.4	31.6	24.1	17.7	21.5	24.1	13.9	7.6	2.5	8.9	1.3	-
60代	58	62.1	58.6	53.4	41.4	41.4	43.1	22.4	27.6	6.9	15.5	15.5	8.6	19.0	3.4	3.4
70歳以上	124	67.7	55.6	50.0	31.5	30.6	33.1	14.5	16.1	3.2	11.3	7.3	14.5	15.3	4.0	0.8
＜生活程度別＞																
上	27	70.4	70.4	70.4	66.7	63.0	59.3	51.9	44.4	44.4	25.9	59.3	14.8	14.8	-	-
中の上	215	73.0	68.4	39.5	56.3	52.1	26.5	34.0	22.8	21.9	19.1	20.0	8.4	6.5	1.9	0.9
中の中	400	72.5	57.0	43.0	36.0	29.5	24.3	17.0	15.8	12.3	13.5	7.3	7.5	8.5	3.0	0.8
中の下	124	65.3	55.6	32.3	20.2	20.2	27.4	8.9	8.9	11.3	8.1	4.8	8.1	11.3	0.8	0.8
下	22	72.7	13.6	36.4	13.6	18.2	36.4	13.6	13.6	9.1	9.1	4.5	13.6	-	13.6	-

※1-8 不満の理由

図1-8-1

(問5で「3 やや不満である」「4 大変不満である」と答えた方に)

問5-2 どのような理由で不満であると感じていますか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)(M. A.)



現在の生活に不満であるという人(884人)にその理由を聞いたところ、「貯蓄が十分でないから」が69%と最も多く、次いで「悩みや心配ごとがあるから」36%、「健康でないから」30%、「趣味、教養の時間が十分とれないから」「家具、車など、欲しいものが買えないから」28%などの順となっている。

(図1-8-1)

不満の理由を過去の調査結果と比較すると、昨年と特に大きな差は見られない。(表1-8-1)

表1-8-1 不満の理由—過去の調査結果

		(%)														
	n	貯蓄が十分でないから	悩みや心配ごとがあるから	健康でないから	趣味、教養の時間が十分とれないから	家具、車など、欲しいものが買えないから	食生活が不十分だから	住生活が不十分だから	スポーツやレジャー活動が思うようにできないから	仕事や勉強がうまくいっていないから	社会に貢献しているという充実感がないから	衣生活が不十分だから	家族との生活がうまくいっていないから	友人、知人との人間関係がうまくいっていないから	その他	無回答 (令和元年以前は「わからない」)
今回調査	884	69.3	35.7	29.6	27.9	27.7	22.2	21.6	21.2	16.0	13.0	12.3	10.2	3.3	8.7	0.6
令和4年	851	71.1	38.3	28.4	29.3	26.3	19.3	23.6	23.4	19.9	12.6	12.3	8.7	4.9	5.2	0.5
3年	794	68.0	37.0	24.9	30.5	25.2	13.9	21.0	31.2	20.7	13.4	8.3	8.1	3.9	8.9	-
2年	1,028	69.1	36.6	26.1	31.9	25.1	14.7	19.9	32.0	23.4	15.7	10.5	8.9	5.8	7.3	0.2
元年	747	68.0	26.0	22.9	25.8	20.9	12.4	18.1	15.4	15.7	9.5	8.6	5.4	1.9	6.8	0.9
平成30年	758	64.0	26.1	26.6	27.8	21.6	9.9	16.8	18.9	13.9	7.7	7.4	7.3	1.7	6.6	0.9
29年	728	64.0	30.1	23.2	29.7	22.5	9.6	15.4	21.0	19.9	8.4	7.8	6.2	2.5	5.1	1.4
28年	750	63.1	24.1	24.9	27.1	19.2	12.4	21.5	16.5	15.2	9.9	10.1	6.1	2.0	5.2	1.1
27年	856	65.5	24.1	23.1	28.2	19.9	13.8	17.8	17.4	14.6	10.0	7.6	5.1	2.7	5.3	1.3
26年	804	71.5	25.9	25.0	28.2	23.5	14.1	19.9	18.4	16.0	8.1	10.4	5.2	2.1	5.3	0.9

(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、「貯蓄が十分でないから」は男女とも18～29歳、女性30代で8割台と多くなっている。「仕事や勉強がうまくいっていないから」は男性30代で4割半ばと多くなっている。

生活程度（問3 P14）との関係でみると、多くの項目で、生活程度が低いほど割合が高くなる傾向にある。（表1-8-2）

表1-8-2 不満の理由－性・年齢別、生活程度別

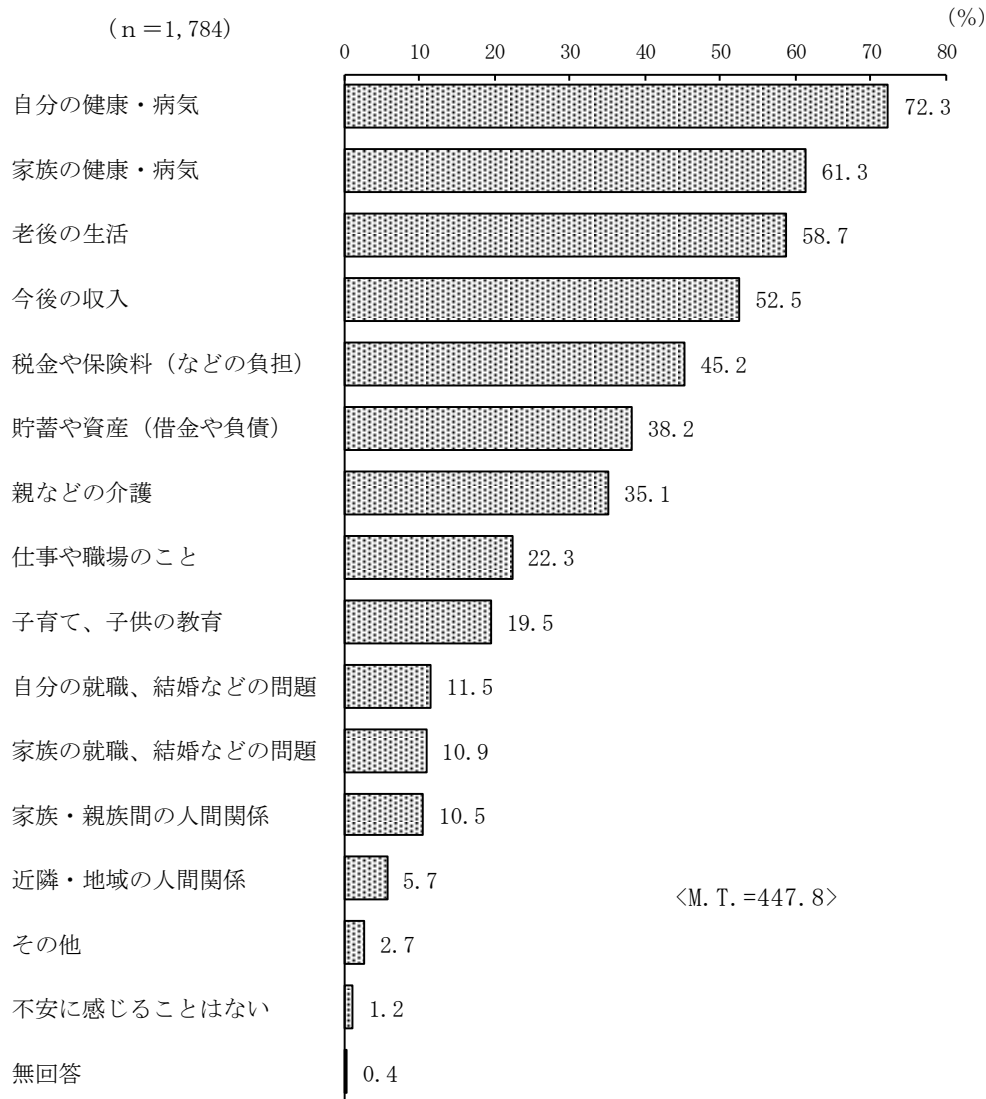
																(%)	
		n	貯蓄が十分でないから	悩みや心配ごとがあるから	健康でないから	趣味、教養の時間が十分とれないから	家具、車など、欲しいものが買えないから	食生活が不十分だから	住生活が不十分だから	スポーツやレジャー活動が思うようにできないから	仕事や勉強がうまくいっていないから	社会に貢献しているという充実感がないから	衣生活が不十分だから	家族との生活がうまくいっていないから	友人、知人との人間関係がうまくいっていないから	その他	無回答
全	体	884	69.3	35.7	29.6	27.9	27.7	22.2	21.6	21.2	16.0	13.0	12.3	10.2	3.3	8.7	0.6
< 性・年齢別 >																	
男	性（計）	392	69.6	35.7	30.1	28.8	29.8	24.5	20.9	24.0	21.2	13.5	12.8	10.5	4.1	7.1	0.5
	18～29歳	46	84.8	43.5	26.1	34.8	39.1	23.9	23.9	15.2	28.3	10.9	17.4	10.9	4.3	4.3	-
	30代	51	72.5	41.2	15.7	49.0	35.3	15.7	21.6	15.7	45.1	15.7	13.7	11.8	7.8	3.9	-
	40代	70	74.3	30.0	12.9	40.0	35.7	17.1	21.4	28.6	18.6	12.9	14.3	5.7	4.3	11.4	-
	50代	76	71.1	34.2	31.6	28.9	35.5	23.7	22.4	21.1	19.7	5.3	15.8	15.8	3.9	7.9	-
	60代	56	60.7	30.4	33.9	21.4	28.6	28.6	17.9	32.1	21.4	7.1	12.5	5.4	-	10.7	-
	70歳以上	92	62.0	38.0	50.0	10.9	14.1	33.7	19.6	27.2	7.6	25.0	6.5	12.0	4.3	4.3	1.1
女	性（計）	473	69.6	35.9	29.0	27.3	25.6	20.1	21.8	18.8	12.1	12.3	12.1	10.4	2.7	9.9	0.6
	18～29歳	43	83.7	37.2	14.0	30.2	44.2	18.6	16.3	11.6	30.2	11.6	11.6	11.6	9.3	-	-
	30代	52	86.5	34.6	21.2	36.5	36.5	21.2	30.8	13.5	9.6	9.6	11.5	15.4	-	9.6	-
	40代	83	72.3	41.0	14.5	32.5	27.7	16.9	21.7	14.5	21.7	14.5	14.5	15.7	2.4	9.6	1.2
	50代	89	71.9	40.4	31.5	39.3	27.0	21.3	23.6	22.5	15.7	10.1	13.5	7.9	2.2	10.1	-
	60代	76	64.5	36.8	26.3	26.3	25.0	21.1	22.4	26.3	5.3	14.5	14.5	14.5	2.6	15.8	-
	70歳以上	130	57.7	29.2	46.2	11.5	13.1	20.8	18.5	19.2	2.3	12.3	8.5	3.8	2.3	10.0	1.5
< 生活程度別 >																	
	上	2	-	100.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	100.0	-	-	-
	中の上	40	65.0	32.5	30.0	35.0	32.5	12.5	10.0	30.0	35.0	20.0	5.0	10.0	5.0	5.0	-
	中の中	236	59.3	35.6	18.2	29.7	21.6	10.2	14.4	19.5	11.0	8.5	5.1	10.2	-	11.0	0.4
	中の下	351	71.2	32.8	29.1	29.9	28.5	21.4	18.8	24.8	15.7	12.8	10.8	8.5	4.0	8.0	0.3
	下	201	80.1	42.8	43.8	23.4	34.3	40.3	34.8	16.9	19.4	17.9	25.9	11.4	6.0	8.0	1.0

※1-9 今後の生活の不安

図1-9-1

(全員の方に)

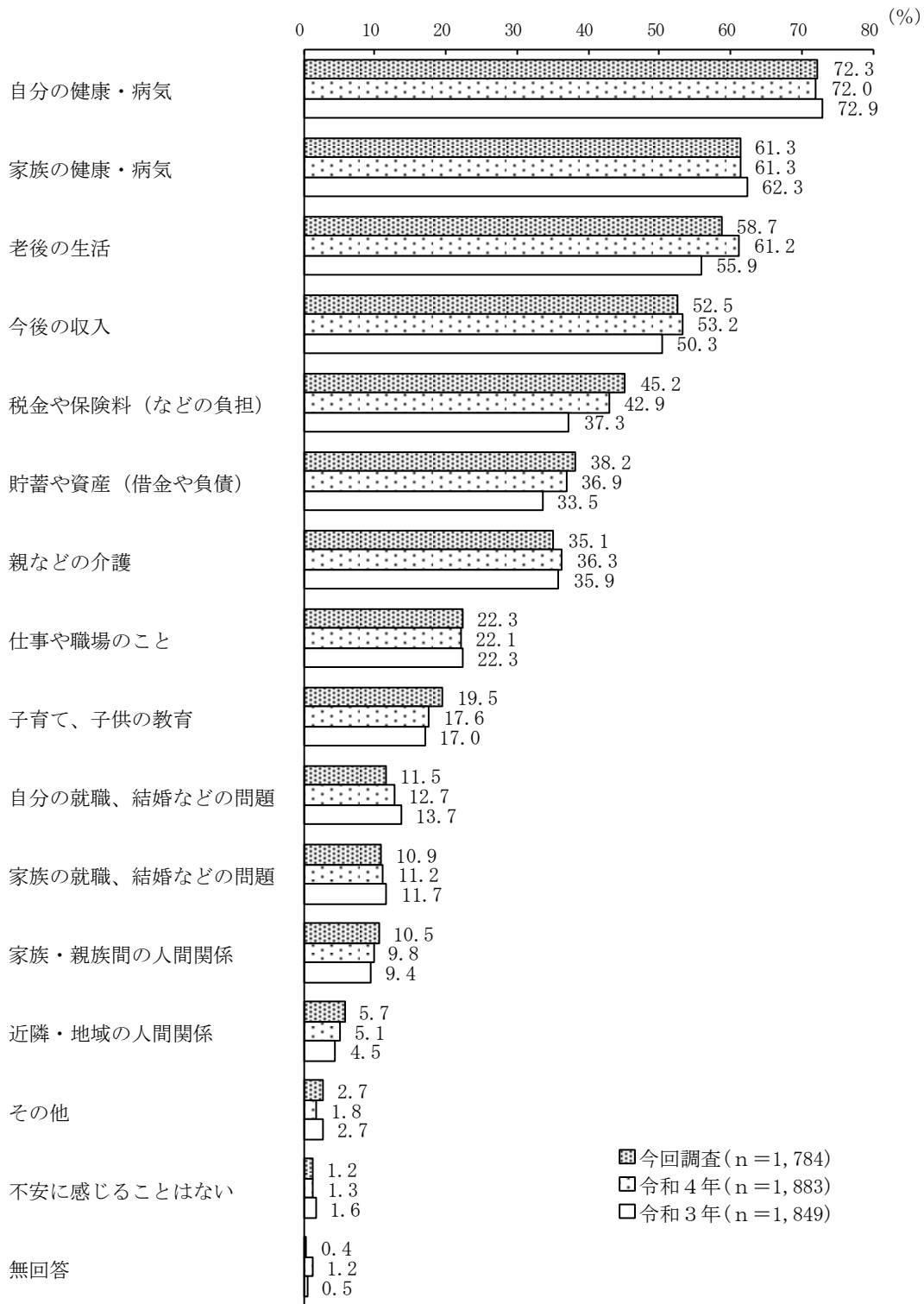
問6 あなたが、今後の生活を考えたとき、不安に感じることはありませんか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)(M. A.)



今後の生活で不安に感じることを聞いたところ、「自分の健康・病気」が72%と最も多く、次いで「家族の健康・病気」61%、「老後の生活」59%、「今後の収入」53%、「税金や保険料 (などの負担)」45%、「貯蓄や資産 (借金や負債)」38%、「親などの介護」35%などの順となっている。(図1-9-1)

今後の生活の不安を過去の調査結果と比較すると、昨年と特に大きな差はみられない。(図1-9-2)

図1-9-2 今後の生活の不安－過去の調査結果



性・年齢別にみると、「自分の健康・病気」は年齢が高くなるほど割合が高くなっており、男女とも50代以上でいずれも7割を超えて多くなっている。「老後の生活」は女性50代から60代で7割台と多くなっている。「今後の収入」は男女とも18～29歳で7割前後と多くなっている。(表1-9-1)

表1-9-1 今後の生活の不安－性・年齢別

		(%)															
	n	自分の健康・病気	家族の健康・病気	老後の生活	今後の収入	税金や保険料(などの負担)	貯蓄や資産(借金や負債)	親などの介護	仕事や職場のこと	子育て、子供の教育	自分の就職、結婚などの問題	家族の就職、結婚などの問題	家族・親族間の人間関係	近隣・地域の人間関係	その他	不安に感じることはない	無回答
全 体	1,784	72.3	61.3	58.7	52.5	45.2	38.2	35.1	22.3	19.5	11.5	10.9	10.5	5.7	2.7	1.2	0.4
< 性・年齢別 >																	
男 性 (計)	766	70.8	56.7	55.4	52.2	46.3	41.1	34.3	22.7	18.0	12.8	11.1	9.3	6.7	2.1	1.3	0.4
18 ～ 29 歳	72	40.3	36.1	33.3	69.4	62.5	52.8	37.5	33.3	12.5	48.6	5.6	12.5	9.7	1.4	-	-
30 代	96	56.3	51.0	35.4	63.5	55.2	60.4	44.8	36.5	44.8	21.9	5.2	13.5	7.3	-	-	-
40 代	132	60.6	51.5	53.8	59.1	47.0	59.1	53.0	27.3	34.8	16.7	12.1	8.3	6.1	2.3	2.3	-
50 代	156	75.6	63.5	68.6	55.8	44.2	47.4	53.2	35.3	23.1	8.3	23.1	11.5	9.0	0.6	1.3	-
60 代	117	76.9	58.1	60.7	60.7	49.6	26.5	25.6	14.5	1.7	4.3	11.1	3.4	3.4	3.4	3.4	0.9
70 歳 以 上	192	88.5	64.6	60.9	27.6	35.4	18.8	5.2	3.6	1.0	1.0	5.7	8.3	5.7	3.6	0.5	1.0
女 性 (計)	982	73.7	64.9	61.2	53.0	44.3	35.8	35.6	22.0	20.5	10.4	10.7	11.3	4.8	3.3	1.2	0.4
18 ～ 29 歳	94	58.5	60.6	37.2	72.3	62.8	62.8	40.4	38.3	25.5	39.4	4.3	12.8	4.3	1.1	3.2	-
30 代	133	57.1	57.1	45.9	65.4	51.1	57.9	47.4	30.8	62.4	17.3	5.3	9.8	7.5	-	-	-
40 代	168	62.5	66.7	58.9	61.3	44.6	44.0	65.5	31.5	45.2	12.5	13.1	17.3	4.2	3.0	1.8	-
50 代	176	77.8	64.8	79.5	61.9	45.5	35.8	53.4	32.4	9.1	9.1	17.0	10.2	4.0	4.0	0.6	-
60 代	137	81.8	77.4	75.9	51.8	43.8	34.3	26.3	17.5	1.5	3.6	19.7	11.7	4.4	5.1	0.7	-
70 歳 以 上	274	87.2	62.8	59.1	29.9	33.9	11.7	3.3	1.8	-	-	5.5	8.4	4.7	4.4	1.5	1.5

世帯年収別にみると、「自分の健康・病気」は年収300万円未満、年収1,500～2,000万円未満の世帯で8割台と多くなっている。

生活満足度（問5 P26）との関係でみると、『不満（計）』は『満足（計）』よりも「今後の収入」が27ポイント、「貯蓄や資産（借金や負債）」が24ポイント、「税金や保険料（などの負担）」が20ポイント高くなっている。（表1-9-2）

表1-9-2 今後の生活の不安－世帯年収別、生活満足度別

		(%)															
	n	自分の健康・病気	家族の健康・病気	老後の生活	今後の収入	税金や保険料（などの負担）	貯蓄や資産（借金や負債）	親などの介護	仕事や職場のこと	子育て、子供の教育	自分の就職、結婚などの問題	家族の就職、結婚などの問題	家族・親族間の人間関係	近隣・地域の人間関係	その他	不安に感じることはない	無回答
全体	1,784	72.3	61.3	58.7	52.5	45.2	38.2	35.1	22.3	19.5	11.5	10.9	10.5	5.7	2.7	1.2	0.4
＜世帯年収別＞																	
200万円未満	229	83.4	48.0	64.6	48.9	39.3	30.6	17.5	14.4	5.7	14.0	8.3	12.7	7.0	3.5	0.9	1.3
200～300万円未満	191	84.3	60.2	68.1	55.0	45.0	34.0	22.0	17.8	9.4	11.0	8.4	11.5	7.9	3.1	0.5	-
300～400万円未満	198	75.3	64.6	64.6	57.6	53.0	35.9	31.8	21.7	7.6	14.6	8.6	10.1	5.6	3.5	1.0	0.5
400～500万円未満	171	70.2	64.3	62.6	53.8	48.0	40.4	31.0	21.6	17.5	11.7	10.5	10.5	4.1	4.7	1.2	-
500～700万円未満	209	67.0	65.1	63.2	62.7	50.7	47.8	42.1	31.6	27.8	13.4	12.0	10.0	7.2	1.9	1.4	-
700～900万円未満	170	62.4	58.2	57.1	54.7	45.3	46.5	51.8	29.4	33.5	8.8	12.9	7.1	2.4	1.2	0.6	-
900～1,100万円未満	161	68.3	64.0	52.2	56.5	49.1	44.1	48.4	28.6	32.9	11.8	16.1	11.2	5.6	1.9	0.6	0.6
1,100～1,300万円未満	105	58.1	62.9	46.7	50.5	38.1	39.0	45.7	26.7	33.3	5.7	16.2	8.6	2.9	-	2.9	-
1,300～1,500万円未満	58	65.5	69.0	46.6	48.3	41.4	39.7	53.4	20.7	51.7	-	13.8	8.6	5.2	1.7	-	-
1,500～2,000万円未満	62	83.9	69.4	53.2	30.6	40.3	35.5	53.2	17.7	32.3	1.6	12.9	14.5	4.8	-	-	-
2,000万円以上	42	71.4	71.4	38.1	33.3	21.4	21.4	35.7	14.3	16.7	4.8	19.0	9.5	2.4	2.4	7.1	4.8
＜生活満足度別＞																	
大変満足している	56	55.4	51.8	25.0	25.0	23.2	17.9	30.4	7.1	16.1	8.9	12.5	1.8	3.6	-	10.7	1.8
まあ満足している	777	74.1	66.8	51.1	40.3	36.2	27.2	35.0	19.7	21.8	9.0	10.3	9.1	4.9	2.1	1.5	0.5
やや不満である	682	70.2	56.9	65.1	63.3	52.5	47.8	36.5	23.2	18.6	12.3	11.1	11.0	5.4	2.9	0.1	-
大変不満である	202	74.3	60.9	74.3	75.7	65.8	60.4	40.6	36.6	19.8	21.8	14.4	18.8	12.4	4.0	0.5	0.5
満足（計）	833	72.9	65.8	49.3	39.3	35.3	26.5	34.7	18.8	21.4	9.0	10.4	8.6	4.8	1.9	2.2	0.6
不満（計）	884	71.2	57.8	67.2	66.2	55.5	50.7	37.4	26.2	18.9	14.5	11.9	12.8	7.0	3.2	0.2	0.1

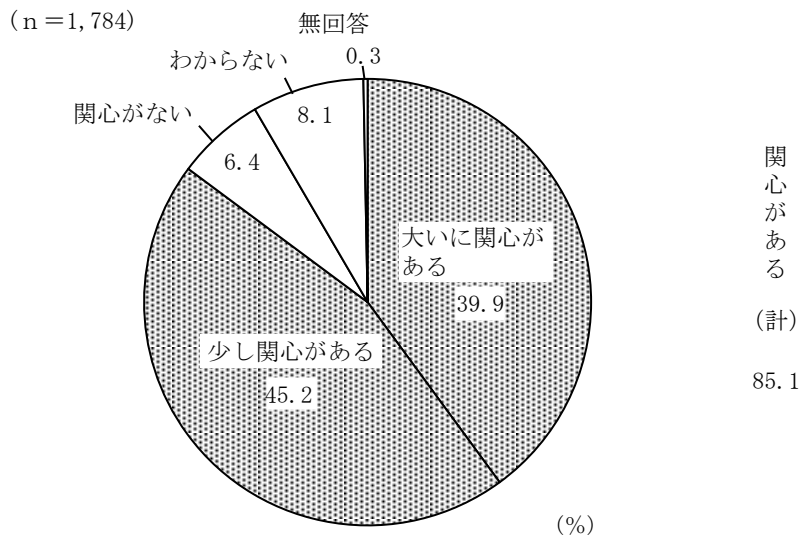
(注) 『満足（計）』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計
『不満（計）』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

※1-10 税金への関心度とその内容

図1-10-1

(全員の方に)

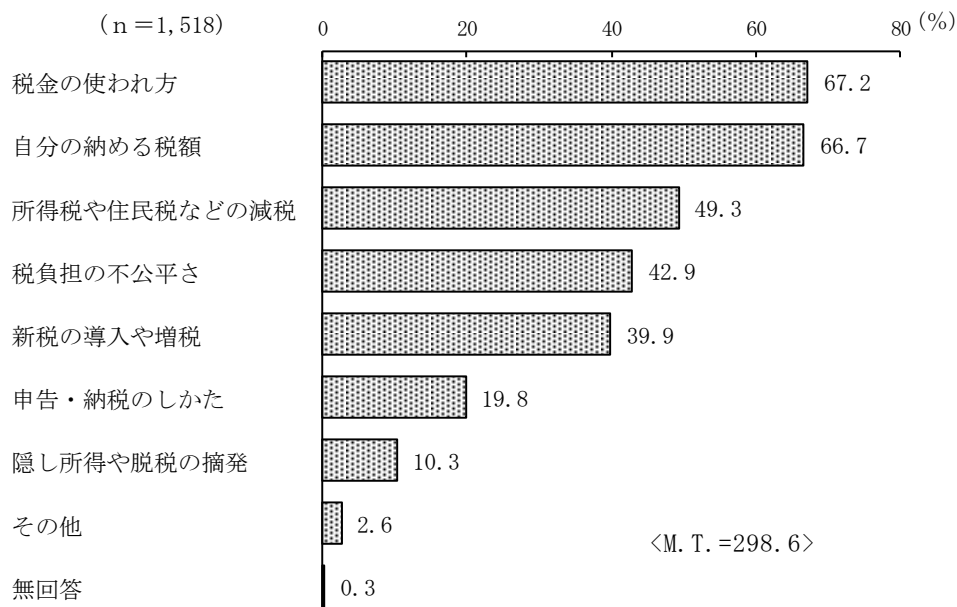
問7 あなたは、税金について関心がありますか。(○は1つ)



(注)『関心がある (計)』は「大いに関心がある」「少し関心がある」の合計

(問7で「1 大いに関心がある」「2 少し関心がある」と答えた方に)

問7-1 では、今、あなたが関心をもっているのはどのようなことですか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(○はいくつでも) (M. A.)

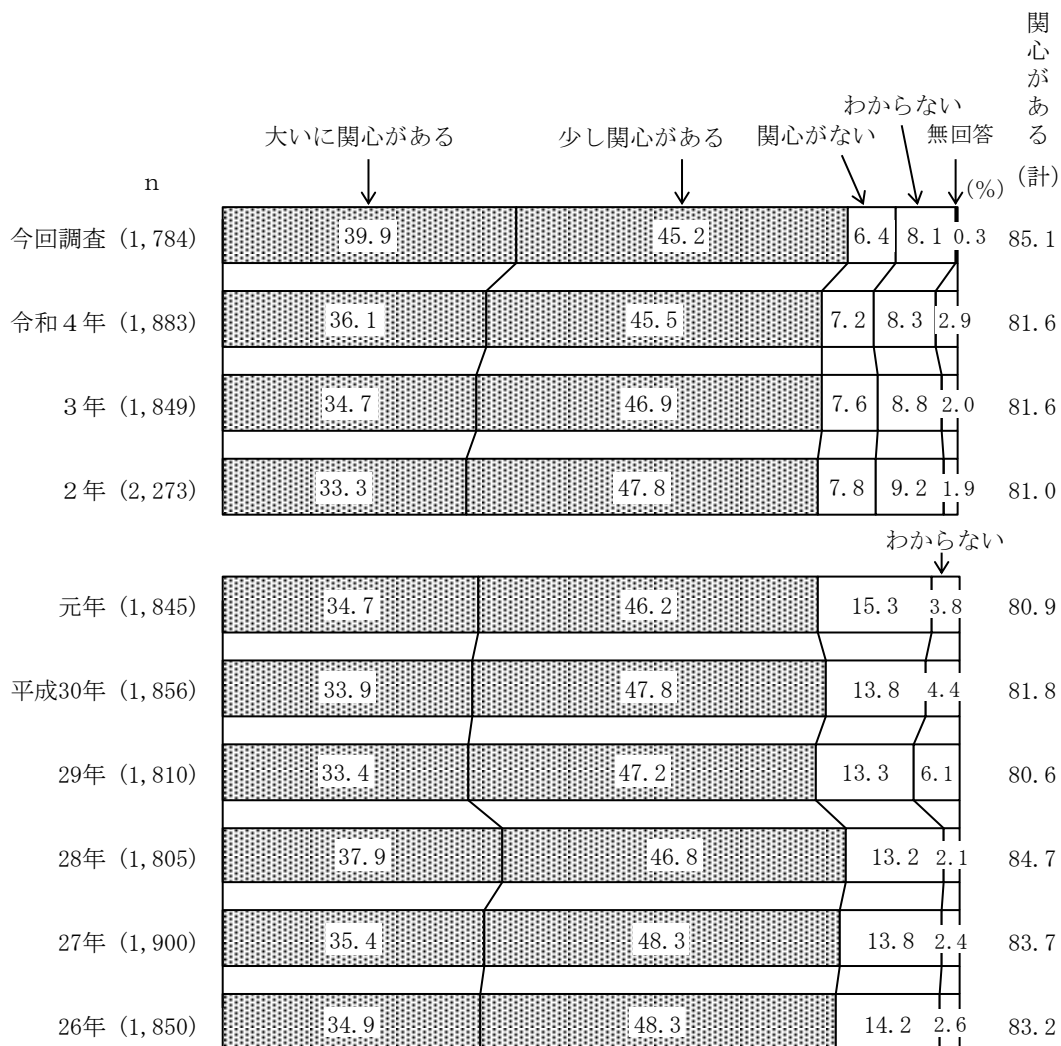


税金について関心があるか聞いたところ、『関心がある (計)』は85%、「関心がない」は6%となっている。

税金に『関心がある (計)』と答えた人 (1,518人) にその内容を聞いたところ、「税金の使われ方」67%が最も多く、次いで「自分の納める税額」66%、「所得税や住民税などの減税」49%などの順となっている。(図1-10-1)

税金への関心度を過去の調査結果と比較すると、『関心がある（計）』は昨年より4ポイント増加している。（図1-10-2）

図1-10-2 税金への関心度－過去の調査結果



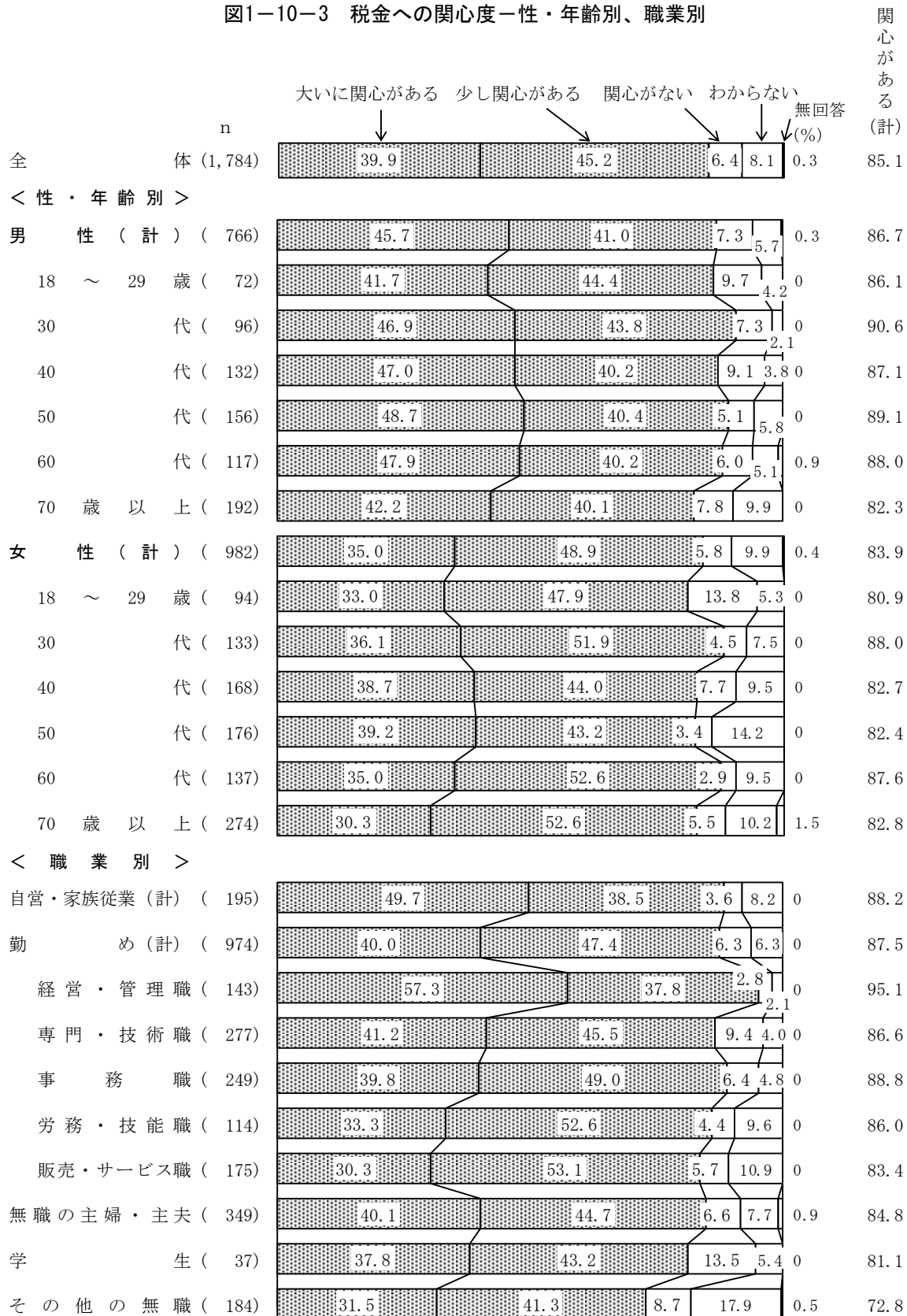
(注1) 『関心がある（計）』は「大に関心がある」「少し関心がある」の合計

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、「大いに興味がある」は男性（計）で4割半ばと女性（計）より11ポイント高く、男性50代で5割近くと多くなっている。

職業別にみると、『興味がある（計）』は経営・管理職で9割半ばと多くなっている。（図1-10-3）

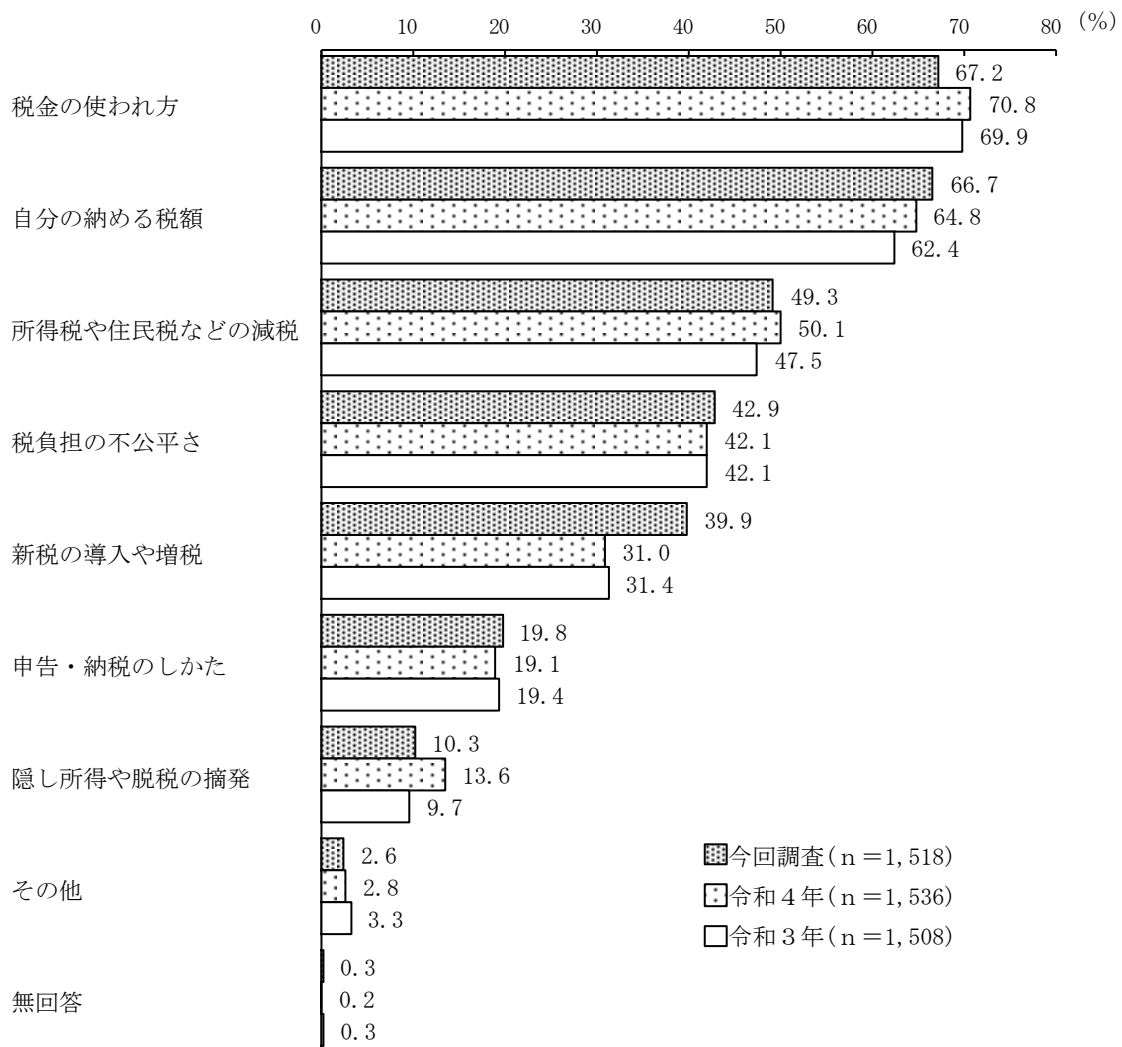
図1-10-3 税金への関心度－性・年齢別、職業別



(注)『興味がある（計）』は「大いに興味がある」「少し興味がある」の合計

税金について関心がある内容を過去の調査結果と比較すると、「税金の使われ方」は昨年より4ポイント減少している。(図1-10-4)

図1-10-4 税金への関心の内容－過去の調査結果



性・年齢別にみると、「税金の使われ方」は女性（計）で7割を超えて男性（計）より8ポイント高くなっている。「自分の納める税額」は男性（計）で7割を超えて女性（計）より7ポイント高くなっている。

（表1-10-1）

表1-10-1 税金への関心の内容－性・年齢別

(%)

	n	税金の使われ方	自分の納める税額	減税 所得税や住民税などの	税負担の不公平さ	新税の導入や増税	申告・納税のしかた	隠し所得や脱税の摘発	その他	無回答
全 体	1,518	67.2	66.7	49.3	42.9	39.9	19.8	10.3	2.6	0.3
<性・年齢別>										
男 性（計）	664	62.7	70.9	50.6	43.8	42.3	17.5	10.4	2.6	0.3
18 ～ 29 歳	62	74.2	74.2	58.1	48.4	29.0	29.0	17.7	1.6	-
30 代	87	66.7	85.1	62.1	40.2	42.5	26.4	18.4	2.3	-
40 代	115	59.1	73.0	53.0	49.6	39.1	15.7	7.8	1.7	-
50 代	139	61.9	68.3	54.0	56.1	41.7	15.8	9.4	1.4	-
60 代	103	59.2	73.8	47.6	34.0	45.6	19.4	4.9	4.9	-
70 歳 以上	158	61.4	60.8	38.6	35.4	48.1	9.5	9.5	3.2	1.3
女 性（計）	824	70.5	63.7	47.8	42.1	38.0	21.6	10.2	2.5	0.4
18 ～ 29 歳	76	72.4	82.9	55.3	48.7	36.8	36.8	18.4	1.3	-
30 代	117	70.9	66.7	57.3	41.0	41.0	14.5	6.8	0.9	-
40 代	139	65.5	73.4	57.6	54.7	41.7	26.6	9.4	2.9	-
50 代	145	69.0	68.3	51.7	40.7	38.6	17.2	6.9	4.8	0.7
60 代	120	70.0	62.5	50.0	35.8	37.5	22.5	10.8	0.8	0.8
70 歳 以上	227	74.0	47.6	30.8	37.0	34.4	19.4	11.5	3.1	0.4

職業別にみると、「税金の使われ方」は専門・技術職で7割を超えて多くなっている。

世帯年収別にみると、「所得税や住民税などの減税」は年収1,500～2,000万円未満の世帯で6割半ばと多くなっている。(表1-10-2)

表1-10-2 税金への関心の内容-職業別、世帯年収別

	n	税金の使われ方	自分の納める税額	減税 所得税 住民税などの	税負担の不公平さ	新税の導入や増税	申告・納税のしかた	隠し所得や脱税の摘発	その他	無回答
全体	1,518	67.2	66.7	49.3	42.9	39.9	19.8	10.3	2.6	0.3
< 職業別 >										
自営・家族従業(計)	172	68.0	68.0	47.1	37.8	45.9	23.3	8.7	2.3	-
勤め(計)	852	66.0	73.6	55.4	48.4	39.8	19.6	9.6	1.9	0.2
経営・管理職	136	60.3	73.5	59.6	57.4	41.2	12.5	5.9	1.5	-
専門・技術職	240	72.5	77.9	59.2	47.9	40.4	27.5	12.1	2.1	-
事務職	221	61.1	75.6	50.7	43.9	42.1	16.7	7.7	1.4	-
労務・技能職	98	66.3	69.4	50.0	48.0	41.8	17.3	11.2	3.1	1.0
販売・サービス職	146	66.4	66.4	57.5	47.3	33.6	19.2	11.6	2.1	0.7
無職の主婦・主夫	296	74.0	51.7	40.2	35.8	39.9	15.5	11.8	3.7	0.3
学生	30	63.3	70.0	53.3	43.3	23.3	30.0	20.0	-	-
その他の無職	134	59.7	58.2	38.8	32.8	41.0	22.4	10.4	4.5	0.7
< 世帯年収別 >										
200万円未満	155	68.4	52.3	34.2	30.3	38.7	20.6	14.8	4.5	1.9
200～300万円未満	163	68.1	62.0	51.5	41.7	40.5	20.9	14.7	2.5	-
300～400万円未満	178	73.6	61.2	46.1	40.4	46.6	24.7	9.6	3.9	0.6
400～500万円未満	149	73.2	68.5	50.3	41.6	42.3	20.1	9.4	4.7	-
500～700万円未満	188	69.1	72.9	57.4	41.5	41.0	15.4	7.4	2.1	-
700～900万円未満	157	61.8	71.3	56.7	42.7	36.9	17.2	12.1	1.9	0.6
900～1,100万円未満	149	60.4	69.1	47.7	52.3	35.6	19.5	6.0	1.3	-
1,100～1,300万円未満	92	70.7	70.7	53.3	53.3	33.7	17.4	17.4	1.1	-
1,300～1,500万円未満	54	48.1	77.8	53.7	40.7	42.6	22.2	5.6	-	-
1,500～2,000万円未満	61	67.2	72.1	63.9	54.1	41.0	11.5	8.2	-	-
2,000万円以上	38	63.2	86.8	39.5	47.4	28.9	21.1	2.6	2.6	-

2 住んでいる地域

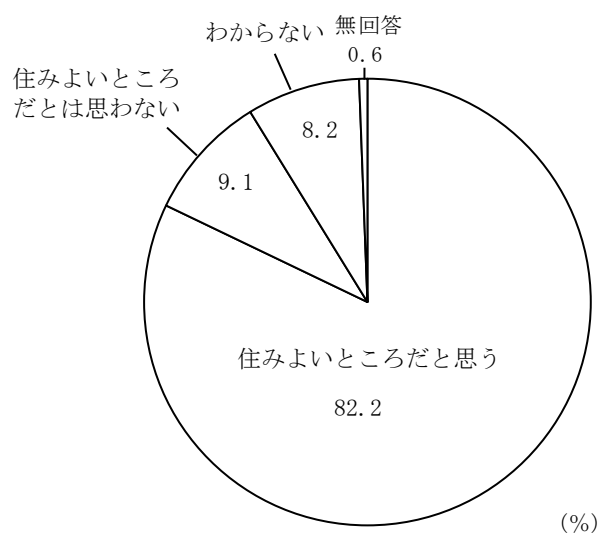
※2-1 地域の住みよさ

図2-1-1

(全員の方に)

問8 ところで、あなたが、今住んでいらっしゃるところは、住みよいところだと思いますか。それとも、思いませんか。(〇は1つ)

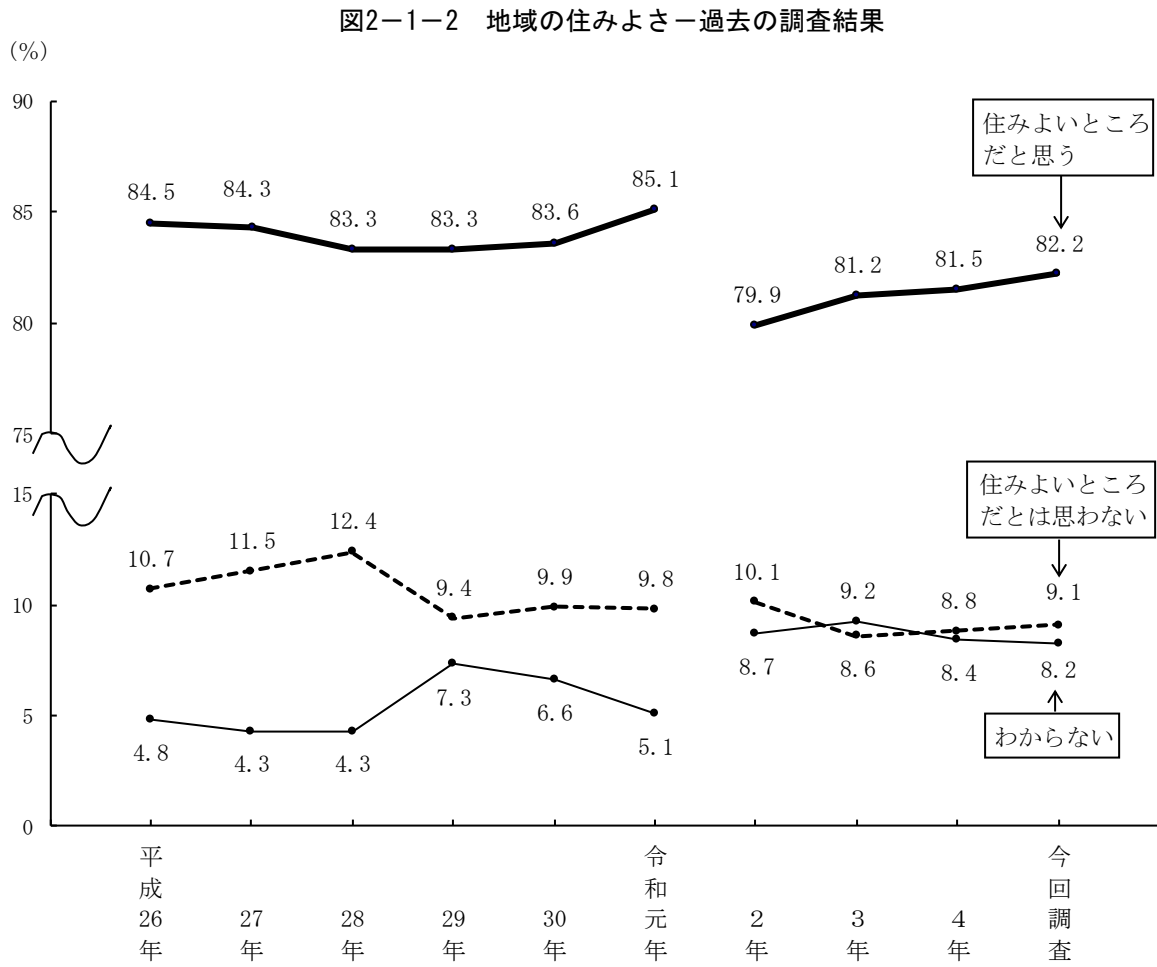
(n=1,784)



今住んでいるところが住みよいところだと思うか聞いたところ、「住みよいところだと思う」は82%、「住みよいところだとは思わない」は9%、「わからない」は8%となっている。(図2-1-1)

地域の住みよさを過去の調査結果と比較すると、昨年と大きな差はみられない。(図2-1-2)

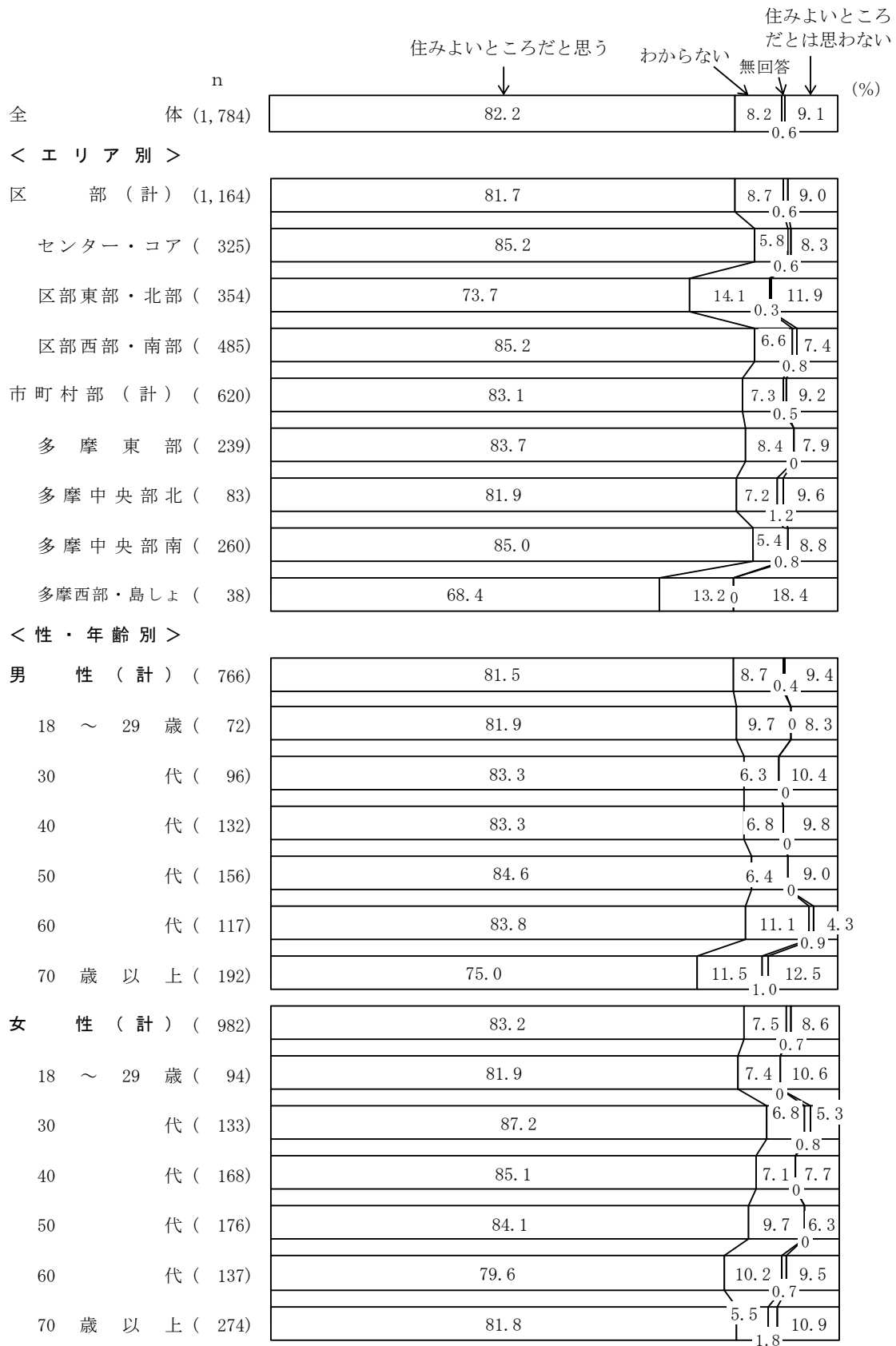
なお、地域の住みよさの平成元年からの調査結果を巻末の付属資料 (P120 図5) に掲載している。



(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法 (インターネット回答併用) で実施したため留意が必要

エリア別にみると、「住みよいところだと思う」はどのエリアもおおむね8割台となっている。
 性・年齢別にみると、特に大きな差はみられない（図2-1-3）

図2-1-3 地域の住みよさ—エリア別、性・年齢別

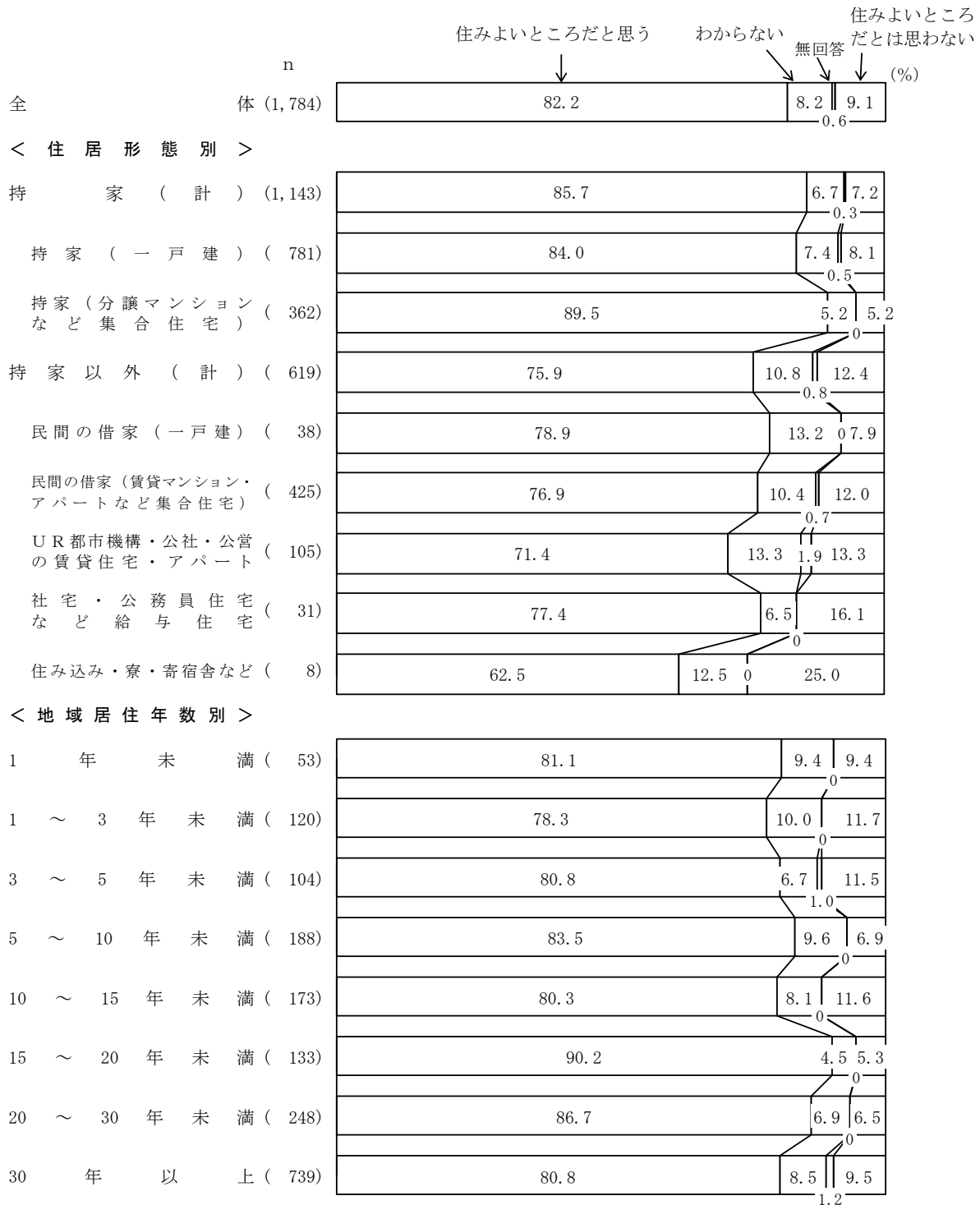


住居形態別にみると、「住みよいところだと思う」は持家（計）で8割半ばと持家以外（計）より10ポイント高く、特に持家（分譲マンションなどの集合住宅）で約9割と多くなっている。

地域居住年数別にみると、「住みよいところだと思う」は15～20年未満で約9割と多くなっている。

(図2-1-4)

図2-1-4 地域の住みよさ－住居形態別、地域居住年数別

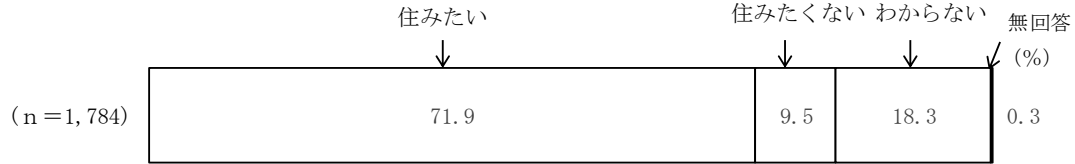


※2-2 地域定住意向

図2-2-1

(全員の方に)

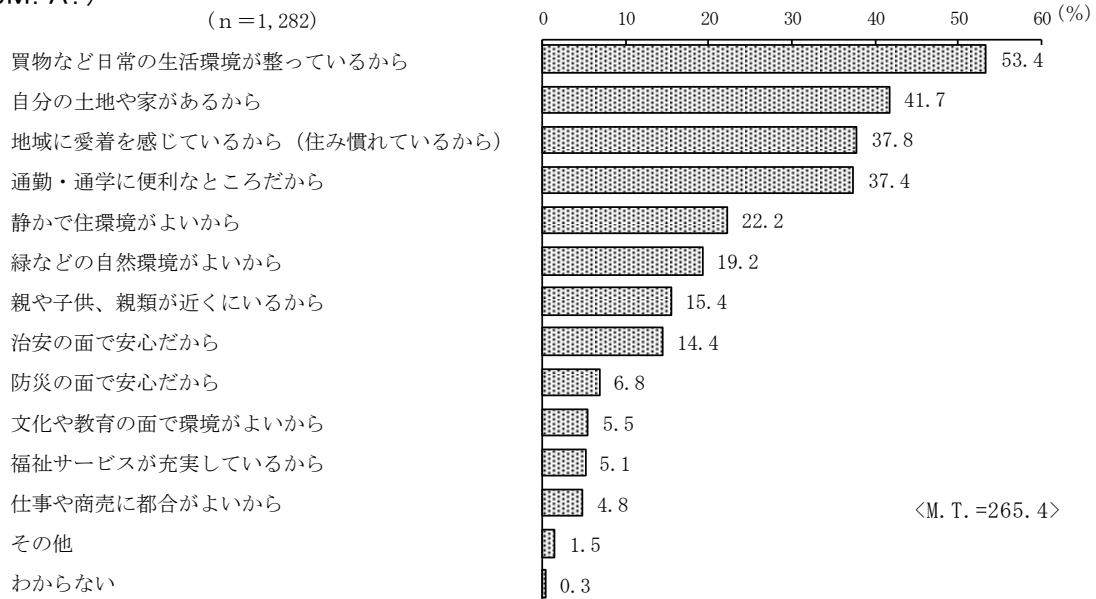
問9 あなたは、今お住まいのこの地域に今後もずっと住みたいと思いますか、それとも、住みたくないと思いますか。あなたの今のお気持ちをお答えください。(○は1つ)



(問9で「1 住みたい」と答えた方に)

問9-1 住みたいと思うのはなぜですか。次の中から3つまでお答えください。(○は3つまで)

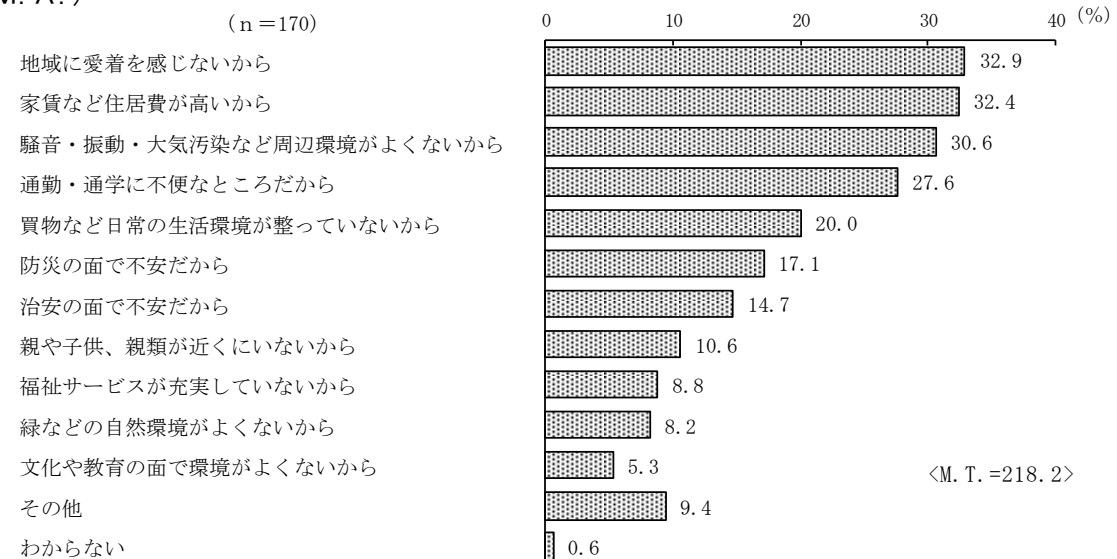
(3M. A.)



(問9で「2 住みたくない」と答えた方に)

問9-2 住みたくないと思うのはなぜですか。次の中から3つまでお答えください。(○は3つまで)

(3M. A.)



今住んでいる地域に今後も住みたいと思うかどうか聞いたところ、「住みたい」は72%、「住みたくない」は10%となっている。

「住みたい」と答えた人（1,282人）に、その理由を聞いたところ、「買物など日常の生活環境が整っているから」が53%と最も多く、次いで「自分の土地や家があるから」42%、「地域に愛着を感じているから（住み慣れているから）」38%などの順となっている。

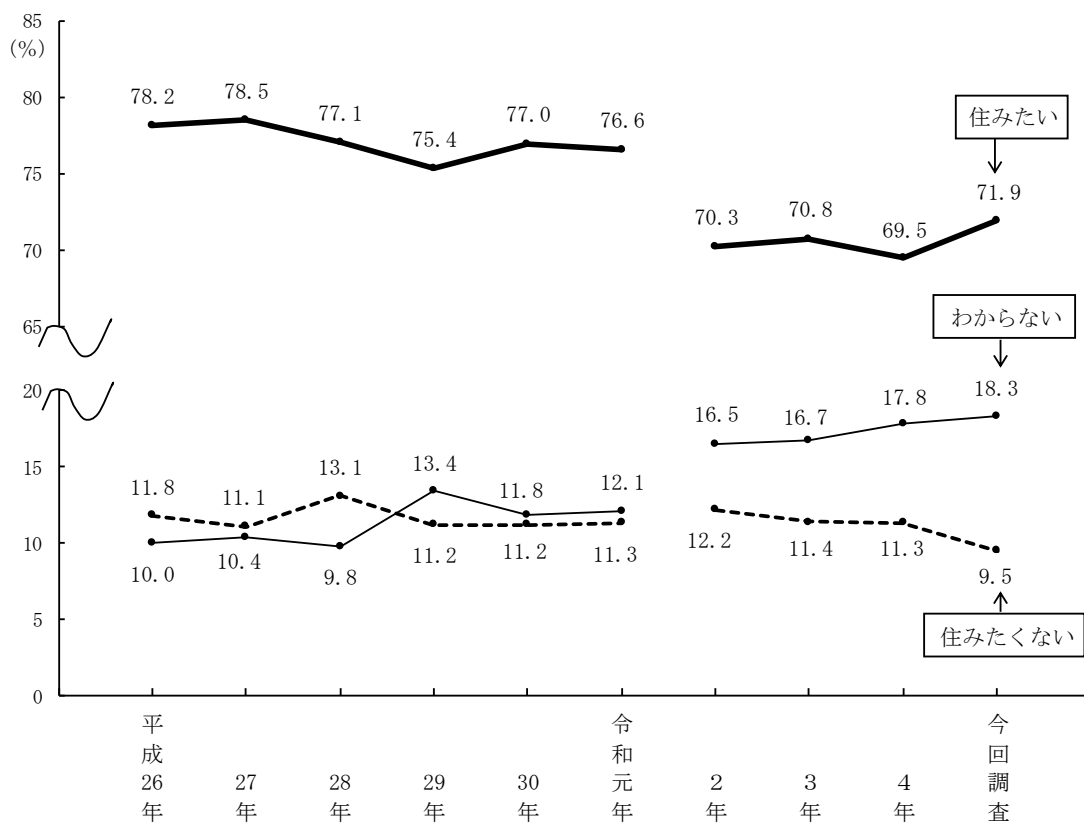
「住みたくない」と答えた人（170人）に、その理由を聞いたところ、「地域に愛着を感じないから」が33%と最も多く、次いで「家賃など住居費が高いから」32%、「騒音・振動・大気汚染など周辺環境がよくないから」31%などの順となっている。（図2-2-1）

地域定住意向を過去の調査結果と比較すると、「住みたい」は昨年より2ポイント増加している。

（図2-2-2）

なお、地域定住意向の平成元年からの調査結果を巻末の付属資料（P121 図6）に掲載している。

図2-2-2 地域定住意向—過去の調査結果



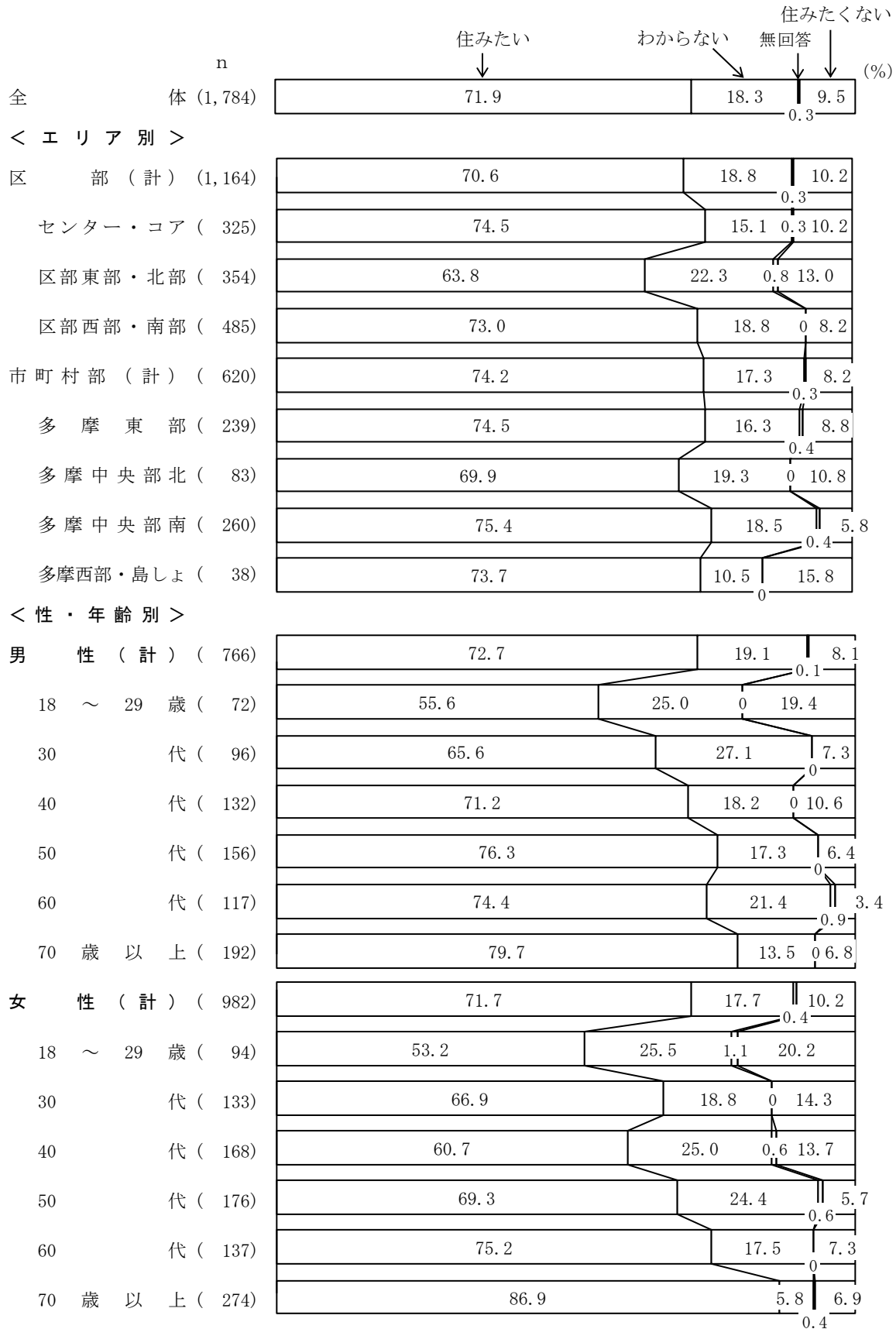
（注）令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

エリア別にみると、「住みたいくない」は区部東部・北部で1割を超えている。

性・年齢別にみると、「住みたい」は女性70歳以上で9割近く、男性70歳以上で約8割と多くなっている。

(図2-2-3)

図2-2-3 地域定住意向－エリア別、性・年齢別

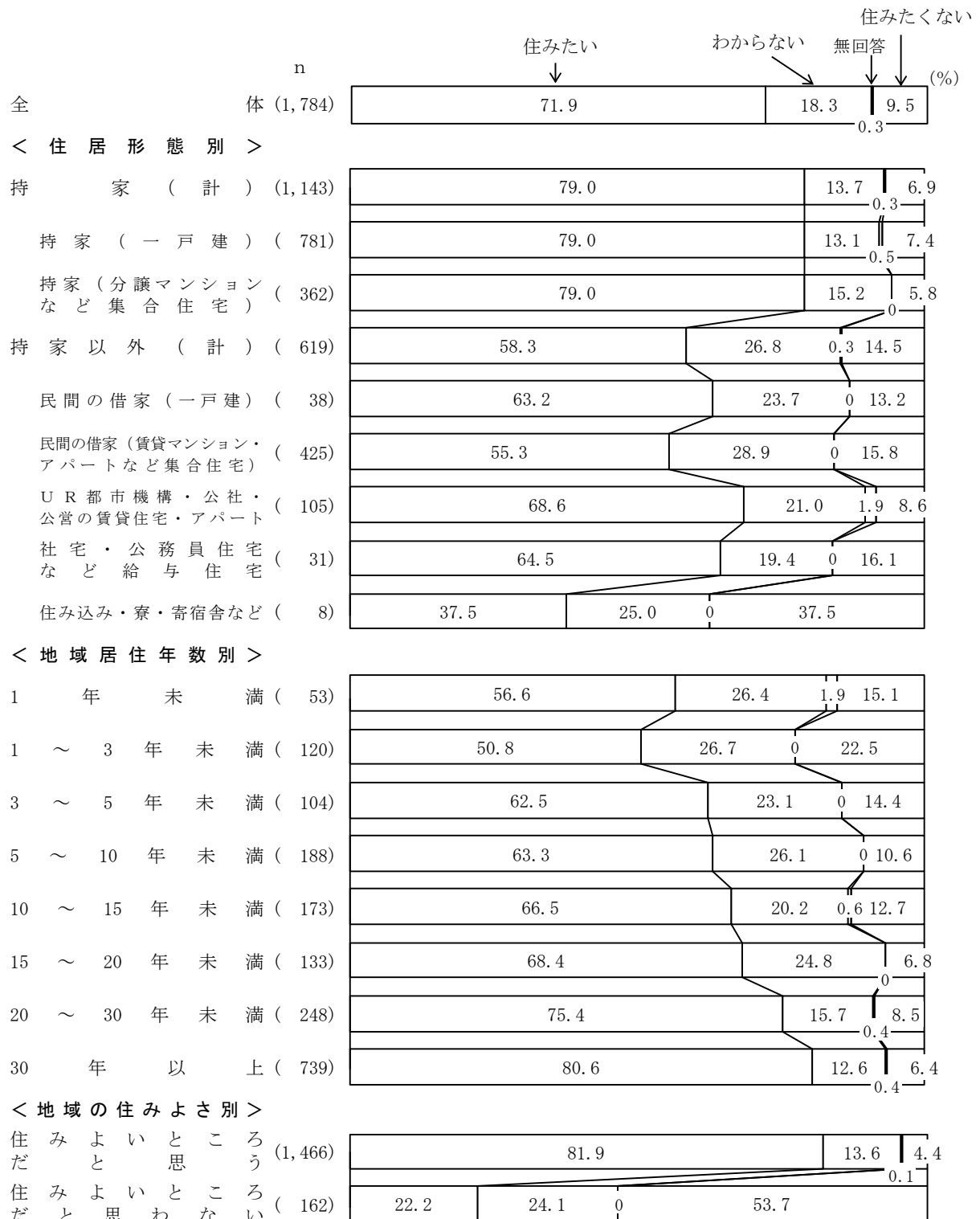


住居形態別にみると、「住みたい」は持家（計）で8割近くと持家以外（計）より21ポイント高くなっている。

地域居住年数別にみると、「住みたい」はおおむね居住年数が増えるほど割合が高く、30年以上で8割を超えて多くなっている。一方、「住みたくない」は1～3年未満で2割を超えている。

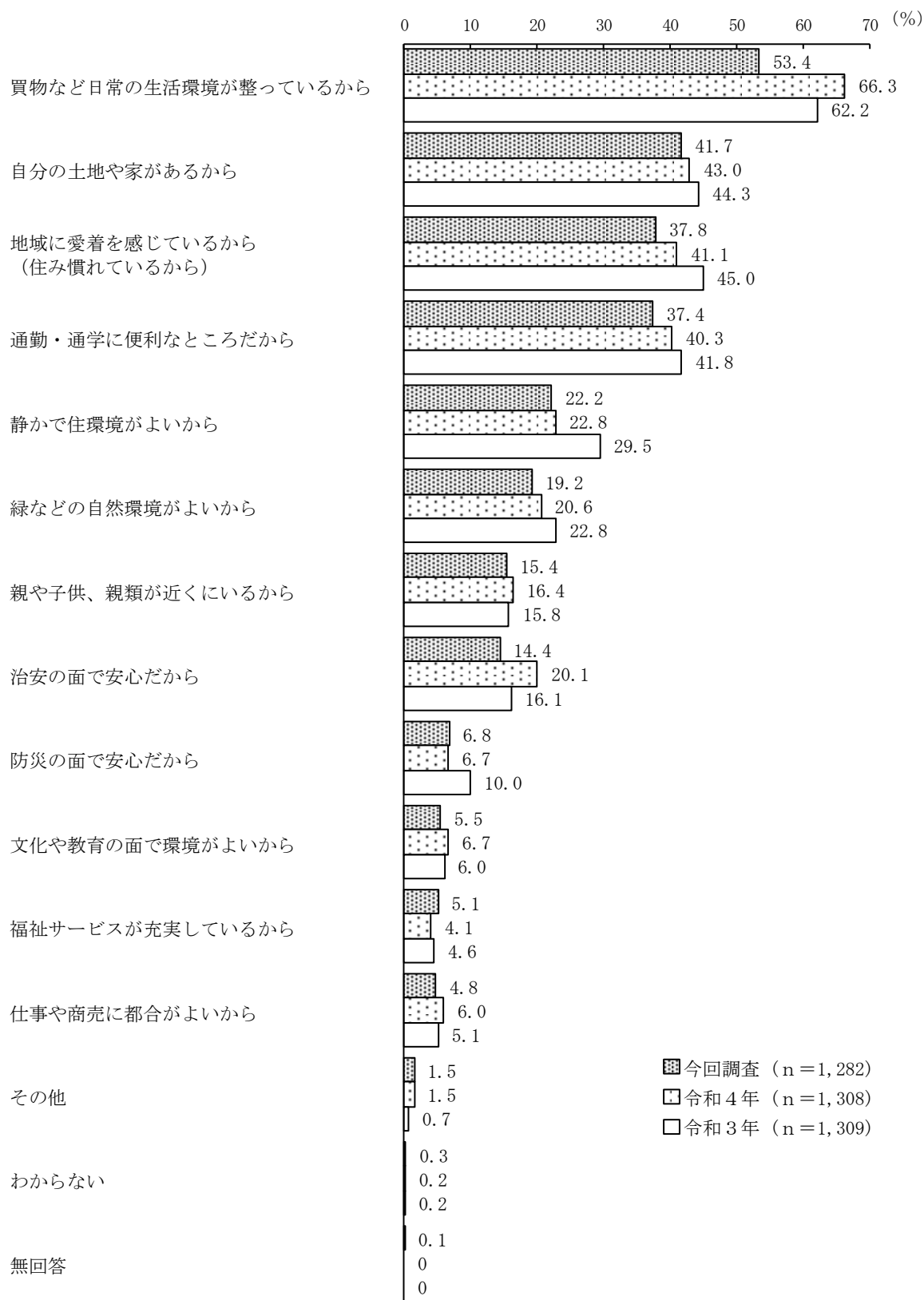
地域の住みよさ（問8 P46）との関係でみると、「住みたい」は住んでいる地域が“住みよいところだと思う”と答えた人で8割を超えて多くなっている。一方、「住みたくない」は“住みよいところだとは思わない”と答えた人で5割半ばと多くなっている。（図2-2-4）

図2-2-4 地域定住意向－住居形態別、地域居住年数別、地域の住みよさ別



居住地域に住みたい理由を過去の調査結果と比較すると、多くの項目で、昨年より割合が低くなっており、特に「買物など日常の生活環境が整っているから」は13ポイント減少している。(図2-2-5)

図2-2-5 居住地域に住みたい理由－過去の調査結果



居住地に住みたい理由をエリア別にみると、「通勤・通学に便利なところだから」は区部（計）で4割を超えており、市町村部（計）より14ポイント高くなっている。一方、「緑などの自然環境がよいから」は市町村部（計）で3割近くと区部（計）より13ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「買物など日常の生活環境が整っているから」は女性60代で6割半ばと多くなっている。「自分の土地や家があるから」は男性70歳以上で6割を超えて多くなっている。「通勤・通学に便利なところだから」は男性18～29歳で7割半ばと多くなっている。（表2-2-1）

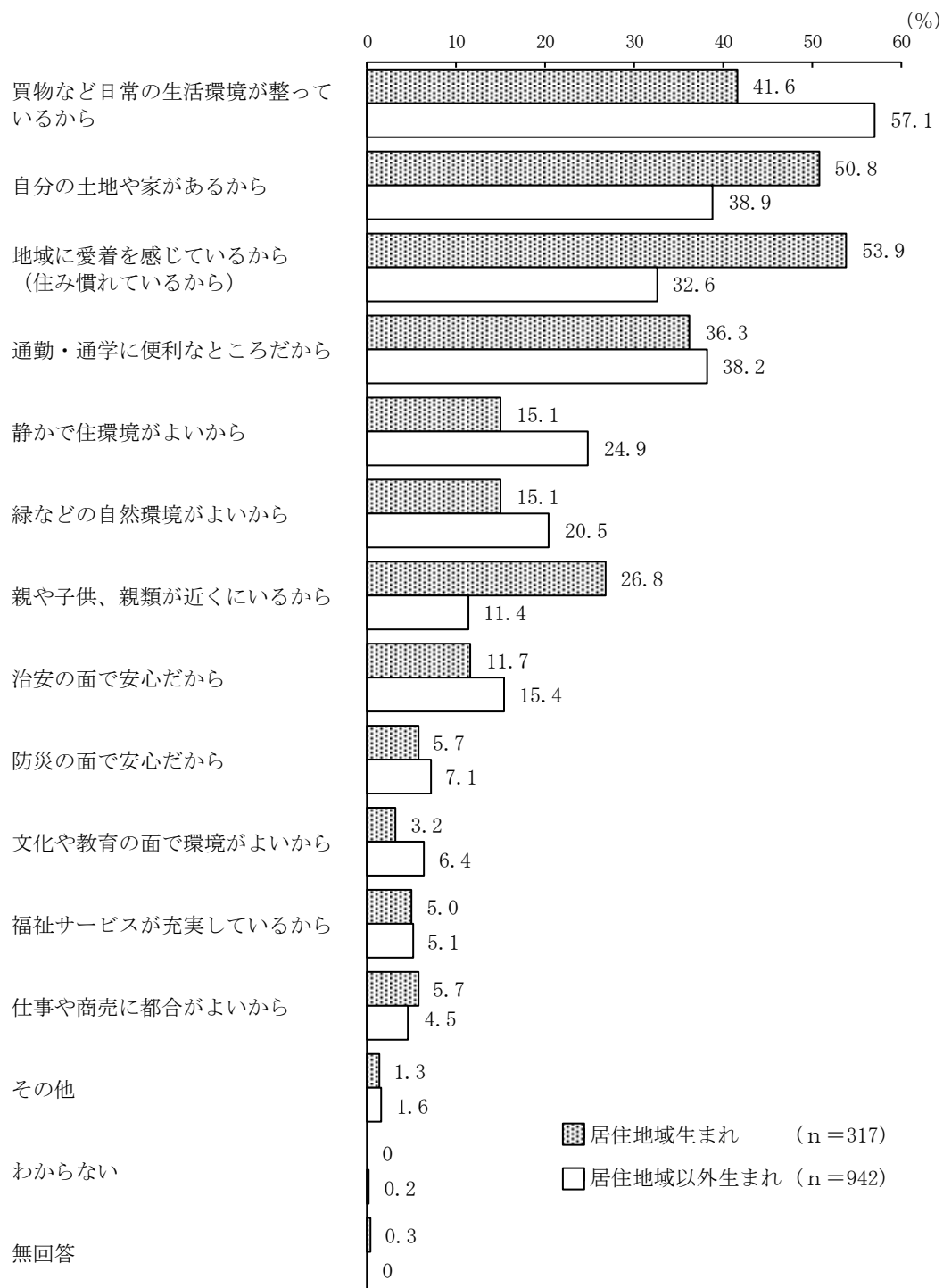
表2-2-1 居住地に住みたい理由－エリア別、性・年齢別

(%)

	n	買物など日常の生活環境が整っているから	自分の土地や家があるから	地域に愛着を感じているから（住み慣れているから）	通勤・通学に便利なところだから	静かで住環境がよいから	緑などの自然環境がよいから	親や子供、親類が近くにいます	治安の面で安心だから	防災の面で安心だから	文化や教育の面で環境がよいから	福祉サービスが充実しているから	仕事や商売に都合がよいから	その他	わからない	無回答
全 体	1,282	53.4	41.7	37.8	37.4	22.2	19.2	15.4	14.4	6.8	5.5	5.1	4.8	1.5	0.3	0.1
< エリア別 >																
区 部（計）	822	56.3	38.1	36.9	42.5	19.0	14.5	14.4	16.5	7.4	5.8	6.0	5.8	1.8	0.4	-
センター・コア	242	52.1	32.2	33.5	51.7	17.8	9.5	12.0	20.2	7.9	12.0	6.6	7.4	1.7	-	-
区部東部・北部	226	52.2	46.0	45.1	34.5	17.7	14.6	21.2	8.0	7.1	1.8	7.1	4.9	1.3	0.9	-
区部西部・南部	354	61.9	37.0	33.9	41.2	20.6	17.8	11.6	19.5	7.3	4.2	4.8	5.4	2.3	0.3	-
市町村部（計）	460	48.3	48.3	39.6	28.3	27.8	27.6	17.2	10.4	5.7	4.8	3.7	3.0	0.9	0.2	0.2
多摩東部	178	49.4	47.2	39.9	28.7	32.0	24.7	16.3	14.0	5.1	5.1	4.5	1.7	0.6	-	-
多摩中央部北	58	53.4	46.6	34.5	27.6	15.5	22.4	20.7	6.9	3.4	3.4	1.7	6.9	1.7	1.7	-
多摩中央部南	196	50.5	44.9	39.3	31.1	27.0	29.1	16.3	8.7	7.7	5.6	3.1	3.6	1.0	-	0.5
多摩西部・島しょ	28	14.3	82.1	50.0	7.1	32.1	46.4	21.4	7.1	-	-	7.1	-	-	-	-
< 性・年齢別 >																
男 性（計）	557	52.1	43.4	35.4	44.5	24.8	17.2	12.6	11.8	7.4	5.9	4.5	5.4	1.3	0.2	-
18～29歳	40	37.5	27.5	37.5	75.0	22.5	10.0	7.5	15.0	2.5	-	2.5	-	-	-	-
30代	63	57.1	15.9	41.3	66.7	33.3	15.9	4.8	12.7	6.3	7.9	4.8	12.7	-	-	-
40代	94	48.9	38.3	27.7	58.5	23.4	20.2	11.7	6.4	8.5	7.4	5.3	6.4	3.2	-	-
50代	119	57.1	35.3	37.0	55.5	20.2	13.4	14.3	12.6	4.2	8.4	3.4	7.6	1.7	-	-
60代	87	51.7	56.3	32.2	37.9	23.0	18.4	12.6	10.3	10.3	4.6	4.6	4.6	2.3	-	-
70歳以上	153	52.3	61.4	37.3	14.4	27.5	20.3	15.7	14.4	9.2	4.6	5.2	2.0	-	0.7	-
女 性（計）	704	54.3	40.8	39.6	32.2	20.0	20.6	17.5	16.8	6.4	5.1	5.7	4.4	1.7	0.4	0.1
18～29歳	50	48.0	20.0	38.0	48.0	20.0	14.0	30.0	18.0	-	8.0	-	2.0	4.0	-	2.0
30代	89	55.1	25.8	34.8	50.6	19.1	16.9	12.4	23.6	3.4	14.6	11.2	3.4	-	-	-
40代	102	56.9	29.4	36.3	55.9	11.8	19.6	20.6	16.7	5.9	5.9	2.9	1.0	2.9	-	-
50代	122	54.9	34.4	36.9	43.4	18.9	18.9	18.9	17.2	4.9	4.9	4.1	10.7	0.8	0.8	-
60代	103	64.1	51.5	44.7	19.4	17.5	19.4	14.6	14.6	5.8	1.9	6.8	5.8	1.9	-	-
70歳以上	238	49.6	54.2	42.4	11.8	25.6	25.2	16.0	14.7	10.1	2.1	6.3	2.9	1.7	0.8	-

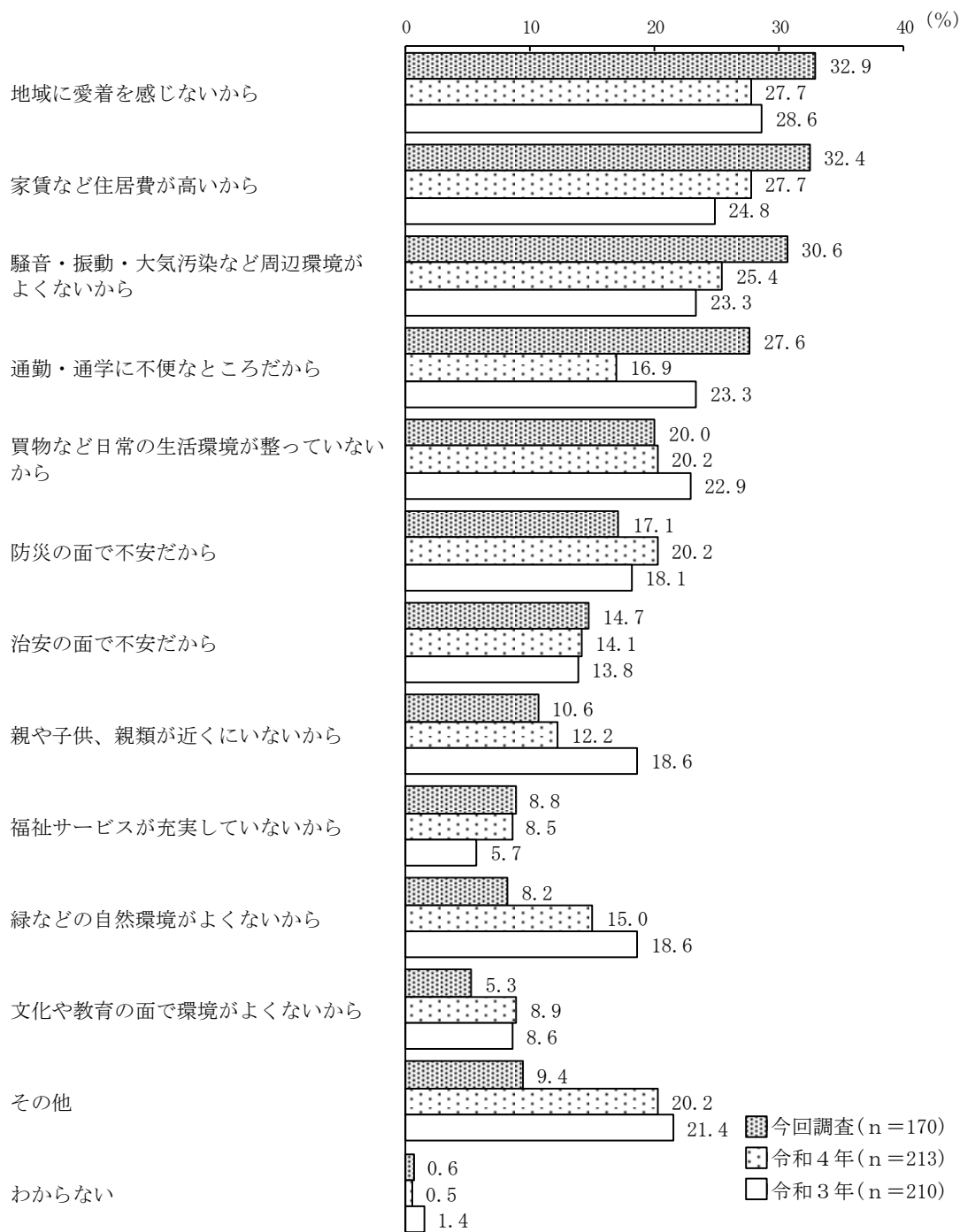
地域生まれか否か別にみると、居住地域生まれの人は居住地域以外生まれの人よりも「地域に愛着を感じているから（住み慣れているから）」が21ポイント高くなっている。一方、居住地域以外生まれの人は居住地域生まれの人よりも「買物など日常の生活環境が整っているから」が16ポイント高くなっている。（図2-2-6）

図2-2-6 居住地域に住みたい理由—地域生まれか否か別



居住地域に住みたくない理由を過去の調査結果と比較すると、「緑などの自然環境がよくないから」は昨年より7ポイント減少している。一方、「通勤・通学に不便なところだから」は昨年より11ポイント増加している。(図2-2-7)

図2-2-7 居住地域に住みたくない理由—過去の調査結果



エリア別にみると、「通勤・通学に不便なところだから」は多摩中央部北で5割半ばと多くなっている。
 性別にみると、「買物など日常の生活環境が整っていないから」は女性で2割半ばと男性より11ポイント高くなっている。
 年齢別にみると、「家賃など住居費が高いから」は30代、50代で4割台と多くなっている。(表2-2-2)

表2-2-2 居住地域に住みたくない理由－エリア別、性別、年齢別

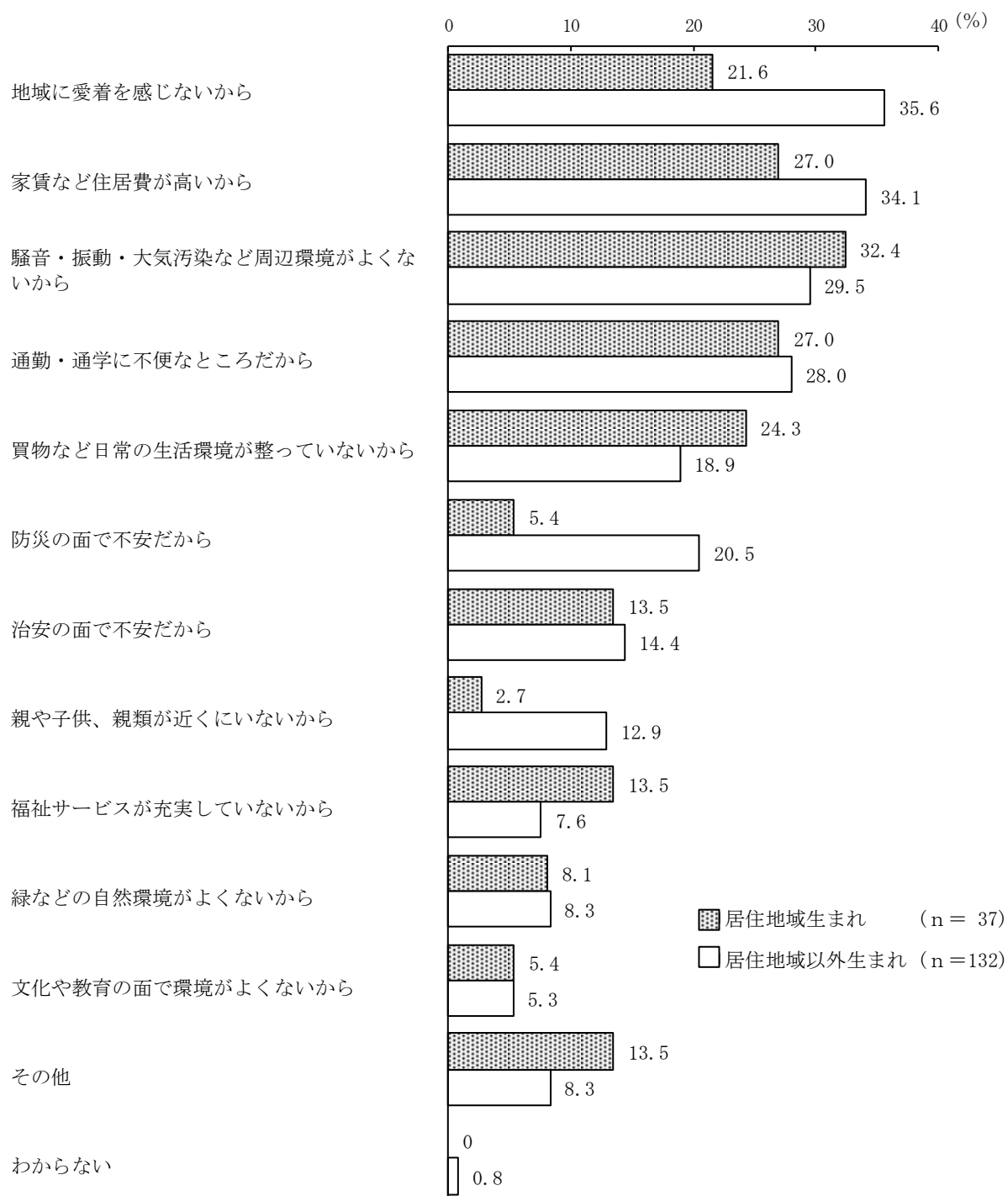
(%)

	n	地域に愛着を感じないから	家賃など住居費が高いから	周辺環境がよくないから 騒音・振動・大気汚染など	通勤・通学に不便なところ だから	買物など日常の生活環境が 整っていないから	防災の面で不安だから	治安の面で不安だから	親や子供、親類が近くに いないから	福祉サービスが充実して いないから	緑などの自然環境がよく ないから	文化や教育の面で環境が よくないから	その他	わからない
全 体	170	32.9	32.4	30.6	27.6	20.0	17.1	14.7	10.6	8.8	8.2	5.3	9.4	0.6
< エリア別 >														
区 部 (計)	119	31.1	39.5	32.8	21.8	21.0	21.8	16.8	10.9	7.6	10.1	4.2	6.7	0.8
センター・コア	33	15.2	60.6	36.4	6.1	24.2	24.2	24.2	12.1	9.1	15.2	-	3.0	-
区部東部・北部	46	39.1	17.4	30.4	34.8	19.6	30.4	19.6	10.9	6.5	6.5	6.5	6.5	-
区部西部・南部	40	35.0	47.5	32.5	20.0	20.0	10.0	7.5	10.0	7.5	10.0	5.0	10.0	2.5
市町村部 (計)	51	37.3	15.7	25.5	41.2	17.6	5.9	9.8	9.8	11.8	3.9	7.8	15.7	-
多 摩 東 部	21	38.1	19.0	38.1	42.9	14.3	9.5	4.8	14.3	4.8	9.5	4.8	14.3	-
多摩中央部北	9	44.4	11.1	22.2	55.6	-	-	-	11.1	33.3	-	33.3	-	-
多摩中央部南	15	40.0	13.3	20.0	33.3	6.7	-	26.7	6.7	6.7	-	-	20.0	-
多摩西部・島しょ	6	16.7	16.7	-	33.3	83.3	16.7	-	-	16.7	-	-	33.3	-
< 性 別 >														
男 性	62	30.6	33.9	29.0	33.9	12.9	17.7	16.1	8.1	16.1	9.7	6.5	9.7	1.6
女 性	100	33.0	30.0	33.0	23.0	24.0	18.0	14.0	13.0	5.0	7.0	4.0	8.0	-
< 年 齢 別 >														
18 ～ 29 歳	33	33.3	36.4	18.2	42.4	6.1	12.1	6.1	12.1	6.1	3.0	6.1	6.1	3.0
30 代	30	23.3	43.3	33.3	20.0	23.3	16.7	23.3	6.7	6.7	6.7	3.3	6.7	-
40 代	39	35.9	33.3	20.5	28.2	17.9	12.8	17.9	20.5	10.3	10.3	10.3	12.8	-
50 代	22	31.8	45.5	36.4	31.8	13.6	18.2	4.5	9.1	9.1	-	4.5	18.2	-
60 代	14	14.3	7.1	35.7	35.7	35.7	21.4	14.3	14.3	-	7.1	-	14.3	-
70 歳 以 上	32	46.9	18.8	46.9	12.5	31.3	25.0	18.8	-	15.6	18.8	3.1	3.1	-

地域生まれか否か別にみると、居住地以外生まれの人で居住地生まれの人よりも「防災の面で不安だから」は15ポイント、「地域に愛着を感じないから」は14ポイント、それぞれ高くなっている。

(図2-2-8)

図2-2-8 居住地に住みたくない理由—地域生まれか否か別



3 東京

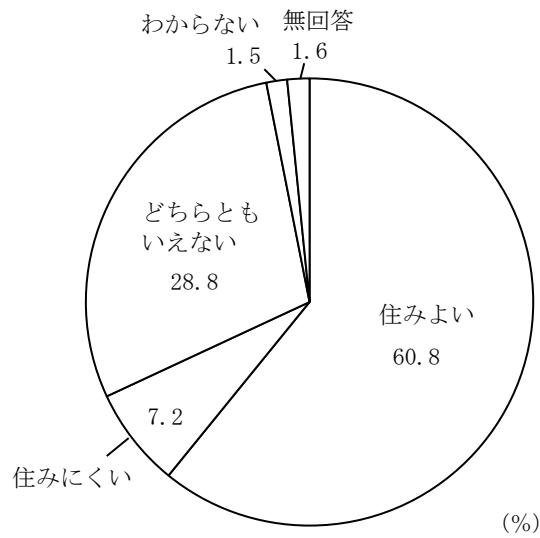
※3-1 東京の住みよさ

図3-1-1

(全員の方に)

問10 あなたにとって東京は、一般的にみて住みよいところですか、それとも、住みにくいところですか。(○は1つ)

(n=1,784)



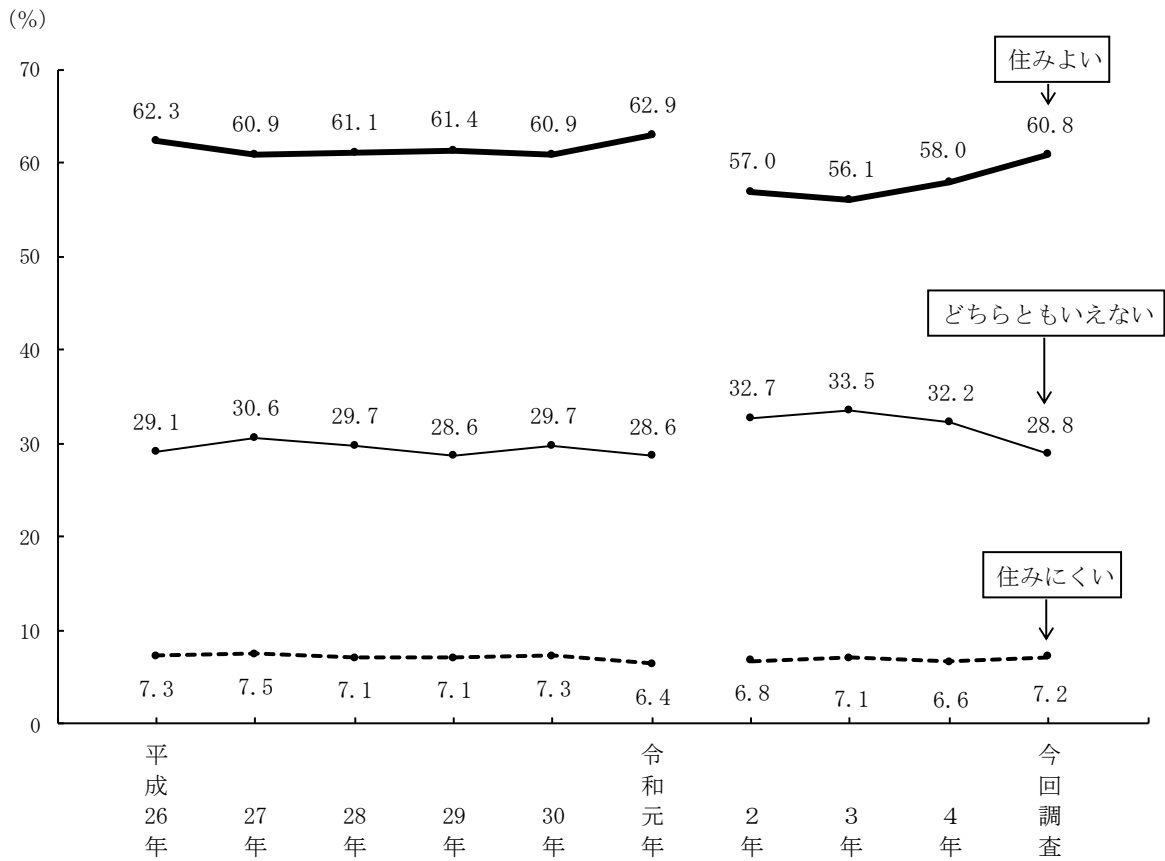
東京は一般的にみて住みよいところだと思うか聞いたところ、「住みよい」は61%、「住みにくい」は7%、「どちらともいえない」は29%となっている。(図3-1-1)

東京の住みよさを過去の調査結果と比較すると、「住みよい」は昨年より3ポイント増加している。

(図3-1-2)

なお、東京の住みよさの平成元年からの調査結果を巻末の付属資料（P122 図7）に掲載している。

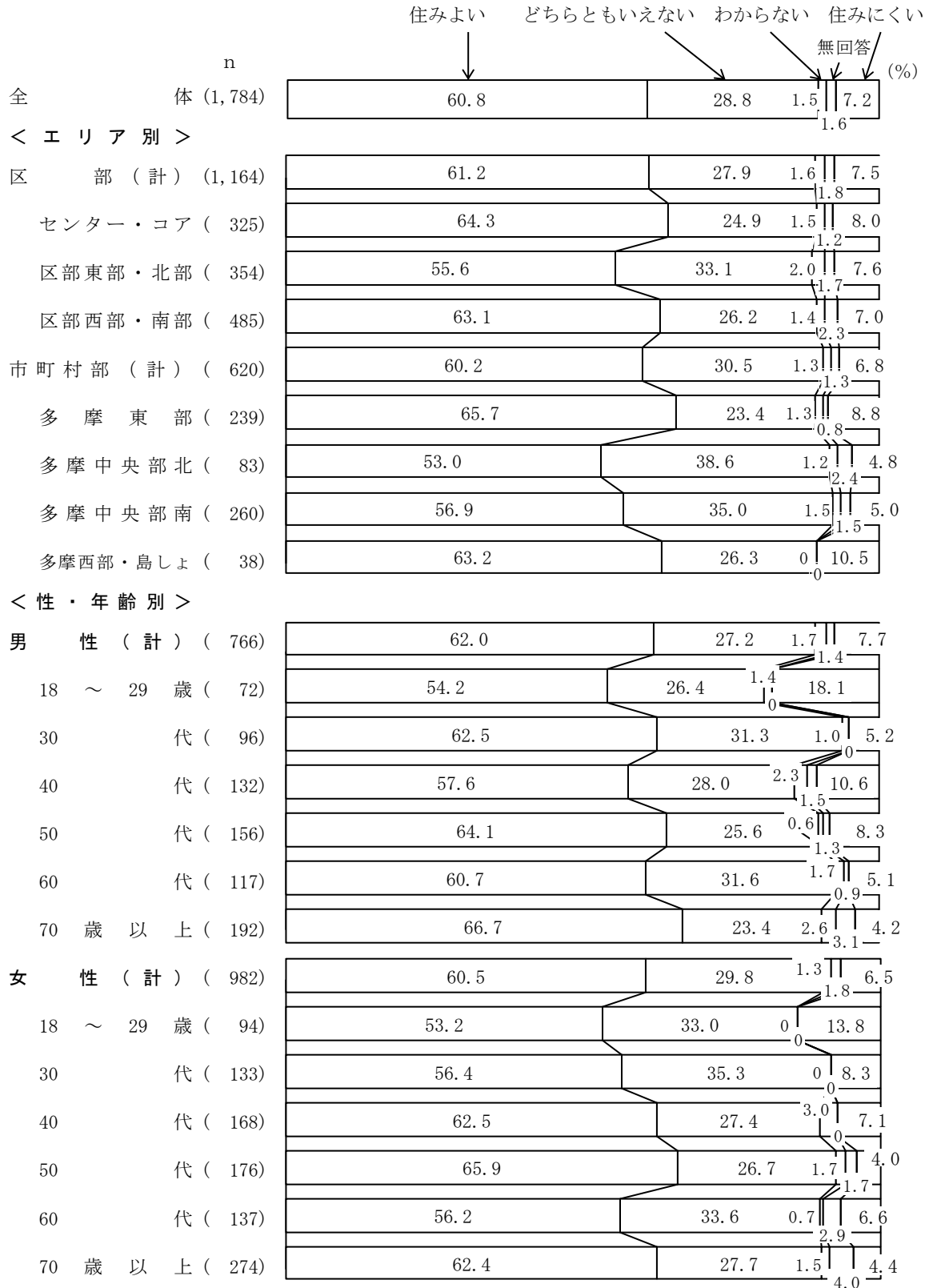
図3-1-2 東京の住みよさー過去の調査結果



(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

エリア別にみると、「住みよい」は多摩東部、センターコアで6割半ばと多くなっている。
 性・年齢別にみると、「住みにくい」は男性18～29歳で2割近くと多くなっている。(図3-1-3)

図3-1-3 東京の住みよさ—エリア別、性・年齢別

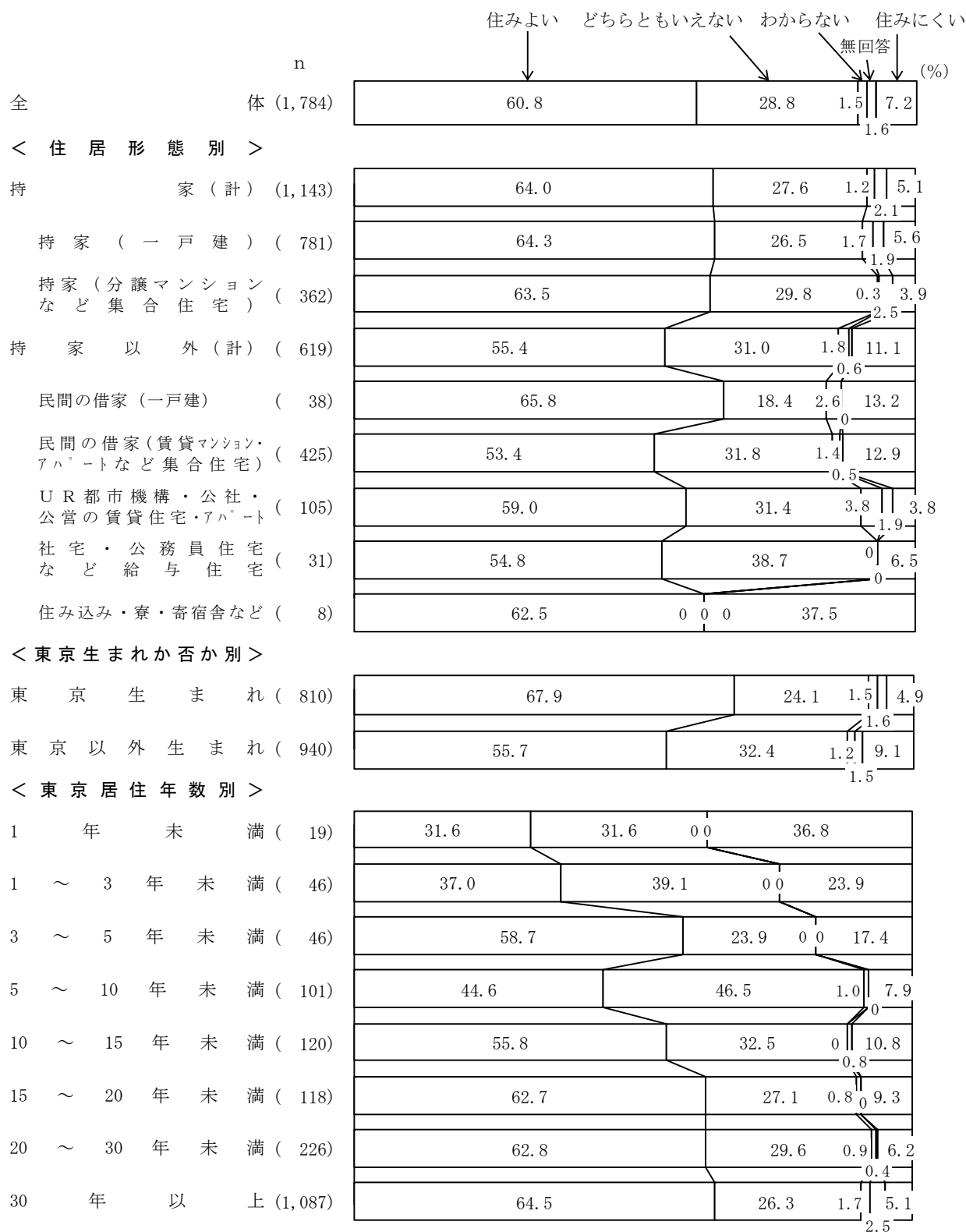


住居形態別にみると、「住みよい」は持家（計）で6割半ばと持家以外（計）より9ポイント高くなっている。

東京生まれか否か別にみると、「住みよい」は東京生まれの人で7割近くと東京以外生まれの人より12ポイント高くなっている。

東京居住年数別にみると、「住みよい」は15年以上で6割台と多くなっている。（図3-1-4）

図3-1-4 東京の住みよさー住居形態別、東京生まれか否か別、東京居住年数別



東京の住みよさと地域の住みよさ（問8 P46）を組み合わせると、「東京も地域も住みよい」55%、「地域は住みよいが東京は住みにくい」4%、「東京は住みよいが、地域は住みよいところだとは思わない」3%、「東京も地域も住みよいとは思わない」2%となっている。（表3-1-1）

表3-1-1 東京と地域の住みよさ

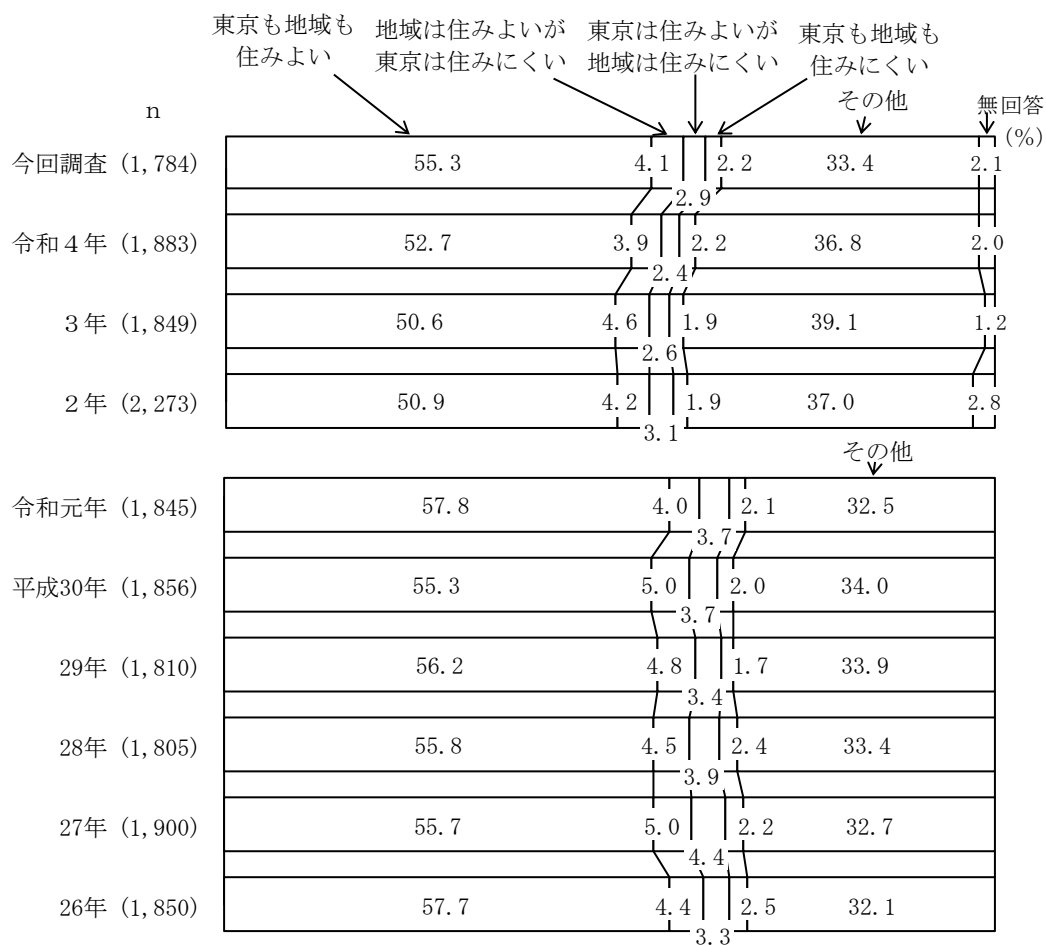
(n=1,784)

(%)

東京の住みよさ 地域の住みよさ	住みよい	住みにくい	どちらともいえない わからない	無回答
住みよいところだと思う	55.3	4.1	21.6	1.1
住みよいところだとは思わない	2.9	2.2	3.9	0.1
わからない	2.4	0.8	4.6	0.3
無回答	0.2	0.1	0.2	0.1

東京の住みよさと地域の住みよさの組み合わせを過去と比較すると、「東京も地域も住みよい」が昨年より3ポイント増加している。（図3-1-5）

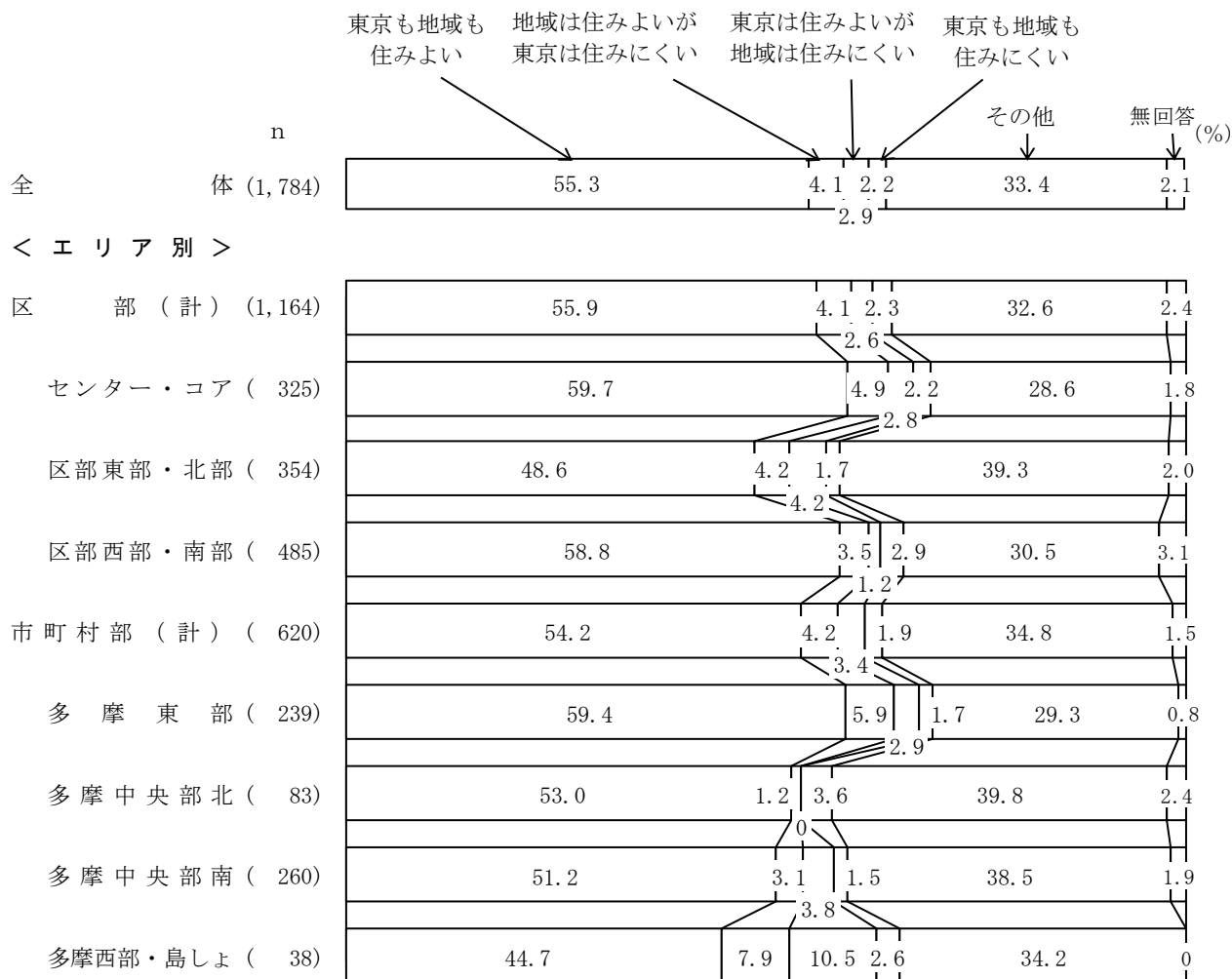
図3-1-5 東京と地域の住みよさー過去の調査結果



(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

エリア別にみると、「東京も地域も住みよい」はセンターコア、区部西部・南部、多摩東部で6割近くと多くなっている。(図3-1-6)

図3-1-6 東京と地域の住みよさ－エリア別

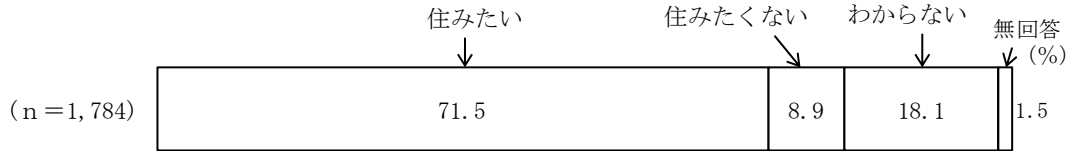


※3-2 東京定住意向

図3-2-1

(全員の方に)

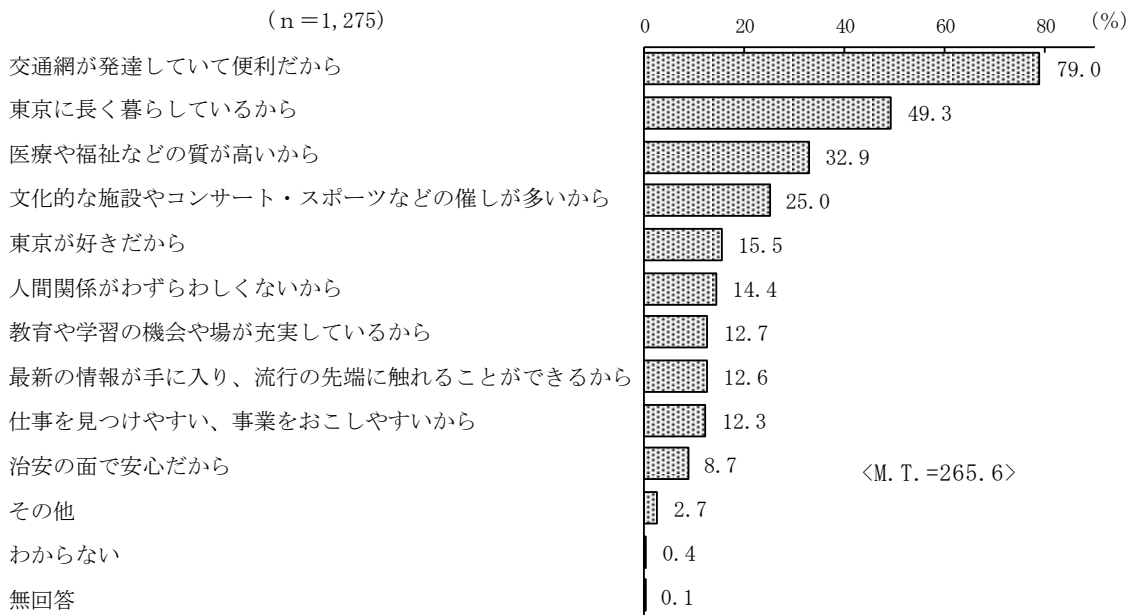
問11 あなたは、東京に今後もずっと住みたいと思いますか、それとも、住みたくないと思いますか。あなたの今のお気持ちをお答えください。(○は1つ)



(問11で「1 住みたい」と答えた方に)

問11-1 住みたいと思うのはなぜですか。次の中から3つまでお答えください。(○は3つまで)

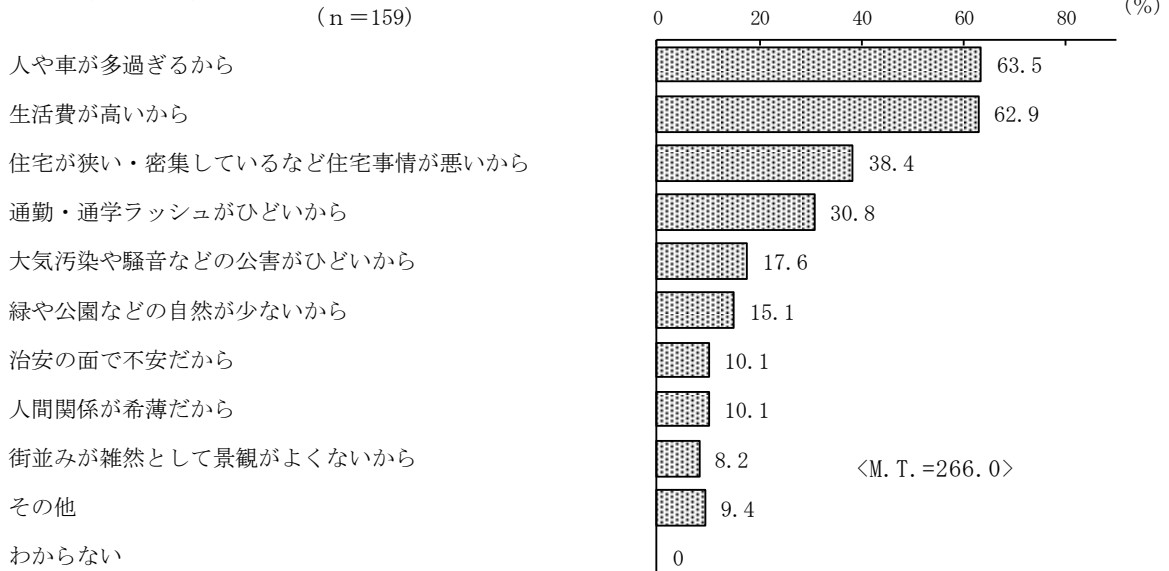
(3M. A.)



(問11で「2 住みたくない」と答えた方に)

問11-2 住みたくないと思うのはなぜですか。次の中から3つまでお答えください。(○は3つまで)

(3M. A.)



東京に今後もずっと住みたいと思うか聞いたところ、「住みたい」は72%、「住みたくない」は9%となっている。

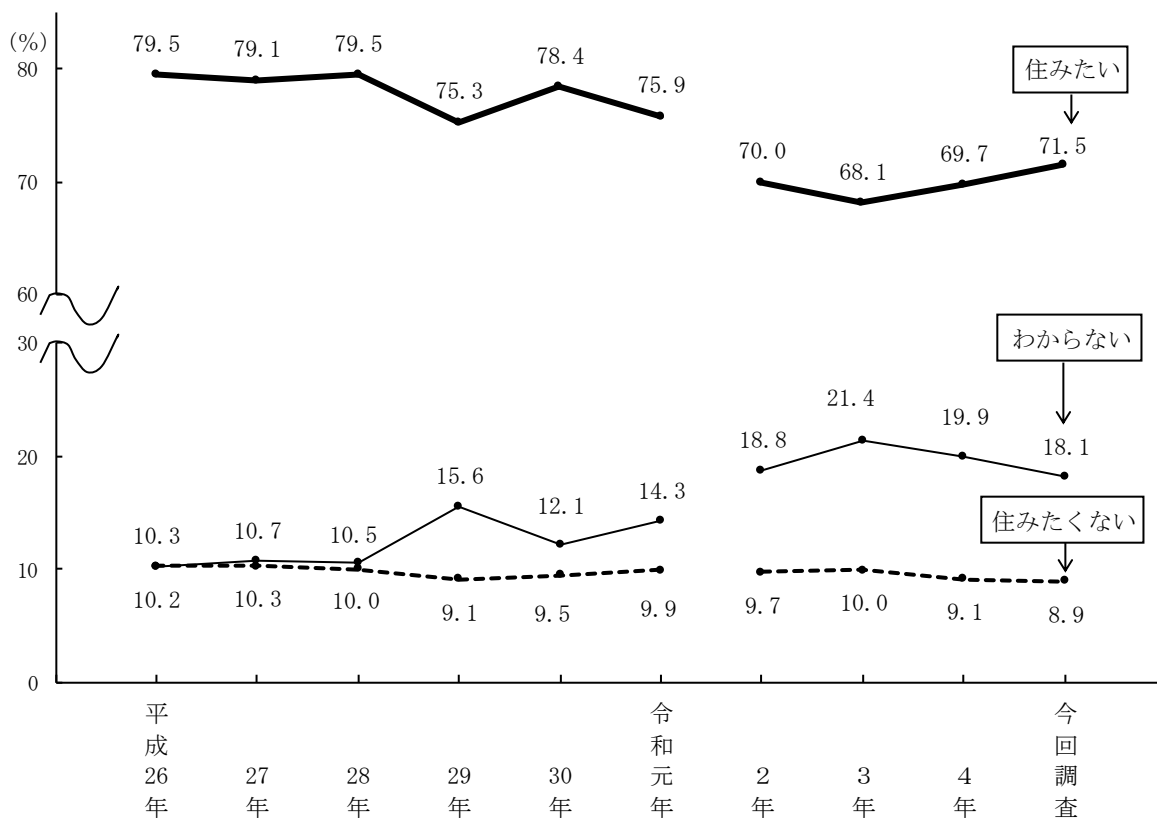
「住みたい」と答えた人(1,275人)にその理由を聞いたところ、「交通網が発達していて便利だから」が79%と最も多く、次いで「東京に長く暮らしているから」49%、「医療や福祉などの質が高いから」33%、「文化的な施設やコンサート・スポーツなどの催しが多いから」25%などの順となっている。

「住みたくない」と答えた人(159人)にその理由を聞いたところ、「人や車が多過ぎるから」が64%と最も多く、次いで「生活費が高いから」63%、「住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから」38%、「通勤・通学ラッシュがひどいから」31%などの順となっている。(図3-2-1)

東京定住意向を過去の調査結果と比較すると、「住みたい」は昨年より2ポイント増加している。
(図3-2-2)

なお、東京定住意向の平成元年からの調査結果を巻末の付属資料(P123 図8)に掲載している。

図3-2-2 東京定住意向—過去の調査結果



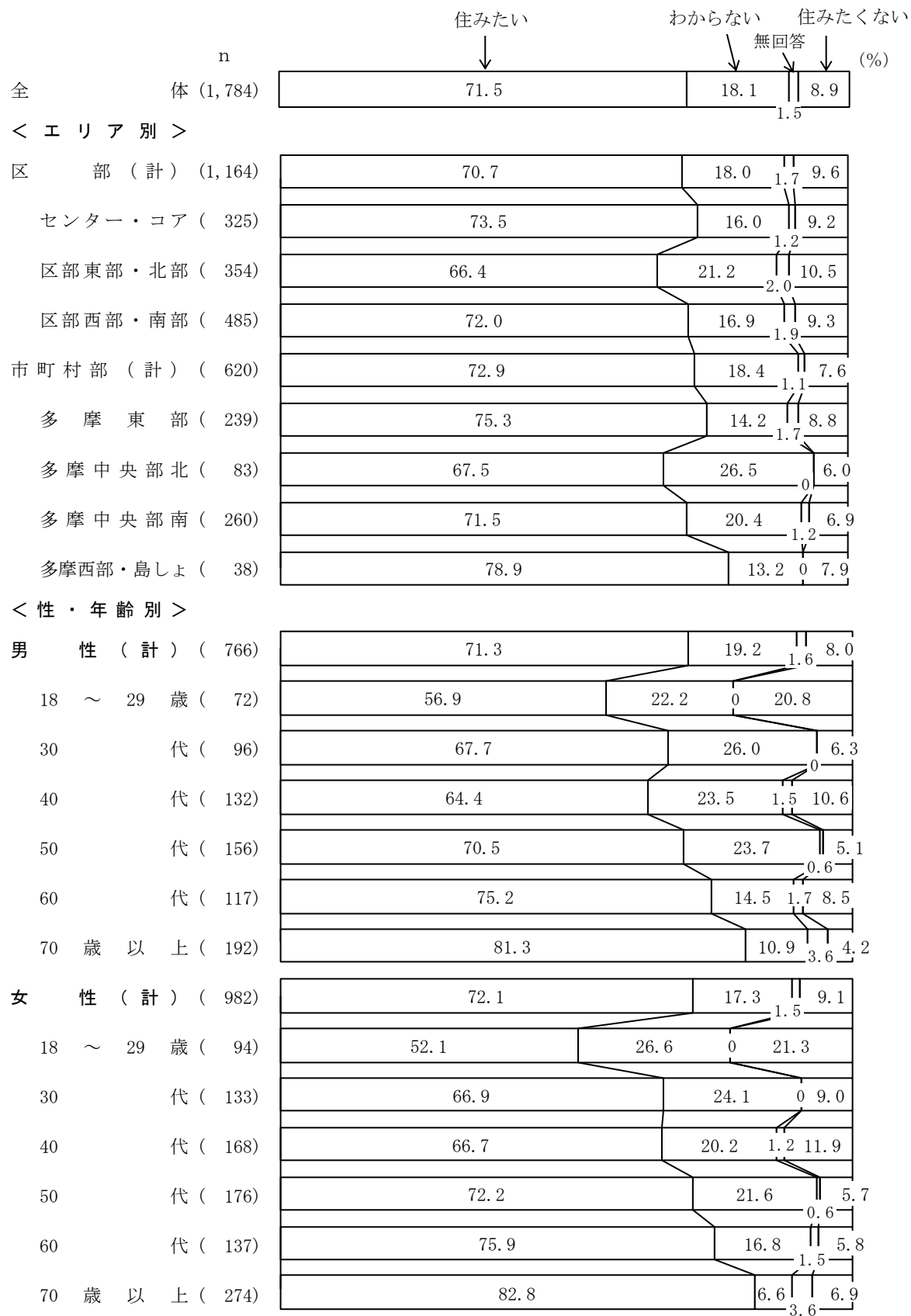
(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

エリア別にみると、特に大きな差はみられない。

性・年齢別にみると、「住みたい」は男女とも70歳以上で8割を超えて多くなっている。

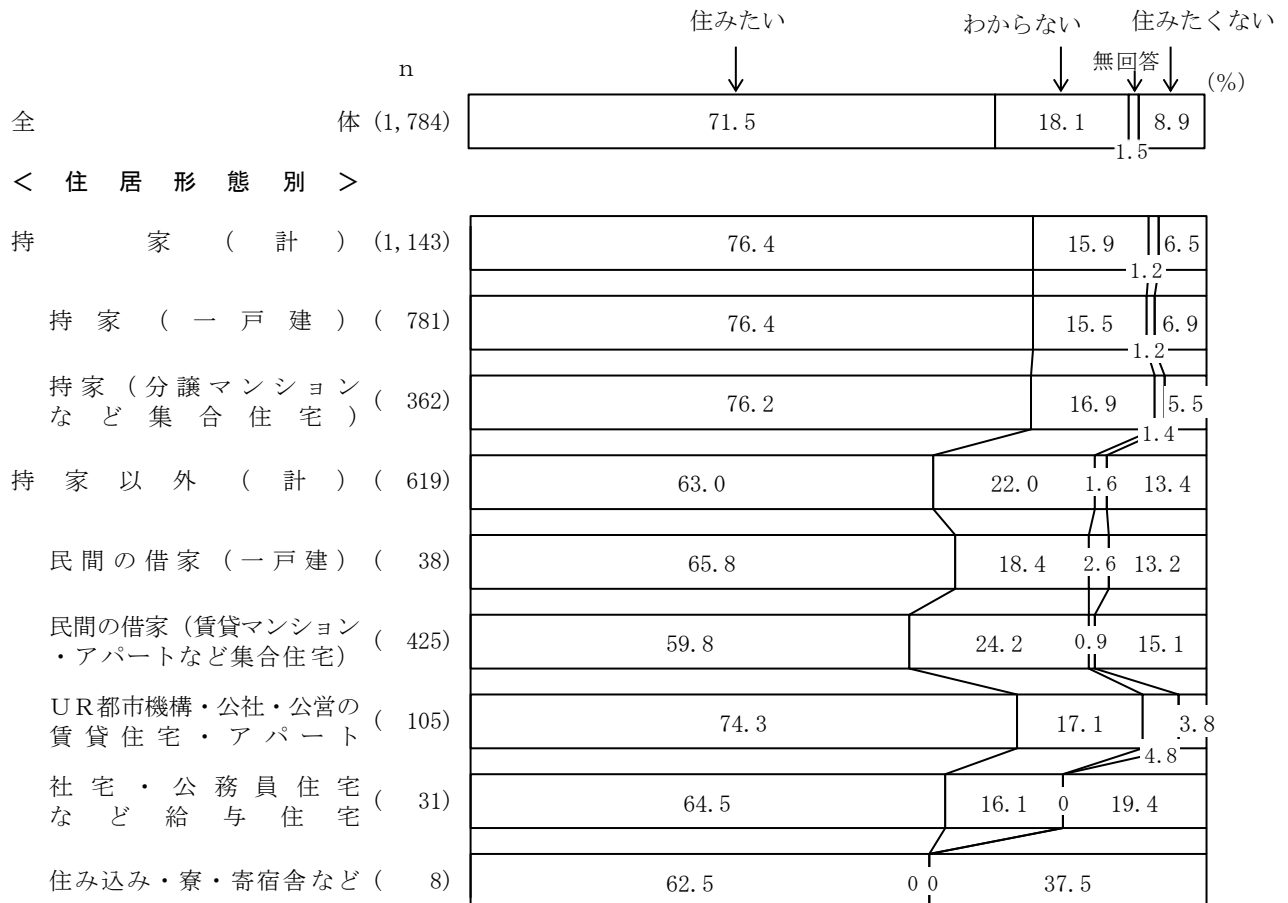
(図3-2-3)

図3-2-3 東京定住意向－エリア別、性・年齢別



住居形態別にみると、「住みたい」は持家（計）で7割半ばと持家以外（計）より13ポイント高くなっている。一方、「住みたくない」は持家以外（計）で1割を超えている。（図3-2-4）

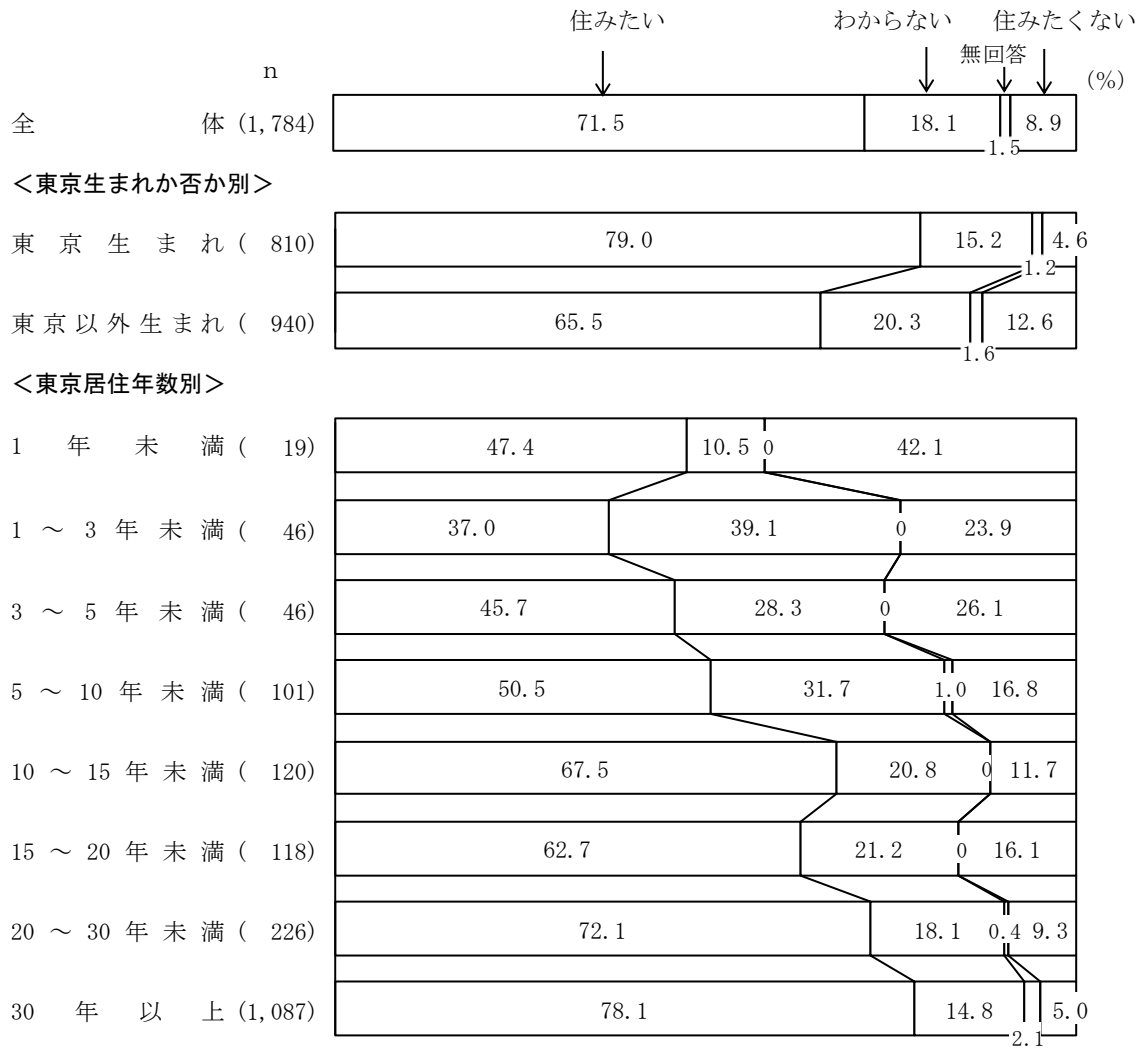
図3-2-4 東京定住意向－住居形態別



東京生まれか否か別にみると、「住みたい」は東京生まれの人で8割近くと東京以外生まれの人より14ポイント高くなっている。

東京居住年数別にみると、「住みたい」はおおむね年数が長いほど増加する傾向があり、30年以上で8割近くと多くなっている。(図3-2-5)

図3-2-5 東京定住意向－東京生まれか否か別、東京居住年数別



地域定住意向（問9 P50）別との関係で見ると、住んでいる地域に“住みたい”と答えた人で東京に「住みたい」と思っている人は8割半ばと多くなっている。一方、地域に“住みたくない”と答えた人で東京にも「住みたくない」と思っている人は4割を超えている。

東京の住みよさ（問10 P60）別との関係で見ると、東京は“住みよい”と答えた人で東京に「住みたい」と思っている人は9割を超えて多くなっている。一方、東京は“住みにくい”と答えた人で東京に「住みたくない」と思っている人は6割近くと多くなっている。（図3-2-6）

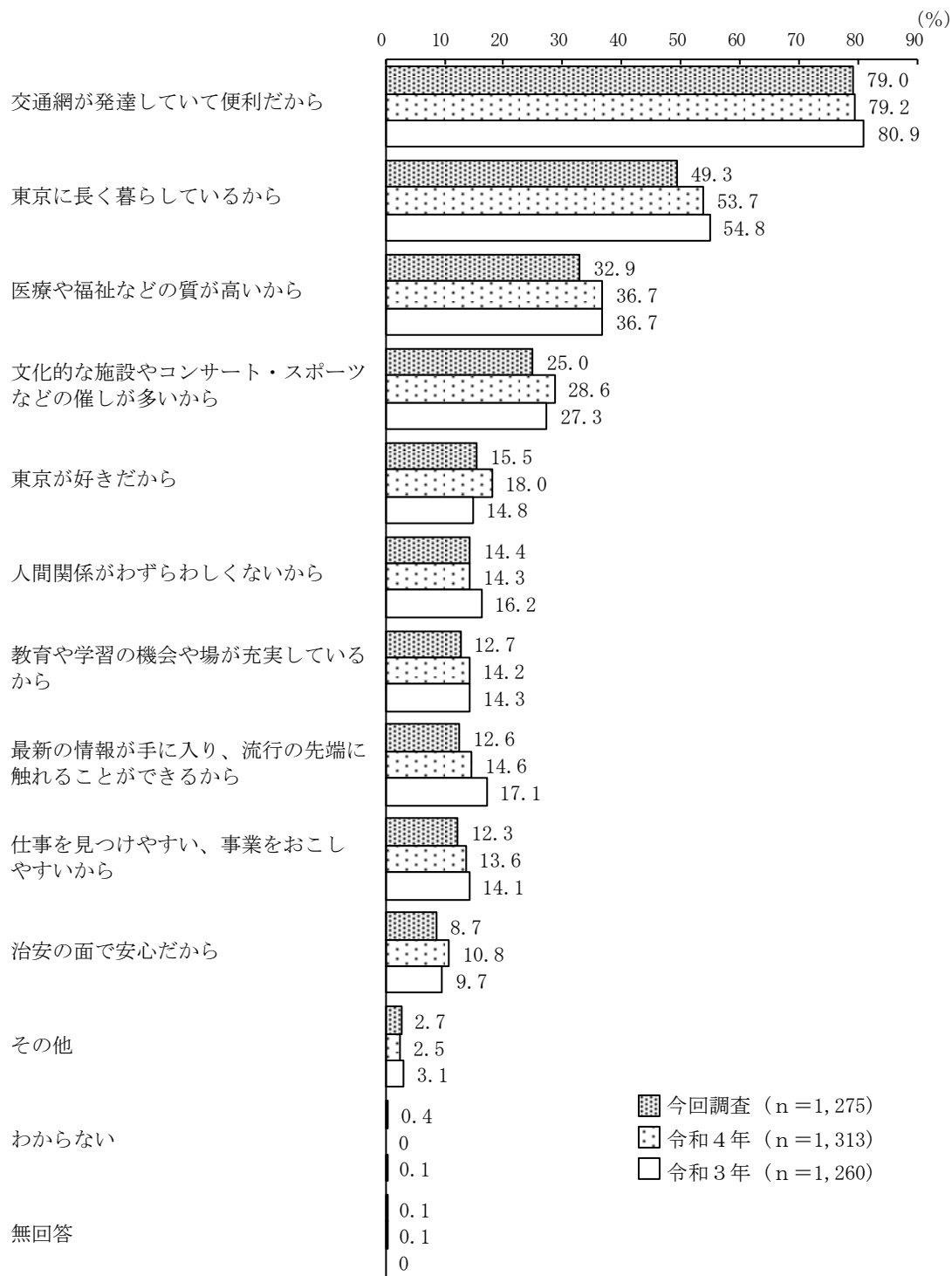
図3-2-6 東京定住意向－地域定住意向別、東京の住みよさ別

		住みたい	わからない	無回答	住みたくない	(%)
全	体 (1,784)	71.5	18.1	1.5	8.9	
<地域定住意向別>						
住	み					
た	い (1,282)	83.9	10.8	1.2	4.1	
住	み					
た	く	41.8	12.9	2.9	42.4	
な	い (170)					
<東京の住みよさ別>						
住	み					
よ	い (1,085)	90.7	7.1	0	2.2	
住	み					
に	く	20.2	21.7	0	58.1	
い	(129)					
ど	ち					
ら	と	46.5	40.1	2.1	11.3	
も	い					
え	な					
い	(514)					

東京に住みたい理由を過去の調査結果と比較すると、多くの項目で、昨年より割合が低くなっている。

(図3-2-7)

図3-2-7 東京に住みたい理由－過去の調査結果



東京に住みたい理由をエリア別にみると、「交通網が発達していて便利だから」は区部（計）で8割を超えて市町村部（計）より8ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「東京に長く暮らしているから」は男女とも70歳以上で6割台と多くなっている。「医療や福祉などの質が高いから」は男女とも60代で5割半ばと多くなっている。「文化的な施設やコンサート・スポーツなどの催しが多いから」は男女とも18～29歳で4割台と多くなっている。（表3-2-1）

表3-2-1 東京に住みたい理由－エリア別、性・年齢別

(%)

	n	交通網が発達して いて便利だから	東京に長く暮らして いるから	医療や福祉などの質 が高いから	文化的な施設やコンサ ート・スポーツなどの催 しが多いから	東京が好きだから	人間関係がわずらわし くないから	教育や学習の機会や場 が充実しているから	最新の情報が手に入り、 流行の先端に触れることが できるから	仕事をを見つけやすい、 事業をおこしやすから	治安の面で安心だから	その他	わからない	無回答
全 体	1,275	79.0	49.3	32.9	25.0	15.5	14.4	12.7	12.6	12.3	8.7	2.7	0.4	0.1
< エリア別 >														
区 部（計）	823	81.8	48.8	32.4	23.8	17.1	14.2	12.8	14.2	14.0	7.8	2.8	0.5	-
センター・コア	239	82.8	41.8	33.9	23.0	23.8	13.4	14.2	18.4	11.3	7.5	2.9	-	-
区部東部・北部	235	79.6	56.6	32.3	23.4	14.5	12.3	11.9	10.2	16.2	6.8	2.1	1.3	-
区部西部・南部	349	82.5	48.4	31.5	24.6	14.3	16.0	12.3	14.0	14.3	8.6	3.2	0.3	-
市町村部（計）	452	73.9	50.2	33.8	27.2	12.6	14.6	12.6	9.7	9.3	10.4	2.4	0.2	0.2
多摩東部	180	78.3	47.8	35.0	31.7	13.3	15.0	11.1	11.7	12.2	9.4	2.8	-	-
多摩中央部北	56	67.9	51.8	25.0	17.9	12.5	19.6	19.6	1.8	7.1	12.5	3.6	-	-
多摩中央部南	186	77.4	48.4	37.1	28.5	11.8	13.4	11.8	10.8	8.6	8.1	2.2	0.5	0.5
多摩西部・島しょ	30	36.7	73.3	23.3	10.0	13.3	10.0	13.3	6.7	-	26.7	-	-	-
< 性・年齢別 >														
男 性（計）	546	81.0	48.2	32.4	23.6	15.0	11.4	10.6	14.5	14.5	9.5	3.5	0.4	0.2
18～29歳	41	82.9	41.5	7.3	43.9	14.6	9.8	17.1	29.3	17.1	4.9	-	-	-
30代	65	83.1	32.3	16.9	29.2	12.3	12.3	16.9	24.6	23.1	4.6	4.6	-	-
40代	85	83.5	36.5	18.8	35.3	21.2	7.1	14.1	20.0	20.0	4.7	2.4	-	-
50代	110	83.6	38.2	37.3	16.4	10.9	10.9	17.3	15.5	27.3	7.3	2.7	0.9	-
60代	88	77.3	53.4	54.5	19.3	10.2	12.5	4.5	10.2	6.8	9.1	5.7	-	-
70歳以上	156	78.2	66.7	37.2	17.3	17.9	13.5	3.2	5.1	2.6	17.3	3.8	0.6	0.6
女 性（計）	708	77.5	50.0	33.9	26.0	16.1	16.8	14.1	11.3	10.6	8.3	2.1	0.4	-
18～29歳	49	85.7	49.0	4.1	40.8	10.2	14.3	8.2	20.4	20.4	4.1	2.0	-	-
30代	89	77.5	32.6	24.7	32.6	10.1	15.7	37.1	18.0	13.5	5.6	2.2	-	-
40代	112	73.2	36.6	20.5	37.5	8.0	13.4	30.4	14.3	17.0	3.6	2.7	-	-
50代	127	79.5	48.0	32.3	25.2	14.2	12.6	11.0	11.0	22.0	7.9	1.6	0.8	-
60代	104	78.8	53.8	53.8	26.0	18.3	16.3	4.8	9.6	2.9	7.7	1.9	-	-
70歳以上	227	76.2	63.0	42.3	15.0	23.8	22.0	4.4	6.2	1.3	13.2	2.2	0.9	-

職業別にみると、「交通網が発達していて便利だから」は経営・管理職で9割近くと多くなっている。「医療や福祉などの質が高いから」は無職の主婦・主夫で4割を超えて多くなっている。

(表3-2-2)

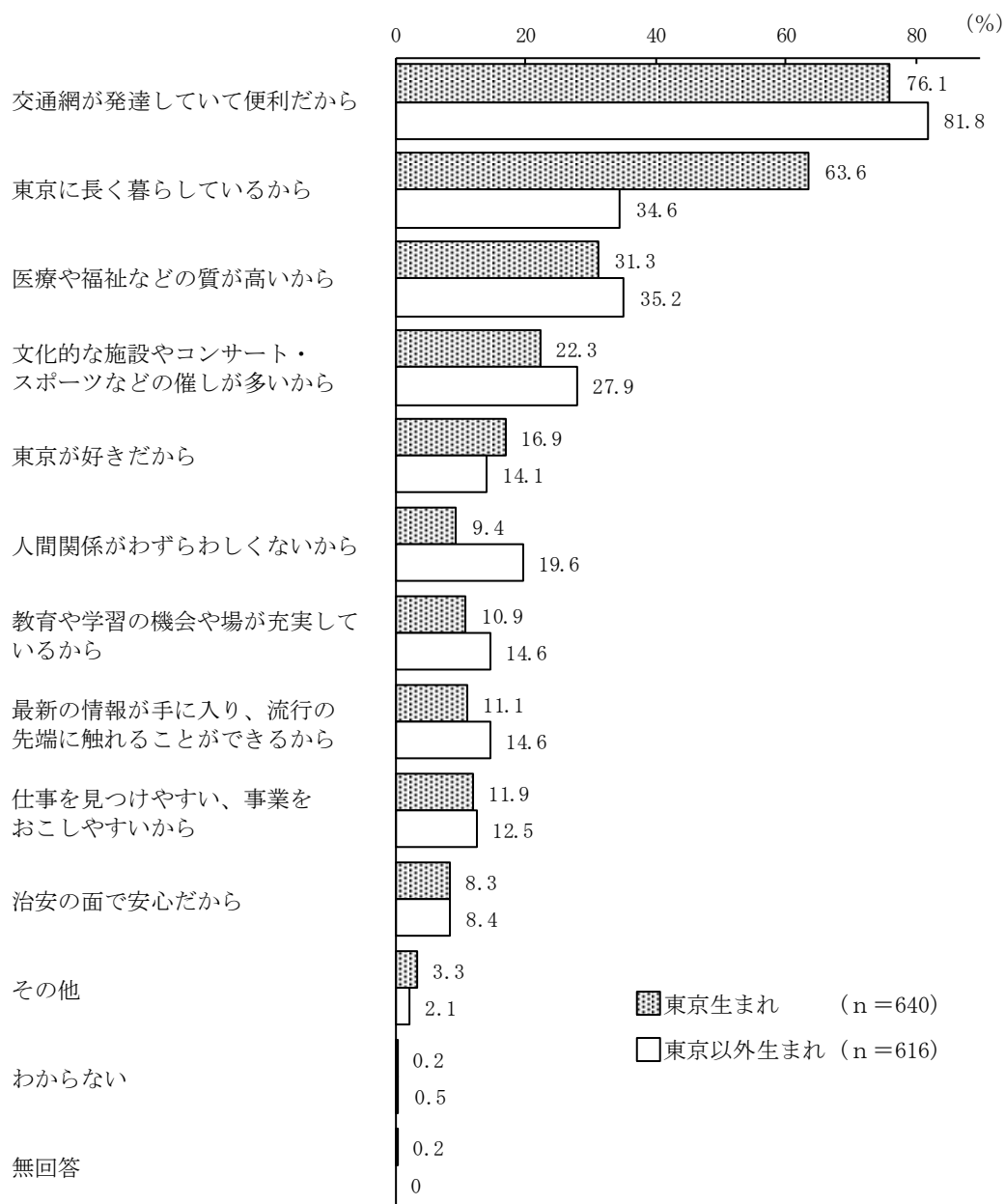
表3-2-2 東京に住みたい理由－職業別

(%)

	n	交通網が発達していて便利だから	東京に長く暮らしているから	医療や福祉などの質が高いから	文化的な施設やコンサート・スポーツなどの催しが多いから	東京が好きだから	人間関係がわずらわしくないから	教育や学習の機会や場が充実しているから	最新の情報が手に入り、流行の先端に触れることができるから	仕事をみつけやすい、事業をおこしやすいから	治安の面で安心だから	その他	わからない	無回答
全体	1,275	79.0	49.3	32.9	25.0	15.5	14.4	12.7	12.6	12.3	8.7	2.7	0.4	0.1
＜ 職 業 別 ＞														
自営・家族従業(計)	139	77.0	55.4	40.3	20.1	18.0	10.8	10.8	10.1	12.9	8.6	2.2	-	-
勤め(計)	661	82.0	41.6	27.2	30.7	12.3	12.1	16.5	16.3	17.7	5.9	3.2	0.2	-
経営・管理職	98	88.8	24.5	25.5	28.6	15.3	10.2	23.5	20.4	24.5	6.1	2.0	-	-
専門・技術職	174	81.0	37.4	25.9	33.9	10.9	14.9	19.5	17.2	17.8	5.7	2.9	-	-
事務職	184	82.1	44.0	25.0	35.3	12.0	11.4	17.9	17.4	14.1	7.1	3.3	-	-
労務・技能職	74	74.3	52.7	36.5	20.3	10.8	12.2	10.8	8.1	17.6	5.4	6.8	1.4	-
販売・サービス職	122	82.0	50.0	28.7	27.9	13.1	9.8	9.0	15.6	17.2	4.1	2.5	-	-
無職の主婦・主夫	276	73.9	55.8	41.7	18.8	20.7	23.2	10.1	6.5	1.8	13.4	1.8	0.4	0.4
学生	23	78.3	43.5	17.4	43.5	4.3	13.0	21.7	30.4	26.1	8.7	-	-	-
その他の無職	142	76.1	65.5	37.3	15.5	19.7	11.3	2.8	8.5	6.3	12.7	2.8	0.7	-

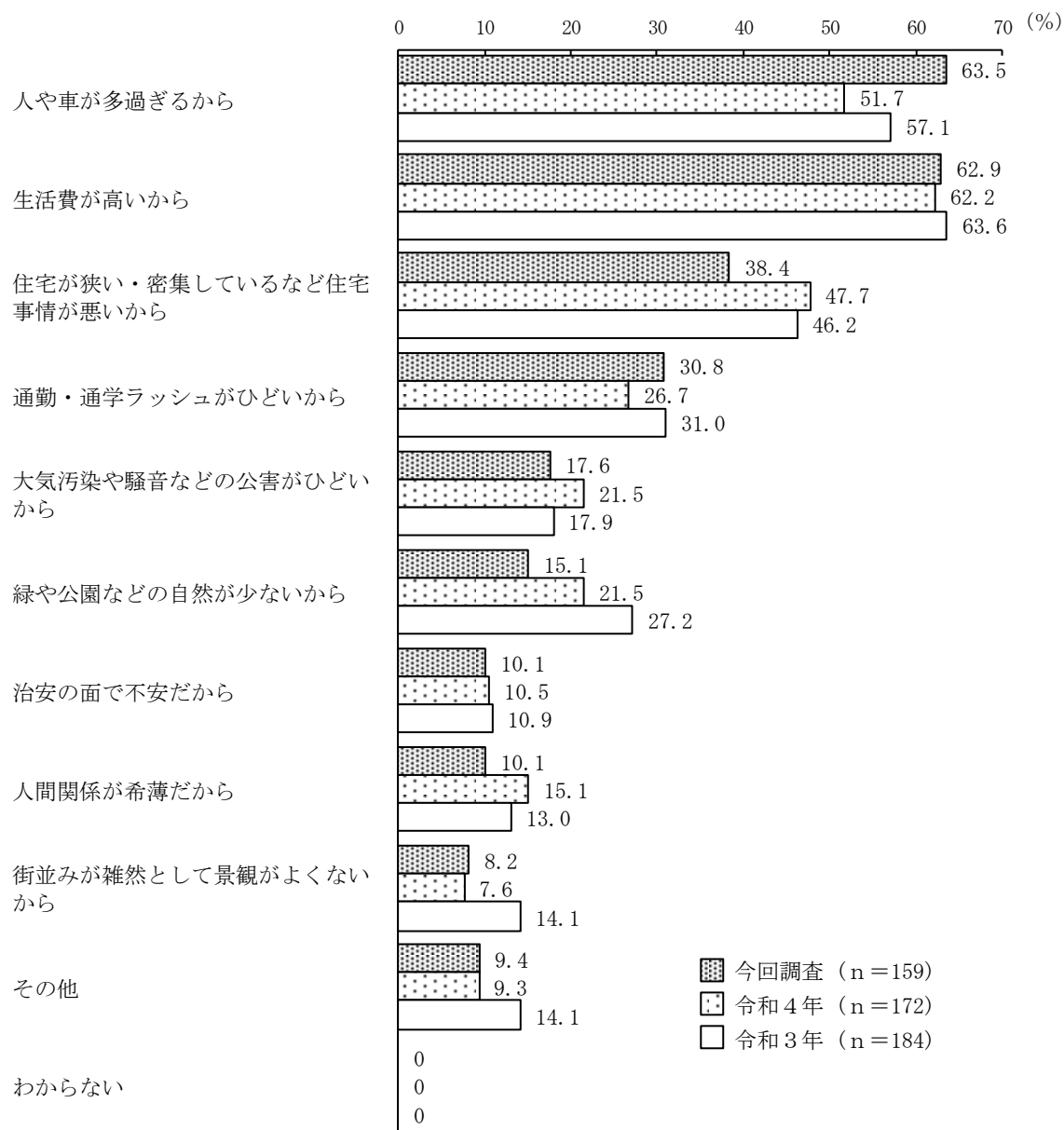
東京生まれか否か別にみると、東京生まれの人は東京以外生まれの人よりも「東京に長く暮らしているから」が29ポイント高くなっている。一方、東京以外生まれの人は東京生まれの人よりも「人間関係がわずらわしくないから」が10ポイント高くなっている。(図3-2-8)

図3-2-8 東京に住みたい理由—東京生まれか否か別



東京に住みたくない理由を過去の調査結果と比較すると、「人や車が多過ぎるから」は昨年より12ポイント増加している。一方、「住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから」は昨年より9ポイント、「緑や公園などの自然が少ないから」は6ポイント、「人間関係が希薄だから」は5ポイント減少している。(図3-2-9)

図3-2-9 東京に住みたくない理由－過去の調査結果



エリア別にみると、特に大きな差はみられない。

性別にみると、「住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから」は女性で4割を超えて男性より10ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「人や車が多過ぎるから」は30代で約9割と多くなっている。「生活費が高いから」は18～29歳で8割半ばと多くなっている。(表3-2-3)

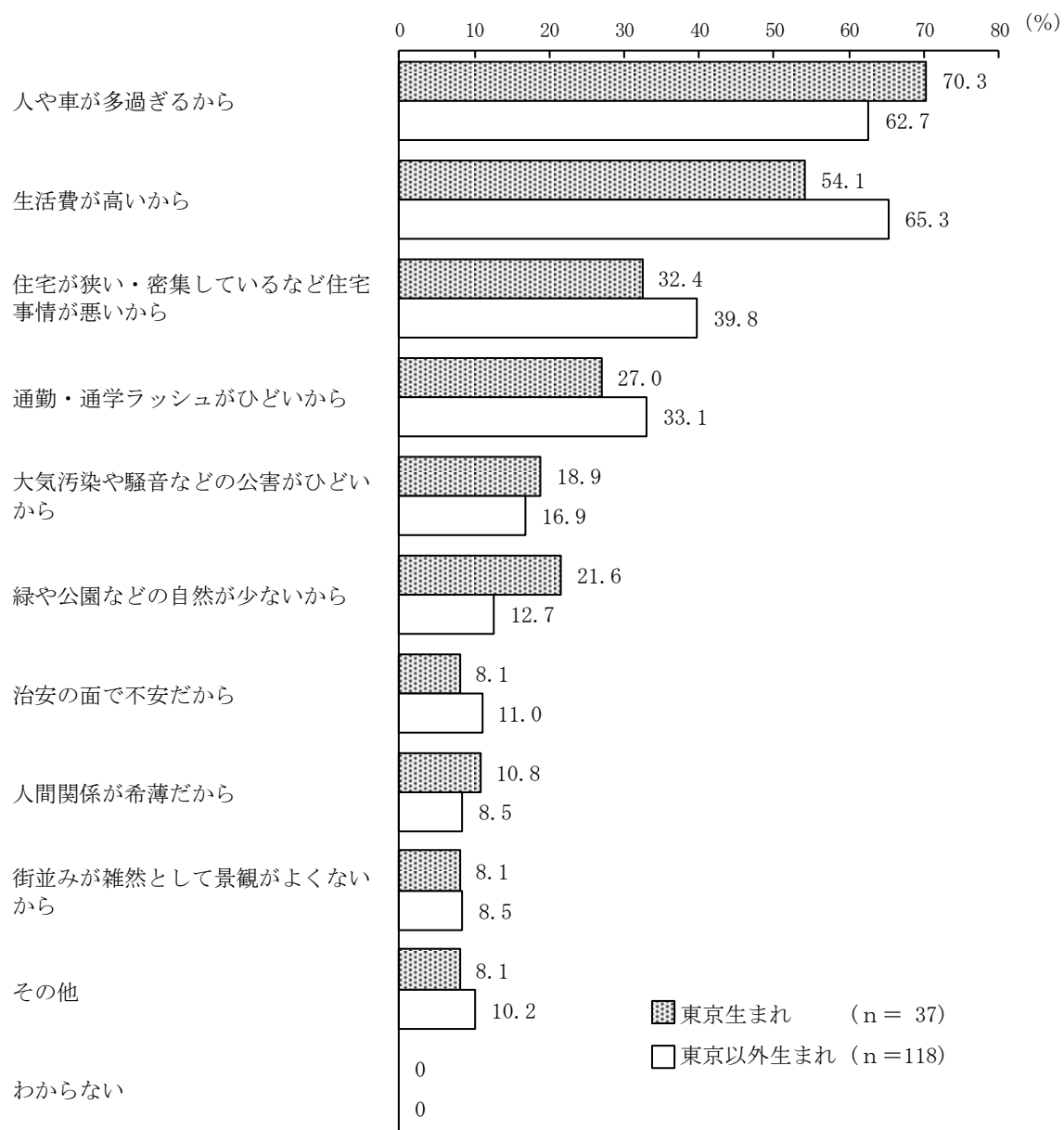
表3-2-3 東京に住みたくない理由—エリア別、性別、年齢別

(%)

	n	人や車が多過ぎるから	生活費が高いから	住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから	通勤・通学ラッシュがひどいから	大気汚染や騒音などの公害がひどいから	緑や公園などの自然が少ないから	治安の面で不安だから	人間関係が希薄だから	街並みが雑然として景観がよくないから	その他	わからない
全 体	159	63.5	62.9	38.4	30.8	17.6	15.1	10.1	10.1	8.2	9.4	-
< エリア別 >												
区 部 (計)	112	65.2	65.2	40.2	28.6	18.8	15.2	7.1	9.8	8.0	10.7	-
センター・コア	30	70.0	76.7	46.7	16.7	13.3	10.0	10.0	10.0	3.3	10.0	-
区部 東部・北部	37	67.6	54.1	35.1	43.2	29.7	13.5	8.1	18.9	13.5	5.4	-
区部 西部・南部	45	60.0	66.7	40.0	24.4	13.3	20.0	4.4	2.2	6.7	15.6	-
市町村部 (計)	47	59.6	57.4	34.0	36.2	14.9	14.9	17.0	10.6	8.5	6.4	-
多摩 東 部	21	66.7	61.9	38.1	33.3	4.8	14.3	14.3	4.8	9.5	9.5	-
多摩 中央 部 北	5	40.0	40.0	20.0	80.0	20.0	20.0	20.0	-	-	20.0	-
多摩 中央 部 南	18	61.1	61.1	33.3	33.3	27.8	16.7	16.7	11.1	11.1	-	-
多摩 西部・島しょ	3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	33.3	66.7	-	-	-
< 性 別 >												
男 性	61	63.9	65.6	32.8	27.9	18.0	9.8	9.8	6.6	4.9	14.8	-
女 性	89	62.9	61.8	42.7	31.5	16.9	19.1	11.2	13.5	10.1	4.5	-
< 年 齢 別 >												
18 ～ 29 歳	35	65.7	85.7	25.7	37.1	14.3	8.6	14.3	-	-	2.9	-
30 代	20	90.0	65.0	45.0	20.0	10.0	5.0	15.0	5.0	10.0	20.0	-
40 代	36	63.9	44.4	41.7	52.8	19.4	19.4	11.1	8.3	2.8	5.6	-
50 代	20	65.0	65.0	40.0	30.0	15.0	15.0	5.0	5.0	10.0	20.0	-
60 代	19	57.9	57.9	31.6	21.1	26.3	10.5	5.3	10.5	5.3	15.8	-
70 歳 以 上	28	46.4	57.1	46.4	10.7	17.9	28.6	7.1	32.1	25.0	3.6	-

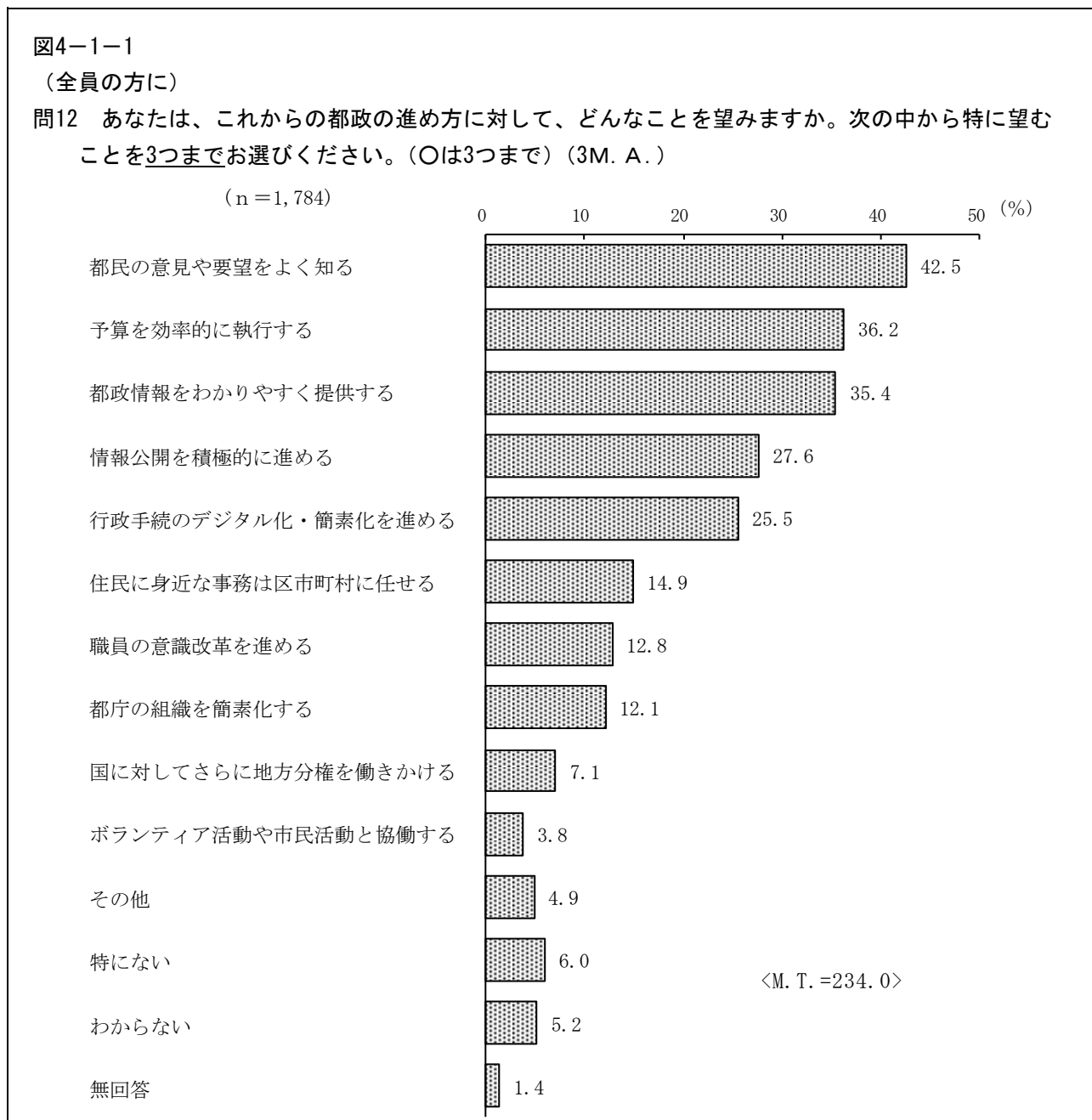
東京生まれか否か別にみると、東京以外生まれの人は東京生まれの人より「生活費が高いから」が11ポイント高くなっている。一方、東京生まれの人が東京以外生まれの人より「緑や公園などの自然が少ないから」が9ポイント高くなっている。(図3-2-10)

図3-2-10 東京に住みたくない理由—東京生まれか否か別



4 都政への要望

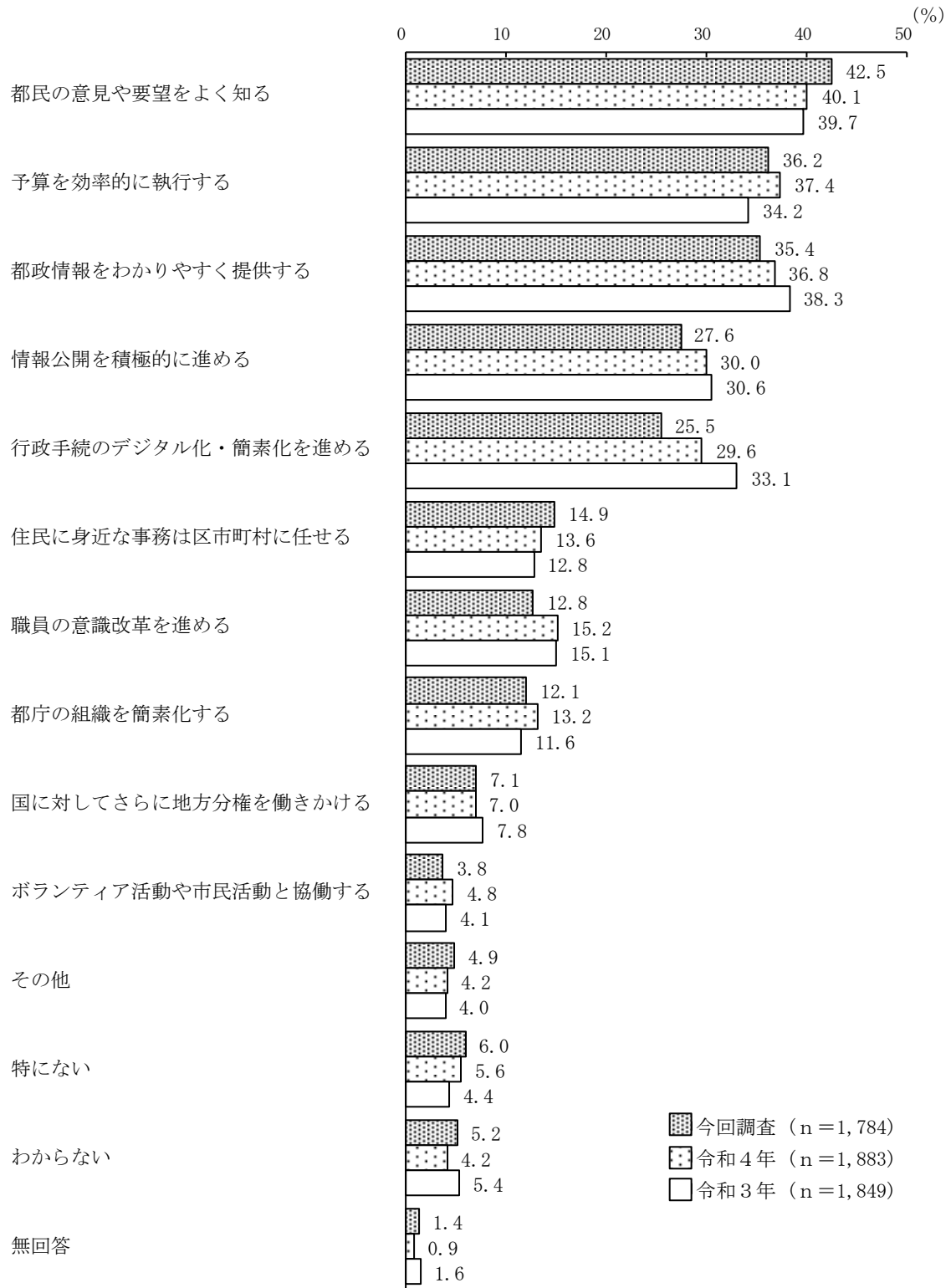
※4-1 これからの都政の進め方



これからの都政の進め方に対して、特に望むことを3つまで選んでもらったところ、「都民の意見や要望をよく知る」が43%と最も多く、次いで「予算を効率的に執行する」36%、「都政情報をわかりやすく提供する」35%、「情報公開を積極的に進める」28%、「行政手続のデジタル化・簡素化を進める」26%などの順となっている。(図4-1-1)

これからの都政の進め方を過去の調査結果と比較すると、「行政手続のデジタル化・簡素化を進める」は昨年より4ポイント減少している。(図4-1-2)

図4-1-2 これからの都政の進め方—過去の調査結果



エリア別にみると、「予算を効率的に執行する」は多摩中央部北で4割を超えて多くなっている。

性・年齢別にみると、「都民の意見や要望をよく知る」は女性（計）で4割半ばと男性（計）より8ポイント高く、女性40代で5割を超えて多くなっている。「都政情報をわかりやすく提供する」は女性（計）で4割近くと男性（計）より7ポイント高く、女性60代で4割半ばと多くなっている。（表4-1-1）

表4-1-1 これからの都政の進め方—エリア別、性・年齢別

(%)

	n	都民の意見や要望をよく知る	予算を効率的に執行する	都政情報をわかりやすく提供する	情報公開を積極的に進める	行政手続のデジタル化・簡素化を進める	住民に身近な事務は区市町村に任せる	職員の意識改革を進める	都庁の組織を簡素化する	国に対してさらに地方分権を働きかける	活動と協働する	ボランティア活動や市民	その他	特にない	わからない	無回答
全体	1,784	42.5	36.2	35.4	27.6	25.5	14.9	12.8	12.1	7.1	3.8	4.9	6.0	5.2	1.4	
< エリア別 >																
区部（計）	1,164	40.9	36.8	35.1	27.6	27.7	14.2	13.1	11.8	7.1	3.8	5.0	5.6	4.9	1.7	
センター・コア	325	38.8	36.6	35.7	29.8	30.2	13.8	12.9	11.7	6.2	3.4	4.9	6.8	3.1	0.9	
区部東部・北部	354	43.8	35.9	32.2	27.1	20.9	14.1	14.4	11.0	7.3	5.1	4.0	6.8	7.1	1.4	
区部西部・南部	485	40.2	37.5	36.7	26.4	31.1	14.4	12.2	12.4	7.6	3.1	5.8	3.9	4.5	2.5	
市町村部（計）	620	45.6	35.2	36.0	27.6	21.3	16.3	12.4	12.7	6.9	3.9	4.7	6.8	5.6	0.8	
多摩東部	239	48.5	36.4	32.6	28.0	24.7	13.8	11.3	12.6	8.4	5.0	3.3	7.9	3.8	0.8	
多摩中央部北	83	30.1	41.0	34.9	25.3	20.5	15.7	9.6	10.8	4.8	2.4	6.0	7.2	8.4	1.2	
多摩中央部南	260	49.2	32.7	40.4	30.4	19.6	18.5	14.2	14.6	7.3	2.3	5.0	4.2	6.5	0.4	
多摩西部・島しょ	38	36.8	31.6	28.9	10.5	13.2	18.4	13.2	5.3	-	10.5	7.9	15.8	5.3	2.6	
< 性・年齢別 >																
男性（計）	766	38.0	37.7	31.3	29.2	29.4	15.9	12.7	14.8	9.1	4.2	7.3	5.9	4.0	0.9	
18～29歳	72	45.8	52.8	23.6	36.1	33.3	2.8	15.3	13.9	5.6	4.2	6.9	6.9	1.4	-	
30代	96	34.4	47.9	26.0	24.0	57.3	17.7	7.3	10.4	5.2	1.0	11.5	2.1	4.2	-	
40代	132	36.4	39.4	30.3	29.5	40.2	15.2	12.1	12.9	7.6	4.5	6.8	5.3	3.0	0.8	
50代	156	44.2	35.9	35.3	29.5	25.6	14.1	10.9	15.4	9.6	3.8	5.8	5.8	3.8	0.6	
60代	117	29.9	42.7	27.4	32.5	23.1	12.8	17.1	17.1	12.8	5.1	10.3	8.5	2.6	0.9	
70歳以上	192	38.0	24.5	37.0	27.1	13.5	23.4	13.5	16.7	10.9	5.2	5.2	6.3	6.8	2.1	
女性（計）	982	46.2	35.4	38.6	26.0	22.4	14.6	13.0	10.2	5.4	3.6	3.0	6.0	5.9	1.7	
18～29歳	94	47.9	47.9	38.3	25.5	39.4	1.1	11.7	6.4	2.1	-	2.1	8.5	4.3	-	
30代	133	45.1	42.1	41.4	27.8	39.8	7.5	8.3	6.0	3.0	2.3	4.5	4.5	6.0	-	
40代	168	51.2	37.5	33.9	26.2	33.3	9.5	10.7	10.1	8.9	2.4	4.2	3.6	5.4	-	
50代	176	47.7	33.0	35.8	25.0	21.6	11.9	13.1	7.4	4.5	4.5	4.0	6.3	8.5	2.8	
60代	137	48.2	35.0	45.3	33.6	16.1	19.7	14.6	10.9	3.6	3.6	2.9	5.8	2.9	2.2	
70歳以上	274	41.2	28.5	38.7	21.9	5.1	24.8	16.4	15.0	6.9	5.5	1.1	7.3	6.6	3.3	

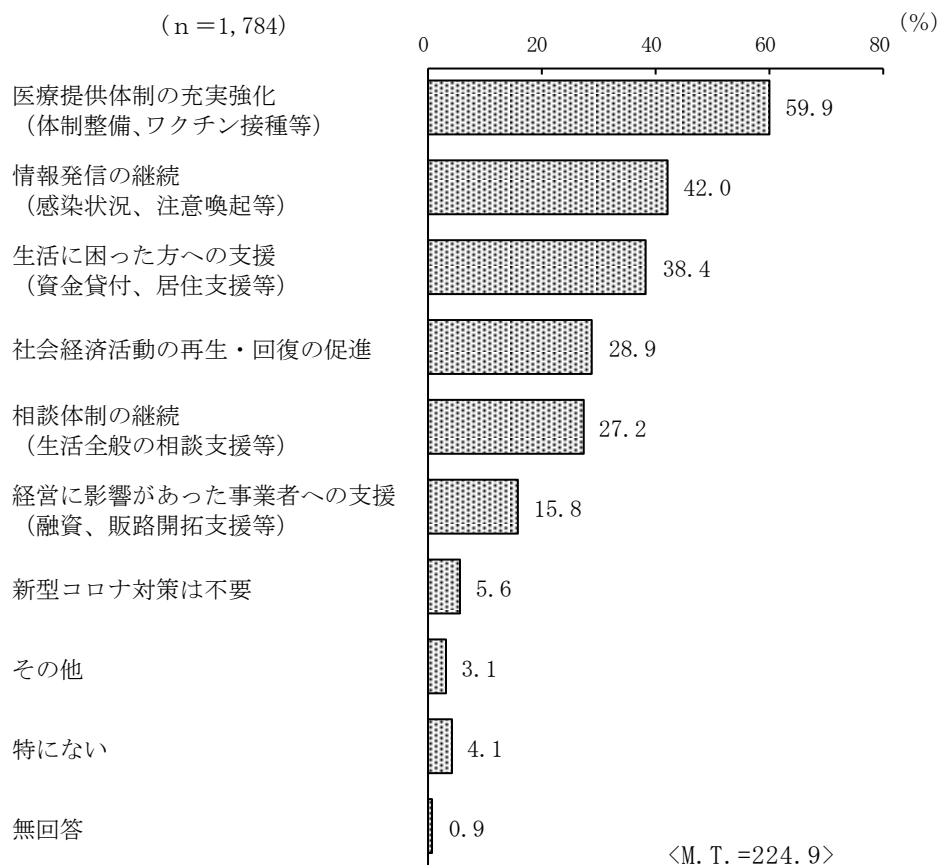
※4-2 新型コロナウイルス感染症対策

図4-2-1

(全員の方に)

問13 新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが、令和5年5月8日に2類相当から5類に移行しました(季節性インフルエンザと同じ扱い)。

あなたは今後、「新型コロナウイルス感染症に関する対策」について、都にどのようなことを望みますか。次の中から特に望むことを3つまでお選びください。(〇は3つまで)(3M. A.)



新型コロナウイルス感染症対策について、都に特に望むことを3つまで選んでももらったところ、「医療提供体制の充実強化(体制整備、ワクチン接種等)」が60%と最も多く、次いで「情報発信の継続(感染状況、注意喚起等)」42%、「生活に困った方への支援(資金貸付、居住支援等)」38%、「社会経済活動の再生・回復の促進」29%などの順となっている。(図4-2-1)

エリア別にみると、「生活に困った方への支援（資金貸付、居住支援等）」は区部東部・北部で4割半ばと多くなっている。

性・年齢別にみると、「医療提供体制の充実強化（体制整備、ワクチン接種等）」は男女とも70歳以上で約7割と多くなっている。「情報発信の継続（感染状況、注意喚起等）」は女性70歳以上で6割近く、男性70歳以上で5割半ばと多くなっている。（表4-2-1）

表4-2-1 新型コロナウイルス感染症対策－エリア別、性・年齢別

(%)

	n	医療提供体制の充実強化（体制整備、ワクチン接種等）	情報発信の継続（感染状況、注意喚起等）	生活に困った方への支援（資金貸付、居住支援等）	社会経済活動の再生・回復の促進	相談体制の継続（生活全般の相談支援等）	経営に影響があつた事業者への支援（融資、販路開拓支援等）	新型コロナ対策は不要	その他	特にない	無回答
全体	1,784	59.9	42.0	38.4	28.9	27.2	15.8	5.6	3.1	4.1	0.9
＜エリア別＞											
区部（計）	1,164	57.9	41.1	37.8	29.1	27.2	15.8	6.0	3.6	4.1	1.2
センター・コア	325	57.8	43.4	31.4	27.7	26.2	13.2	8.3	4.6	3.4	0.9
区部東部・北部	354	62.1	42.4	44.1	28.8	27.1	16.7	4.0	1.4	5.4	0.8
区部西部・南部	485	54.8	38.6	37.5	30.3	28.0	16.9	6.0	4.5	3.7	1.6
市町村部（計）	620	63.7	43.7	39.5	28.5	27.1	15.6	4.8	2.1	4.0	0.3
多摩東部	239	61.5	46.0	38.1	28.0	29.7	16.3	4.6	0.8	3.8	0.4
多摩中央部北	83	60.2	41.0	38.6	26.5	26.5	13.3	6.0	6.0	7.2	-
多摩中央部南	260	65.8	41.9	40.0	31.5	26.5	16.9	4.6	2.3	3.1	0.4
多摩西部・島しょ	38	71.1	47.4	47.4	15.8	15.8	7.9	5.3	-	5.3	-
＜性・年齢別＞											
男性（計）	766	57.8	39.9	39.4	30.9	24.5	16.6	7.0	3.8	4.0	1.0
18～29歳	72	54.2	23.6	44.4	40.3	18.1	27.8	8.3	2.8	5.6	-
30代	96	42.7	27.1	46.9	41.7	15.6	25.0	10.4	4.2	6.3	-
40代	132	46.2	27.3	40.9	32.6	15.9	15.2	9.1	5.3	9.1	1.5
50代	156	62.2	42.9	37.2	29.5	26.3	20.5	8.3	3.8	2.6	0.6
60代	117	59.8	47.0	32.5	30.8	30.8	15.4	8.5	3.4	0.9	0.9
70歳以上	192	70.3	54.7	39.1	22.4	32.3	6.8	1.6	3.1	2.1	1.6
女性（計）	982	61.7	43.6	37.7	27.3	29.6	15.1	4.4	2.3	4.1	0.8
18～29歳	94	43.6	23.4	54.3	40.4	16.0	26.6	9.6	1.1	3.2	-
30代	133	47.4	34.6	36.8	36.8	22.6	15.8	12.0	5.3	3.8	-
40代	168	60.1	33.9	29.8	34.5	26.8	16.7	4.2	3.6	3.0	-
50代	176	65.9	42.6	32.4	29.0	36.4	13.6	4.0	2.3	3.4	1.1
60代	137	67.9	51.1	36.5	22.6	35.8	14.6	1.5	0.7	5.1	1.5
70歳以上	274	70.1	57.7	41.2	15.0	32.1	10.9	0.7	1.5	5.1	1.5

職業別にみると、「医療提供体制の充実強化（体制整備、ワクチン接種等）」は無職の主婦・主夫で7割を超えて多くなっている。「情報発信の継続（感染状況、注意喚起等）」は無職の主婦・主夫で5割半ば、その他の無職で5割を超えて多くなっている。「相談体制の継続（生活全般の相談支援等）」はその他の無職で4割近くと多くなっている。

生活程度（問3 P14）との関係でみると、「生活に困った方への支援（資金貸付、居住支援等）」は生活程度が低いほど割合が高くなり、“下”と答えた人では6割半ばと多くなっている。「相談体制の継続（生活全般の相談支援等）」は“下”と答えた人で3割半ばと多くなっている。（表4-2-2）

表4-2-2 新型コロナウイルス感染症対策—職業別、生活程度別

(%)

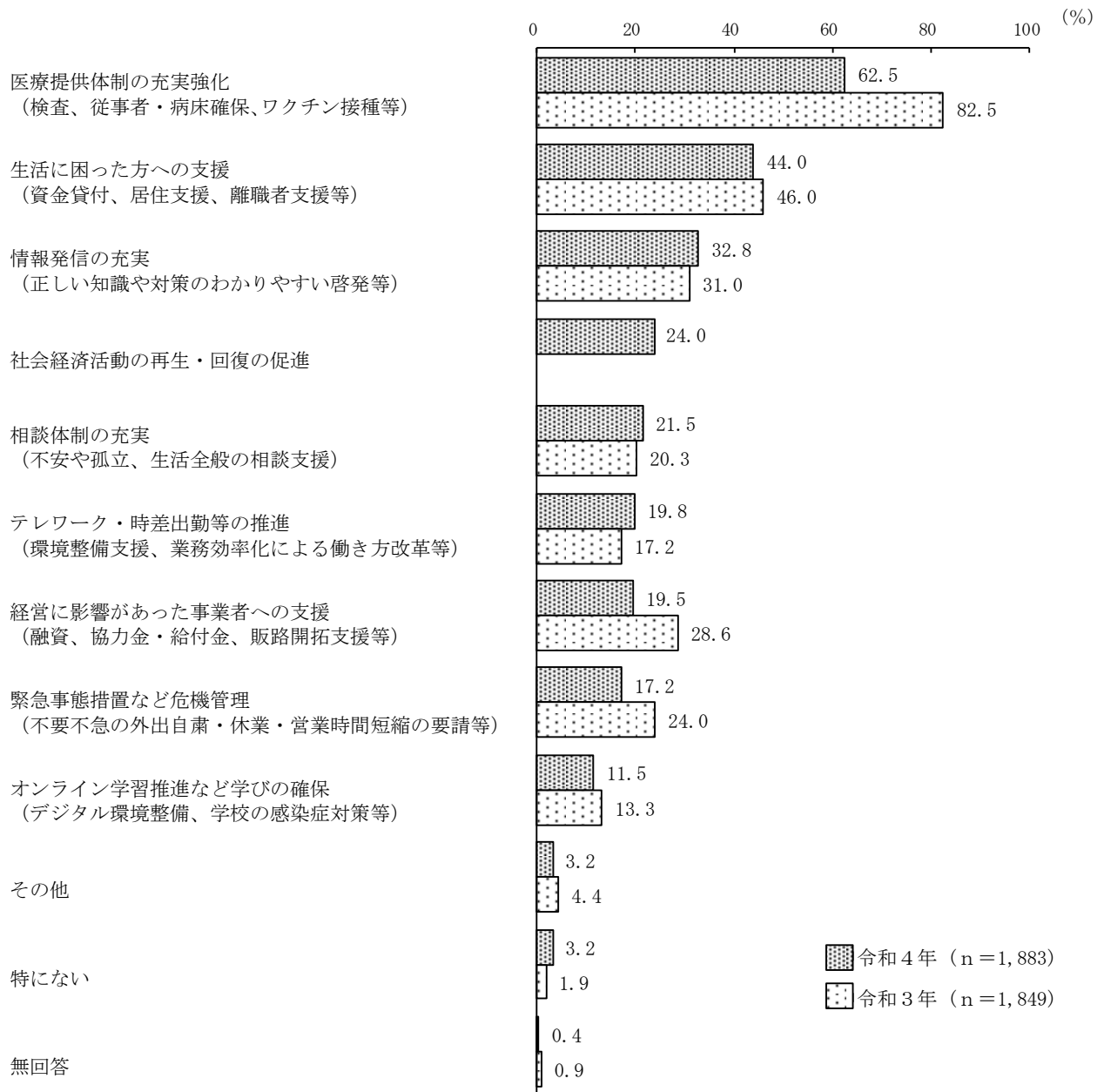
	n	医療提供体制の充実強化（体制整備、ワクチン接種等）	情報発信の継続（感染状況、注意喚起等）	生活に困った方への支援（資金貸付、居住支援等）	社会経済活動の再生・回復の促進	相談体制の継続（生活全般の相談支援等）	経営に影響があった事業者への支援（融資、販路開拓支援等）	新型コロナ対策は不要	その他	特になし	無回答
全体	1,784	59.9	42.0	38.4	28.9	27.2	15.8	5.6	3.1	4.1	0.9
＜ 職 業 別 ＞											
自営・家族従業（計）	195	50.8	38.5	37.4	26.2	20.0	31.8	7.7	3.1	4.6	1.0
勤め（計）	974	57.2	36.8	37.1	35.4	26.2	16.9	7.0	3.6	3.9	0.4
経営・管理職	143	55.9	37.8	30.1	39.9	16.1	21.7	10.5	3.5	4.2	-
専門・技術職	277	56.7	38.3	37.2	36.8	23.8	17.0	5.4	4.3	4.7	0.4
事務職	249	61.0	36.1	34.5	37.3	32.1	16.1	7.2	3.2	1.6	-
労務・技能職	114	59.6	36.0	44.7	24.6	28.9	10.5	6.1	3.5	5.3	-
販売・サービス職	175	51.4	33.7	41.7	34.3	27.4	19.4	7.4	3.4	4.6	1.7
無職の主婦・主夫	349	70.5	54.7	40.7	19.2	29.2	8.3	2.6	3.2	3.2	1.4
学生	37	54.1	16.2	37.8	35.1	13.5	27.0	8.1	2.7	8.1	-
その他の無職	184	65.2	52.2	41.3	17.4	38.6	4.9	2.2	0.5	4.3	2.2
＜ 生 活 程 度 別 ＞											
上	30	46.7	46.7	20.0	33.3	20.0	13.3	13.3	6.7	3.3	-
中の上	256	57.4	41.0	27.7	36.3	20.7	16.4	9.8	3.5	3.1	1.2
中の中	651	60.8	45.0	32.3	31.8	25.2	16.6	5.4	2.2	3.7	0.5
中の下	491	61.9	41.5	40.3	25.7	30.5	15.3	4.9	3.3	4.9	0.8
下	233	59.2	33.5	63.5	23.6	35.2	14.6	4.7	2.6	3.4	1.3

【参考資料：令和4年度の調査結果】

問 新型コロナウイルス感染症の流行が続いています。

あなたは、「新型コロナウイルス感染症に関する対策」について、都にどのようなことを望みますか。
次の中から特に望むことを3つまでお選びください。(〇は3つまで) (3M. A.)

＜参考＞図4-2-2 新型コロナウイルス感染症対策—過去の調査結果



(注) 「社会経済活動の再生・回復の促進」は令和4年調査より追加

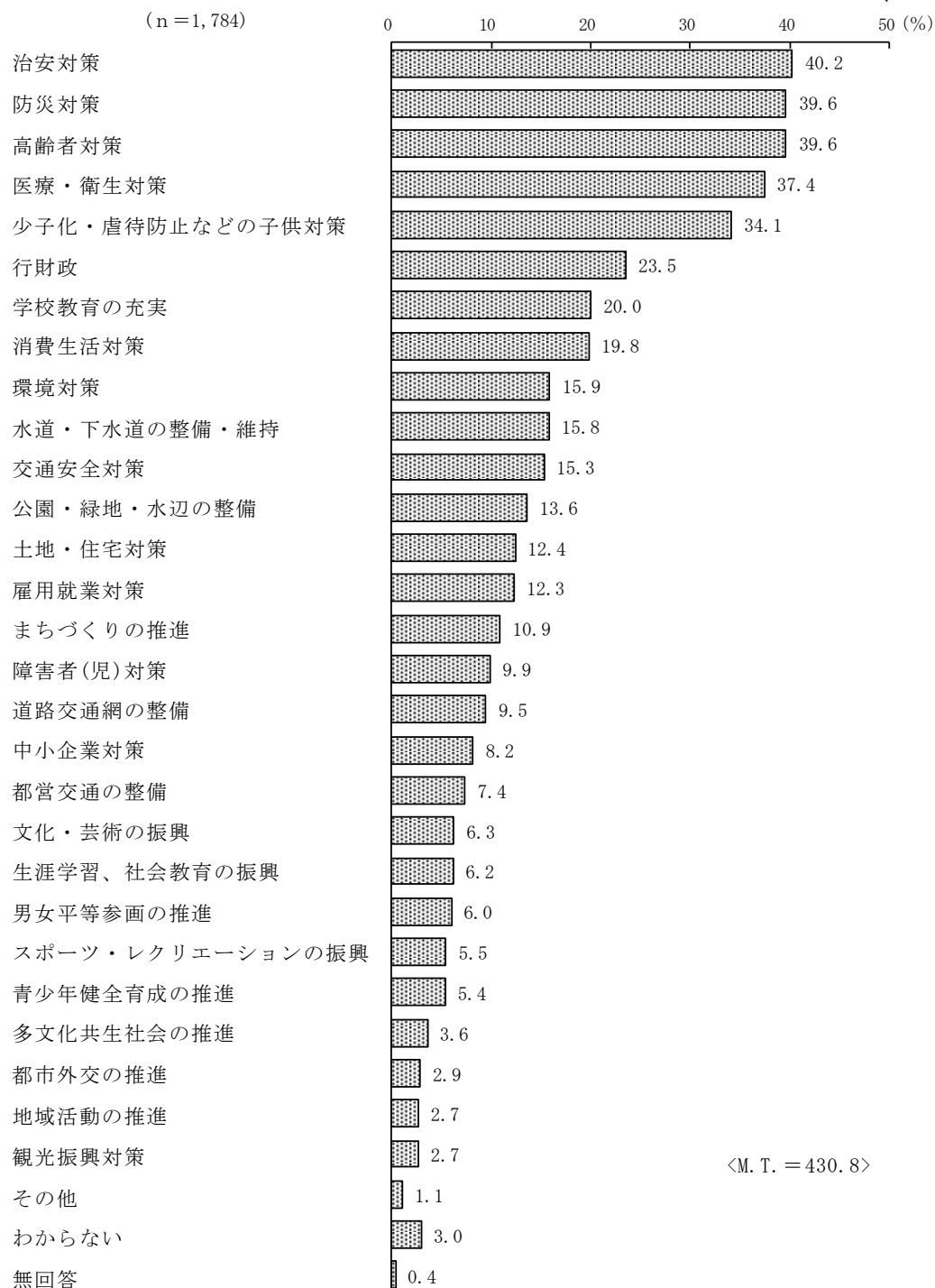
※4-3 都政への要望

図4-3-1

(全員の方に)

問14 これからの都政全体について考えた場合、次にあげたことのどれに力を入れてほしいと思いますか。特に都に力を入れて取り組んでもらいたいものを5つまでお選びください。(〇は5つまで)

(5M. A.)

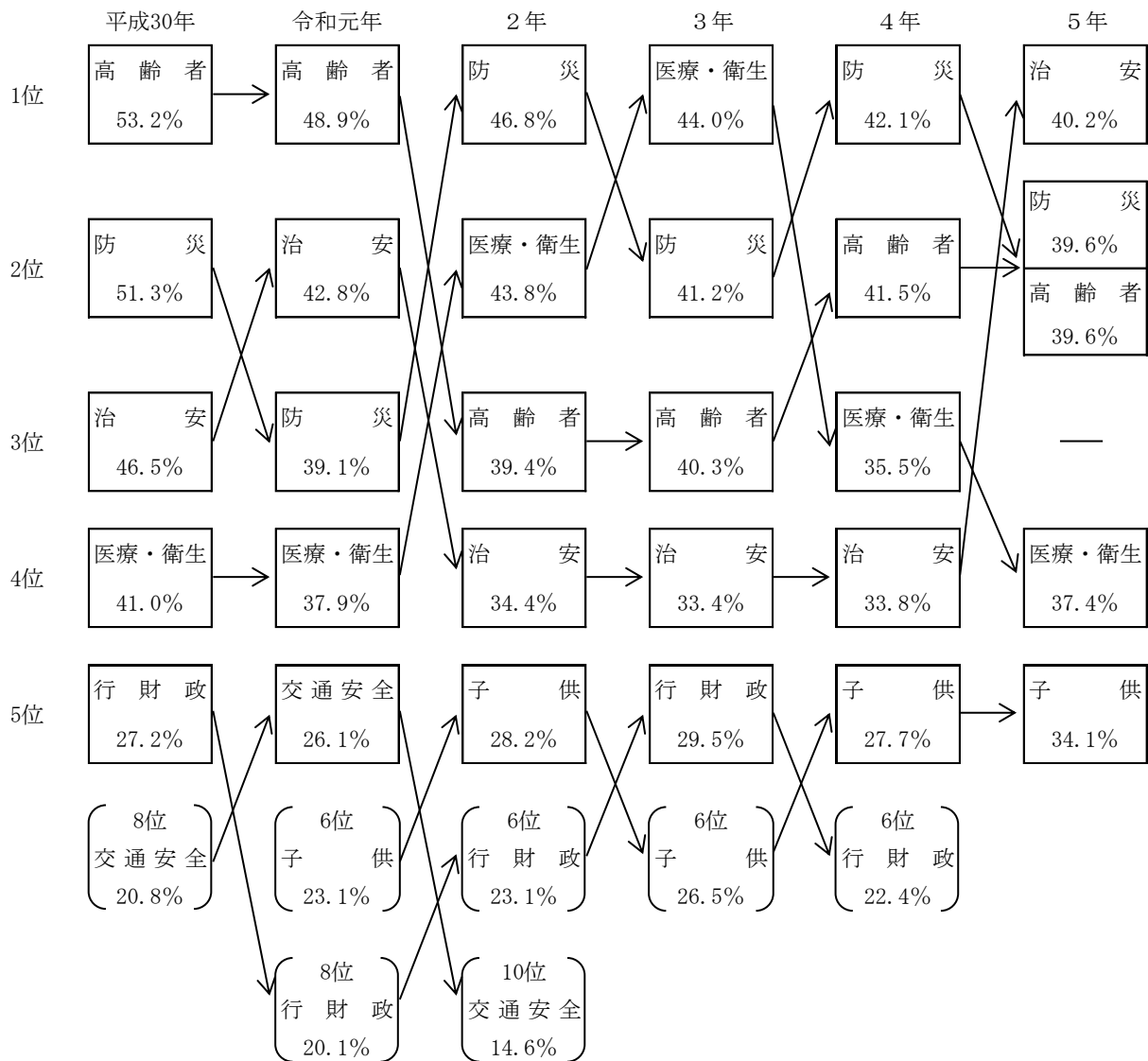


東京都が実施している諸施策をあげ、特に力を入れてほしい施策を5つまで選んでもらった。要望の上位5位は、第1位「治安対策」、第2位「防災対策」、「高齢者対策」がいずれも40%、第4位「医療・衛生対策」37%、第5位「少子化・虐待防止などの子供対策」34%などの順となっている。(図4-3-1)

都政への要望の過去の調査結果と比較すると、昨年第4位だった「治安」が第1位となっている。また、上位5位は昨年と同じとなっている。(図4-3-2)

なお、都政への要望の平成元年からの調査結果を巻末の付属資料(P124~125 表4)に掲載している。

図4-3-2 都政への要望－過去の調査の上位5位推移



(注1) 「子供」：「少子化・虐待防止などの子供対策」

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

都政への要望をエリア別にみると、区部（計）では「治安」が第1位、市町村部（計）では「高齢者対策」が第1位となっている。（表4-3-1）

表4-3-1 都政への要望上位5位－エリア別

(%)

	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体	1,784	治 安 40.2	防 災 40.3	高 齢 者 38.9	医 療 ・ 衛 生 37.4	子 供 34.1
区 部（計）	1,164	治 安 41.4	防 災 40.3	高 齢 者 38.9	医 療 ・ 衛 生 37.1	子 供 33.2
センター・コア	325	治 安 43.1	防 災 42.2	医 療 ・ 衛 生 36.0	高 齢 者 / 子 供 35.1	
区部東部・北部	354	高 齢 者 45.5	治 安 42.7	防 災 40.1	医 療 ・ 衛 生 39.8	子 供 29.4
区部西部・南部	485	治 安 39.4	防 災 39.2	高 齢 者 36.7	医 療 ・ 衛 生 35.9	子 供 34.6
市町村部（計）	620	高 齢 者 40.8	防 災 38.2	治 安 38.1	医 療 ・ 衛 生 37.9	子 供 36.0
多摩東部	239	治 安 41.8	高 齢 者 39.3	子 供 38.1	医 療 ・ 衛 生 37.7	防 災 37.2
多摩中央部北	83	高 齢 者 45.8	子 供 44.6	治 安 / 防 災 37.3		医 療 ・ 衛 生 / 学 校 教 育 32.5
多摩中央部南	260	医 療 ・ 衛 生 40.0	防 災 39.2	高 齢 者 38.8	治 安 35.0	子 供 33.5
多摩西部・ 島しよ	38	高 齢 者 52.6	防 災 39.5	治 安 / 医 療 ・ 衛 生 36.8		子 供 / 学 校 教 育 21.1

性・年齢別にみると、「子供対策」が1位となっているのは、男女とも18～29歳と30代、男性40代となっている。「高齢者対策」が1位となっているのは、女性60代、男女とも70歳以上となっている。

(表4-3-2)

表4-3-2 都政への要望上位5位－性・年齢別

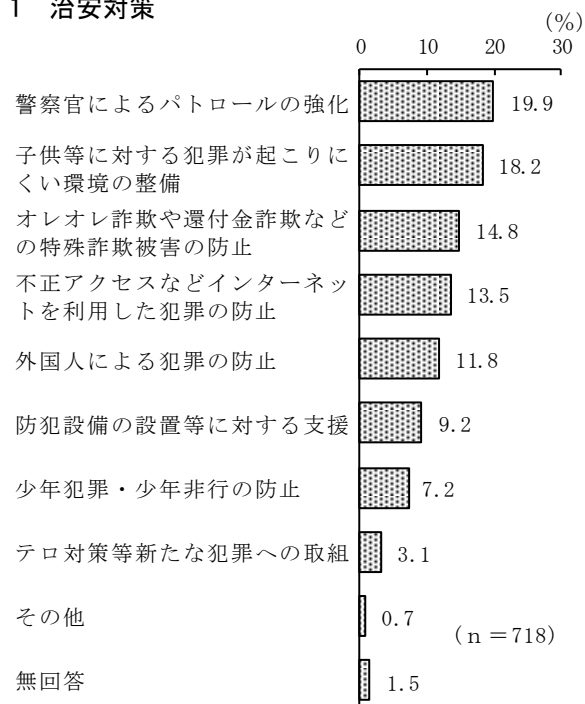
		(%)				
	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体	1,784	治 安 40.2	防 災／高 齡 者 39.6		医 療・衛 生 37.4	子 供 34.1
男 性 (計)	766	治 安 38.6	防 災 38.0	高 齡 者 37.6	子 供 36.9	医 療・衛 生 33.4
18～29 歳	72	子 供 51.4	行 財 政 43.1	消 費 生 活 29.2	治 安／防 災 25.0	
30 代	96	子 供 58.3	行 財 政 33.3	治 安 31.3	防 災／医 療・衛 生／学 校 教 育 29.2	
40 代	132	子 供 48.5	治 安 37.9	防 災 32.6	医 療・衛 生 31.1	行 財 政 28.0
50 代	156	治 安 46.2	医 療・衛 生 44.2	高 齡 者 41.7	防 災 34.6	子 供 26.9
60 代	117	防 災 51.3	高 齡 者 47.9	治 安 41.0	子 供／医 療・衛 生 29.1	
70 歳 以 上	192	高 齡 者 64.6	防 災 45.8	治 安 40.6	医 療・衛 生 35.9	行 財 政 26.6
女 性 (計)	982	治 安 41.8	高 齡 者 41.2	防 災 41.1	医 療・衛 生 40.0	子 供 32.1
18～29 歳	94	子 供 50.0	医 療・衛 生 35.1	行 財 政 30.9	学 校 教 育 29.8	治 安／防 災／ 消 費 生 活 26.6
30 代	133	子 供 61.7	学 校 教 育 46.6	医 療・衛 生 41.4	治 安 35.3	防 災 34.6
40 代	168	治 安 41.1	防 災 37.5	学 校 教 育 36.3	子 供 33.9	医 療・衛 生 32.7
50 代	176	防 災 50.6	医 療・衛 生 47.2	高 齡 者 46.6	治 安 44.3	子 供 23.9
60 代	137	高 齡 者 54.7	防 災 50.4	治 安／医 療・衛 生 43.1		子 供 29.9
70 歳 以 上	274	高 齡 者 62.4	治 安 48.2	防 災 40.9	医 療・衛 生 39.4	消 費 生 活 22.3

4-4 具体的な要望施策

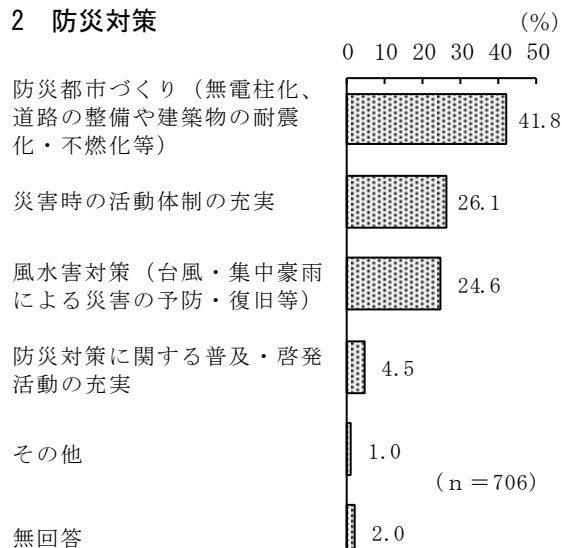
5つまで選んでもらった要望の各分野について、具体的な内容を示して1つだけ答えてもらった結果が図4-4である。(図4-4)

図4-4 具体的な要望施策

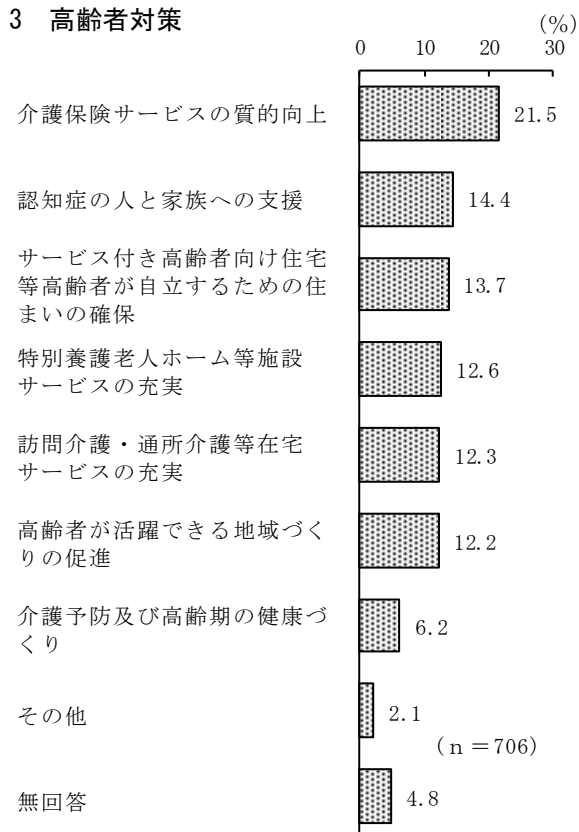
1 治安対策



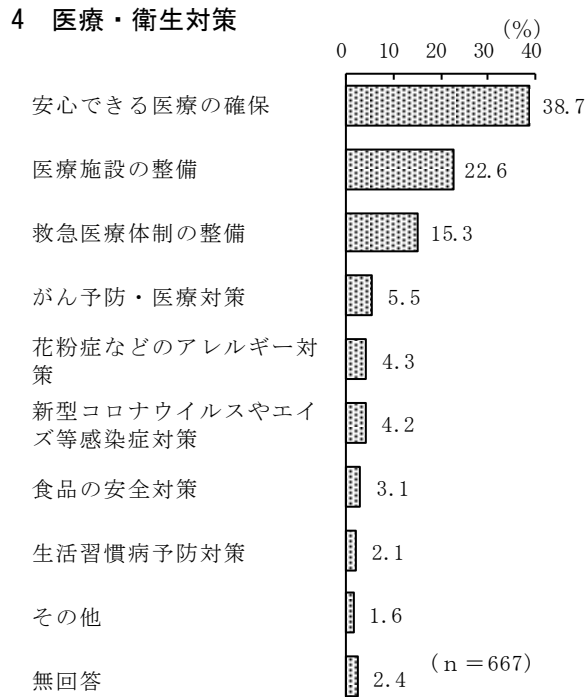
2 防災対策



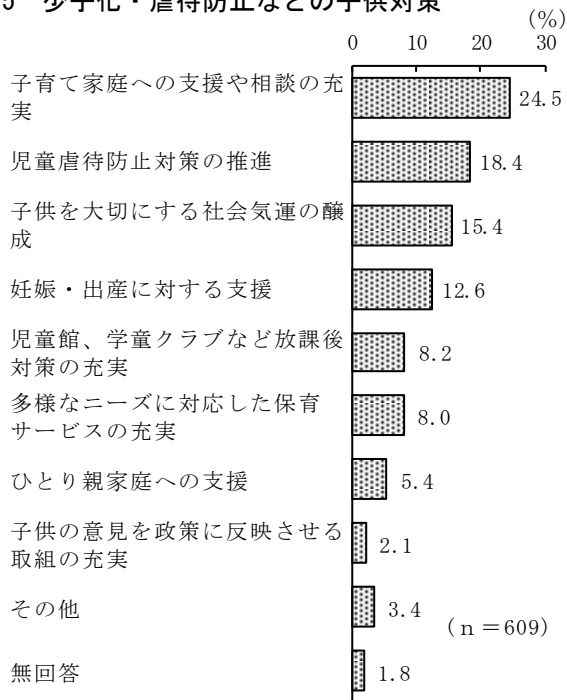
3 高齢者対策



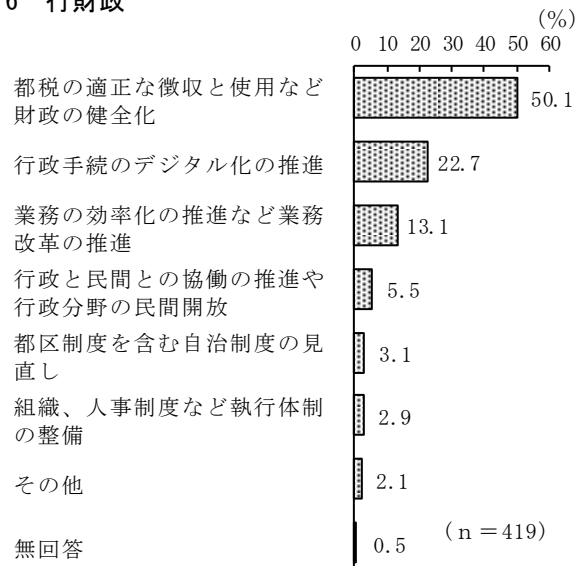
4 医療・衛生対策



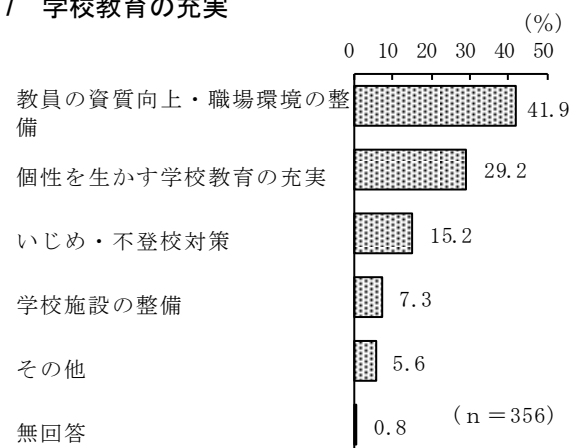
5 少子化・虐待防止などの子供対策



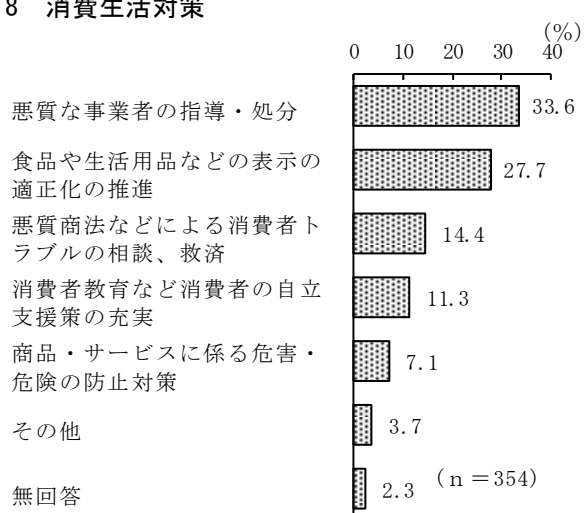
6 行財政



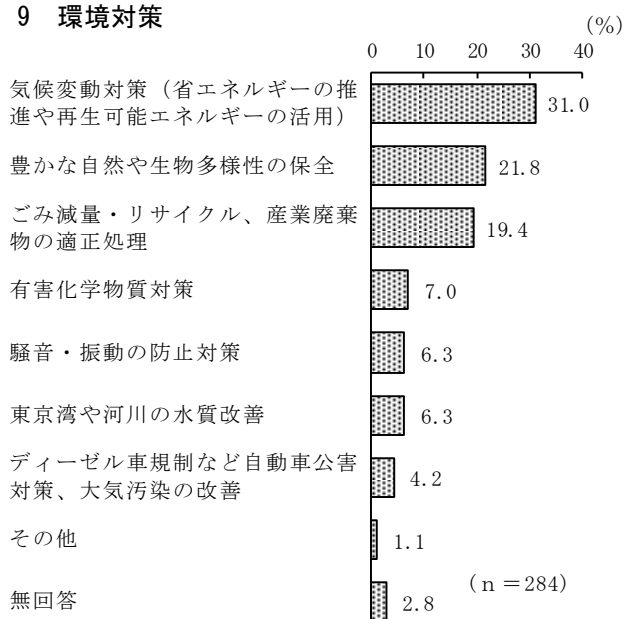
7 学校教育の充実



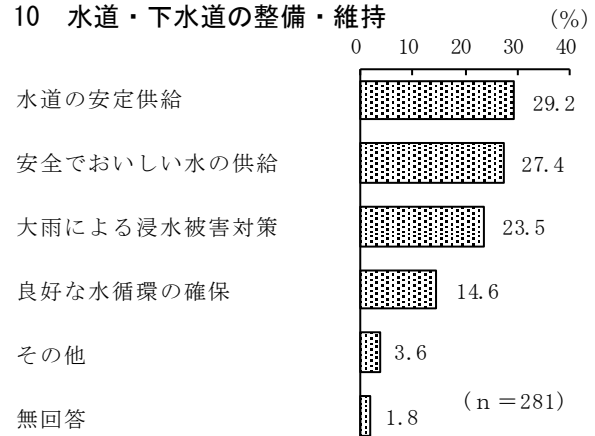
8 消費生活対策



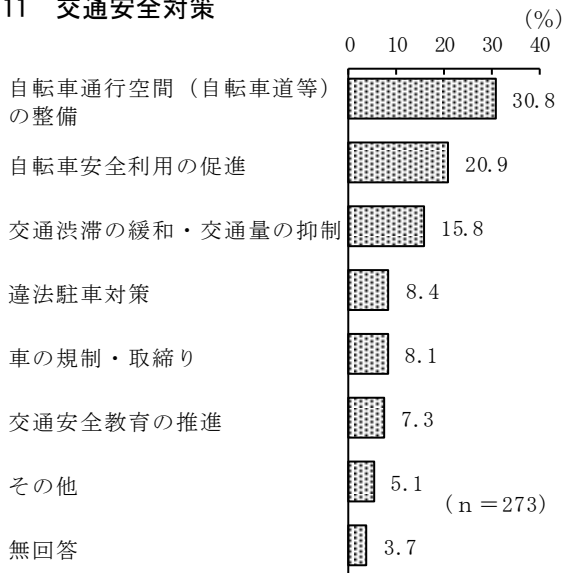
9 環境対策



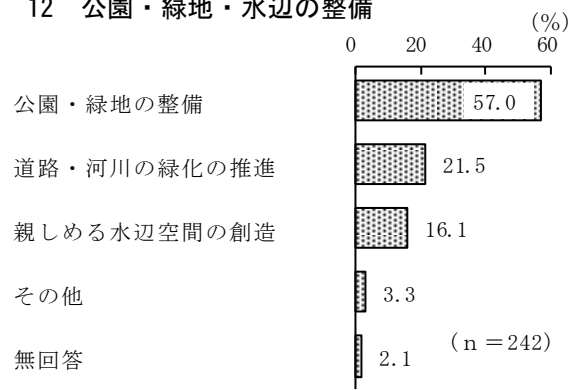
10 水道・下水道の整備・維持



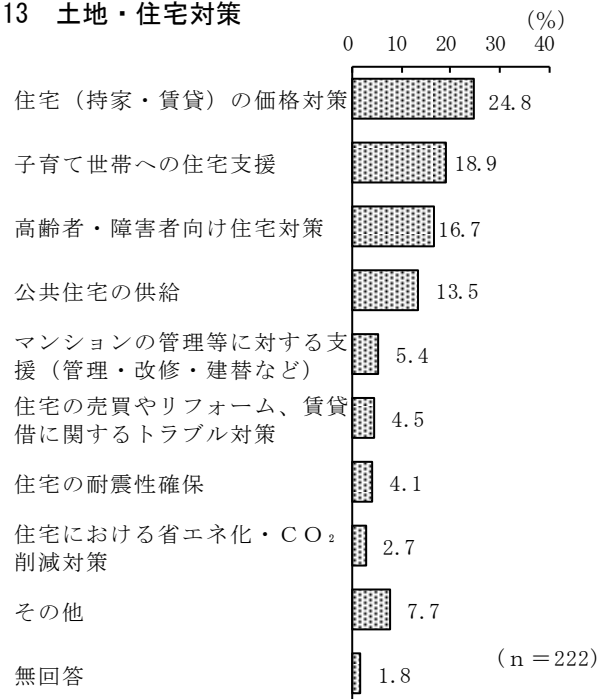
11 交通安全対策



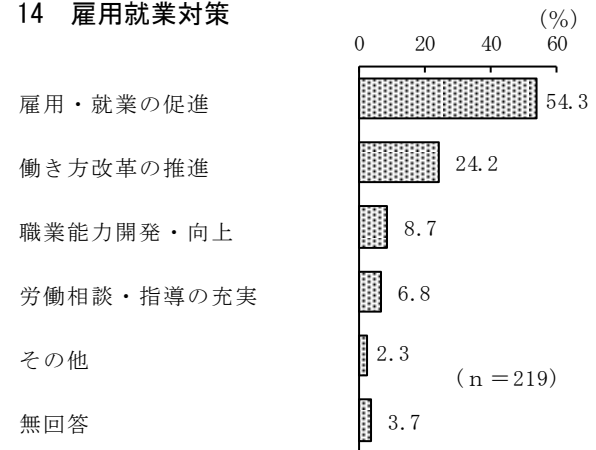
12 公園・緑地・水辺の整備



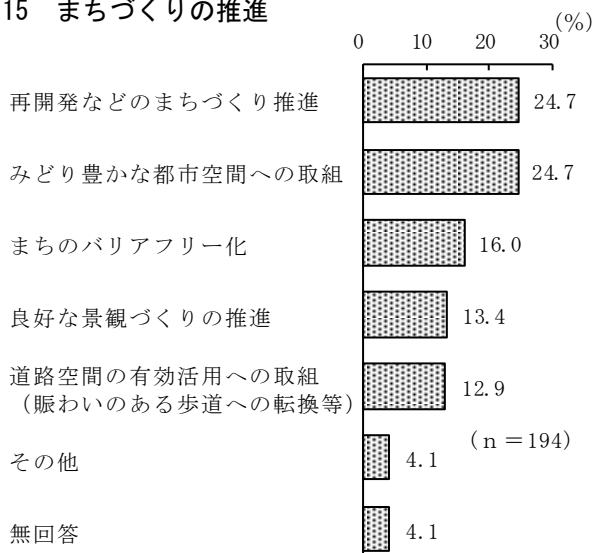
13 土地・住宅対策



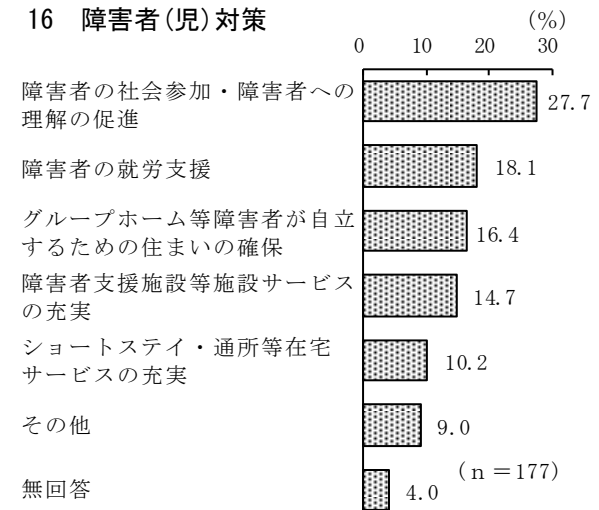
14 雇用就業対策



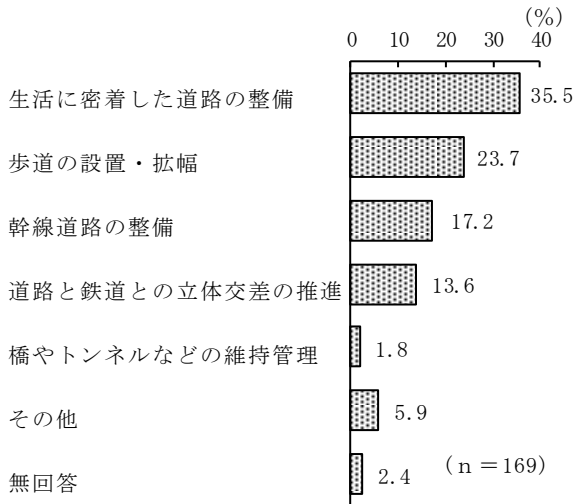
15 まちづくりの推進



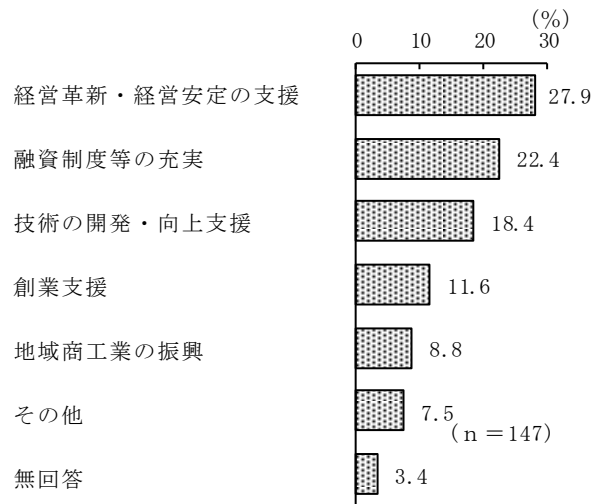
16 障害者(児)対策



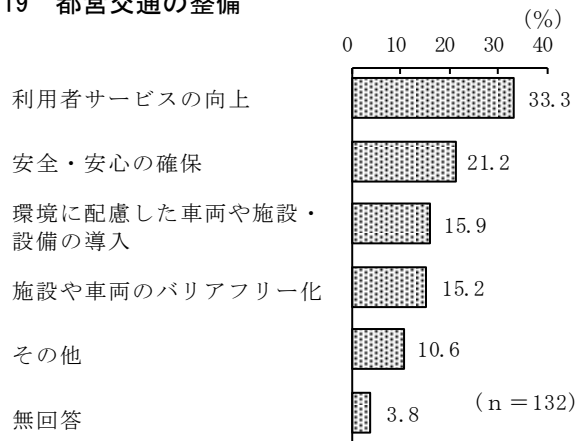
17 道路交通網の整備



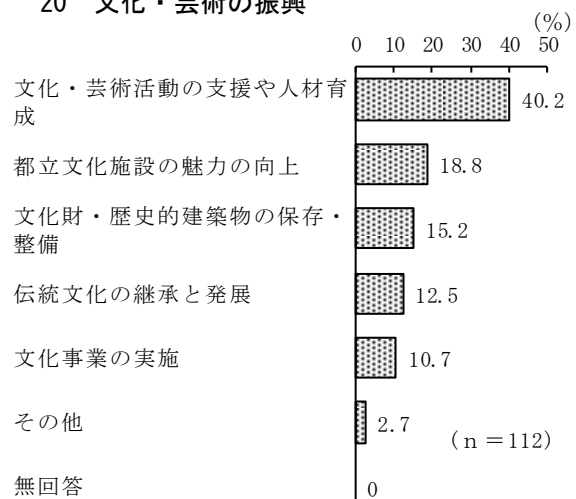
18 中小企業対策



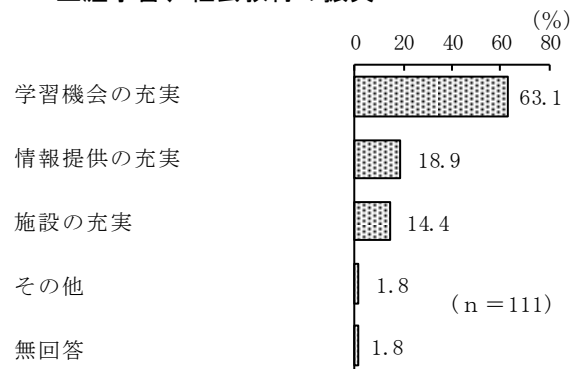
19 都営交通の整備



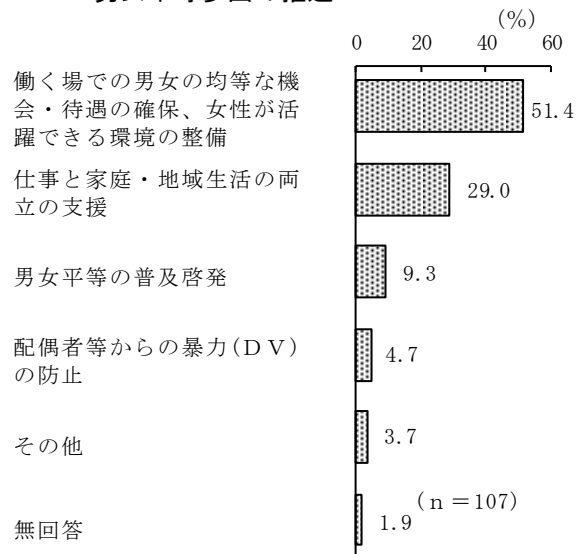
20 文化・芸術の振興



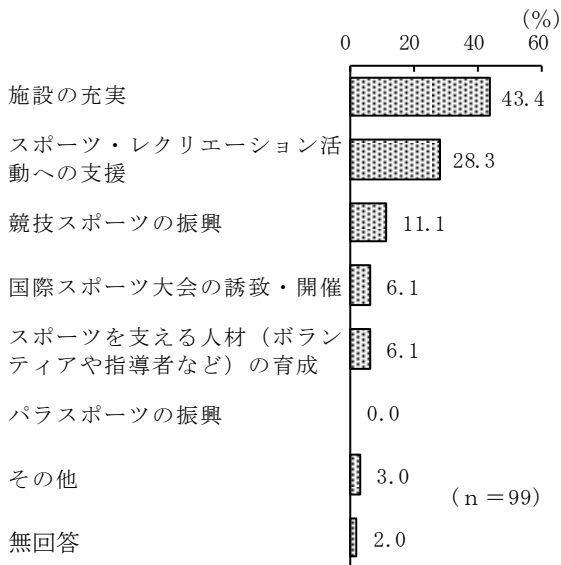
21 生涯学習、社会教育の振興



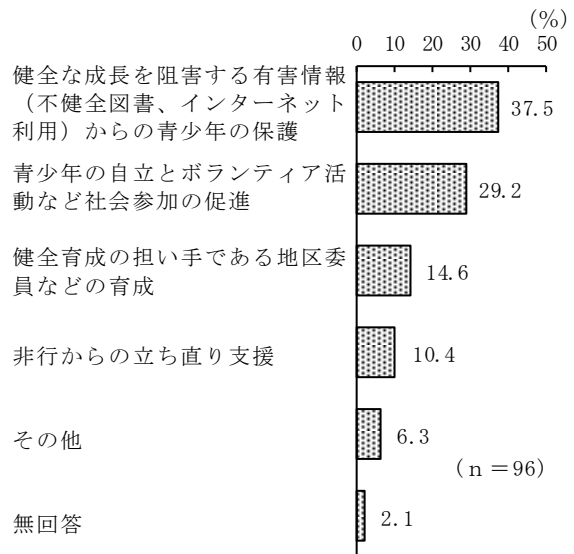
22 男女平等参画の推進



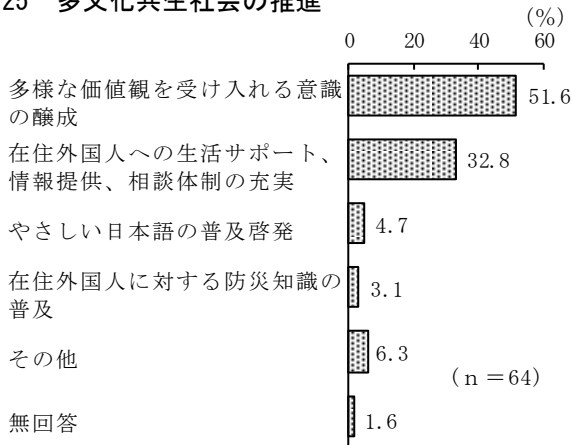
23 スポーツ・レクリエーションの振興



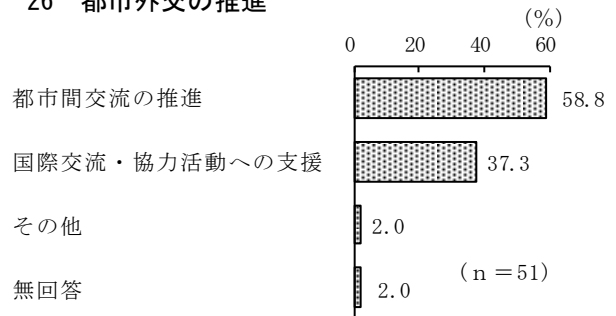
24 青少年健全育成の推進



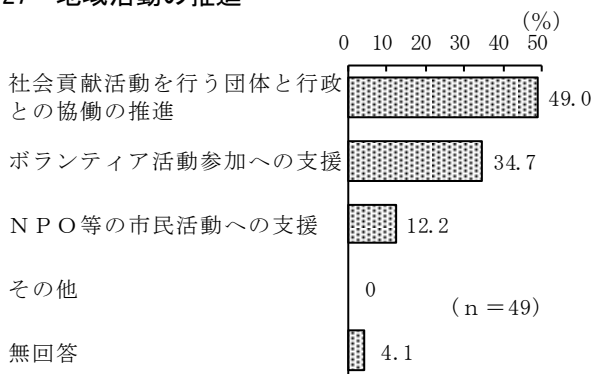
25 多文化共生社会の推進



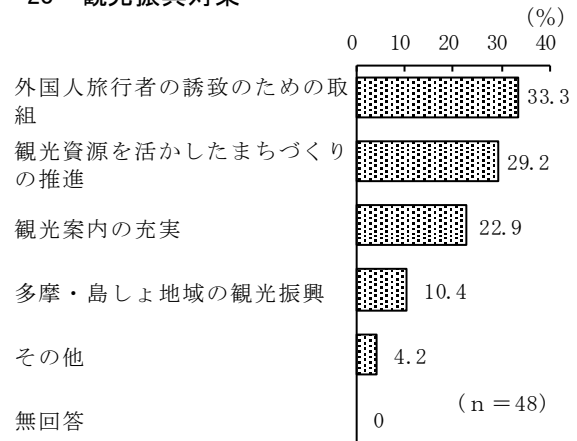
26 都市外交の推進



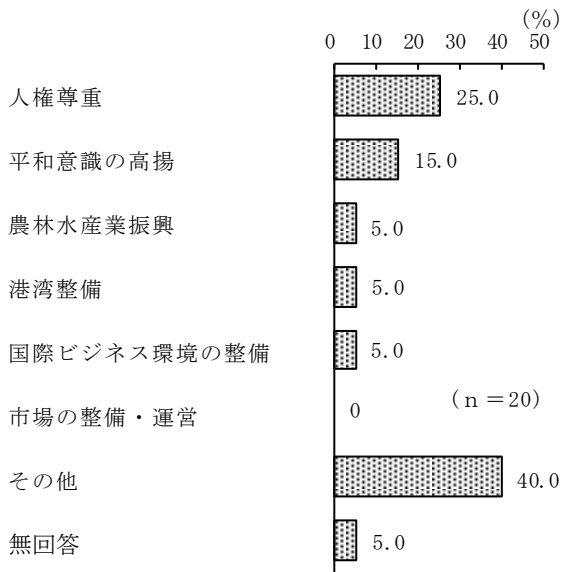
27 地域活動の推進



28 観光振興対策



29 その他



調査票及び単純集計結果

東京都『都民生活に関する世論調査』調査票

【暮らし】

(全員の方に)

問1 さっそくですが、お宅さまの暮らしは、去年の今ごろと比べて楽になりましたか、苦しくなりましたか、それとも、変わりませんか。(〇は1つ) <n = 1,784>

- | | | | | | | | |
|------|----------|--------|-------|------|----------|-------|---------|
| 3.5 | 1 | 楽になった | → 問2へ | 45.0 | 3 | 変わらない | } → 問2へ |
| 48.5 | 2 | 苦しくなった | → | 2.4 | 4 | わからない | |
| | | | | 0.7 | | 無回答 | |

(問1で「2 苦しくなった」と答えた方に)

問1-1 暮らしが苦しくなったのはなぜでしょうか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも) <n = 865>

- | | | |
|------|-----------|--------------------------|
| 29.2 | 1 | 営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った |
| 14.5 | 2 | 失業、退職、病気などで働き手が減った |
| 9.8 | 3 | 利率の低下などにより預貯金が目減りした |
| 72.3 | 4 | 家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた |
| 14.1 | 5 | 結婚、出産、病気など特別の出費があった |
| 15.6 | 6 | 教育費が増えた |
| 18.7 | 7 | 家や自動車、家電などの支出が増えた |
| 40.8 | 8 | 税金や保険料の支払いが増えた |
| 3.5 | 9 | 営業経費が増えた |
| 2.9 | 10 | その他(具体的に) |
| 1.0 | 11 | 特に理由はない、わからない |
| 0.1 | | 無回答 |
- M. T. = 222.4

(全員の方に)

問2 お宅さまの暮らしは、次のうちどれに当たりますか。あなたの感じ方に一番近いものを1つだけお選びください。(〇は1つ) <n = 1,784>

- | | | | | | |
|------|----------|----------------|------|----------|------------------|
| 5.9 | 1 | 今の暮らしで十分余裕がある | 40.3 | 3 | 今の暮らしではまだまだ余裕がない |
| 41.8 | 2 | 今の暮らしであればまあまあだ | 11.2 | 4 | 今の暮らしではとてもやりきれない |
| | | | 0.8 | | 無回答 |

(全員の方に)

問3 お宅さまの生活程度は、世間一般からみて、次のうちどれに入と思いますか。(〇は1つ) <n = 1,784>

- | | | | | | | | | |
|------|----------|-----|------|----------|-----|------|----------|-------|
| 1.7 | 1 | 上 | 36.5 | 3 | 中の中 | 13.1 | 5 | 下 |
| 14.3 | 2 | 中の上 | 27.5 | 4 | 中の下 | 6.4 | 6 | わからない |
| | | | | | | 0.5 | | 無回答 |

(全員の方に)

問4 あなたの暮らしむきは、これから1年間楽になると思いますが、苦しくなると思いますが。それとも変わらないと思いませんか。(Oは1つ) <n = 1,784>

- | | | | | | | | |
|------|---|---------|---------|------|---|----------|---------|
| 0.4 | 1 | かなり楽になる | } → 問5へ | 36.7 | 4 | やや苦しくなる | } → 問5へ |
| 3.5 | 2 | やや楽になる | | 15.3 | 5 | かなり苦しくなる | |
| 38.1 | 3 | 変わらない | | 5.5 | 6 | わからない | |
| | | | | 0.4 | | 無回答 | |

(問4で「4 やや苦しくなる」「5 かなり苦しくなる」と答えた方に)

問4-1 では、今後、切りつめていこうと思うものがありますか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(Oはいくつでも) <n = 927>

- | | | | | | | |
|------|---|---------------------|------|----|------------|---------------|
| 61.4 | 1 | 食費 | 19.8 | 10 | 保健、医療費 | |
| 33.4 | 2 | 嗜好品費(酒、タバコなど) | 33.2 | 11 | 理・美容、化粧品費 | |
| 46.3 | 3 | 住居費(光熱水費を含む) | 39.1 | 12 | 趣味、教養・娯楽費 | |
| 52.0 | 4 | 被服費(身の回り品を含む) | 36.4 | 13 | 旅行 | |
| 24.1 | 5 | 装飾品費(宝石、貴金属類など) | 53.3 | 14 | 外食費 | |
| 28.3 | 6 | 家具、家電製品、車などの購入費 | 15.5 | 15 | 家族のこづかい | |
| 16.8 | 7 | 交通費(車の燃料・経費を含む) | 15.7 | 16 | 冠婚葬祭、交際費 | |
| 23.4 | 8 | 通信費(電話、インターネット接続など) | 2.4 | 17 | その他(具体的に) | |
| 6.3 | 9 | 教育費(塾を含む) | 2.9 | 18 | 特にない | |
| | | | 4.0 | | 無回答 | M. T. = 510.2 |

(全員の方に)

問5 あなたは、現在のご自分の生活に満足していますか。(Oは1つ) <n = 1,784>

- | | | | | | | | | |
|------|---|----------|------|---|---------|-----|---|-------|
| 3.1 | 1 | 大変満足している | 38.2 | 3 | やや不満である | 3.6 | 5 | わからない |
| 43.6 | 2 | まあ満足している | 11.3 | 4 | 大変不満である | 0.2 | | 無回答 |
| | | | | | | | | |
- 問5-2へ(次のページ) ←
- 問6へ(次のページ) ↓

(問5で「1 大変満足している」「2 まあ満足している」と答えた方に)

問5-1 どのような理由で満足されていますか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(Oはいくつでも) <n = 833>

- | | | | | | | |
|------|---|-----------------------------|------|----|------------------------|---------------|
| 70.9 | 1 | 健康であるから | 17.8 | 8 | スポーツやレジャー活動が充実しているから | |
| 20.6 | 2 | 衣生活が豊かだから | 15.5 | 9 | 仕事や勉強がうまくいっているから | |
| 38.7 | 3 | 食生活が豊かだから | 26.1 | 10 | 趣味、教養の時間が十分とれて充実しているから | |
| 33.9 | 4 | 住生活が豊かだから | 14.0 | 11 | 家具、車など耐久消費財がそろっているから | |
| 58.5 | 5 | 家族との生活が充実しているから | 11.6 | 12 | 十分な貯蓄があるから | |
| 40.6 | 6 | 友人、知人との人間関係が充実しているから | 8.8 | 13 | 悩みや心配ごとがないから | |
| 8.5 | 7 | 地域活動やボランティア活動などで社会に貢献しているから | 3.0 | 14 | その他(具体的に) | |
| | | | 0.7 | | 無回答 | M. T. = 368.4 |

(問5で「3 やや不満である」「4 大変不満である」と答えた方に)

問5-2 どのような理由で不満であると感じていますか。次の中から当てはまるものをいくつかもお選びください。(〇はいくつでも) <n=884>

- | | | | | | |
|------|---|-------------------------|------|-----|-------------------------|
| 29.6 | 1 | 健康でないから | 21.2 | 8 | スポーツやレジャー活動が思うようにできないから |
| 12.3 | 2 | 衣生活が不十分だから | 16.0 | 9 | 仕事や勉強がうまくいっていないから |
| 22.2 | 3 | 食生活が不十分だから | 27.9 | 10 | 趣味、教養の時間が十分とれないから |
| 21.6 | 4 | 住生活が不十分だから | 27.7 | 11 | 家具、車など、欲しいものが買えないから |
| 10.2 | 5 | 家族との生活がうまくいっていないから | 69.3 | 12 | 貯蓄が十分でないから |
| 3.3 | 6 | 友人、知人との人間関係がうまくいっていないから | 35.7 | 13 | 悩みや心配ごとがあるから |
| 13.0 | 7 | 社会に貢献しているという充実感がないから | 8.7 | 14 | その他(具体的に) |
| | | | 0.6 | 無回答 | M. T. =318.8 |

(全員の方に)

問6 あなたが、今後の生活を考えたとき、不安に感じることはありませんか。次の中から当てはまるものをいくつかもお選びください。(〇はいくつでも) <n=1,784>

- | | | | | | |
|------|---|---------------|------|-----|--------------|
| 72.3 | 1 | 自分の健康・病気 | 35.1 | 9 | 親などの介護 |
| 61.3 | 2 | 家族の健康・病気 | 58.7 | 10 | 老後の生活 |
| 11.5 | 3 | 自分の就職、結婚などの問題 | 10.5 | 11 | 家族・親族間の人間関係 |
| 10.9 | 4 | 家族の就職、結婚などの問題 | 5.7 | 12 | 近隣・地域の人間関係 |
| 19.5 | 5 | 子育て、子供の教育 | 22.3 | 13 | 仕事や職場のこと |
| 52.5 | 6 | 今後の収入 | 2.7 | 14 | その他(具体的に) |
| 38.2 | 7 | 貯蓄や資産(借金や負債) | 1.2 | 15 | 不安に感じることはない |
| 45.2 | 8 | 税金や保険料(などの負担) | 0.4 | 無回答 | M. T. =447.8 |

(全員の方に)

問7 あなたは、税金について関心がありますか。(〇は1つ) <n=1,784>

- | | | | | | | |
|------|---|----------|-----|-----|-------|--------------------|
| 39.9 | 1 | 大いに関心がある | 6.4 | 3 | 関心がない | } → 問8へ
(次のページ) |
| 45.2 | 2 | 少し関心がある | 8.1 | 4 | わからない | |
| | | | 0.3 | 無回答 | | |

(問7で「1 大いに関心がある」「2 少し関心がある」と答えた方に)

問7-1 では、今、あなたが関心をもっているのはどのようなことですか。次の中から当てはまるものをいくつかもお選びください。(〇はいくつでも) <n=1,518>

- | | | | | | |
|------|---|-----------|------|-----|--------------|
| 66.7 | 1 | 自分の納める税額 | 10.3 | 5 | 隠し所得や脱税の摘発 |
| 19.8 | 2 | 申告・納税のしかた | 49.3 | 6 | 所得税や住民税などの減税 |
| 67.2 | 3 | 税金の使われ方 | 39.9 | 7 | 新税の導入や増税 |
| 42.9 | 4 | 税負担の不公平さ | 2.6 | 8 | その他(具体的に) |
| | | | 0.3 | 無回答 | M. T. =298.6 |

【住んでいる地域】

(全員の方に)

問8 ところで、あなたが、今住んでいらっしゃる場所は、住みよいところだと思いますか。それとも、思いませんか。(〇は1つ) <n=1,784>

- | | | | | | |
|------|----------|----------------|-----|----------|-------|
| 82.2 | 1 | 住みよいところだと思う | 8.2 | 3 | わからない |
| 9.1 | 2 | 住みよいところだとは思わない | 0.6 | | 無回答 |

(全員の方に)

問9 あなたは、今お住まいのこの地域に今後もずっと住みたいと思いますか、それとも、住みたくないと思いますか。あなたのお気持ちをお答えください。(〇は1つ) <n=1,784>

- | | | | | | | | | | |
|------|----------|------|-----|----------|--------|------|----------|-------|-------------------|
| 71.9 | 1 | 住みたい | 9.5 | 2 | 住みたくない | 18.3 | 3 | わからない | → 問10へ
(次のページ) |
| | | | | | | 0.3 | | 無回答 | |

(問9で「1 住みたい」と答えた方に)

問9-1 住みたいと思うのはなぜですか。
次の中から3つまでお答えください。
(〇は3つまで) <n=1,282>

- | | | |
|------|-----------|------------------------------|
| 37.4 | 1 | 通勤・通学に便利なところだから |
| 53.4 | 2 | 買物など日常の生活環境が整っているから |
| 37.8 | 3 | 地域に愛着を感じているから
(住み慣れているから) |
| 41.7 | 4 | 自分の土地や家があるから |
| 15.4 | 5 | 親や子供、親類が近くににいるから |
| 4.8 | 6 | 仕事や商売に都合がよいから |
| 22.2 | 7 | 静かで住環境がよいから |
| 19.2 | 8 | 緑などの自然環境がよいから |
| 5.5 | 9 | 文化や教育の面で環境がよいから |
| 5.1 | 10 | 福祉サービスが充実しているから |
| 6.8 | 11 | 防災の面で安心だから |
| 14.4 | 12 | 治安の面で安心だから |
| 1.5 | 13 | その他 (具体的に) |
| 0.3 | 14 | わからない |
| 0.1 | | 無回答 |
- M. T. =265.4

(問9で「2 住みたくない」と答えた方に)

問9-2 住みたくないと思うのはなぜですか。
次の中から3つまでお答えください。
(〇は3つまで) <n=170>

- | | | |
|------|-----------|-----------------------------|
| 27.6 | 1 | 通勤・通学に不便なところだから |
| 20.0 | 2 | 買物など日常の生活環境が整っていないから |
| 32.9 | 3 | 地域に愛着を感じないから |
| 32.4 | 4 | 家賃など住居費が高いから |
| 10.6 | 5 | 親や子供、親類が近くにいないから |
| 30.6 | 6 | 騒音・振動・大気汚染など周辺環境が
よくないから |
| 8.2 | 7 | 緑などの自然環境がよくないから |
| 5.3 | 8 | 文化や教育の面で環境がよくないから |
| 8.8 | 9 | 福祉サービスが充実していないから |
| 17.1 | 10 | 防災の面で不安だから |
| 14.7 | 11 | 治安の面で不安だから |
| 9.4 | 12 | その他 (具体的に) |
| 0.6 | 13 | わからない |
| - | | 無回答 |
- M. T. =218.2

【東京】

(全員の方向に)

問10 あなたにとって東京は、全般的にみて住みよいところですか、それとも住みにくいところですか。
(○は1つ) <n = 1,784>

- | | | | | | |
|------|----------|-------|------|----------|-----------|
| 60.8 | 1 | 住みよい | 28.8 | 3 | どちらともいえない |
| 7.2 | 2 | 住みにくい | 1.5 | 4 | わからない |
| | | | 1.6 | | 無回答 |

(全員の方向に)

問11 あなたは、東京に今後もずっと住みたいと思いますか、それとも、住みたくないと思いますか。あなたのお気持ちをお答えください。(○は1つ) <n = 1,784>

- | | | | | | | | | | | |
|------|----------|------|-----|----------|--------|------|----------|-------|---|---------|
| 71.5 | 1 | 住みたい | 8.9 | 2 | 住みたくない | 18.1 | 3 | わからない | → | 問12へ |
| | | | | | | 1.5 | | 無回答 | | (次のページ) |

(問11で「1 住みたい」と答えた方に)

問11-1 住みたいと思うのはなぜですか。
次の中から3つまでお答えください。
(○は3つまで) <n = 1,275>

- | | | |
|------|-----------|------------------------------|
| 79.0 | 1 | 交通網が発達していて便利だから |
| 25.0 | 2 | 文化的な施設やコンサート・スポーツなどの催しが多いから |
| 12.6 | 3 | 最新の情報が手に入り、流行の先端に触れることができるから |
| 12.3 | 4 | 仕事を見つけやすい、事業をおこしやすいから |
| 12.7 | 5 | 教育や学習の機会や場が充実しているから |
| 32.9 | 6 | 医療や福祉などの質が高いから |
| 8.7 | 7 | 治安の面で安心だから |
| 15.5 | 8 | 東京が好きだから |
| 49.3 | 9 | 東京に長く暮らしているから |
| 14.4 | 10 | 人間関係がわずらわしくないから |
| 2.7 | 11 | その他 (具体的に) |
| 0.4 | 12 | わからない |
| 0.1 | | 無回答 |
- M. T. = 265.6

(問11で「2 住みたくない」と答えた方に)

問11-2 住みたくないと思うのはなぜですか。
次の中から3つまでお答えください。
(○は3つまで) <n = 159>

- | | | |
|------|-----------|-------------------------|
| 63.5 | 1 | 人や車が多過ぎるから |
| 30.8 | 2 | 通勤・通学ラッシュがひどいから |
| 62.9 | 3 | 生活費が高いから |
| 38.4 | 4 | 住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから |
| 15.1 | 5 | 緑や公園などの自然が少ないから |
| 17.6 | 6 | 大気汚染や騒音などの公害がひどいから |
| 10.1 | 7 | 治安の面で不安だから |
| 10.1 | 8 | 人間関係が希薄だから |
| 8.2 | 9 | 街並みが雑然として景観がよくないから |
| 9.4 | 10 | その他 (具体的に) |
| - | 11 | わからない |
| - | | 無回答 |

M. T. = 266.0

【都政への要望】

(全員の方に)

問12 あなたは、これからの都政の進め方に対して、どんなことを望みますか。次の中から特に望むことを3つまでお選びください。(〇は3つまで) <n = 1,784>

- | | | | | | |
|------|---|--------------------|------|----|--------------------|
| 35.4 | 1 | 都政情報をわかりやすく提供する | 14.9 | 8 | 住民に身近な事務は区市町村に任せる |
| 27.6 | 2 | 情報公開を積極的に進める | 7.1 | 9 | 国に対してさらに地方分権を働きかける |
| 42.5 | 3 | 都民の意見や要望をよく知る | 3.8 | 10 | ボランティア活動や市民活動と協働する |
| 25.5 | 4 | 行政手続のデジタル化・簡素化を進める | 4.9 | 11 | その他(具体的に) |
| 12.1 | 5 | 都庁の組織を簡素化する | 6.0 | 12 | 特にない |
| 12.8 | 6 | 職員の意識改革を進める | 5.2 | 13 | わからない |
| 36.2 | 7 | 予算を効率的に執行する | 1.4 | | 無回答 |
- M. T. = 234.0

(全員の方に)

問13 新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが、令和5年5月8日に2類相当から5類に移行しました(季節性インフルエンザと同じ扱い)。

あなたは今後、「新型コロナウイルス感染症に関する対策」について、都にどのようなことを望みますか。次の中から特に望むことを3つまでお選びください。(〇は3つまで) <n = 1,784>

- | | | | | | |
|------|---|----------------------------------|------|---|-------------------------|
| 59.9 | 1 | 医療提供体制の充実強化
(体制整備、ワクチン接種等) | 27.2 | 5 | 相談体制の継続
(生活全般の相談支援等) |
| 15.8 | 2 | 経営に影響があった事業者への
支援(融資、販路開拓支援等) | 28.9 | 6 | 社会経済活動の再生・回復の促進 |
| 38.4 | 3 | 生活に困った方への支援
(資金貸付、居住支援等) | 5.6 | 7 | 新型コロナ対策は不要 |
| 42.0 | 4 | 情報発信の継続
(感染状況、注意喚起等) | 3.1 | 8 | その他(具体的に) |
| | | | 4.1 | 9 | 特にない |
| | | | 0.9 | | 無回答 |
- M. T. = 224.9

(全員の方に)

問14 これからの都政全体について考えた場合、次にあげたことのどれに力を入れてほしいと思いますか。特に都に力を入れて取り組んでもらいたいことを5つまでお選びください。(〇は5つまで)

なお、次の〔問14-1 分野別要望〕に、具体的な要望内容を記載していますので、参考にしてください。

<n = 1,784>

- | | | | | | |
|------|-----------|------------|------|-----------|---------------------|
| 23.5 | 1 | 行財政 | 34.1 | 16 | 少子化・虐待防止などの子供対策 |
| 2.9 | 2 | 都市外交の推進 | 37.4 | 17 | 医療・衛生対策 |
| 40.2 | 3 | 治安対策 | 10.9 | 18 | まちづくりの推進 |
| 15.3 | 4 | 交通安全対策 | 13.6 | 19 | 公園・緑地・水辺の整備 |
| 39.6 | 5 | 防災対策 | 15.8 | 20 | 水道・下水道の整備・維持 |
| 8.2 | 6 | 中小企業対策 | 9.5 | 21 | 道路交通網の整備 |
| 12.3 | 7 | 雇用就業対策 | 7.4 | 22 | 都営交通の整備 |
| 2.7 | 8 | 観光振興対策 | 12.4 | 23 | 土地・住宅対策 |
| 19.8 | 9 | 消費生活対策 | 20.0 | 24 | 学校教育の充実 |
| 6.0 | 10 | 男女平等参画の推進 | 6.2 | 25 | 生涯学習、社会教育の振興 |
| 2.7 | 11 | 地域活動の推進 | 6.3 | 26 | 文化・芸術の振興 |
| 5.4 | 12 | 青少年健全育成の推進 | 5.5 | 27 | スポーツ・レクリエーションの振興 |
| 15.9 | 13 | 環境対策 | 3.6 | 28 | 多文化共生社会の推進 |
| 39.6 | 14 | 高齢者対策 | 1.1 | 29 | その他 |
| 9.9 | 15 | 障害者(児)対策 | 3.0 | 30 | わからない → F 1へ(12ページ) |
| | | | 0.4 | | 無回答 |

M. T. = 430.8

(問14で「1 行財政」～「29 その他」を選んだ方に)

問14-1 それでは、問14で(5つまで)選ばれた「都に力を入れて取り組んでほしいこと」について、それぞれ具体的にどのようなことを望まれますか。次の表の左側のあなたが選ばれた項目に対応する右側の〔問14-1 分野別要望〕の中から該当するものについて、それぞれ1つずつお選びください。(〇はそれぞれ1つ) ※11ページまであります。

問14で選ばれた「都に力を入れて取り組んでほしいこと」	〔問14-1 分野別要望〕(〇はそれぞれ1つ)
「1 行財政」 を選んだ方 <n = 419>	22.7 1 行政手続のデジタル化の推進 13.1 2 業務の効率化の推進など業務改革の推進 5.5 3 行政と民間との協働の推進や行政分野の民間開放 2.9 4 組織、人事制度など執行体制の整備 50.1 5 都税の適正な徴収と使用など財政の健全化 3.1 6 都区制度を含む自治制度の見直し 2.1 7 その他(具体的に) 0.5 無回答
「2 都市外交の推進」 を選んだ方 <n = 51>	58.8 1 都市間交流の推進 37.3 2 国際交流・協力活動への支援 2.0 3 その他(具体的に) 2.0 無回答

問14で選ばれた「都に力を入れて取り組んでほしいこと」	〔問14-1 分野別要望〕（〇はそれぞれ1つ）
「3 治安対策」 を選んだ方 <n=718>	19.9 1 警察官によるパトロールの強化 18.2 2 子供等に対する犯罪が起こりにくい環境の整備 7.2 3 少年犯罪・少年非行の防止 9.2 4 防犯設備の設置等に対する支援 11.8 5 外国人による犯罪の防止 14.8 6 オレオレ詐欺や還付金詐欺などの特殊詐欺被害の防止 3.1 7 テロ対策等新たな犯罪への取組 13.5 8 不正アクセスなどインターネットを利用した犯罪の防止 0.7 9 その他（具体的に) 1.5 無回答
「4 交通安全対策」 を選んだ方 <n=273>	15.8 1 交通渋滞の緩和・交通量の抑制 8.4 2 違法駐車対策 8.1 3 車の規制・取締り 7.3 4 交通安全教育の推進 30.8 5 自転車通行空間（自転車道等）の整備 20.9 6 自転車安全利用の促進 5.1 7 その他（具体的に) 3.7 無回答
「5 防災対策」 を選んだ方 <n=706>	41.8 1 防災都市づくり（無電柱化、道路の整備や建築物の耐震化・不燃化等） 26.1 2 災害時の活動体制の充実 4.5 3 防災対策に関する普及・啓発活動の充実 24.6 4 風水害対策（台風・集中豪雨による災害の予防・復旧等） 1.0 5 その他（具体的に) 2.0 無回答
「6 中小企業対策」 を選んだ方 <n=147>	8.8 1 地域商工業の振興 22.4 2 融資制度等の充実 11.6 3 創業支援 18.4 4 技術の開発・向上支援 27.9 5 経営革新・経営安定の支援 7.5 6 その他（具体的に) 3.4 無回答
「7 雇用就業対策」 を選んだ方 <n=219>	54.3 1 雇用・就業の促進 8.7 2 職業能力開発・向上 6.8 3 労働相談・指導の充実 24.2 4 働き方改革の推進 2.3 5 その他（具体的に) 3.7 無回答
「8 観光振興対策」 を選んだ方 <n=48>	33.3 1 外国人旅行者の誘致のための取組 22.9 2 観光案内の充実 10.4 3 多摩・島しょ地域の観光振興 29.2 4 観光資源を活かしたまちづくりの推進 4.2 5 その他（具体的に) - 無回答
「9 消費生活対策」 を選んだ方 <n=354>	14.4 1 悪質商法などによる消費者トラブルの相談、救済 33.6 2 悪質な事業者の指導・処分 27.7 3 食品や生活用品などの表示の適正化の推進 7.1 4 商品・サービスに係る危害・危険の防止対策 11.3 5 消費者教育など消費者の自立支援策の充実 3.7 6 その他（具体的に) 2.3 無回答

問14で選ばれた「都に力を入れて取り組んでほしいこと」	〔問14-1 分野別要望〕(〇はそれぞれ1つ)
「10 男女平等参画の推進」 を選んだ方 <n = 107>	51.4 1 働く場での男女の均等な機会・待遇の確保、女性が活躍できる環境の整備 29.0 2 仕事と家庭・地域生活の両立の支援 4.7 3 配偶者等からの暴力(DV)の防止 9.3 4 男女平等の普及啓発 3.7 5 その他(具体的に) 1.9 無回答
「11 地域活動の推進」 を選んだ方 <n = 49>	12.2 1 NPO等の市民活動への支援 49.0 2 社会貢献活動を行う団体と行政との協働の推進 34.7 3 ボランティア活動参加への支援 - 4 その他(具体的に) 4.1 無回答
「12 青少年健全育成の推進」 を選んだ方 <n = 96>	29.2 1 青少年の自立とボランティア活動など社会参加の促進 37.5 2 健全な成長を阻害する有害情報(不健全図書、インターネット利用)からの青少年の保護 14.6 3 健全育成の担い手である地区委員などの育成 10.4 4 非行からの立ち直り支援 6.3 5 その他(具体的に) 2.1 無回答
「13 環境対策」 を選んだ方 <n = 284>	31.0 1 気候変動対策(省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの活用) 4.2 2 ディーゼル車規制など自動車公害対策、大気汚染の改善 6.3 3 騒音・振動の防止対策 7.0 4 有害化学物質対策 21.8 5 豊かな自然や生物多様性の保全 6.3 6 東京湾や河川の水質改善 19.4 7 ごみ減量・リサイクル、産業廃棄物の適正処理 1.1 8 その他(具体的に) 2.8 無回答
「14 高齢者対策」 を選んだ方 <n = 706>	21.5 1 介護保険サービスの質的向上 12.3 2 訪問介護・通所介護等在宅サービスの充実 12.6 3 特別養護老人ホーム等施設サービスの充実 14.4 4 認知症の人と家族への支援 13.7 5 サービス付き高齢者向け住宅等高齢者が自立するための住まいの確保 6.2 6 介護予防及び高齢期の健康づくり 12.2 7 高齢者が活躍できる地域づくりの促進 2.1 8 その他(具体的に) 4.8 無回答
「15 障害者(児)対策」 を選んだ方 <n = 177>	10.2 1 ショートステイ・通所等在宅サービスの充実 14.7 2 障害者支援施設等施設サービスの充実 16.4 3 グループホーム等障害者が自立するための住まいの確保 27.7 4 障害者の社会参加・障害者への理解の促進 18.1 5 障害者の就労支援 9.0 6 その他(具体的に) 4.0 無回答

問14で選ばれた「都に力を入れて取り組んでほしいこと」	〔問14-1 分野別要望〕(〇はそれぞれ1つ)
「16 少子化・虐待防止などの 子供対策」 を選んだ方 < n = 609 >	18.4 1 児童虐待防止対策の推進 8.0 2 多様なニーズに対応した保育サービスの充実 5.4 3 ひとり親家庭への支援 8.2 4 児童館、学童クラブなど放課後対策の充実 24.5 5 子育て家庭への支援や相談の充実 12.6 6 妊娠・出産に対する支援 15.4 7 子供を大切に作る社会気運の醸成 2.1 8 子供の意見を政策に反映させる取組の充実 3.4 9 その他(具体的に) 1.8 無回答
「17 医療・衛生対策」 を選んだ方 < n = 667 >	22.6 1 医療施設の整備 15.3 2 救急医療体制の整備 5.5 3 がん予防・医療対策 38.7 4 安心できる医療の確保 2.1 5 生活習慣病予防対策 4.2 6 新型コロナウイルスやエイズ等感染症対策 4.3 7 花粉症などのアレルギー対策 3.1 8 食品の安全対策 1.6 9 その他(具体的に) 2.4 無回答
「18 まちづくりの推進」 を選んだ方 < n = 194 >	16.0 1 まちのバリアフリー化 24.7 2 再開発などのまちづくり推進 13.4 3 良好な景観づくりの推進 24.7 4 みどり豊かな都市空間への取組 12.9 5 道路空間の有効活用への取組(賑わいのある歩道への転換等) 4.1 6 その他(具体的に) 4.1 無回答
「19 公園・緑地・水辺の整備」 を選んだ方 < n = 242 >	21.5 1 道路・河川の緑化の推進 57.0 2 公園・緑地の整備 16.1 3 親しめる水辺空間の創造 3.3 4 その他(具体的に) 2.1 無回答
「20 水道・下水道の整備・維持」 を選んだ方 < n = 281 >	29.2 1 水道の安定供給 27.4 2 安全でおいしい水の供給 23.5 3 大雨による浸水被害対策 14.6 4 良好な水循環の確保 3.6 5 その他(具体的に) 1.8 無回答
「21 道路交通網の整備」 を選んだ方 < n = 169 >	17.2 1 幹線道路の整備 35.5 2 生活に密着した道路の整備 13.6 3 道路と鉄道との立体交差の推進 23.7 4 歩道の設置・拡幅 1.8 5 橋やトンネルなどの維持管理 5.9 6 その他(具体的に) 2.4 無回答
「22 都営交通の整備」 を選んだ方 < n = 132 >	33.3 1 利用者サービスの向上 15.9 2 環境に配慮した車両や施設・設備の導入 21.2 3 安全・安心の確保 15.2 4 施設や車両のバリアフリー化 10.6 5 その他(具体的に) 3.8 無回答

問14で選ばれた「都に力を入れて取り組んでほしいこと」	〔問14-1 分野別要望〕(〇はそれぞれ1つ)
「23 土地・住宅対策」 を選んだ方 <n = 222>	13.5 1 公共住宅の供給 18.9 2 子育て世帯への住宅支援 16.7 3 高齢者・障害者向け住宅対策 4.1 4 住宅の耐震性確保 24.8 5 住宅（持家・賃貸）の価格対策 2.7 6 住宅における省エネ化・CO ₂ 削減対策 4.5 7 住宅の売買やリフォーム、賃貸借に関するトラブル対策 5.4 8 マンションの管理等に対する支援（管理・改修・建替など） 7.7 9 その他（具体的に) 1.8 無回答
「24 学校教育の充実」 を選んだ方 <n = 356>	29.2 1 個性を生かす学校教育の充実 15.2 2 いじめ・不登校対策 7.3 3 学校施設の整備 41.9 4 教員の資質向上・職場環境の整備 5.6 5 その他（具体的に) 0.8 無回答
「25 生涯学習、社会教育の振興」 を選んだ方 <n = 111>	63.1 1 学習機会の充実 14.4 2 施設の充実 18.9 3 情報提供の充実 1.8 4 その他（具体的に) 1.8 無回答
「26 文化・芸術の振興」 を選んだ方 <n = 112>	18.8 1 都立文化施設の魅力の向上 40.2 2 文化・芸術活動の支援や人材育成 12.5 3 伝統文化の継承と発展 15.2 4 文化財・歴史的建築物の保存・整備 10.7 5 文化事業の実施 2.7 6 その他（具体的に) - 無回答
「27 スポーツ・レクリエーションの振興」 を選んだ方 <n = 99>	43.4 1 施設の充実 28.3 2 スポーツ・レクリエーション活動への支援 11.1 3 競技スポーツの振興 6.1 4 国際スポーツ大会の誘致・開催 6.1 5 スポーツを支える人材（ボランティアや指導者など）の育成 - 6 パラスポーツの振興 3.0 7 その他（具体的に) 2.0 無回答
「28 多文化共生社会の推進」 を選んだ方 <n = 64>	32.8 1 在住外国人への生活サポート、情報提供、相談体制の充実 4.7 2 やさしい日本語の普及啓発 51.6 3 多様な価値観を受け入れる意識の醸成 3.1 4 在住外国人に対する防災知識の普及 6.3 5 その他（具体的に) 1.6 無回答
「29 その他」 を選んだ方 <n = 20>	25.0 1 人権尊重 15.0 2 平和意識の高揚 5.0 3 農林水産業振興 5.0 4 港湾整備 - 5 市場の整備・運営 5.0 6 国際ビジネス環境の整備 40.0 7 その他（具体的に) 5.0 無回答

【フェイスシート】

ここでは、お答えを統計的に分析するために必要なことをおうかがいします。ご協力ください。

(全員の方に)

F 1 <性 別> 差し支えなければ、あなたの性別をお答えください。(〇は1つ) <n = 1,784>

42.9 1 男 性 55.0 2 女 性 2.0 無回答

(全員の方に)

F 2 <年 齢> あなたの年齢は、おいくつですか。(〇は1つ) <n = 1,784>

0.9 1	18・19歳	7.5 5	35～39歳	9.1 9	55～59歳	16.9 13	75歳以上
3.6 2	20～24歳	8.7 6	40～44歳	7.4 10	60～64歳	0.6	無回答
5.0 3	25～29歳	8.5 7	45～49歳	7.0 11	65～69歳		
5.7 4	30～34歳	9.8 8	50～54歳	9.4 12	70～74歳		

(全員の方に)

F 3 <職 業> あなたのお仕事は次のうちどれですか。(〇は1つ) <n = 1,784>

8.4 1	自営業主 (個人で営む農林漁業、商業、工業、サービス業、自由業(開業医、芸術家等)の方)	}	F 4へ (次のページ)
2.6 2	家族従業 (家業手伝い) (家族の方が営んでいる事業を継続的に手伝っている方)		
37.3 3	勤め (正社員、正規職員)	}	F 4へ (次のページ)
17.3 4	勤め (派遣、契約・嘱託・パート・アルバイトなど)		
19.6 5	無職の主婦・主夫		
2.1 6	学生		
10.3 7	その他の無職	}	F 4へ (次のページ)
2.5	無回答		

(F 3で「3 勤め (正社員、正規職員)」「4 勤め (派遣、契約・嘱託・パート・アルバイトなど)」と答えた方に)

F 3-1 お勤めの方にお聞きます。あなたの仕事の内容を次の中から1つお選びください。
(〇は1つ) <n = 974>

14.7 1	経営・管理職 (会社、団体、官公庁の役員・課長以上の管理職など)
28.4 2	専門・技術職 (病院勤務医、弁護士、税理士、研究所研究員、教員、食品・機械・建築・情報処理・医療等の技術者、看護師、栄養士、保育士、新聞記者、デザイナーなど)
25.6 3	事務職 (事務系・営業系事務員、事務機械オペレーターなど)
11.7 4	労務・技能職 (工員・職人・大工、警察官、消防士、守衛、清掃員、運転手・車掌など)
18.0 5	販売・サービス職 (店員、販売外交員、保険外交員、給仕、調理師、介護職員、理・美容師など)
0.6 6	その他 (具体的に)
1.0	無回答

(全員の方向に)

F 4 <住居> 現在のお住まいは、次のうちのどれになりますか。当てはまるものを1つお選びください。
(○は1つ) <n = 1,784>

- 43.8 1 持家 (一戸建)
- 20.3 2 持家 (分譲マンションなどの集合住宅)
- 2.1 3 民間の借家 (一戸建)
- 23.8 4 民間の借家 (賃貸マンション・アパートなどの集合住宅)
- 5.9 5 UR都市機構・公社・公営の賃貸住宅・アパート
- 1.7 6 社宅・公務員住宅などの給与住宅
- 0.4 7 住み込み・寮・寄宿舎など
- 0.7 8 その他 (具体的に)
- 1.2 無回答

(全員の方向に)

F 5 <未既婚> あなたは、結婚していらっしゃいますか。(○は1つ) <n = 1,784>

- 23.6 1 未婚 → F 6へ
- 15.1 3 既婚 (離別・死別) → F 6へ
- 60.0 2 既婚 (配偶者あり)
- 1.2 無回答

(F 5で「2 既婚 (配偶者あり)」と答えた方に)

F 5-1 ご夫婦ともに働いていらっしゃいますか。(○は1つ) <n = 1,071>

- 55.6 1 はい
- 44.1 2 いいえ
- 0.3 無回答

(全員の方向に)

F 6 <世帯構成 (同居家族)> あなたと同居されているご家族はいらっしゃいますか。(○は1つ)
<n = 1,784>

- 20.9 1 単身 (本人のみ)
- 3.5 4 親と子と孫 (3世代世帯)
- 24.0 2 夫婦のみ (1世代世帯)
- 5.7 5 その他の世帯
- 44.4 3 親と子 (2世代世帯)
- 1.4 無回答

(全員の方向に)

F 7 <居住地域生まれ> あなたは、生まれてからずっとこの地域にお住まいですか。それとも他の地域からいらしたのですか。(○は1つ) <n = 1,784>

- 23.5 1 生まれてからずっとこの地域に住んでいる (一時的にこの地域を離れた人も含む)
- 74.8 2 他の地域からきた
- 1.7 無回答

(全員の方向に)

F 8 <地域居住年数> あなたは、この地域にお住まいになってから何年になりますか。(○は1つ)
<n = 1,784>

- 3.0 1 1年未満
- 9.7 5 10～15年未満
- 6.7 2 1～3年未満
- 7.5 6 15～20年未満
- 5.8 3 3～5年未満
- 13.9 7 20～30年未満
- 10.5 4 5～10年未満
- 41.4 8 30年以上
- 1.5 無回答

(全員の方向に)

F 9 <東京生まれ> あなたは、生まれてからずっと東京にお住まいですか。それとも、東京以外からいらしたのですか。(〇は1つ) <n = 1,784>

- | | | | | | |
|------|---|---------------------------------------|------|---|----------|
| 45.4 | 1 | 生まれてからずっと東京に住んでいる
(一時的に東京を離れた人も含む) | 52.7 | 2 | 東京以外からきた |
| | | | 1.9 | | 無回答 |

(全員の方向に)

F 10 <東京居住年数> 東京都にお住まいになってから何年になりますか。(〇は1つ) <n = 1,784>

- | | | | | | |
|-----|---|---------|------|---|----------|
| 1.1 | 1 | 1年未満 | 6.7 | 5 | 10～15年未満 |
| 2.6 | 2 | 1～3年未満 | 6.6 | 6 | 15～20年未満 |
| 2.6 | 3 | 3～5年未満 | 12.7 | 7 | 20～30年未満 |
| 5.7 | 4 | 5～10年未満 | 60.9 | 8 | 30年以上 |
| | | | 1.2 | | 無回答 |

(全員の方向に)

F 11 <世帯年収> お宅さま全体の昨年1年間の収入(世帯年収)はおよそどのくらいでしたか。(〇は1つ) <n = 1,784>

- | | | | | | |
|------|---|-------------|-----|----|-----------------|
| 12.8 | 1 | 200万円未満 | 9.0 | 7 | 900～1,100万円未満 |
| 10.7 | 2 | 200～300万円未満 | 5.9 | 8 | 1,100～1,300万円未満 |
| 11.1 | 3 | 300～400万円未満 | 3.3 | 9 | 1,300～1,500万円未満 |
| 9.6 | 4 | 400～500万円未満 | 3.5 | 10 | 1,500～2,000万円未満 |
| 11.7 | 5 | 500～700万円未満 | 2.4 | 11 | 2,000万円以上 |
| 9.5 | 6 | 700～900万円未満 | 8.6 | 12 | わからない |
| | | | 1.9 | | 無回答 |

(全員の方向に)

F 12 <インターネット利用> あなたはインターネットを利用していますか。(〇は1つ) <n = 1,784>

- | | | | | | |
|------|---|------------|------|---|------------|
| 64.6 | 1 | よく利用している | 5.3 | 3 | あまり利用していない |
| 11.3 | 2 | ときどき利用している | 17.4 | 4 | 利用していない |
| | | | 1.5 | | 無回答 |

(全員の方向に)

F 13 <SNS利用> あなたはどのSNSを利用していますか。それとも、SNSは利用していませんか。(〇はいくつでも) <n = 1,784>

- | | | | | | |
|------|---|---------|------|---|-----------------------|
| 28.0 | 1 | ツイッター | 46.2 | 5 | ユーチューブ |
| 69.4 | 2 | LINE | 6.6 | 6 | T i k T o k (ティックトック) |
| 17.2 | 3 | フェイスブック | 0.9 | 7 | その他(具体的に) |
| 31.1 | 4 | インスタグラム | 22.2 | 8 | 利用していない |
| | | | 1.8 | | 無回答 |
- M. T. = 221.5

質問は以上で終わりです。

最後までご協力いただき、ありがとうございました。

- 記入もれがないかどうかもう一度お確かめのうえで、同封の返信用封筒に調査票を入れて、**令和5年7月9日(日)まで**に、ご投函ください。

付 属 資 料

東京都では、世論調査を開始して以来、毎年様々な項目について世論調査を実施しているが、その一部については経年変化をみるため、同一項目を毎年継続調査している。

そこで、比較的長期にわたって調査している項目について、毎年変化を追えるように付属資料としてまとめた。

※「暮らしむきの変化」については、消費者物価上昇率、景気の動向など主な経済・社会の変化を合わせて掲載した。

図1 暮らしむきの変化

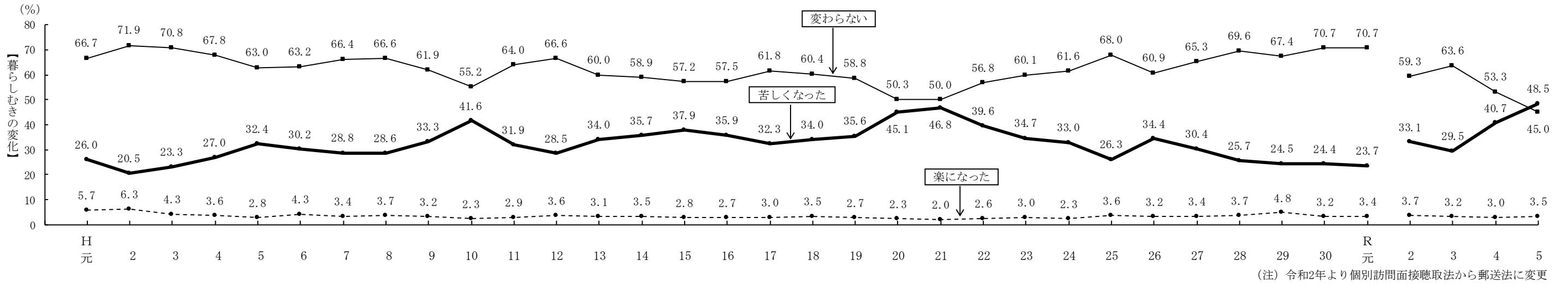


図2 消費者物価上昇率

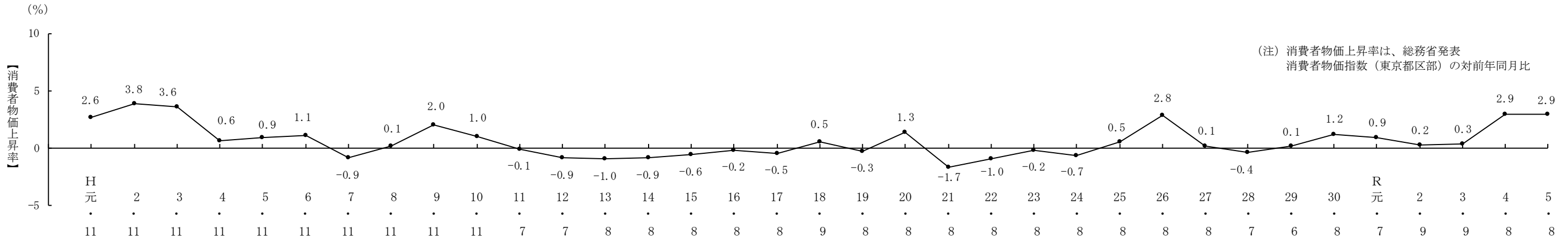


図3 社会経済の年表

年	平成元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5
※「」は経済財政白書の副題	「平成経済の門出と日本経済の新しい潮流」 消費税スタート（元年4月） 昭和天皇崩御「平成」に改元（元年1月）	「持続的拡大への道」	「長期拡大の条件と国際社会における役割」 バブル崩壊 湾岸戦争（3年1月）	「調整をこえて新たな展開をめざす日本経済」 PKO協力法案可決（4年6月）	「バブルの教訓と新たな発展への課題」 コメ不作で緊急輸入を決定（5年9月）	「厳しい調整を越えて新たなフロンティアへ」	「日本経済のダイナミズムの復活をめざして」 阪神・淡路大震災（7年1月）	「改革が展望を切り開く」	「改革へ本格起動する日本経済」 山一証券自主廃業（9年11月） 消費税5%に引き上げ（9年4月）	「創造的発展への基礎固め」 緊急経済対策決定、総事業規模は過去最大の24兆円 完全失業率が初の4%台（10年4月）	「経済再生への挑戦」 改正男女雇用機会均等法施行（11年4月）	「新しい世の中が始まる」 介護保険制度スタート（12年4月） 地方分権一括法施行（12年4月）	「改革なくして成長なし」 米同時多発テロ（13年9月） 確定拠出年金法施行（13年10月）	「改革なくして成長なし」 サッカーワールドカップ日韓共催（14年6月）	「改革なくして成長なし」 完全失業率が5.5%に（15年1月） イラク戦争（15年3月）	「改革なくして成長なし」 年金改革関連法施行（16年10月）	「改革なくして成長なし」 道路関係四公団民営化（17年10月） 原油価格高騰	「成長条件が復元し、新たな成長を目指す日本経済」 介護保険法改正施行（18年4月）	「生産性向上に向けた挑戦」 郵政民営化（19年10月）	「リスクに立ち向かう日本経済」 サブプライムローンに端を発した世界金融危機 後期高齢者医療制度施行（20年4月）	「危機の克服と持続的回復への展望」 エコカー減税・エコカー補助金実施（21年10月）	「需要の創造による成長力の強化」	「日本経済の本質的な力を高める」 東日本大震災（23年3月）	「日本経済の復興から発展的創造へ」	「経済の好循環の確立に向けて」	「よみがえる日本経済、広がる可能性」 消費税8%に引き上げ（26年4月）	「四半世紀ぶりの成果と再生する日本経済」	「リスクを越えて好循環の確立へ」	「技術革新と働き方改革がもたらす新たな成長」	「令和」新時代の日本経済 消費税10%に引き上げ（元年10月）	「今、Society 5.0の経済へ」	「新型コロナ危機・日本経済変革のラストチャンス」 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発出ほか	「人への投資を原動力とする成長と分配の好循環実現へ」 ロシアによるウクライナ侵略（4年2月）	「レジリエントな日本経済へ…強さと柔軟性を持つ」 経済社会に向けた変革の加速（3年7～9月） 東京オリリンピック・パラリンピック開催	「動き始めた物価と賃金」
景気の動き	バブル景気	平成不況（失われた10年）										景気回復					景気悪化					緩やかな回復					景気悪化								
実質経済成長率 (%)	4.9	4.8	3.5	0.9	-0.5	1.1	2.6	3.1	1.0	-1.3	-0.3	2.8	0.4	0.0	1.5	2.2	1.8	1.4	1.5	-1.2	-5.7	4.1	0.0	1.4	2.0	0.3	1.6	0.8	1.7	0.6	-0.4	-4.3	2.2	1.0	

(注) 実質経済成長率（暦年）は、令和5年度経済財政白書（内閣府）「国内総生産（GDP）実質前年比」

表1 暮らしの余裕

	n	余裕がある (計)	今の暮らしで十分余裕がある				今の暮らしでは余裕がない			わからない	無回答
			十分余裕がある	今の暮らしであればまあまあである	今の暮らしでは余裕がある	今の暮らしでは余裕がない	今の暮らしでは余裕がない	今の暮らしでは余裕がない	今の暮らしでは余裕がない		
平成元	(2,219)	57.1	5.5	51.6	41.9	37.6	4.3	0.9	-	-	
2	(2,230)	59.1	5.4	53.7	40.4	35.7	4.7	0.5	-	-	
3	(2,106)	59.0	5.2	53.8	40.5	36.1	4.4	0.6	-	-	
4	(2,107)	62.6	5.3	57.3	37.0	33.2	3.8	0.4	-	-	
5	(2,111)	57.9	5.0	52.9	41.7	36.0	5.7	0.4	-	-	
6	(2,136)	58.2	4.6	53.7	41.4	36.4	5.1	0.3	-	-	
7	(2,190)	60.7	5.9	54.8	39.0	33.8	5.2	0.2	-	-	
8	(2,115)	58.9	5.3	53.6	40.8	35.3	5.5	0.4	-	-	
9	(2,165)	57.6	4.6	53.1	41.7	36.3	5.4	0.6	-	-	
10	(2,132)	53.9	4.3	49.7	44.9	36.8	8.1	1.2	-	-	
11	(2,074)	56.8	5.1	51.7	42.6	35.4	7.2	0.6	-	-	
12	(2,115)	57.3	5.8	51.5	42.1	34.7	7.4	0.6	-	-	
13	(2,124)	52.1	4.1	48.0	46.0	37.1	8.9	1.9	-	-	
14	(2,132)	52.1	3.8	48.2	45.5	37.6	7.9	2.4	-	-	
15	(1,873)	50.3	4.2	46.2	47.5	38.1	9.5	2.1	-	-	
16	(1,857)	44.3	2.9	41.4	53.2	42.1	11.1	2.5	-	-	
17	(2,031)	49.7	4.3	45.4	48.6	38.3	10.3	1.7	-	-	
18	(2,081)	48.6	3.7	44.8	50.3	41.1	9.2	1.2	-	-	
19	(2,084)	46.7	3.1	43.6	51.3	41.8	9.5	2.0	-	-	
20	(2,030)	46.9	3.0	43.9	51.2	41.1	10.0	1.9	-	-	
21	(2,025)	42.5	2.8	39.7	56.6	46.4	10.2	0.9	-	-	
22	(2,013)	45.9	4.0	41.9	53.4	45.4	8.0	0.7	-	-	
23	(2,009)	49.2	4.0	45.2	48.3	40.5	7.8	2.5	-	-	
24	(2,002)	48.3	3.6	44.7	49.3	41.0	8.3	2.4	-	-	
25	(2,010)	48.8	4.8	43.9	48.7	41.2	7.4	2.6	-	-	
26	(1,850)	50.4	4.5	45.9	48.9	40.4	8.4	0.7	-	-	
27	(1,900)	49.8	3.6	46.2	49.3	41.7	7.6	0.9	-	-	
28	(1,805)	51.9	4.7	47.1	47.2	40.1	7.1	0.9	-	-	
29	(1,810)	54.9	5.4	49.6	43.0	36.7	6.3	2.1	-	-	
30	(1,856)	54.3	5.2	49.1	44.9	38.1	6.8	0.8	-	-	
令和元	(1,845)	53.7	5.9	47.9	45.6	39.6	6.0	0.7	-	-	
2	(2,273)	50.5	5.7	44.8	48.0	40.9	7.2	-	1.5	-	
3	(1,849)	56.0	7.5	48.5	42.8	35.6	7.1	-	1.2	-	
4	(1,883)	50.5	5.5	45.0	49.1	39.2	9.9	-	0.4	-	
5	(1,784)	47.7	5.9	41.8	51.5	40.3	11.2	-	0.8	-	

(注1) 『余裕がある(計)』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計、『余裕がない(計)』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

(注2) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注3) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

表2 これからの暮らしむき

	n	楽になる(計)	楽になる		変わらない	苦しくなる(計)	苦しくなる		わからない	無回答
			かなり楽になる	やや楽になる			やや苦しくなる	かなり苦しくなる		
平成元	(2,106)	7.2	0.7	6.5	67.4	25.4	22.7	2.7	-	-
2	(2,157)	9.9	1.0	8.9	68.4	21.6	20.3	1.3	-	-
3	(2,207)	9.8	1.0	8.7	67.6	22.4	19.4	3.0	0.1	-
4	(2,132)	7.7	1.0	6.7	58.5	33.9	26.3	7.6	-	-
5	(2,117)	7.9	0.7	7.2	58.9	33.3	24.0	9.3	-	-
6	(2,123)	7.8	0.6	7.2	62.8	29.3	23.4	5.9	-	-
7	(2,190)	8.3	0.5	7.9	61.7	28.9	25.2	3.7	1.1	-
8	(2,115)	8.7	0.4	8.2	56.2	33.7	29.3	4.4	1.5	-
9	(2,165)	5.6	0.6	5.0	52.3	40.7	36.3	4.5	1.4	-
10	(2,132)	3.5	0.4	3.0	49.3	44.2	37.6	6.6	3.0	-
11	(2,074)	5.8	0.4	5.4	56.8	34.8	30.4	4.4	2.6	-
12	(2,115)	6.5	0.8	5.7	59.5	31.5	26.9	4.6	2.5	-
13	(2,124)	2.9	0.3	2.6	46.2	44.5	35.4	9.1	6.4	-
14	(2,132)	4.7	0.5	4.2	50.7	38.4	30.0	8.4	6.2	-
15	(1,873)	4.1	1.0	3.2	47.6	40.5	30.5	10.0	7.7	-
16	(1,857)	4.1	0.2	3.9	51.3	35.3	25.6	9.7	9.3	-
17	(2,031)	4.3	0.3	4.0	50.1	37.9	29.2	8.7	7.8	-
18	(2,081)	4.8	0.4	4.4	51.4	37.5	28.2	9.3	6.4	-
19	(2,084)	3.9	0.3	3.6	47.8	40.6	31.1	9.5	7.6	-
20	(2,030)	2.3	0.1	2.2	38.1	53.1	40.5	12.5	6.6	-
21	(2,025)	2.8	0.2	2.6	40.0	50.4	35.9	14.5	6.9	-
22	(2,013)	3.2	0.1	3.1	47.1	43.6	32.1	11.5	6.0	-
23	(2,009)	3.6	0.3	3.3	47.9	40.6	31.8	8.8	7.8	-
24	(2,002)	3.1	0.3	2.7	46.9	43.4	33.2	10.2	6.6	-
25	(2,010)	4.3	0.4	3.8	50.6	38.0	29.0	9.1	7.1	-
26	(1,850)	4.5	0.4	4.1	48.7	42.3	32.8	9.5	4.5	-
27	(1,900)	3.9	0.3	3.6	53.2	38.2	29.3	8.8	4.7	-
28	(1,805)	4.4	0.5	3.9	55.8	35.0	28.3	6.7	4.8	-
29	(1,810)	6.2	0.6	5.6	54.2	32.3	25.7	6.6	7.3	-
30	(1,856)	4.4	0.1	4.3	56.3	33.9	27.6	6.3	5.4	-
令和元	(1,845)	4.8	0.3	4.5	54.5	35.3	29.0	6.3	5.4	-
2	(2,273)	3.3	0.4	2.9	41.7	45.4	34.4	11.0	8.6	0.9
3	(1,849)	3.9	0.5	3.4	49.6	37.0	28.3	8.7	8.7	0.8
4	(1,883)	4.3	0.5	3.8	40.6	48.0	34.3	13.8	5.9	1.2
5	(1,784)	4.0	0.4	3.5	38.1	52.0	36.7	15.3	5.5	0.4

(注1) 『楽になる(計)』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計、『苦しくなる(計)』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

(注2) 平成6年までは「都民要望に関する世論調査」、平成7年から平成9年は「都市生活に関する世論調査」

(注3) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

表3 生活満足度

(%)

	n	満足 (計)	満足		不満 (計)	不満		わからない	無回答
			大変満足 している	まあ満足 している		やや不満 である	大変不満 である		
平成元	(2,219)	67.9	6.1	61.8	31.6	27.2	4.4	0.5	-
2	(2,230)	64.9	5.2	59.7	34.8	29.1	5.7	0.3	-
3	(2,106)	62.7	6.0	56.7	37.0	31.7	5.3	0.3	-
4	(2,107)	66.8	6.3	60.5	33.1	28.6	4.5	0.1	-
5	(2,111)	62.8	5.6	57.2	36.9	31.1	5.8	0.3	-
6	(2,136)	63.7	6.0	57.6	36.0	30.9	5.1	0.3	-
7	(2,190)	67.3	6.1	61.1	32.6	27.7	4.9	0.2	-
8	(2,115)	65.8	6.5	59.3	34.1	29.0	5.1	0.1	-
9	(2,165)	62.4	4.7	57.7	37.3	32.1	5.1	0.3	-
10	(2,132)	62.1	3.4	58.6	37.1	29.9	7.2	0.8	-
11	(2,074)	63.5	5.9	57.7	35.6	29.7	5.9	0.9	-
12	(2,115)	66.5	4.5	61.9	33.2	27.0	6.1	0.3	-
13	(2,124)	58.1	3.7	54.4	39.9	32.5	7.3	2.1	-
14	(2,132)	56.8	3.4	53.4	40.9	32.5	8.4	2.3	-
15	(1,873)	56.9	3.9	53.0	40.9	31.7	9.2	2.2	-
16	(1,857)	49.9	2.0	47.9	45.3	34.0	11.3	4.7	-
17	(2,031)	50.3	4.2	46.0	45.0	35.6	9.4	4.7	-
18	(2,081)	49.2	3.7	45.6	48.1	37.4	10.6	2.7	-
19	(2,084)	49.2	2.4	46.8	46.4	35.6	10.8	4.4	-
20	(2,030)	49.7	3.2	46.5	46.5	37.0	9.5	3.8	-
21	(2,025)	45.4	2.8	42.6	50.1	37.5	12.6	4.5	-
22	(2,013)	47.6	2.9	44.8	48.3	36.8	11.5	4.1	-
23	(2,009)	53.5	4.0	49.4	42.7	34.1	8.6	3.8	-
24	(2,002)	53.4	3.6	49.9	42.0	33.9	8.0	4.6	-
25	(2,010)	53.8	4.3	49.5	41.3	32.6	8.7	4.9	-
26	(1,850)	53.0	3.6	49.4	43.5	34.0	9.5	3.6	-
27	(1,900)	50.8	3.0	47.8	45.1	35.9	9.1	4.1	-
28	(1,805)	53.7	4.4	49.3	41.6	33.1	8.4	4.8	-
29	(1,810)	54.0	4.5	49.4	40.2	33.3	7.0	5.8	-
30	(1,856)	54.4	4.5	49.9	40.8	33.6	7.2	4.7	-
令和元	(1,845)	53.2	4.4	48.8	40.5	33.2	7.3	6.3	-
2	(2,273)	48.9	3.1	45.8	45.2	35.6	9.6	4.4	1.5
3	(1,849)	51.1	3.7	47.4	42.9	34.2	8.7	4.9	1.0
4	(1,883)	49.7	3.2	46.5	45.2	34.9	10.2	4.0	1.1
5	(1,784)	46.7	3.1	43.6	49.6	38.2	11.3	3.6	0.2

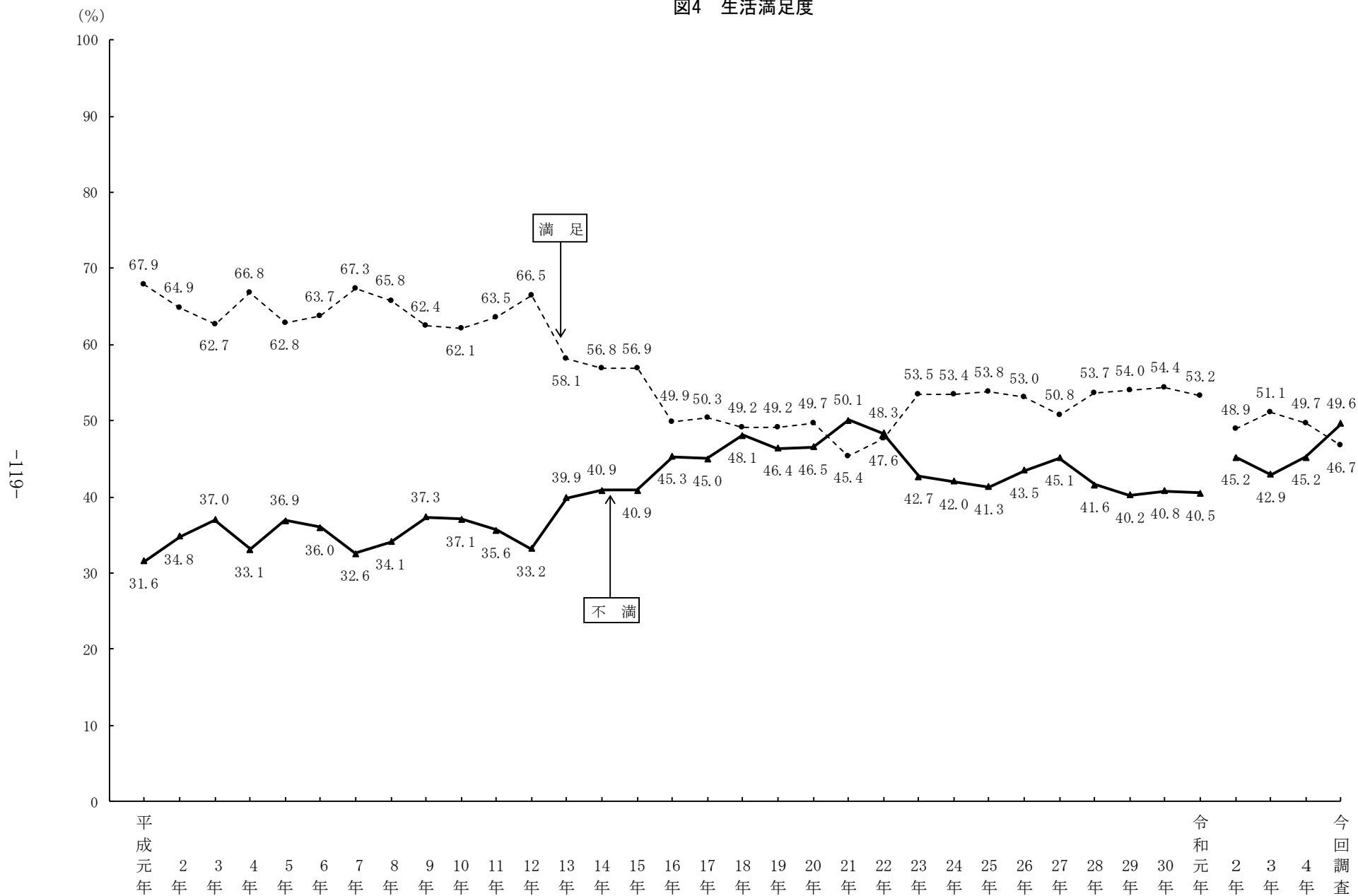
(注1) 『満足(計)』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計

『不満(計)』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

(注2) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注3) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

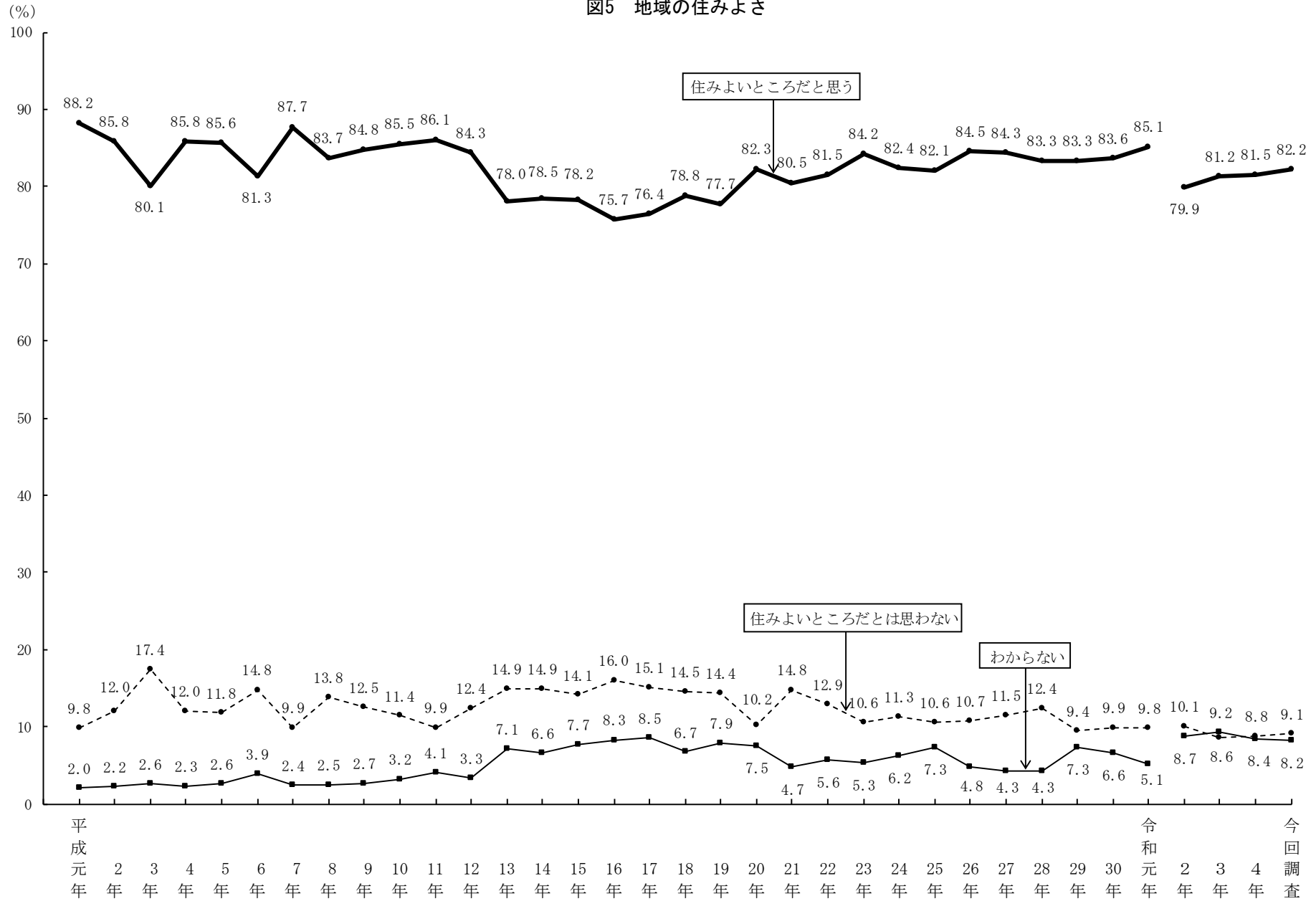
図4 生活満足度



(注1) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

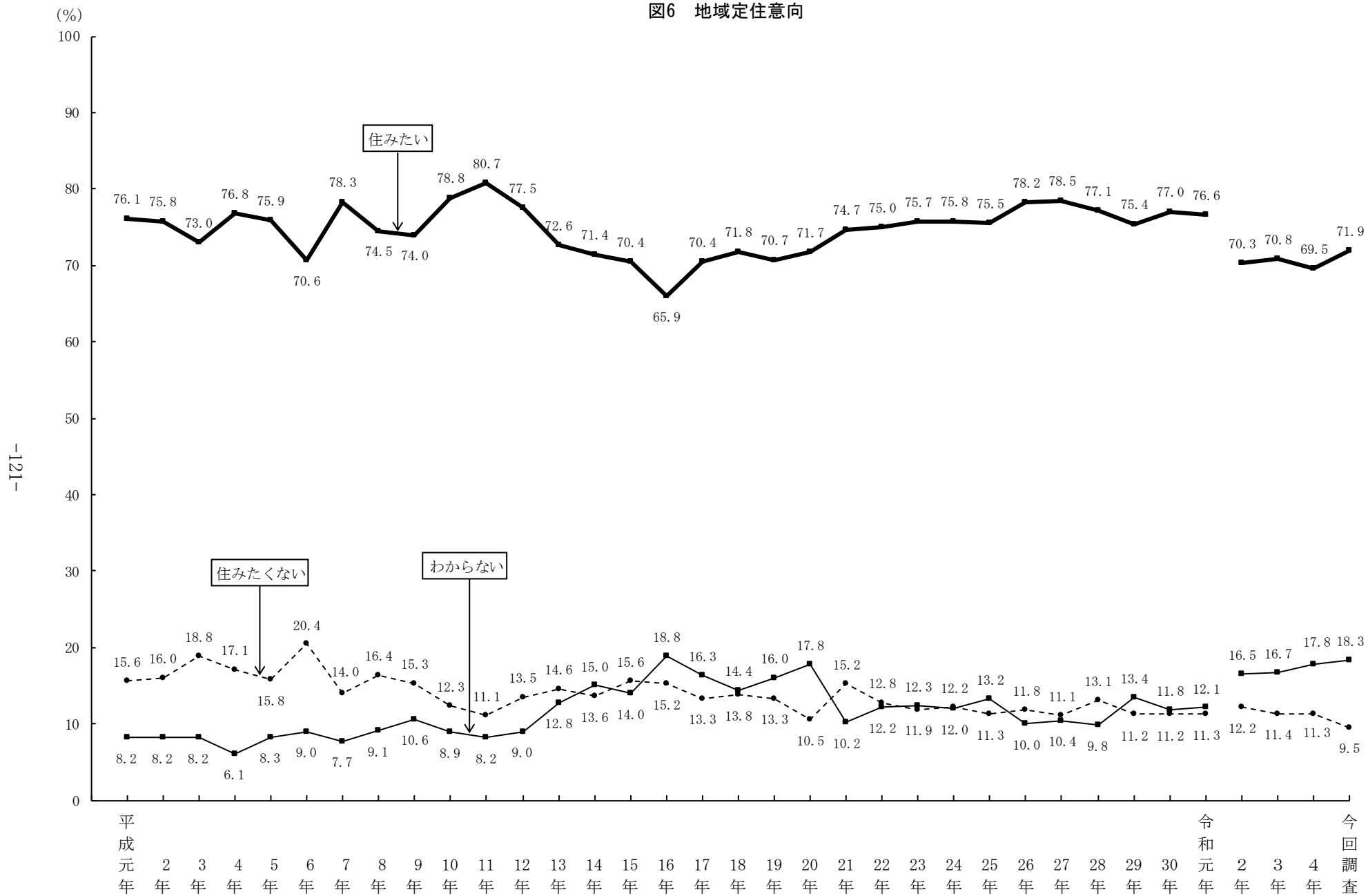
図5 地域の住みよさ



(注1) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

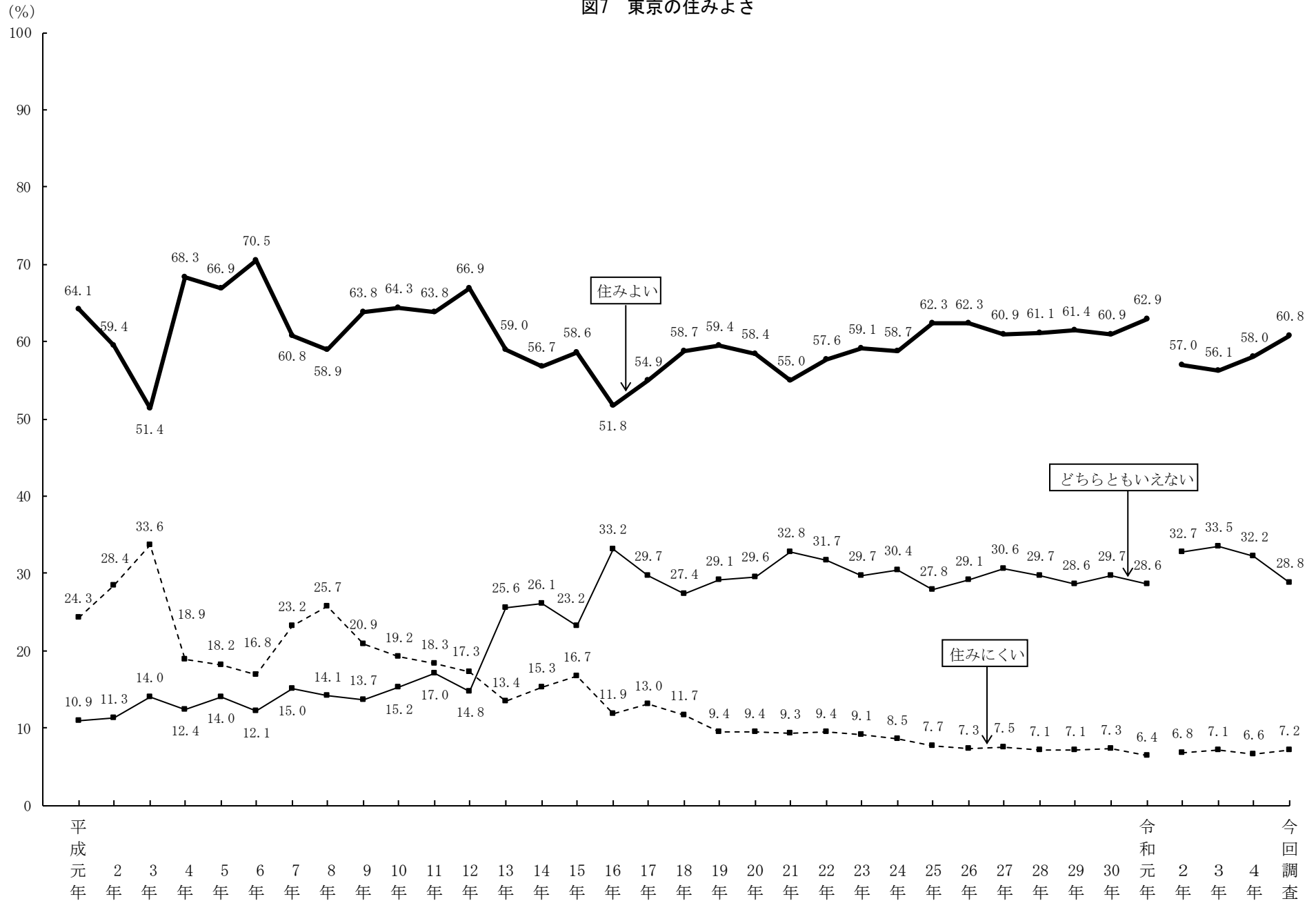
図6 地域定住意向



(注1) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

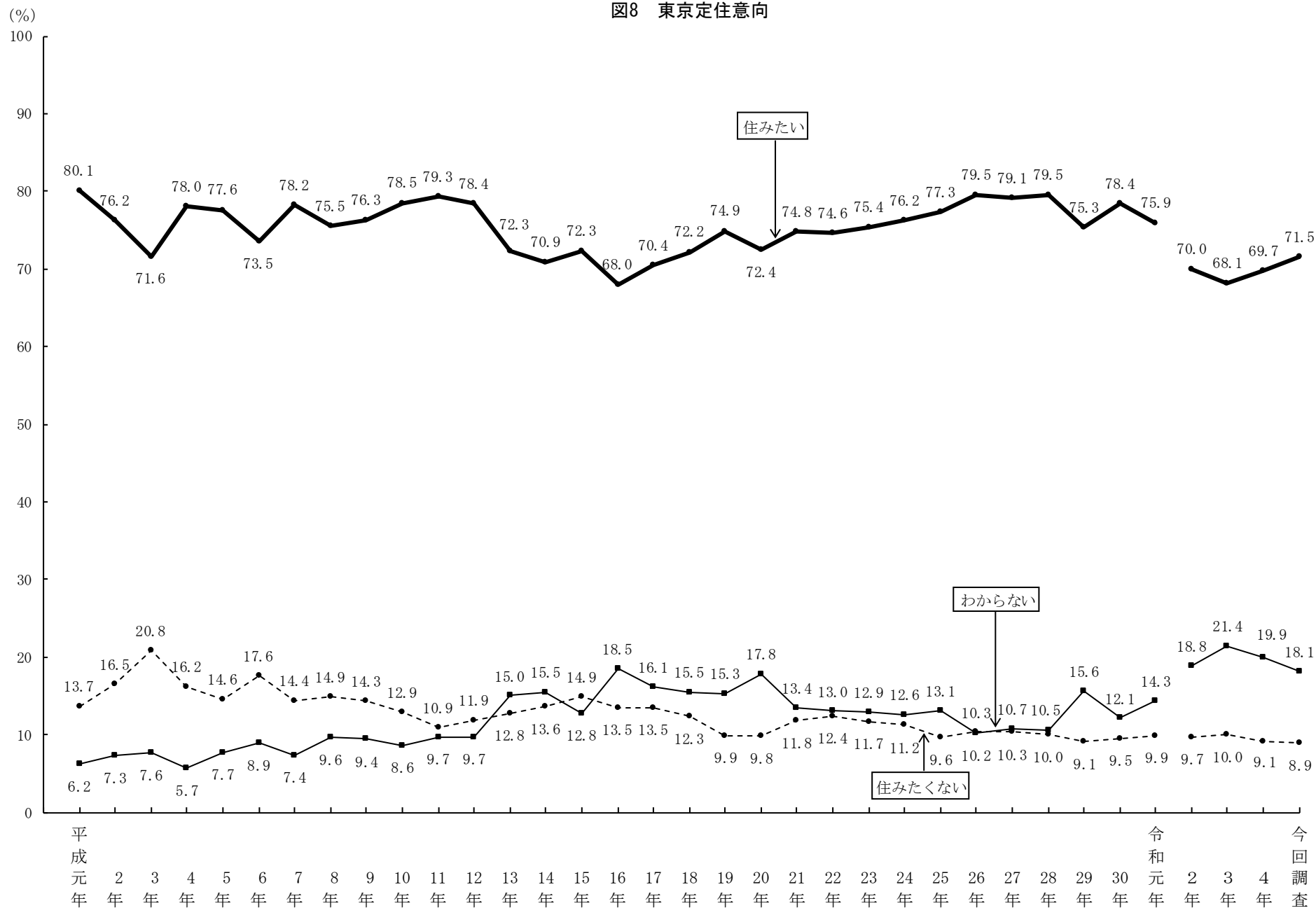
図7 東京の住みよさ



(注1) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

図8 東京定住意向



(注1) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

表4 都政への要望（平成元年～令和5年）

(%)

順位	平成元年	平成 2年	平成 3年	平成 4年	平成 5年	平成 6年	平成 7年	平成 8年	平成 9年	平成10年	平成11年	平成12年
1	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者
2	物価・消費者	医療・衛生	医療・衛生	物価・消費者	物価・消費者	物価・消費者	物価・消費者	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生
3	医療・衛生	物価・消費者	物価・消費者	住み	医療・衛生	医療・衛生	物価・消費者	物価・消費者	物価・消費者	環境	環境	環境
4	住宅	住み	住み	住み	住み	住み	住み	住み	住み	住み	住み	住み
5	公害	道	公害	公害	公害	公害	公害	公害	公害	公害	公害	公害
6	公園・緑化	道	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化
7	道路	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化
8	学校教育	公害	道	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化
9	学校	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育
10	心身障害者	心身障害者	学校教育	防	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育
11	防犯	交通災害	交通災害	心身障害者	防	学校教育	都市再開発	心身障害者	心身障害者	道	防	公園・緑化
12	防	生涯学習	都市再開発	交通災害	生涯学習	生涯学習	学校教育	交通災害	防	中小企業	自動車交通	土地・住宅
13	交通災害	都市再開発	上下水道	上下水道	交通災害	都市再開発	青少年	交通災害	交通災害	自動車交通	公園・緑化	道
14	上下水道	防	生涯学習	生涯学習	防	防	心身障害者	生涯学習	青少年	障害者	職業・雇用	障害者(児)
15	都市再開発	上下水道	防	都市再開発	都市再開発	防	中小企業	都市再開発	都市再開発	公園・緑化	道	青少年
16	青少年	文化・芸術	文化・芸術	青少年	上下水道	中小企業	生涯学習	青少年	生涯学習	職業・雇用	中小企業	中小企業
17	生涯教育	青少年	防	防	文化・芸術	勤労者	勤労者	文化・芸術	文化・芸術	青少年	青少年	職業・雇用
18	中小企業	女性	青少年	中小企業	青少年	上下水道	文化・芸術	中小企業	中小企業	まちづくり	まちづくり	文化・芸術
19	文化・芸術	中小企業	中小企業	都営交通	中小企業	青少年	都営交通	勤労者	女性	女性	生涯学習	生涯学習
20	都営交通	中	文化・芸術	文化・芸術	文化・芸術	女性	交通災害	女性	勤労者	勤労者	文化・芸術	まちづくり
21	女性	勤労者	国際交流	女性	勤労者	都営交通	女性	都営交通	都営交通	文化・芸術	水道・下水道	国際交流
22	勤労者	都営交通	都営交通	勤労者	都営交通	文化・芸術	上下水道	上下水道	上下水道	水道・下水道	都営交通	都営交通
23	—	—	—	国際交流	国際交流	国際交流	国際交流	国際交流	国際交流	国際交流	国際交流	水道・下水道
24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(%)

順位	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
1	高齢者	医療・衛生	高齢者	治安	治安	治安	治安	治安	治安	治安	治安	治安
2	医療・衛生	高齢者	医療・衛生	高齢者	治安	治安	治安	治安	治安	治安	治安	治安
3	環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境
4	防犯	消費生活	防	環境	医療・衛生	医療・衛生	防	消費生活	防	防	医療・衛生	医療・衛生
5	学校教育	学校教育	少子化・子ども	交通安全	環境	環境	防	消費生活	防	防	環境	環境
6	自動車交通	防	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活
7	消費生活	少子化・子ども	学校教育	防	交通安全	交通安全	交通安全	交通安全	行財政	消費生活	行財政	行財政
8	少子化・子ども	防	防	学校教育	行財政	子ども	行財政	行財政	交通安全	交通安全	交通安全	交通安全
9	廃棄物	防	防	青少年	土地・住宅	行財政	学校教育	学校教育	子	子	子	子
10	防	障害者(児)	交通安全	土地・住宅	子ども	学校教育	子ども	子ども	土地・住宅	土地・住宅	土地・住宅	土地・住宅
11	土地・住宅	公園・緑化	土地・住宅	子ども	学校教育	土地・住宅	土地・住宅	土地・住宅	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育
12	公園・緑化	土地・住宅	障害者(児)	まちづくり	青少年	青少年	青少年	青少年	まちづくり	まちづくり	まちづくり	まちづくり
13	障害者(児)	道	公園・緑化	行財政	まちづくり	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	青少年	青少年	青少年	青少年
14	職業・雇用	交通安全	道	道	公園・緑化	まちづくり	道	道	職業・雇用	職業・雇用	職業・雇用	職業・雇用
15	道	職業・雇用	職業・雇用	公園・緑化	道	職業・雇用	まちづくり	道	道	道	道	道
16	中小企業	生涯学習	青少年	中小企業	職業・雇用	道	道	道	道	道	道	道
17	青少年	青少年	中小企業	職業・雇用	道	道	道	道	道	道	道	道
18	生涯学習	まちづくり	男女平等	障害者(児)	文化・芸術	障害者(児)	職業・雇用	職業・雇用	道	道	道	道
19	まちづくり	文化・芸術	生涯学習	水道・下水道	中小企業	中小企業	水道・下水道	水道・下水道	道	道	道	道
20	文化・芸術	中小企業	まちづくり	男女平等	生涯学習	文化・芸術	道	道	道	道	道	道
21	水道・下水道	水道・下水道	文化・芸術	都営交通	障害者(児)	男女平等	男女平等	男女平等	男女平等	男女平等	男女平等	男女平等
22	男女平等	男女平等	水道・下水道	生涯学習	男女平等	生涯学習	文化・芸術	文化・芸術	文化・芸術	文化・芸術	文化・芸術	文化・芸術
23	国際交流	行政サービス	都営交通	文化・芸術	都営交通	都営交通	生涯学習	生涯学習	都営交通	都営交通	都営交通	都営交通
24	都営交通	国際交流	国際交流	都市外交	都市外交	都市外交	都市外交	都市外交	都市外交	都市外交	都市外交	都市外交
25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

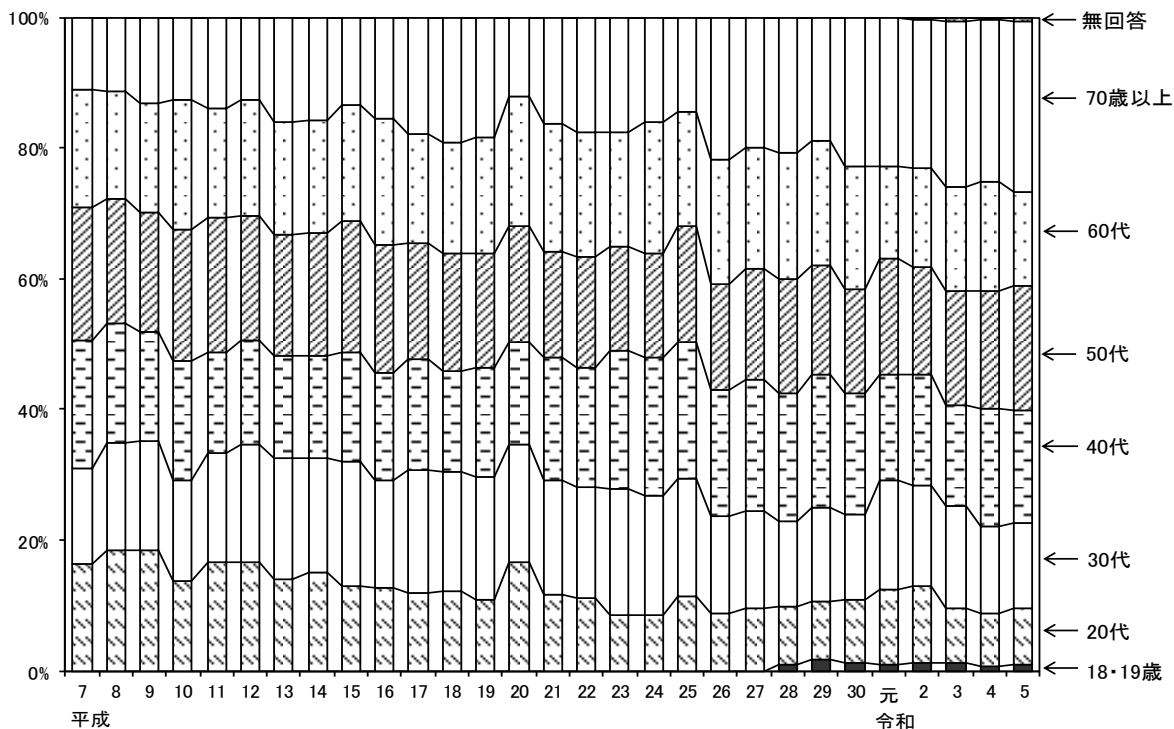
(%)

順位	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
1	防災	防災	高齢者	高齢者	防災	高齢者	高齢者	高齢者	防災	医療・衛生	防災	治安
2	治安	治安	治安	防災	治安	防災	治安	治安	医療・衛生	防災	高齢者	防災
3	高齢者	高齢者	医療・衛生	医療・衛生	高齢者	治安	治安	高齢者	高齢者	医療・衛生	治安	高齢者
4	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	治安	治安	治安	治安	医療・衛生
5	環境	消費生活	交通安全	行財政	行財政	行財政	交通安全	治安	行財政	子供	子供	子供
6	交通安全	交通安全	土地・住宅	交通安全	交通安全	環境	子供	行財政	子供	行財政	行財政	行財政
7	消費生活	環境	子供	環境	環境	環境	子供	消費生活	環境	消費生活	消費生活	学校教育
8	土地・住宅	土地・住宅	環境	子供	子供	子供	交通安全	行財政	環境	交通安全	消費生活	消費生活
9	行財政	子供	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活	学校教育	消費生活	消費生活	交通安全	環境
10	子供	行財政	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	交通安全	学校教育	学校教育	学校教育	水道・下水道
11	学校教育	学校教育	行財政	土地・住宅	土地・住宅	土地・住宅	土地・住宅	公園・緑地・水辺	公園・緑地・水辺	雇用就業	雇用就業	交通安全
12	まちづくり	まちづくり	まちづくり	職業・雇用	職業・雇用	職業・雇用	職業・雇用	水道・下水道	水道・下水道	水道・下水道	水道・下水道	公園・緑地・水辺
13	青少年	公園・緑地・水辺	道路交通	中小企業	中小企業	障害者(児)	水道・下水道	職業・雇用	職業・雇用	土地・住宅	土地・住宅	土地・住宅
14	職業・雇用	道路交通	公園・緑地・水辺	公園・緑地・水辺	公園・緑地・水辺	中小企業	道路交通	土地・住宅	職業・雇用	職業・雇用	公園・緑地・水辺	雇用就業
15	公園・緑地・水辺	職業・雇用	青少年	道路交通	道路交通	公園・緑地・水辺	都営交通	まちづくり	まちづくり	まちづくり	障害者(児)	まちづくり
16	中小企業	水道・下水道	男女平等	障害者(児)	障害者(児)	道路交通	まちづくり	まちづくり	まちづくり	道路交通	まちづくり	障害者(児)
17	文化・芸術	青少年	水道・下水道	まちづくり	まちづくり	水道・下水道	障害者(児)	文化・芸術	障害者(児)	障害者(児)	男女平等	道路交通
18	道路交通	男女平等	中小企業	水道・下水道	水道・下水道	男女平等	男女平等	障害者(児)	障害者(児)	男女平等	中小企業	中小企業
19	水道・下水道	中小企業	文化・芸術	男女平等	スポーツ・レクリエーション	まちづくり	中小企業	道路交通	文化・芸術	文化・芸術	道路交通	都営交通
20	都市外交	文化・芸術	職業・雇用	青少年	男女平等	青少年	公園・緑地・水辺	男女平等	男女平等	中小企業	都営交通	文化・芸術
21	男女平等	スポーツ・レクリエーション	都営交通	都営交通	文化・芸術	青少年	青少年	都営交通	都営交通	生涯学習、社会教育	文化・芸術	生涯学習、社会教育
22	スポーツ・レクリエーション	障害者(児)	6	6	4	5	5	5	5	6	6	男女平等
23	障害者(児)	生涯学習、社会教育	4	4	4	4	4	4	4	4	5	6
24	都営交通	都市外交	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5
25	生涯学習、社会教育	都市外交	4	4	4	4	4	4	4	4	5	4
26	市民活動	市民活動	2	3	3	3	3	3	3	3	4	3
27	観光振興	観光振興	2	2	3	3	3	3	3	3	4	3
28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

- (注1) 平成9年までは「都民要望に関する世論調査」
(注2) 平成2年から「生涯教育」を「生涯学習」に表現を変えている。
(注3) 平成3年から新たに「国際交流の推進」を追加した。
(注4) 平成10年から選択肢の表現を下記のとおり一部変更・追加した。
「ごみ対策」を「ごみ・産業廃棄物対策」、「公害対策」を「環境対策」、「住宅対策」を「土地・住宅対策」、「公園・緑化などの環境対策」を「公園・緑地・水辺の整備」、「心身障害者対策」を「障害者対策」、「交通災害対策」を「自動車交通対策」、「都市再開発などの市街地の整備」を「まちづくりの推進」、「女性の地位向上などの推進」を「男女平等の確立」、「上下水道の整備」を「水道・下水道の整備」、「職業訓練・雇用対策など勤労者対策」を「職業能力開発・雇用対策」に変更した。新たに、「少子化・子ども対策」を追加した。
(注5) 平成11年から「都営交通対策」を「都営交通の整備」に表現を変えている。
(注6) 平成12年から「障害者対策」を「障害者(児)対策」、「物価・消費者対策」を「消費生活対策」に表現を変えている。
(注7) 平成13年から「ごみ・産業廃棄物対策」を「廃棄物対策」に表現を変えている。
(注8) 平成14年から新たに、「行政サービスの電子化」を追加した。
(注9) 平成14年から「男女平等の確立」を「男女平等参画の推進」に、「自動車交通対策」を「交通安全対策」に表現を変えている。
(注10) 平成16年から「防犯対策」を「治安対策」に、「少子化・子ども対策」を「少子化・虐待防止などの子ども対策」に、「水道・下水道の整備」を「水道・下水道の整備・維持」に、「国際交流の推進」を「都市外交の推進」に、それぞれ表現を変えている。
(注11) 平成16年から「行政サービスの電子化」は、新たに追加した「行財政改革」に含めることとし、「廃棄物対策」は、「環境対策」に含めることとした。
(注12) 平成16年から選択可能な数を3つから5つに変更した。
(注13) 平成17年から新たに、「観光振興対策」を追加した。
(注14) 平成19年から「生涯学習、スポーツ・レクリエーションの振興」を「スポーツ・レクリエーションの振興」と「生涯学習、社会教育の振興」に分け、新たに「市民活動の促進」を追加した。
(注15) 平成28年から「行財政改革」を「行財政」、「市民活動の促進」を「地域活動の推進」に表現を変えている。
(注16) 平成29年から新たに、「多文化共生」を追加した。
(注17) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要。
(注18) 令和4年から「職業能力開発、雇用対策」を「雇用就業対策」に表現を変えている。

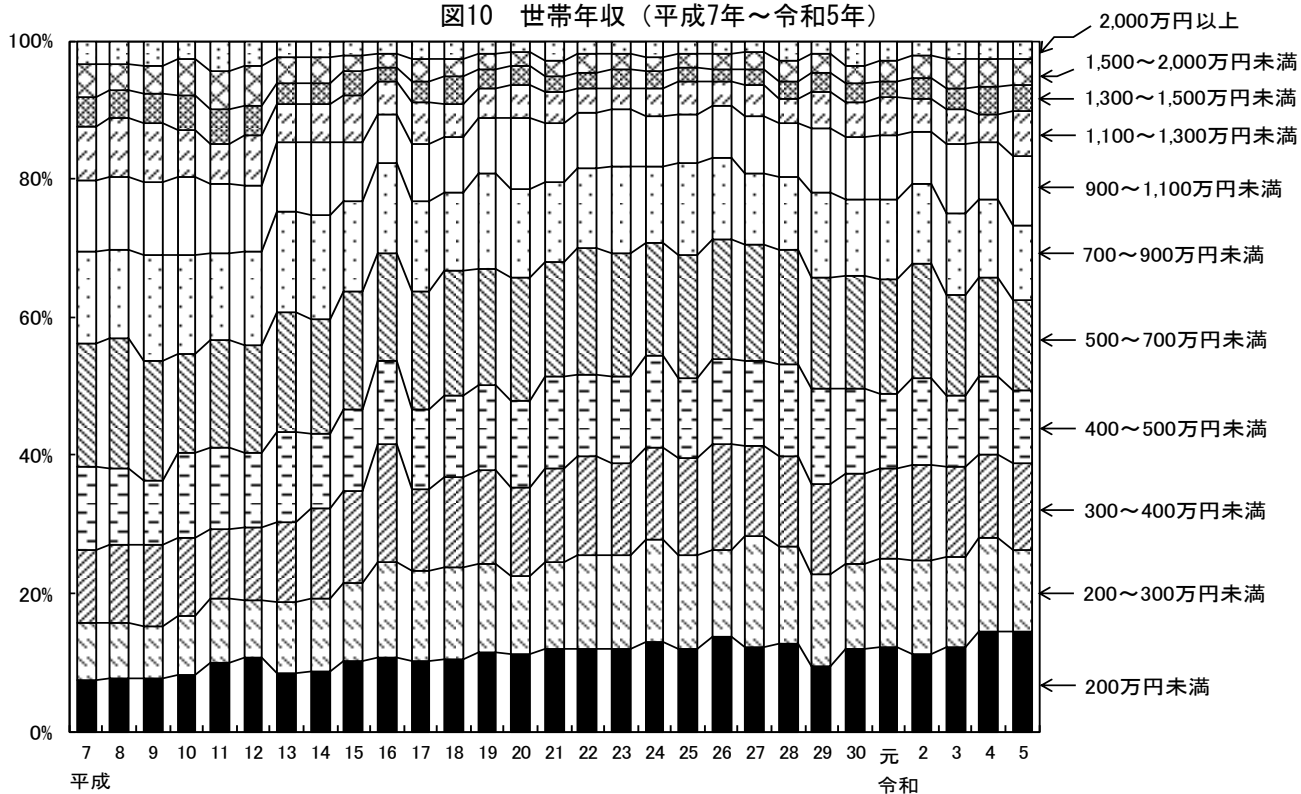
<参考：有効回収標本の年齢構成及び世帯年収の推移>

図9 年齢構成（平成7年～令和5年）



(注) 平成28年から「18・19歳」を追加した

図10 世帯年収（平成7年～令和5年）



(注1) 図9・10とも、各年の有効回収標本（回答者）の構成比を示す。図10は「わからない」「無回答」を除く。

(注2) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注3) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

「都民生活に関する世論調査」

登録番号(5)17

令和6年1月発行

編集・発行 東京都政策企画局戦略広報部企画調整課
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03(5388)3133

印刷 株式会社 三交社
東京都新宿区市谷砂土原町三丁目4番
電話 03(3267)3641

< お 願 い >

この報告書の内容を引用される場合、その旨を下記にご連絡ください。なお、印刷物の場合はその掲載部分の写しをお送りくだされば幸いです。

東 京 都 政 策 企 画 局
戦 略 広 報 部 企 画 調 整 課 調 査 担 当

〒163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号

電 話 0 3 (5 3 8 8) 3 1 3 3

E-mail : S0014904@section.metro.tokyo.jp